（仮称）山武市学校給食センター改築工事

建築

（仮称）山武市学校給食センター改築工事

（仮称）山武市学校給食センター改築工事

図面番号	図面名称	縮尺
A-000	表紙	Non Scale
A-001	図面リスト	Non Scale
A-002	建築工事特記仕様書(1)	Non Scale
A-003	建築工事特記仕様書(2)	Non Scale
A-004	建築工事特記仕様書(3)	Non Scale
A-005	建築工事特記仕様書(4)	Non Scale
A-006	建築工事特記仕様書(5)	Non Scale
A-007	建築工事特記仕様書(6)	Non Scale
A-008	建築工事特記仕様書(7)	Non Scale
A-009	建築工事特記仕様書(8)	Non Scale
A-010	建築工事特記仕様書(9)	Non Scale
A-011	建築工事特記仕様書(10)	Non Scale
A-012	欠番	Non Scale
A-013	工事区分表	Non Scale
A-014 (KA-01)	建築概要・案内図・外部仕上表	Non Scale
A-015 (KA-02)	内部仕上表(1)	Non Scale
A-016 (KA-03)	内部仕上表(2)	Non Scale
A-017 (KA-04)	内部仕上表(3)	Non Scale
A-018 (KA-05)	敷地現況図	1/300
A-019	解体後配置図	1/300
A-020 (KA-06)	敷地求積図	1/500
A-021 (KA-07)	平均地盤算定図	1/300
A-022 (KA-08)	建物求積図・求積表(1)	1/200
A-023 (KA-09)	建物求積図・求積表(2)	1/200
A-024 (KA-10)	建物求積図・求積表(3)	1/200
A-025 (KA-11)	配置図	1/300
A-026	ピット階平面図	1/200
A-027 (KA-12)	１階平面図	1/200
A-028 (KA-13)	２階平面図	1/200
A-029 (KA-14)	屋根伏図	1/200
A-030 (KA-15)	立面図(1)	1/200
A-031 (KA-16)	立面図(2)	1/200
A-032 (KA-17)	断面図	1/200
A-033	矩計図(1)	1/60
A-034	矩計図(2)	1/60
A-035	矩計図(3)	1/60
A-036	屋内階段詳細図(1)	1/100
A-037	屋内階段詳細図(2)	1/100
A-038	１階平面詳細図(1)	1/100
A-039	１階平面詳細図(2)	1/100
A-040	１階平面詳細図(3)	1/100
A-041	１階平面詳細図(4)	1/100
A-042	２階平面詳細図(1)	1/100
A-043	２階平面詳細図(2)	1/100
A-044	２階平面詳細図(3)	1/100
A-045	２階平面詳細図(4)	1/100
A-046	1階展開図(1)	1/100
A-047	1階展開図(2)	1/100
A-048	1階展開図(3)	1/100
A-049	1階展開図(4)	1/100
A-050	1階展開図(5)	1/100
A-051	1階展開図(6)	1/100
A-052	1階展開図(7)	1/100
A-053	1階展開図(8)	1/100
A-054	2階展開図(1)	1/100
A-055	2階展開図(2)	1/100
A-056	2階展開図(3)	1/100
A-057	１階天井伏図	1/200
A-058	２階天井伏図	1/200
A-059	１階建具配置図	1/200
A-060	２階建具配置図	1/200

図面番号	図面名称	縮尺
A-061 (KA-20)	建具表(1)	1/200
A-062 (KA-21)	建具表(2)	1/200
A-063 (KA-22)	建具表(3)	1/200
A-064 (KA-23)	建具表(4)	1/200
A-065	建具詳細図	1/10
A-066	部分詳細図(1)	図示
A-067	部分詳細図(2)	図示
A-068	部分詳細図(3)	図示
A-069	部分詳細図(4)	図示
A-070	部分詳細図(5)	図示
A-071	部分詳細図(6)	図示
A-072	アルミパーティション展開図	1/100
A-073	アルミパーティション・トイレブース詳細図	1/10
A-074	防音パネル工事 仕様書	Non Scale
A-075	防音パネル工事 全体平面図	1/200
A-076	防音パネル工事 各部詳細図①	1/80
A-077	防音パネル工事 各部詳細図②	1/80
A-078	防音パネル工事 各部詳細図③	1/80
A-079	防音パネル工事 各部詳細図④	1/80
A-080	防音パネル工事 断面図	1/10
A-081	防音パネル工事 デュラカーム防音パネルBPC-90	図示
A-082	１階家具キープラン	1/200
A-083	２階家具キープラン	1/200
A-084	家具詳細図(1)	1/40
A-085	家具詳細図(2)	1/40
A-086	家具詳細図(3)	1/40
A-087 (KA-24)	エレベーター詳細図(1)	1/100
A-088 (KA-25)	エレベーター詳細図(2)	1/40
A-089 (KA-26)	小荷物専用昇降機詳細図	1/40
A-090	サイン項目表	1/250
A-091	サインキープラン 外構	1/250
A-092	サインキープラン １階	1/250
A-093	サインキープラン ２階	1/250
A-094	サイン詳細図(1)	図示
A-095	サイン詳細図(2)	図示
A-096	サイン詳細図(3)	図示
A-097	外構図	1/250
A-098	外構詳細図(1)	図示
A-099	外構詳細図(2)	図示
A-100	外構詳細図(3)	図示
A-101	外構詳細図(4)	図示
A-102	植栽計画図	1/250
A-103	仮設計画図 解体時	1/300
A-104	仮設計画図 山留工事・掘削工事時	1/300
A-105	仮設計画図 躯体工事・仕上げ工事時	1/300
A-106	１階壁区分図	1/200
A-107	２階壁区分図	1/200
A-108	厨房排水詳細図(1)排水ピット　全体図	1/80
A-109	厨房排水詳細図(2)排水ピット　平・断面詳細図(1)	図示
A-110	厨房排水詳細図(3)排水ピット　平・断面詳細図(2)	図示
A-111	厨房排水詳細図(4)排水ピット　平・断面詳細図(3)	図示
A-112	厨房床塗分け図	1/200
A-113 (KA-27)	１階法チェック図	1/200
A-114 (KA-28)	２階法チェック図	1/200
A-115	外構バリアフリー配置図	1/250
A-116 (KA-30)	1階バリアフリー平面図	1/200
A-117 (KA-31)	2階バリアフリー平面図	1/200

図面番号	図面名称	縮尺
Z-001	現況平面図	1/300
Z-002	敷地面積求積図他	1/500
Z-003	土地利用計画平面図	1/300
Z-004	造成・排水施設 計画平面図	1/300
Z-005	断面図1/2	1/300
Z-006	断面図2/2	1/300
Z-007	排水系統図	1/300
Z-008	擁壁展開図	1/300
Z-009	排水施設展開図	1/300
Z-010	各種構造詳細図(1)	1/300
Z-011	各種構造詳細図(2)	1/300
Z-012	各種構造詳細図(3)	1/300
Z-013	各種構造詳細図(4)	1/300
Z-014	各種構造詳細図(5)	1/300
Z-015	各種構造詳細図(6)	1/300

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE		SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築・造成　図面リスト	S=NS	A－001

（仮称）山武市学校給食センター改築工事
工事設計図

令和　　年　　月（全　　枚）

特 記 仕 様 書

Ⅰ　工事概要

1. 工事名称　（仮称）山武市学校給食センター改築工事
2. 建築主　山武市
3. 工事場所　千葉県山武市富田トの1177番地6　　成東学校給食センター
4. 用途地域　指定なし
5. 防火地域　指定なし
6. その他の区域　高度地区なし
7. 道路　国道126号線、市道114号線
8. 敷地面積　3,003.14㎡（建築敷地面積：2,997.07㎡）
9. 主要用途　学校給食共同調理場（建築確認申請：工場）
10. 工事種別　改築
11. 建築面積　1,731.25㎡
12. 延べ面積　2,218.25㎡
13. 各階床面積　別紙　求積図・面積表参照
14. 工事種目　解体工事、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事、厨房機器
15. 工事期間　本契約日の翌日から令和7年7月31日まで
16. 工事範囲
※「建築工事」すべてを工事範囲とする。
・「建築工事」のうち＿＿＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲すべて、区分については工事区分表による
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	
22 舗装工事	
23 植栽及び屋上緑化工事	

Ⅱ　建築工事仕様

1. 標準仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）　」（以下「標準仕様書」という。）による。

2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

3. 特記仕様書の表記
(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ◎ 印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（　.　.　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（令和5 年2月24日閣議決定）に定める判断の基準を満たす物品を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	① 適用基準等	図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ⊙建築物解体工事共通仕様書（ 最新 版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・ 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 ⊙建築工事標準詳細図（ 最新 版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ・ ・
	② 工事実績情報サービスへの登録	(1.1.4) ※適用する
	③ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙風圧力 風速（Vo= 36 m/s） 地表面粗度区分（ ・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ） ・積雪荷重 建設省告示第1455号における区域　別表（ 24 ）
	④ 工事写真の撮影対象	(1.2.4) ※営繕工事写真撮影要領（最新版）による工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編（最新版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修による。
	⑤ 電気保安技術者	(1.3.3) ※適用する
	⑥ 施工条件	(1.3.5) 下記以外は現場説明書による。 ⊙工事車両の駐車場所　※図示　⊙敷地外にて請負者で用意する事 ⊙資機材置場　※図示　⊙敷地外にて請負者で用意する事 ⊙建設発生土仮置場　※図示　⊙敷地外にて請負者で用意する事 ・　※図示　・ （解体工事等は敷地内を利用する事）
	⑦ 発生材の処理等	(1.3.11) ※現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　・
	⑧ 環境への配慮	(1.4.1) （1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びステレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	⑨ 材料の品質等	(1.4.2) （1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 （4）本工事に使用する材料のうち、（５）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関[（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」]の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、アルミニウム製建具（木下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（木下地）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、
	⑩ 技能士	(1.5.2) 適用工事種類 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ ⊙とび作業 鉄筋工事 ／ ⊙鉄筋組立て作業 コンクリート工事 ／ ⊙型枠工事作業　⊙コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ／ ⊙構造物鉄工作業 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ／ ⊙コンクリートブロック工事作業　⊙エーエルシーパネル工事作業 防水工事 ／ ⊙アスファルト防水工事作業　⊙ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ／ ・石張り作業 タイル工事 ／ ⊙タイル張り作業 木工事 ／ ⊙大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ ⊙内外装板金作業　・スレート工事作業 金属工事 ／ ⊙鋼製下地工事作業　⊙内外装板金作業 左官工事 ／ ⊙左官作業 建具工事 ／ ⊙ビル用サッシ施工作業　⊙ガラス工事作業 ⊙自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 ／ ・金属製カーテンウォール工事作業　⊙ビル用サッシ施工作業 ⊙ガラス工事作業 塗装工事 ／ ⊙建築塗装作業 内装工事 ／ ⊙プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上げ作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　⊙壁装作業 排水工事 ／ ⊙建築配管作業 舗装工事 ／ ⊙溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカー工事作業 植栽工事 ／ ⊙造園工事作業
	⑪ 化学物質の濃度測定	(1.5.9) （1）屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。 （2）測定対象室及び測定箇所は仕上げ表による。 （3）測定は、パッシブ型採取機器により行う。 （4）測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。
	⑫ 完成時の提出図書	⊙完成図　⊙図面（A1及びA3サイズ）見開き製本　各2部　(1.7.1～3)(表1.7.1) ⊙CADデータ及びPDFデータを記録したCD-R　1部 （CADデータの形式は担当者と別途協議） ⊙保全に関する資料　2部 （保全に関する資料の電子データはCADデータが記録されているCD-Rに記録し提出） ⊙完成図書　（本工事中に作成した工事関係図書をまとめたもの　一式）
	⑬ 完成写真	工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 画素数・画質等 ⊙カラー ／ ※キャビネ版 ／ 外部（ 20 ）内部（ 20 ） ／ ※2 ・ ／ ※500万画素以上 外観正面　（※1 ・　） ／ ※5 ・ ・カラー四切木製パネル ／ 外部（　）内部（　） ／ ※2 ・ ・カラー半切木製パネル ／ 外部（　）内部（　） ／ ※2 ・ ⊙電子データ ／ 外部（　）内部（　） ／ ※2 ・ ／ ※500万画素以上 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。 ・建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 ・
	⑭ 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。
② 仮設工事	① 建物位置、設計ＧＬ ベンチマーク	※図示　・（　　）　(2.2.1～3)
	② 足場その他	(2.2.4) ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	③ 監督職員事務所	(2.3.1) ※設ける　・設けない 規模及び仕上げの程度は現場説明書による。
	④ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（ ※有償　・無償 ）
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（ ※有償　・無償 ）
③ 土工事	① 埋戻し及び盛土	(3.2.3) 埋戻し及び盛土の種別　(表3.2.1) ・Ａ種　適用場所（　　） ⊙Ｂ種　適用場所（　　） ・Ｃ種　適用場所（　　）土質（　）　受渡場所（　） ・Ｄ種　適用場所（　　）
	② 建設発生土の処理	(3.2.5) ⊙構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積　⊙構内指定場所に敷均し
	③ 山留めの撤去	(3.3.3) ⊙鋼矢板等の抜き跡の処理　※直ちに砂で充填する　・ ・山留め壁の存置　・行う（存置範囲　※図示　・　　）
④ 地業工事（構造関係特記仕様書による）	① 支持地盤	⊙杭基礎　(4.2.1)(4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6) 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） ⊙図示による（　構造図　）　・ ・直接基礎　(4.2.1) 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ・図示による（　　）　・ 試験掘り（根切り底の状態の確認等）　(4.2.1)(4.2.2) ・行わない ・行う 位置等　・図示による（　　）　・ ・杭の載荷試験　(4.2.3) 試験の位置、方法等 ・図示による（　　）　・ ・地盤の載荷試験　(4.2.4) 試験の位置、方法等 ・図示による（　　）　・
	② 施工管理技術者	※施工管理技術者を配置する。　(4.3.2)(4.4.2)(4.5.2)
	③ 既製コンクリート杭地業	種類　(4.3.3) ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレス鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490 ・ 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）　(4.2.2)(4.3.3) 種類 ／ コンクリート強度(N/mm²) ／ 杭径(mm) ／ 厚さ(mm) ／ 杭長(mm) ／ 継手数 ／ セット数 ／ 長期設計支持力(kN/本) ／ 備考 試験杭 上杭 ／ 試験杭 中杭 ／ 試験杭 下杭 本　杭 上杭 ／ 本　杭 中杭 ／ 本　杭 下杭 杭先端部形状　(4.3.3) ・開放形　・半開放形　・閉そく形　・ ・セメントミルク工法　(4.2.2)(4.3.1)(4.3.4) 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（　　）　・ 掘削深さ ・図示による（　　）　・ 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による（　　）　・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下　・ 杭の傾斜 ・1/100以内　・ ・特定埋込杭工法　(4.2.2)(4.3.1)(4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法 α=（　）、β=（　）、γ=（　） 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・ 杭周固定液 ・使用する　・使用しない 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（　　）　・ 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による（　　）　・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の内容による 杭の傾斜 ※評定等の内容による 杭継手工法　(4.3.3)(4.3.6)(7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ ・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による 杭頭の処理　(4.3.8) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断に伴う補強方法含む） ・図示による（　　）　・ 杭頭の中詰め材料　(4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築工事特記仕様書(1)	NS	A－002

④ 地業工事〈続き〉（構造関係特記仕様書による）

4 鋼杭地業

寸法，寸法，継手等　(4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

・特定埋込杭工法　(4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法
α=（　），β=（　），γ=（　）
工法
・中掘り拡大根固め工法
・
試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の内容による
杭の傾斜
※評定等の内容による

杭の継手の工法　(4.3.6)(4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)
・溶接継手
形状
・JIS A 5525による　・
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法
※評定等を受けた工法
検査
※評定等により定められた項目
施工
※評定等をされた施工管理基準による

杭頭の処理　(4.3.8)(4.4.6)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断をともなう補強方法含む）
・図示による（　　）　・

杭頭の中詰め材料　(4.3.8)
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

5 場所打ちコンクリート杭地業

工法　(4.5.1)(4.5.5)
・アースドリル工法（安定液　※使用する　・使用しない）
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水張り　・行う　・行わない）

併用する工法　(4.5.1)(4.5.6)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管の種類　・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・

寸法等　(4.2.2)

	鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭								
本　杭								

試験杭　(4.5.5)
試験杭の位置
・図示による（　　）　・

孔壁の保持状況（孔壁測定）　(4.5.5)
測定箇所
・試験杭（　）箇所及び本杭（　）箇所　・

杭の支持層への根入れ深さ
・図示による（　　）　・

杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・評定等の内容による　・
杭の傾斜
・1/100以内　・評定等の内容による　・

鉄筋の種類　(4.5.4)

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋　(4.5.4)
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）2.2）
・

鉄筋の最小かぶり厚さ　(4.5.4)
・100mm　・

⑤ 鉄筋工事（2を除き構造特記参照）

6 砂利地業

材料　(4.6.2)
・再生クラッシャラン　・切込砂利及び切込砕石
砂利厚さ　(4.6.3)
※60mm　・
適用箇所
・基礎梁下，土間コンクリート下，土に接するスラブ下
・図示による（　　）　・

7 捨コンクリート地業

捨コンクリートの厚さ　(4.6.4)
※50mm　・
施工範囲　(4.6.4)(6.14.1)
・基礎梁下，土に接するスラブ下
・図示による（　　）　・
設計基準強度　(4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm²　・
スランプ　(4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm　・

8 床下防湿層

材料　(4.6.2)
・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
施工範囲　(4.6.5)
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下

1 鉄筋

鉄筋の種類　(5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備　考
・ SD295	※ D16以下	
・ SD345	※ D19以上	
・		
・		

② 溶接金網

鉄線の形状等　(5.2.2)

種　類	種類の記号	網目の形状，寸法，鉄線の径(mm)	使用部位
⊙溶接金網	JIS G 3551	鉄筋線6mm、網目寸法100mm角	保護コンクリート
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等　(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)

部　位	継手の方法		呼び径(mm)
柱及び梁主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	・機械式継手 ・重ね継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	・
基礎，耐圧スラブ，土圧壁	・重ね継手	・ガス圧接	・
上記以外（　　）	・重ね継手	・	・

継手位置　(5.3.4)
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）1.1，2.1，3.1，3.4，3.5，4.2）
基礎梁主筋の継手位置
・図1.2　・図1.3　・図1.4
・図示による（　　）

柱及び梁主筋の重ね継手の長さ　(5.3.4)
・図示による（　　）

耐力壁の重ね継手の長さ　(5.3.4)
・標準仕様書表5.3.2による
・標準仕様書 5.3.4(3)(ｱ)による
・図示による（　　）

鉄筋の定着長さ　(5.3.4)
※標準仕様書表5.3.4による
・

機械式定着工法　(5.3.4)
・適用する
・適用箇所及び種類
・図示による（　　）
・適用しない

鉄筋かごの補強　(4.5.4)
・図示による（　　）
・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)，1.5mを超える場合は鋼板9×50～75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で，かつ1節につき3箇所以上入れ，リングと主筋の接触部を溶接する

組み立てた鉄筋の節ごとの継手　(4.5.4)(5.3.4)
※重ね継手　重ね継手の長さ　・図示による（　　）
・

主筋の基礎底盤への定着長さ　(4.5.4)(5.3.4)
・図示による（　　）　・

セメントの種類　(4.5.4)
※高炉セメントB種　・

コンクリートの設計基準強度　(4.5.4)
・図示による（　　）　・

コンクリートの種別　(4.5.4)(表4.5.1)
・A種　・B種
・評定等の内容による

スランプ　(4.5.4)
※18cm　・

構造体強度補正値（S）　(4.5.4)
・3N/mm²
・図示による（　　）
・評定等の内容による

⑥ コンクリート工事（5～8を除き構造特記参照）

1 コンクリートの種別等

コンクリートの種別　(6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

※普通コンクリート　(6.2.1～4)

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	適用箇所
・24	・15又は18　・18	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	

構造体強度補正値
※標準仕様書表6.3.2による
・

2 セメント

種類　(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント，高炉セメントA種，シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
普通ポルトランドセメントの品質は，JIS R 5210に示された規定の他，水和熱が7日目で352J/gは以下，かつ28日目で402J/g以下のものとする
・高炉セメントB種
適用箇所（・1FLより下部（立上り部含む）　・　）
・フライアッシュセメントB種
適用箇所（　　）
・

3 骨材

アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.1)
※A　・B（コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m³ 以下）

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　(5.3.5)
・標準仕様書 表5.3.6による
・
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・あり　使用箇所（　　）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する

耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　）mm

5 各部配筋

各部配筋　(5.3.7)
※図示による

6 圧接完了後の試験

外観試験　(5.4.10)(5.4.11)
※行う（全ての圧接部）

抜取試験　(5.4.10)
※超音波探傷試験
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。
試験の箇所数：１ロットに対して30か所とし，ロットから無作為に抜き取る。

・引張試験
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお，200か所を超えるときは200か所ごととする。
試験の箇所数：１ロットに対して（・３本　・５本）とする。
不合格となった継手部への措置　(5.4.11)
・図示による（　　）

7 機械式継手

適用箇所　(5.5.2)
・図示による（　　）　・

H12建告第1463号に適合する性能　(5.5.2)
・A級　・

機械式継手の種類　(5.5.2)
・図示による（　　）　・

鉄筋相互のあき　(5.3.5)(5.5.2)
・図示による（　　）　・

施工完了後の継手部の試験　(5.5.5)
・図示による（　　）

不合格となった継手部への措置　(5.5.5)
・図示による（　　）

8 溶接継手

適用箇所　(5.6.3)
・図示による（　　）　・

H12建告第1463号に適合する性能　(5.6.3)
・A級　・

溶接継手の工法
・図示による（　　）　・

鉄筋相互のあき　(5.6.3)
・図示による（　　）　・

溶接完了後の継手部の試験　(5.6.5)
・図示による（　　）

不合格となった継手部への措置　(5.6.5)
・図示による（　　）

4 混和材料

・混和剤　(6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・

・混和材　(6.3.1)
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・

⑤ 打継ぎの位置，ひび割れ誘発目地，打継目地

打継ぎの位置　(6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による（　　）　・
柱及び壁
※スラブ，壁梁又は基礎の上端
・図示による（　　）　・

目地の寸法　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
※ひび割れ誘発目地，打継目地の深さ寸法は，躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（　　）　・

ひび割れ誘発目地の位置，形状　(6.8.1)
⊙図示による（　　）

⑥ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　(6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)

種　別	適　用　箇　所
⊙A種	※図示による（　　）
・B種	※図示による（　　）
・C種	※図示による（　　）

コンクリートの仕上げの平たんさ　(6.2.5)(6.8.2)(表6.2.5)

種　別	適　用　箇　所
⊙a種	※図示による（　　）
・b種	※図示による（　　）
・c種	※図示による（　　）

⑦ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ
⊙打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）　(6.8.1)
⊙20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm　・20mm　・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm　・

打増し範囲
・図示による（　　）　・

⑧ 型枠

せき板の材料及び厚さ　(6.8.2)
⊙合板（※12mm　・　）　・
⊙断熱材の兼用した型枠
使用箇所
・図示による（　　）　⊙1階床スラブ

・MCR工法用シート
適用箇所　(6.8.2)
・図示による（　　）　・
打増し厚さ
・20mm　・
打増し範囲
・図示による（　　）　・

スリーブの材種・規格等　(6.8.2)
・図示による（　　）　・

9 軽量コンクリート

種類　(6.10.1)(表6.10.1)
・1種　・2種
適用箇所
・図示による（　　）　・
スランプ
※21cm　・

10 寒中コンクリート

適用期間　(6.11.1)
・図示による（　　）　・
・積算温度を基に定める場合　(6.11.2)
・図示による（　　）　・

11 暑中コンクリート

構造体強度補正値(S)　(6.12.2)
※6N/mm²　・

12 マスコンクリート

適用箇所　(6.13.1)
・図示による（　　）　・

セメントの種類　(6.13.2)
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
混和材料
・混和剤　(6.13.2)
混和剤の種類
※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤
・

スランプ　(6.13.2)
※15cm　・

構造体強度補正値（s）　(6.13.2)
※表6.13.1による　・

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築工事特記仕様書(2)	NS	A－003

⑥ コンクリート工事〈続き〉

13 無筋コンクリート

コンクリートの種類　(6.2.1)(6.14.1)
※普通コンクリート

セメントの種類
※普通ポルトランドセメント，高炉セメントA種，シリカセメントA種又は　(6.3.1)
フライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種

設計基準強度　(6.14.1)
※18(N/mm²)　・

スランプ　(6.14.1)
※15cm又は18cm　・

適用箇所　(6.14.1)
・標準仕様書 6.14.1(4)(ｱ)～(ｶ)による
・図示による（　　）　・

14 流動化コンクリート

適用箇所　(6.15.1)
・図示による（　　）

15 コンクリートの単位水量測定

・行う　・行わない　(6.15.3)
実施要領
(1)単位水量の測定は，150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は，標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして，施工する。
1)測定した単位水量が，計画調合書の設計値(以下，「設計値」という。)±15kg/m³ の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が，設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し，その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³ を超える場合は，生コンを打込まずに持ち帰らせ，水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に，設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで，運搬車の3台毎に1回，単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書，製造管理記録，打込み時の外気温，コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は，高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)，エアメータ法又は静電容量測定法による。また，試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

⑦ 鉄骨工事（17～18を除き構造特記参照）

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力　(7.1.3)
・

2 施工管理技術者

・適用する　(7.1.3)(7.1.4)
・適用しない

3 鋼材

材質等　(7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・
		・JIS規格による　・

4 高力ボルト

高力ボルトの種類　(7.2.2)
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等　(7.3.2)
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）　1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

摩擦面の処理方法等　(7.4.2)
溶融亜鉛めっき面以外
※標準仕様書7.4.2(1)による
・

溶融亜鉛めっき面　(7.12.5)
・ブラスト処理
・りん酸塩処理

・すべり試験　(7.4.2)
試験の方法等
・図示による（　　）　・

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料　(7.2.3)
※標準仕様書表7.2.3による　・
座金　(7.2.3)
・標準仕様書7.2.3(4)による　・
ボルトの形状等（ねじの呼び）　(7.2.3)
・図示による（　　）　・
ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等　(7.3.2)
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）　1－1縁端距離，ボルト間隔）
・

6 アンカーボルト

適用　(7.2.4)(7.10.3)
・構造用アンカーボルト
種類　・　・
形状，寸法
・図示による（　　）　・
・建方用アンカーボルト
種類　・　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書表7.2.3による　・
形状，寸法
・図示による（　　）　・

ボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等　(7.3.2)
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）　1－1縁端距離，ボルト間隔）
・

7 溶接材料

溶接材料　(7.2.5)
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・図示による（　　）
・

8 ターンバックル

種類　(7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト　・
建築用ターンバックル胴
※割枠式　・
ねじの呼び　(7.2.6)
・図示による（　　）　・

9 デッキプレート

材質，形状及び寸法　(7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備　考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			

鉄骨部材への溶接方法　(7.7.8)
・図示による（　　）　・

10 スタッド

種類等　(7.2.8)

呼び名	呼び長さ (mm)	適　用　箇　所
・16		
・19		
・22		

11 柱底均しモルタル

モルタルの種類　(7.2.9)
・無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料，調合等
材料，調合等
※標準仕様書7.2.9(2)(ｱ)から(ｲ)による　・
・標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル

12 製作精度

鉄骨の製作精度は，JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］に加えて，次による　(7.3.3)
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※平12建告第1464号第二号イ(2)による
・
アンダーカットの寸法
※平12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

13 鉄骨の仮組

仮組を行う範囲　(7.3.10)
・図示による（　　）　・

14 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領　(7.6.3)
・図示による（　　）　・

15 溶接接合

開先の形状　(7.6.4)
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1－2）
・
エンドタブを切断する箇所及び切断範囲　(7.6.7)
適用箇所
・図示による（　　）　・
エンドタブを切断する場合の仕上げは標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)による
スカラップの形状
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1－4）
・

16 溶接部の試験

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等　(7.6.12)
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②

JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし，完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は，超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は，すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い，再試験する。

完全溶込み部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
AOQL(%)　※4.0　・2.5

節	・全て			
検査水準	※第6水準			

・工事現場溶接の場合
※全数

⑰ 錆止め塗装

塗料の範囲　(7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による（　　）　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
・図示による（　　）　・標準仕様書7.8.2(1)による

塗料の種別　(7.8.4)(18.3.2)
・鉄鋼面の錆止め塗料の種別　(表18.3.1)
屋外
⊙A種　・B種　・C種　・D種
屋内
⊙A種　・B種　・C種　・D種
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別　(表18.3.2)
⊙A種　・B種　・C種

・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別　(表18.3.1)
・A種　・B種

・耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

⑱ 耐火被覆

種類，材料，工法等　(7.9.2～8)

種　類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
⊙耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	⊙半乾式吹付けロックウール	**1時間耐火**	**外壁・屋根周り及び区画取り合い部の鉄骨柱・梁・間柱**
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張り モルタル塗り	―		
⊙耐火塗料	⊙発泡性耐火被覆材	**1時間耐火**	**鉄骨柱露出部分**

19 アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法　(7.10.3)
・図示による（　　）　・

構造用アンカーフレームの形状及び寸法　(7.10.3)
・図示による（　　）　・

建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.10.3)(表7.10.1)
種別　・A種　・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別　(7.10.3)(表7.10.2)
厚さ　・
種別　※A種　・

20 軽量形鋼構造

ボルト接合方法　(7.11.2)
・

⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造　(8.2.2～5)

ブロックの種類

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・				・無　・有		
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比）　(8.2.3)
目地巾が10mm程度　※表8.2.1による　・
上記以外　・

各部の配筋　※図示　・　(8.2.5)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀　(8.3.2)～(8.3.4)

ブロックの種類

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・				・無　・有		
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比）　(8.2.3)
目地巾が10mm程度　※表8.2.1による　・
上記以外　・

各部の配筋　※図示　・　(8.2.5)

③ ALCパネル

(8.4.2～5)(表8.4.2～4)

パネルの区分	単位荷重 (N/m²)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別
⊙**外壁用パネル**		⊙100 ・	⊙600	⊙図示	**有（1）時間**	⊙平 ・意匠	・A種　⊙B種
・間仕切壁用パネル		・100 ・			**・有（1）時間 ・無**	・平 ・意匠	・C種　・D種 ・E種
・**屋根用パネル**		・100 ・			**有（0.5）時間**	平	F種
・床用パネル		・100 ・			**有（ ）時間**		

外壁パネルの構法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（⊙1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
建築基準法に基づき定まる地震力に対応した工法
※適用する
・適用しない
耐火構造
※建築基準法に基づき国土交通大臣が定めた構造方法
・国土交通大臣の認定を受けた構造方法
パネル幅の最小限度(mm)
※300　・300未満は図示（　　）
パネルの短辺小口相互の接合部，出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地の目地幅
目地幅(mm)　⊙10～20mm　・図示
伸縮目地への耐火目地材の充填　⊙適用する　・適用しない

4 押出成形セメント板（ECP）

(8.5.2～5)(表8.5.1)(表8.5.2)

パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F（フラットパネル）	・50・60・	600	・A種 ・B種	
	・D（デザインパネル）	・50・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			
・間仕切壁パネル	・F（フラットパネル）	・50・60・	600	・B種 ・C種	
	・D（デザインパネル）	・50・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
建築基準法に基づき定まる地震力に対応した工法
※適用する
・適用しない
耐火構造
※国土交通大臣の認定を受けた構造方法

パネル幅の最小限度(mm)
※300　・300未満は図示（　　）
パネルの相互の目地幅(mm)
長辺の目地幅　・8以上　・図示
短辺の目地幅　・15以上　・図示
出隅及び入隅のパネル接合目地
※伸縮調整目地（シーリング材を充填）目地幅(mm)（・15　・図示）
原則として，欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度
・図示（　　）
耐火構造以外の目地及びすき間の処理
※パネルの製造所の仕様による　・

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築工事特記仕様書(3)	NS	A－004

⑨ 防水工事

① アスファルト防水

(9.2.2～5)　(表9.2.3～9)

屋根保護防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・A-1			※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上 ・ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ　70g/㎡程度	・乾式保護材
・A-2				
・A-3				
・B-1				・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・B-2				
⊙A1-1	1階屋根	（厚さ） ・25mm ・50mm ・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ　70g/㎡程度 ・	・保護なし
・A1-2				
・A1-3				
・B1-1				
・B1-2				

（屋根保護断熱防水の場合）

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による　・
平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　※水下　80mm 以上　・
　床タイル張り　※水下　60mm 以上　・
立上り部の保護
　・乾式保護材
　　窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として，板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
　　金属複合板　：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
　・保護れんが
　　※TIS R 1250（普通れんがおよび化粧れんが）
　　・
屋上排水溝　※図示　・

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・D-1			・	・	・
・D-2			・製造所の指定による	・製造所の仕様による	・
・D1-1	大屋根	（厚さ）・25mm ・50mm			・
・D1-2					・

（屋根露出断熱防水の場合）

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の，ルーフドレン回りおよび立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
　※図示　・
断熱材の種類　・

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1	浴室	・E-2	

保護層　・設ける（ ※図示　・　）　・設けない
防水層の下地，立上りコンクリート打放し仕上げ
　※標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種　・
押え金物の材質及び形状寸法
　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
防水層の下地のモルタル塗り
　・適用する　（施工範囲　・図示　・　）
　・適用しない

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2,3)（表9.3.1～3)

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・AS－T1				・	・	・
・AS－T2				・製造所の指定による	・製造所の仕様による	・
・AS－T3						・
・AS－T4						・
・AS－J1						・
・ASI－T1		（厚さ） ・25mm ・	・設ける（改質アスファルト製造所の仕様による） ・設けない			・
・ASI－J1						・

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
断熱材の種類　・
押え金物
　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
　・改質アルファルトシートの製造所の指定の種類及び設置数量
　・種類（　　）　設置数量（　　個）

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別

(9.4.2～4)(表9.4.1～3)

種別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・S-F1				・製造所の指定による	・製造所の仕様による	・
・S-F2						・
・S-M1				・製造所の指定による	・製造所の仕様による	・
・S-M2						・
・SI-F1			（厚さ） ・25mm ・	・製造所の指定による	・製造所の仕様による	・
・SI-F2						・
・SI-M1			（厚さ） ・25mm ・	・製造所の指定による	・製造所の仕様による	・
・SI-M2		※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・				・

屋内防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護 モルタル塗り厚さ
・S-C1	・	・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ
　※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による　・
立上り面のシートの厚さ（S-M2及びSI-M2で接着工法の場合）
　※1.5mm　・
固定金具の材質及び形状
　材質　※防錆処理した鋼板，ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
　　・
　厚さ(mm)　※0.4以上
　　・
断熱材の種類　・
断熱工法の場合の防湿用フィルム
　・設置する　・設置しない
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
　・ルーフィングシートの製造所の仕様による
　・種類（　　）　設置数量（　　個）
防水下地・ＰＣコンクリート部材下地の場合の処理
　目地処理　※図示　・
　入隅部の増張り（S-F1,SI-F1の場合）
　　※図示　・
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
　建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
　　※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
　・適用しない

④ 塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水の適用
・X-1		・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の仕様による		
⊙X-2	ハト小屋設備基礎	・ ⊙製造所の指定による	・ ⊙製造所の仕様による		・
・Y-1	※地下外壁防水 ・				
・Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
　・主材料の製造所の仕様による
　・種類（　　）　設置数量（　　個）

ゴムアスファルト系塗膜防水 Y-1,Y-2
　工程数及び各工程の使用量
　　・主材料の製造所の仕様による
　　・

5 ケイ酸質系塗布膜防水

(9.6.1,3)(表9.6.1,2)

防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※C-SUI		・C-SUP	

防水層の下地（壁及び天井）　・コンクリート打放（B種）　・
下地処理（コンクリートの打継処理）　・標準仕様書9.6.4(2)(7)　・

⑥ シーリング

(9.7.2)(表9.7.1)

下表以外は，標準仕様書表9.7.1による
ただし，外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に，カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC目地	PO-2

シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(1)による　・
接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験

10 石工事

1 施工

(10.1.3)(10.1.5)

石材の割付け　※標準仕様書10.1.3(1)(ｱ),(ｲ)による　・図示
粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・図示　・
屋内の床を本磨きとする場合の乾いた布での清掃
　・行う（適用箇所　・全て　・　）
　・行わない

2 石材等

(10.2.1～3)(表10.2.1)(表10.2.2)

天然石

施工箇所	石材の種類	形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
エントランス巾木	花崗岩	・矩形 ・	160	25	本磨き	
エントランス見切り	花崗岩	※幅、高さ1200mm以下	W60	25	水磨き	※質量70kg以下

ジェットバーナー仕上げの場合のバフ仕上　・行う　・行わない

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面		・粗磨き ・水磨き ・本磨き	

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300型 ・400型	・粗磨き ・水磨き ・本磨き	

取り付用モルタル，既調合の目地モルタル，石裏面処理材，裏打ち処理材，金物の固定に使用する充填材
　※石材施工業者の指定する製品　・

3 外壁湿式工法

(10.2.2)(10.2.3)(10.3.2)(10.3.3)

受金物　材質　※SUS304　・
　　形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=100mm
　　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=150mm
　　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　・流し筋工法
　　・あと施工アンカー工法
　　※あと施工アンカー・横筋流し工法
ドレンパイプの材質　・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25～35φ
　　・石材施工業者の指定する製品
アンカーの材質　※SS400　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（材質：　寸法：　）
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
　　シーリング材　・適用する　・適用しない
　伸縮調整目地　位置　※標準仕様書表11.1.1による　・図示
　　シーリング材の目地寸法　※幅・深さとも10mm以上
　　・図示

4 内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)

受金物　材質　※SUS304　・
　　形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=100mm
　　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=150mm
　　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法　・あと施工アンカー工法
アンカーの材質　※SS400　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（材質：　寸法：　）
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
　　シーリング材　・適用する　・適用しない
　伸縮調整目地　位置　※6mごと　・図示
　　シーリング材の目地寸法　※幅・深さとも10mm以上
　　・図示

5 外壁乾式工法

(10.2.2)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)

取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
だぼ用の穴の位置　※標準仕様書10.5.2(2)(7)による　・図示
外壁の工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
　　※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法）
　・適用しない
アンカーの材質　※ステンレス(SUS 304)　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（材質：　寸法：　）
目地　目地幅(mm)　※8以上　・
　　シーリング材　・適用する（ ※標準仕様書9.7による　・図示 ）
　　・適用しない

6 床及び階段の石張り

(10.6.2)(10.6.3)

床石張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
階段張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示　・
　　シーリング材　・適用する　・適用しない
　伸縮調整目地　位置　※床面積30㎡程度ごと，細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
　　・図示

7 特殊部位の石張り

(10.2.2)(10.7.1)(10.7.2)

・笠木，甲板等の石張り
取付け工法　・湿式工法　・乾式工法
湿式工法の取付け金物　・標準仕様書10.2.2(1)による　・図示
湿式工法の取付け方式　※あと施工アンカー・横筋流し工法
乾式工法の取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※標準仕様書10.5.3(2)による　・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
アンカーの材質及び径　・ステンレス(SUS 304) M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（材質：　寸法：　）

・隔て板
材料、取付け工法　※標準仕様書10.7.3による　・

(10.2.2)(10.7.1)(10.7.3)

⑪ タイル工事

① 共通事項

(11.1.3)(表11.1.1)

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
　位置　※標準仕様書表11.1.1による　・図示

(11.1.7)(表11.1.2)

・施工後の確認及び試験
　引張接着試験　・行う　⊙行わない

② セメントモルタルによるタイル張り

(11.2.2～7)

タイルの形状，寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	施ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
エントランス床	300角	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　⊙行わない
見本焼き　・行う　⊙行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
　　⊙MCR工法
　　・目荒し工法（高圧洗浄）
　　・
壁タイル張りの工法　(11.2.6 (3))（表11..2.3)
　内装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り
　　・改良圧着張り　・ユニットタイル
　外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
　内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
・既調合モルタルの使用
　モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして，セメント，細骨材，混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

3 有機系接着剤によるタイル張り

(11.3.2～6)

タイルの形状，寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	施ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
浴室壁	100角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・
目地のシーリング材
　打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
　ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
　伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
　その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
　　・MCR工法
　　・目荒し工法（高圧洗浄）
　　・

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築工事特記仕様書(4)	NS	A－005

⑫ 木工事

① 製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

・「JAS 1083-5」による下地用製材　(表12.2.1)(表12.2.2)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理
			※2級 ・		※A種　・B種　・	
			※2級 ・		※A種　・B種　・	

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

⊙「JAS1083-2」による造作用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理
カウンター 他家具	⊙スギ	⊙図示	※上小節 ・	⊙図示	※A種 ・B種 ・	
ルーバー	⊙スギ	⊙図示	※小節以上 ・	⊙図示	※A種 ・B種 ・	
					※A種 ・B種 ・	

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「JAS1083-6」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理
			※1等 ・		※10%以下 ・A種　・B種　・	
			※1等 ・		※10%以下 ・A種　・B種　・	

・「JAS1083」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率
			（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
			（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

② 造作用集成材

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

・「集成材の日本農林規格」第３条による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
				※1等　・2等
				※1等　・2等

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「集成材の日本農林規格」第４条による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
						※1等　・2等
						※1等　・2等

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

⊙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
家具	図示	図示		※15以下 ・
				※15以下 ・

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15以下 ・
						※15以下 ・

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15以下 ・
						※15以下 ・

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

3 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・　(12.2.1)

・「JAS0701」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用
		・有り （加工：　・天然木化粧加工　・塗装加工） ・無し　（等級：・1等　・2等　・3等）	・適用する ・適用しない

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「JAS0701」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理の適用
		・有り **（加工：・天然木化粧加工　・塗装加工）**	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
		・無し （　　）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・直交集成板（ＣＬＴ）JAS3079

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

④ 合板等

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

⊙「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質		防虫処理の適用
家具	※5.5 ⊙図示	図示	※1類 ・2類	広葉樹　・1等　※2等以上 針葉樹　※C-D以上　・		・適用する ・適用しない
	・			・		

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	**防虫処理の適用**	強度等級
	※12 ・	・1級 ※2級以上		※1類 ・特類	・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する （　） ・適用しない
	※12 ・	・1級 ※2級以上		※1類 ・特類	・適用する	・適用する	・適用する （　） ・適用しない

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類　・特類	・適用する ・適用しない

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類　・2類	・適用する ・適用しない

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類　・2類			・適用する ・適用しない

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

・「JAS A 5908」によるパーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	・MR1 (M) ・MR2 (P)		※15 ・

・「JAS0360]による構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ(mm)
	・1級　・2級　・3級　・4級	
	・1級　・2級　・3級　・4級	

・「JAS A 5905」によるＭＤＦ

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

間伐材等の適用　・する　・しない（施工箇所：　　）

⑤ 接着剤

(12.2.2)(12.2.3)

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

6 防腐・防蟻・防虫処理

(12.3.1、2)

・防腐・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材

適用部位：（　　）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※薬剤の製造所の仕様による　・
	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理

適用部位：（　　）

7 **間仕切軸組に用いる木材**

・杉又は松　・　(12.4.1)(表12.4.1)

⑧ 床組に用いる木材

（土間スラブの土台，転ばし大引き及び転ばし根太は除く）　(12.4.1)(表12.4.1)

⊙杉又は松　・

9 窓，出入口，その他に用いる木材

吊元枠，水掛りの下枠及び敷居：・ひのき　・　(12.5.1)(表12.5.1)

上記以外　：・松又は杉　・

⑩ 絶甲板及び上がまちに用いる木材

⊙ひのき　・　(12.6.1)(表12.6.1)

11 **畳及び天井に用いる木材**

・杉又は松　・　(12.7.1)(表12.7.1)

⑬ 屋根及びといい工事

① 長尺金属板葺

(13.2.2)(13.2.3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性，めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
庇	※JIS G 3322 の屋根用ｺｲﾙ ・			・心木なし瓦棒葺 ・平葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 ⊙立馳葺	

下葺材料　⊙アスファルトルーフィング940

・改質アスファルトルーフィング下葺材

（　・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ ）

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ⊙1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

雪止め　・設置する　図示（　　）

② 折板葺

(13.2.2)(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高，山ﾋﾟｯﾁによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板
		山高	山ﾋﾟｯﾁ				
2階屋根	・重ね形， ⊙はぜ締め形 ・かん合形	210	500	（ ）種	※鋼板製 **・アルミニウム**合金板製	0.8	⊙有り ・無し

材料　板及びコイルの種類（　カラーガルバリウム鋼板　）

塗膜の耐久性，めっき付着量等の種類及び記号（　JIS G 3322　）

タイトフレームに使用する材料は JIS G 3302 とする。

断熱材　⊙有り（種別：グラスウール　厚さ(mm)：100　防火性能：0.5時間）

・無し

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ⊙1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・

3 粘土瓦葺

(13.4.2.3)

施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分				
							・適用する ・適用しない
							・適用する ・適用しない

凍害試験　・行う　・行わない

瓦桟木　材質　※杉　・

寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・

棟補強用心材　材質　※杉　・

寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

瓦桟木の留付け工法　※図示　・

棟の工法　・7寸丸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟　・

面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部の仕上　・モルタル　・瓦葺き用しっくい

④ といい

(13.5.2.3)

といの材種　・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　・

といい受金物

といい受金物の材種，形状，取付け間隔　※表13.5.2による　・

足金物の材種，形状，取付け間隔　※表13.5.2による　・

多雪地域の場合の軒どいの取付間隔　※0.5m以下　・

ロックウール保温筒のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

鋼管製といの防露巻き

・適用する（工法：※標準仕様書 表13.5.4による　・　）

・適用しない

⑭ 金属工事

1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

※表面処理は標準仕様書表14.2.1 による　(14.2.1)(表14.2.1)

種　別	施工箇所（成型板，笠木，建具以外）
・AB-1種	
・AB-2種	
・AC-1種	
・AC-2種	
・BA-1種	
・BA-2種	
・BB-1種	
・BB-2種	
・BC-1種	
・BC-2種	
・C種	

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

色合い等　・標準色

・アンバー　・ブロンズ

・ブラック系　・ステンカラー　・

・特注色（　　）

② 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり，タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	⊙A種	設備基礎H鋼
	⊙B種	キャットウォーク等
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

③ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類

屋外　※25型　・19型

屋内　※19型　・25型

⊙屋外の軒天井，ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ⊙1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法）

・適用しない

野縁受，吊りボルト，インサートの間隔及び周辺部からの距離

※標準仕様書14.4.3 (1) による　・図示

周辺部の端からの間隔　・図示　※150mm以内

野縁の間隔　・図示　※標準仕様書　表14.4.2による

⊙吊りボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法　※図示　・

⊙天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合

補強方法　※標準仕様書14.4.4(8)(ｱ)，(ｲ)による　・図示

⊙天井のふところが3.0mを超える場合

補強方法　※図示　・

・天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所　※図示　・

補強方法　※図示　・

⊙屋外の軒，ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強

補強箇所　※図示　・

補強方法　※図示　・

④ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3、4)(表14.5.1)

スタッド，ランナーの種類

※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

・図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合

※図示　・

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

※標準仕様書14.5.4(5)(ｱ)～(ｳ)、14.5.4(6)(ｱ)～(ｳ)による　・図示

⑤ 金属成形板張り

(14.6.3)(表14.2.1)

種別　※図示　・

表面処理　※図示　・

取付け用下地　⊙図示　・標準仕様書14.4 による

伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　）

⊙設けない

⑥ アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類　⊙250形　・300形　・350形

表面処理　種別（AB-2）種

色合等　⊙標準色（ ・アンバー　・ブロンズ　⊙ブラック系　・ステンカラー ）

・特注色

笠木の固定金具の工法等

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築工事特記仕様書(5)	NS	A－006

⑮ 左官工事

1 ラス系下地 (15.2.4)

下地の種類
・通気工法　（ ・二層下地　　・単層下地 ）
・直張り工法（ ・ラスモルタル下地　　・ラスシートモルタル下地 ）
・図示（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合）
ラス下地板，下地用合板，面材等の仕様
※「公共建築木造工事標準仕様書」の10章8節[外壁回り]による
・図示（建築基準法に基づく耐力壁，防火構造，準耐火構造等の指定がある場合）
材料　ラス材及ぶ補強用平ラス
二層下地通気工法　・波形ラス700　・こぶラス（K800）　・力骨付きラス（BK700）
単層下地通気工法　※リブラスC（RC800）に裏打ち材と一体化したラス　・
ラスシートの山高，山ピッチ，質量及び溶接ピッチによる区分
※LS4（耐力壁の場合）　・
ステープルの形状及び寸法
リブラス　※L925TS以上　・
波形ラス　※L1019JS以上　・

2 せっこうボード，その他のボード下地 (15.2.5)

材料　せっこうボード，せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ
せっこうボード　種類（　　）　厚さ（　　）
せっこうラスボード　種類（　　）　厚さ（　　）
木質系セメント板　種類（　　）　厚さ（　　）※15mm以上

3 こまい下地 (15.2.6)

建築基準法に基づく耐力壁の指定　・なし　・あり

4 木ずり下地 (15.2.7)

材料　木ずり用小幅板の材種　※杉（心去り材）　・

⑤ モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)

モルタル　・現場調合材料　⊙既調合材料（　　）
既製目地材　⊙設ける　施工箇所（ 3m以内 ）　形状（※図示　・　　）
・設けない
床の目地　⊙設ける
（目地割　※2m²程度（最大目地間隔3m程度）　・　　）
（種類　※押し目地　・　　）
・設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　⊙適用しない

⑥ セルフレベリング材塗り (15.5.2)(表15.5.1)

・せっこう系　⊙セメント系

⑦ 仕上塗材仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・
仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り）
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si	・	
	・内装薄塗材E	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装薄塗材W	・	耐湿性　・適用する　・適用しない
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	
	・内装厚塗材C	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材L	・	上塗材　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	⊙ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材CE	・	・小粒状
	・複層塗材Si	・	上塗材
	・複層塗材E	・	耐候性　※耐侯形３種　・
	・複層塗材RE	・	溶　媒　※水系　・溶剤系
	・防水形複層塗材CE	・	樹　脂　※アクリル系　・
	⊙防水形複層塗材E	⊙	外　観　※つやあり　・つやなし　・ﾒﾀﾘｯｸ
	・防水形複層塗材RE	・	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・	
	・こて塗用軽量塗材	・	

⑧ ＡＬＣパネルの場合の下地処理 (15.6.4)

パネル面の欠け穴処理　※製造所の指定材料で処理　・

9 マスチック塗材塗り (15.7.2)

種別　・A種　・B種

10せっこうプラスター塗り (15.8.2)

材料　下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター
・既調合プラスター　・現場調合プラスター
上塗り　・既調合プラスター（上塗り用）　・しっくい塗り (15.8.3)

11しっくい塗り (15.10.1)

下地　※木ずり，こまい土壁塗り，せっこうラスボード又はせっこうボード
・
材料　・現場調合材料　・既調合材料（しっくいの塗材の種類等；　　） (15.10.2)
調合及び塗厚 (15.10.3)
木づり下地　※標準仕様書表15.10.3による　・
こまい土壁下地　※標準仕様書表15.10.4による　・

12こまい壁塗り (15.11.7)

工法　・土物仕上げ（・水こね土物1工法　・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法　・のりごね土物工法）
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
・大津仕上げ（・普通大津仕上げ工法　・大津みがき工法） (15.11.8)
材料　土壁用ののりの種類　※つのまた　・ (15.11.2)
砂壁用ののりの種類　※ふのり　・
色土の種類　・土物仕上げ（　　）　・大津仕上げ（　　）
調合　下塗りの調合　※標準仕様書表15.11.2による　・ (15.11.3)
塗厚　※標準仕様書表15.11.8による　・ (15.11.4)
・図示（建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合）
工程　こまい壁　※A種　・B種 (15.11.5)(表15.11.9)

⑬ ロックウール吹付け (15.12.2～4)

ロックウールのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・
吹付け厚さ（mm）　・図示　⊙25　・

⑯ 建具工事

① 防火戸 (16.1.3)

※建具表による　・

② 見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）
⊙行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして，あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）
・行わない

③ 防犯建物部品 (16.1.6)

⊙適用する（ ※適用箇所は建具表による　・　　）
・適用しない

④ アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による）
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
（ ※建具表による　・図示）
外部に面する建具の種別　・A種　⊙B種　・C種　・ (表16.2.1)(表16.2.2)
・防音ドア，防音サッシとする場合　遮音性の等級（ ・　　）
⊙断熱ドア，断熱サッシ　とする場合　断熱性の等級（ ⊙H-3　）

表面処理
外部に面する建具
種別　・BB-1種　⊙BB-2種 (表14.2.1)
着色　⊙標準色　・特注色
屋内の建具
種別　・BC-1種　⊙BC-2種 (表14.2.1)
着色　⊙標準色　・特注色
結露水の処理方法　※図示　・ (16.2.4)
水切り板，ぜん板　※図示　・ (16.2.5)

⑤ 網戸等 (16.2.3)

種　類	材　種	線　径	網　目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS 316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS 304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具 (16.2.5)(16.3.2～5)(表16.3.1)(表16.3.2)

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による）
・建具の種別　・A種　・B種　・C種　・木下地（ ・D種　・E種 ）
・防音ドア，防音サッシとする場合 (16.3.2)
遮音性の等級　・T-1　・T-2
・断熱ドア，断熱サッシ　とする場合 (16.3.2)(表6.3.3)
断熱性の等級　・H-4種　・H-5種　・H-6種　・H-7種　・H-8種
・外部に面する場合の日射取得性の等級　・図示　・
表面色　・標準色　・特注色
水切り板，ぜん板　※図示　・
ガラス　※複層ガラス　・

⑦ 鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2～5)(表16.4.2)

性能値等（建具符号は建具表による）
簡易気密型ドアセット　⊙適用する（建具符号は建具表による）　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4　⊙S-5　・S-6
・防音ドア，防音サッシとする場合　遮音性の等級（・T-　　）
⊙断熱ドア，断熱サッシ　とする場合　断熱性の等級（⊙H-3　）
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（・D-1　・D-2　・D-3）
大型建具
※適用しない（表16.4.5による）
・適用する（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による）

⑧ 鋼製軽量建具 (16.5.2～5)(表6.2.1)(表6.4.1)

性能値等（建具符号は建具表による）
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号は建具表による）　⊙適用しない
・防音ドア，防音サッシとする場合　遮音性の等級（ ・T-　　）
・断熱ドア，断熱サッシ　とする場合　断熱性の等級（ ・H-　　）
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（・D-1　・D-2　・D-3）
材料　鋼板　⊙亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ（mm）　※標準仕様書表16.5.1による
・図示
召合せ，縦小口包み板の材質　・建具表による　・

9 ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による）
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号は建具表による）　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
・防音ドア，防音サッシとする場合　遮音性の等級（ ・　　）
・断熱ドア，断熱サッシ　とする場合　断熱性の等級（ ・　　）
・耐震ドアとする場合　面内変形追随性の等級（ ・　　）
鋼板　※SUS304，SUS430J1L 又はSUS443J1　・
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

10 木製建具 (16.7.2～4)

建具材の加工，組立時の含水率　※A種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

・フラッシュ戸
表面材の合板の種類 (表16.7.2)

合板の種類	樹種・規格等	備　考
・普通合板	表面の樹種 生地，透明塗料塗り （※ｸﾘｱ合板程度　・　　） 不透明塗料塗り （※しな合板程度　・　　） 板面の品質（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	※水掛り箇所は1類
・天然木化粧合板	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	※水掛り箇所は1類
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾞﾘﾝﾄ・塗装） 表面性能（　W　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類 ）	※水掛り箇所は1類
・ＭＤＦ Ⓖ	※標準仕様書12.2.Iによる	

表面板の厚さ　※表16.7.6による　・

・かまち戸
かまち樹種（スプルス）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
工法　・Ⅰ型　・Ⅱ型
上張り　・烏の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ふすま
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠，くつずりの材料　・建具表による　・

⑪ 建具用金物 (16.8.2.3)

金物の種類・見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番　※標準仕様書表16.8.2による　・
樹脂製建具に使用する丁番　※標準仕様書表16.8.3による　・
握り玉，レバーハンドル，押板類，クレセントの取付位置
⊙建具表による　・
錠前類
⊙建具表による　・
クローザ類
⊙建具表による　・

⑫ 鍵 (16.8.4)

マスターキー　⊙製作する　・製作しない
その他の鍵　※各室３本１組　・
鍵箱　※有り　・無し

⑬ 自動ドア開閉装置

自動ドア開閉装置の性能値 (16.9.2～5)

自動ドアの種類	性能	引き戸用検出装置の種類	凍結防止	防錆
⊙SSLD-1 ⊙SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※耐電圧，温度上昇，耐久性（サイクル）は標準仕様書表16.9.1による ・	⊙光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ⊙タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ⊙行わない	⊙適用する ・適用しない

車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置（表16.9.2）
開閉方法　※片開き　・
耐電圧，温度上昇，耐久性（サイクル），防錆，電源
※標準仕様書表16.9.2による
・耐電圧（　　）温度上昇（　　）
耐久性（　　）防錆（　　）電源（　　）
引き戸用検出装置（表16.9.3）
放射無線周波数電磁界耐性，耐電圧，防錆，防滴，電源
※標準仕様書表16.9.3による
・放射無線周波数電磁界耐性（　　）耐電圧（　　）
防錆（　　）防滴（　　）電源（　　）
戸の開閉方式　※図示

⑭ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.2～4)

性能　※標準仕様書表16.10.1による　・

⑮ 重量シャッター (16.11.2～5)

シャッターの種類　・管理用シャッター　耐風圧強度（　）N/m²
・外壁用防火シャッター　耐風圧強度（　）N/m²
⊙屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉方式の種類　※上部電動式（手動併用）　⊙上部手動式 (表16.11.1)
保護装置の設置箇所　※建具表による
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・

⑯ 軽量シャッター (16.12.2～4)(表16.12.1)

開閉形式　※手動式　⊙上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ 1250 ）N/m²
電動式の場合の保護装置の設置箇所　※建具表による
スラットの材質
⊙JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　※Z06又はF06　・
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　※AZ90　・
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

⑰ オーバーヘッドドア (16.13.2～5)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	⊙1250 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	⊙スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式の場合の保護装置の設置箇所　※建具表による

⑱ ガラス

適用は以下によるほか，ガラスの種類，厚さの組合せは建具表及び図示による。
(表9.7.1)(16.14.2～4)(表16.14.1)

・合わせガラス

品種	構成種類	特性による種別
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収，フロート板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ－1類　・Ⅱ－2類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き，フロート板合わせガラス ・網入磨き，熱線吸収板合わせガラス	・Ⅲ類

⊙強化ガラス

材料板ガラスの規格による名称	種類	特性による種別
※フロート強化ガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・型板強化ガラス	※型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス

品種	性能による種別	色調
※熱線吸収フロート板ガラス	・1種　・2種	・
・熱線吸収網入磨き板ガラス		・

⊙複層ガラス

断熱性	日射取得性，日射遮蔽性	乾燥気体の種類
⊙T1　・T2　・T3	⊙G　・	⊙空気　・
・T4　・T5　・T6	・S　・	・アルゴン　・

⊙熱線反射ガラス

品種（色調）	日射熱遮へい性	耐久性	材料板ガラスの種類
※熱線反射ガラス （・　　）	⊙1種 ・2種	A種 ・A種　・B種	⊙フロート板ガラス ・網入磨き板ガラス ・線入磨き板ガラス
・高性能熱線反射ガラス （・　　）	・3種	B種	

反射皮膜面　※内面　・外面
映像調整　・行わない　・行う

・倍強度ガラス

種類	色調
※フロート倍強度ガラス	――――
・熱線吸収倍強度ガラス	

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・

19 ガラスブロック (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95	・	・				
		・125	・	・				
	・200×200	・95	・	・				
		・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は，ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材　・設ける（形状　※図示　・　　）
・設けない
力骨　材質　※ステンレス鋼(SUS 304)　・
寸法　※径5.5mm　・
形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（　　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　※図示　・
形状　※図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
目地部の横力骨の納り
※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築工事特記仕様書(6)	NS	A－007

⑰ カーテンウォール工事

① 取付方法，性能等

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

構成方式　⊙マリオン方式　・柱，梁方式　・パネル方式　・スパンドレル方式　・

性能

耐震性能		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性 (℃)
水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)						
・1.0 ・	・0.5 ・					・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性能

建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定める風圧力の（ ⊙1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法）

・適用しない

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離 (h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること ・
4mを超える	・たわみ量が±(1/200)×hかつ絶対量　　mm以下であること

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	変位後の状態
鉄骨造	・±(1/200)×h以下 ・	
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・±(1/300)×h以下 ・	

シーリング材

下表以外は標準仕様書表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類	
	記号	主成分による区分

ガラスの取付け　(17.2.6)(17.3.6)

構造ガスケット

・適用する　（施工箇所　・図示　・　　）

材質　・クロロプレン系　・EPDM系　・シリコーン系

形状　・H型　・Y型　・C型

寸法(mm)　ガラス板厚（　），支持枠の厚さ（　），ウェブの寸法（　）

・適用しない

断熱材 G

種類（　　）

厚さ(mm)（　　）

施工箇所　・図示　・

耐火材料

施工部位	種　別	規格帯
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

性能の確認方法及び判定方法

・行う　・行わない（資料による承諾）

取付金物の表面処理　※標準仕様書表14.2.2による　(17.2.3)(17.3.3)

屋外の取付金物の表面処理

メタルカーテンウォール　※A種　PCカーテンウォール　※C種

屋内の取付金物の表面処理

※F種

2 メタルカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による　(17.2.2)(17.2.3)(17.2.5)

金属系材料の種類

・アルミニウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材

（アルミニウム材の場合）

規格等　標準仕様書16.2.3による

種別　・　　（標準仕様書表14.2.1）

着色　・標準色　・特注色

映像調整　・行う　・行わない

形状及び仕上げ

製品の寸法許容差　※標準仕様書表17.2.1による　・

見え掛かり部の仕上げ　・

ガラス溝の寸法，形状等　※カーテンウォールの製造所の仕様　・

取付け

躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差

鉛直方向　※±10mm　・

垂直方向　※±25mm　・

カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差

目地の幅　※±3mm　・　mm

目地の芯の通り　※＋2mm　・　mm

目地両側の段差　※＋2mm　・　mm

各階の基準墨から各部材までの距離　※±3mm　・　mm

3 PCカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による　(17.3.2～5)(表17.3.1)(表17.3.2)

材料

コンクリート　種類（　　）

品質　設計基準強度（Fc）　※30N/mm²　・

スランプ　※12cm　・

気乾単位容積質量

・普通コンクリートの場合　2.1t/m³を超え2.5t/m³以下

・

単位水量の最大値　※185kg/m　・

鉄筋　種類記号　※SD295　・

補強鉄線　径（mm）　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0

網目寸法　・

先付けの材料

・表面仕上材

・セラミックタイル

・石材（ ・花こう岩　・大理石　・　　）

・

・建具枠

・ゴンドラ用ガイドレール

形状及び仕上げ

製品の見え掛り部の寸法許容差

※標準仕様書表17.3.3による

・上記以外

辺長　（　　mm）対角線長の差（　　mm）版厚（　　mm）

開口部内法寸法（　　mm）ねじれ，そり（　　mm）

曲がり　（　　mm）面の凹凸　（　　mm）

カーテンウォールの仕上げ　・

構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差（mm）　・

取付け位置の寸法許容差

※標準仕様書表17.3.2による　・

⑱ 塗装工事

① 材料

(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

・防火材料　※屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする

・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　　）

② 素地ごしらえ

(18.2.2～7)(表18.2.1～7)

下地面等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面		※C種　・A種　（※B種　対候性塗料）
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
コンクリート面（DP）及び押出成形セメント板面		・A種　・B種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

③ 錆止め塗料塗り

(18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1～6)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種　・B種	SOPの場合 ※A種　・B種 EP-Gの場合 ・A種　※B種
	見え隠れ部分	※B種　・A種	
			DPの場合　1回目 ※C種 DPの場合　2，3回目 ※B種
亜鉛めっき鋼面	SOP，EP-Gの場合 鋼製建具	※A種　・B種	SOPの場合 ※A種　・B種　・C種 DPの場合 ※B種　・A種　・C種 EP-Gの場合 ※C種　・A種　・B種
	鋼製建具以外	※B種　・A種 但しB種の場合の塗料 SOP，DP　※B種 EP-G　※C種	

④ 塗装

(18.4.1～18.12.2)(表18.4.1～18.12.1)

塗　装		種　別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	※1種　・2種
	木部屋内	※B種　・A種	※1種　・2種
	鉄鋼面	※B種　・A種	※1種　・2種
	亜鉛めっき鋼面	―	※1種　・2種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	―
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	―
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗り等級（ ）級
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り等級（ ）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種　・C種	―
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	※B種　・A種	―
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種	―
	⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	※B種　・A種	―
	⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	※B種　・A種	―
	・ステイン塗り	―	―
	・木材保護塗料塗り(WP)　屋外	※B種　・A種	―

高日射反射率塗料　の適用　※適用する　・適用しない

適用箇所　※屋上，屋上面の金属面　・

⑲ 内装工事

① 接着剤

(19.2.2)(表19.2.1，2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合　・図示

② ビニル床シート G

(19.2.2)(19.2.3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS（複層ビニル床シート） ・ ・	⊙無地 ・マーブル柄 ⊙柄物	※2.0 ・	

目地処理する場合の工法　・熱溶接工法　・

3 ビニル床タイル G

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT（コンポジションビニル床タイル） ・TT（単層ビニル床タイル） ・FT（複層ビニル床タイル） ・FOA（置敷きビニル床タイル） ・FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

④ 特殊機能床

(19.2.2)

シート種別	厚さ，寸法，形状(mm)	性能	種類
・帯電防止床シート			
・帯電防止床タイル			
・視覚障害者用床タイル			
・耐動荷重性床シート			
⊙防滑性床シート	t=2.5	防滑性	
・防滑性床タイル			

5 ビニル幅木

(19.2.2)

材質　・軟質　・硬質

高さ(mm)　※60　・70　・100　・300

厚さ(mm)　※1.5以上　・

6 ゴム床タイル

(19.2.2)

種類　（　　）

色柄　（　　）

厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0

寸法(mm)　（　　）

⑦ カーペット敷き G

(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)(表19.3.2)

・織じゅうたん

種　別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備　考
・A種 ・B種 ・C種	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・ﾀｲﾄﾑｼﾞｬｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・無地 ・柄物 （標準品）	・適用する ・適用しない	

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号　呼び厚さ8mm　・

織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・			
・レベルループパイル	・			
・カット，ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）

※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号　呼び厚さ8mm　・

⊙タイルカーペット

パイル形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	事務室	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット，ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・

階段部分　※模様流し　・市松敷き　・

見切り，押え金物　・適用する（材質，形状等　※図示　・　　）

・適用しない

7 合成樹脂塗床

(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～8)

種　類	施工箇所	工　法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 （弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材）	厨房		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 （エポキシ樹脂塗床材）		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床材 （JIS K 5970） （防塵塗料塗り）			工程 塗布量(kg/㎡) ・ 表面仕上げ ・平滑　・防滑 溶剤 ・水性色　・溶剤系　・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色　・

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量　(19.4.2)

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

8 フローリング張り

(19.5.2～6)(表19.5.1～6)

単層フローリング G

種　類	工　法	樹種	厚さ及び大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード1等	・釘留め工法 （根太張り）	・ ・	※標準仕様書表19.5.1による ・	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法 （直張り）	・ ・	※標準仕様書表19.5.3による ・		・
	・接着工法	・ ・	※標準仕様書表19.5.3による ・		・
・フローリングブロック1等	・接着工法	・ ・	・ ・	・塗装品 ・無塗装品	・

複合フローリング G

種　類	工　法	樹種	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用
※天然木化粧	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法	・ ・	・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・

フローリング厚さ、幅及び長さ　※標準仕様書表19.5.2，4，6による

・

フローリングのホルムアルデヒド放散量

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

接着工法の場合の緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・

⑨ 畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

種別　・A種　・B種　・C種　⊙D種（畳床：⊙KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）

下地の種類　⊙標準仕様書表12.6.1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）

衝撃緩和型畳の畳表　・C1　・C2

畳表及び畳床はホルムアルデヒド，アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか，発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑩ せっこうボード，その他ボード及び合板張り

(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)

種　類	JIS記号	厚さ(mm)，規格等
・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板 G	HW	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	MW	・15　・20　・25　・
・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板 G	NW	・15　・20　・25　・
・硬質木片ｾﾒﾝﾄ板 G	HF	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片ｾﾒﾝﾄ板 G	NF	・30　・
⊙けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	0.8FK 1.0FK	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿）　⊙6　・8
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	DR	・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（・9　（不燃）・12（不燃）・　） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（・12（不燃）・15（不燃）・　）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW-B	・25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	GW-B	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包）　・
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R	⊙12.5（不燃）・15（不燃）・
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-NC	9.5（不燃）化粧無（下地張り用） 化粧有（ﾄﾗﾊﾞｰﾃﾝ模様）
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-F	・9.5　（不燃）・12.5（不燃）・15（不燃）
・せっこうﾗｽﾄﾞ	GB-L	9.5
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（木目）	GB-D	12.5（不燃）　幅440mm程度 模様（・柾目　・板目）専用下地材有り
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾄﾗﾊﾞｰﾃﾝ模様）	GB-D	9.5（準不燃）
⊙普通合板 G		表面の材種 生地，透明塗料塗り（※ﾗﾜﾝ程度　・　　） 不透明塗料塗り（※しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 厚さ(mm)（　　） 接着の程度（　　） ・防虫処理
・天然木化粧合板 G		樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理
・特殊加工化粧合板 G		**化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装）** 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類 ） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理
・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ（※1.2・　）
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板		
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G	MDF	・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（素地）G	HB	・無研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（化粧）G		・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ G	IB	A級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18

せっこうボード等の下地　※図示　・

遮音シール材　・適用する（ ・シーリング材　・ジョイントコンパウンド ）

・適用しない

合板類，MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

合板類の張付け　・A種　・B種

せっこうボードの目地工法　・仕上げ表による

⑪ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　(19.8.2)

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
図示	・	・	・	・	・	⊙不燃　⊙準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・		

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえ　※B種　・A種　(表18.2.4)

コンクリート及びALC面の素地ごしらえ　※B種　・A種　(表18.2.5)

せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ　※B種　・A種　(表18.2.7)

⑫ 断熱材 G

(19.9.2)(19.9.3)

ロックウール，グラスウール，フェノールフォーム，ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

・断熱材打込み工法

種　類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
⊙押出法ポリスチレンフォーム断熱材	⊙50	⊙屋上防水　⊙階床下
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・フェノールフォーム断熱材	・	・

・断熱材現場発泡工法

断熱材の種類　・

厚さ(mm)　・25　・30　⊙50

施工箇所　⊙図示　・

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS 建築工事特記仕様書(7)	SCALE NS	NO. A－008

⑳ ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備　考
事務室	⊙置敷式 ・支柱調整式	⊙500×500 ・	・	⊙1.0G ・0.6G	⊙3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ⊙タイルカーペット ・	

寸法精度
　※標準仕様書20.2.2(2)(ｱ)による　・
帯電防止性能　・U値（クラス1）　・U値（クラス2）
漏えい抵抗　・R≧1×10⁶ Ω　・

表面仕上材の品質，性能は，標準仕様書19章による。
構成材の材質　・アルミニウム製　・鋼製(仕上げ：　　)　・
スロープ及びボーダー　・製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　⊙20～30パーセント
　　・
　配線取り出し開口　⊙パネル1枚につき，40mm×80mm　程度の開口1箇所以上
　　・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　⊙なし　・あり（形式，施工箇所：図示）

2 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類		総厚さ(mm)	表面仕上材			遮音性能(dB/500Hz)	防火性能
	スタッド	パネル		材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ		
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・スタッドパネル式 ・パネル式			・	・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂塗装 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（ ※図示　・　　）　・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質，性能は標準仕様書19章による
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

3 移動間仕切

(20.2.4)

走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上材		遮音性(dB/500Hz)
				材質	パネル表面仕上げ	
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質，性能　標準仕様書19章による
遮音性は，JIS A 6512に準拠し，中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
　・標準仕様書20.2.4(3)(ｳ)による
　・図示
ハンガーレール
　・標準仕様書20.2.4(3)(ｴ)による
　・図示
ランナー
　・標準仕様書20.2.4(3)(ｶ)による
　・

④ トイレブース

(20.2.5)

表面材の材質	脚　部	ドアエッジ
	形　状	材　質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ⊙図示	※幅木タイプ ⊙図示	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ⊙製造所の仕様

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

⑤ 視覚障害者用床タイル

(11.2.2)(19.2.2)(20.2.11)

施工箇所		種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内		⊙塩化ビニル製	⊙300×300　・	・7.0　・
		・磁器質タイル（Ⅰ類） ・せっ器質タイル（Ⅱ類）	・300×300　・	・ ・
		・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300　・	・ ・
屋外		⊙磁器質タイル（Ⅰ類） ・せっ器質タイル（Ⅱ類）	⊙300×300　・	・ ・
		・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300　・	・ ・

ブロックパターンは JIS T 9251 による

⑥ 手すり

(20.2.6)

材　種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備　考
※集成材	・クリヤラッカー ・	・35 ・45 ・		
⊙ステンレスパイプ	⊙HL ・	⊙35	外階段 スロープ	
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP ・	・35 ・45 ・		
⊙ビニル製ハンドレール		⊙34	階段	

⑦ 階段滑り止め

(20.2.7)

材　種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	
⊙ステンレス製（SUS 304） ビニルタイヤ入り ・	⊙約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	⊙あり	・ビニル製 ⊙ステンレス製
			・なし	ー

⑧ 床目地棒

(20.2.8)

※標準仕様書20.2.8による

9 黒板及びホワイトボード G

(20.2.9)

種　類		寸法(mm)	色	形　式	
・黒板	※焼付け ・		※緑 ・黒	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け ・
・ホワイトボード	・		・	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け ・

⑩ 鏡

(20.2.10)

取付箇所　（ WC、準備室 ）
寸法（mm）　⊙図示　・
厚さ（mm）　※5　・

11 表示

(20.2.11)

・衝突防止表示
　形状，寸法（ ・30φ　・　　）
　材質　（ ・ステンレス製　・　　）

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識，非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品　・
色，書体，印刷等の種別，取付け形状等は図示による。
その他の表示　※図示

⑫ タラップ

(20.2.12)

タラップの材質・仕上　※ステンレス（SUS304）HL　・
タラップの塗装　※標準仕様書18章による　・

13 煙突ライニング

(20.2.13)

煙突用成形ライニング材
　適用安全使用温度　・400℃　・650℃　・
キャスタブル耐火材　煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする

⑭ ブラインド

(20.2.14)

形式	操作方法	種　類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	寸法・取付箇所
⊙横型	⊙手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	⊙図示 ・
	・電動	ー				
・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100 ・	※アルミニウム合金製 ・	・図示 ・
	・電動	ー				

アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G

15 ロールスクリーン G

(20.2.15)

材　種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備　考
・ポリエステル ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・	・図示 ・	

巻取りパイプ，ウェイトバー，操作コード又は操作チェーンその他の材料
※製造所の仕様による　・

16 カーテン

(20.2.16)

形　式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別，品質，特殊加工等	取付箇所	備　考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ，つまひだ ・プレーンひだ，片ひだ	・ ・ ・	・図示 ・	
						(暗幕)

使用される繊維のうち，ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については G とする
暗幕カーテンの両端，上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

カーテンレール　(20.2.16)
材料による区分　※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成形材
　　・ステンレス製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

⑰ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・図示
材質　⊙集成材（仕上げ：オレフィンシート　）
　・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
　　種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1種　・BC-2種
　　色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）
　・鋼製（仕上げ：　　）

⑱ 天井点検口

材　種	寸　法	形　式		外　枠	内　枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ⊙目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ
		・密閉形			

⑲ 床点検口

材　種	寸　法	形　式		備　考
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	・一般形 ⊙密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ⊙屋内用	・鍵付き

20 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備　考
・垂直方法 ・水平方向	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目　地	内　壁	外　壁
目地材	・シーリング材（見え掛り部のみ） ・	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・幅20×深さ10 ・	・幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

㉑ 止水板

形式　⊙差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示　⊙地下ピット打継部

22 エキスパンションジョイント金物

材　種	クリアランス		耐火性能	備　考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・150	・100 ・	・有り（　　） ・無し	

外部は防水型とする

23 くつふきマット

材　種	受　け　枠	備　考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS 304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS 304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

24 流し台ユニット

材　種	寸　法(mm)			備　考
	W	D	H	
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能　JIS A 4420による
形状　※図示　・

㉕ 収納家具

(12.2.2)(19.7.2)

材質形状・寸法　※図示　・
合板，集成材，MDF，パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による）　・

㉖ 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石　⊙図示
奥行き（mm）　・約450　・約600　⊙図示

27 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷量による種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種　・

28 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス ・不燃シート	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込み型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

29 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

30 旗竿

材　質	形　式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備　考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	

31 旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS 304）　・

㉜ プレキャストコンクリート

(20.3.3)(20.3.4)

コンクリートの設計基準強度
　※水セメント比55%以下，単位セメント量の最小値300kg/㎥を満足する調合強度
　⊙図示
配筋
　※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
　⊙図示
取付け方法
　※図示
　・

33 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み

(20.4.2)(20.4.3)

材　種	材　種	種　類	質量区分	備　考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	ー	ー	
・コンクリート間知ブロック	・		・A ・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示　・
伸縮目地　材種　・図示　・
　　厚さ　・図示　・

㉞ 敷地境界石標

種類　※コンクリートブロック製（市販品）
　・花こう石類（文字記号等入り）

35 車止め支柱

形　式	材　種	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵型 ・スプリング式	・標準品 ・	・	・ ・
・			

㊱ フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
　　⊙樹脂塗装メッシュフェンス
　　・鋼管フェンス
　　・アルミフェンス
高さ　・図示　・

37 屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS 建築工事特記仕様書(8)	SCALE NS	NO. A－009

㉑ 排水工事

① 屋外雨水排水

(21.2.1)(表21.2.1)

排水管用材料

材　種	管の種類	形　状	呼び径	備　考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示　・	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		・図示　・	
	・VU		・図示　・	
	・RS－VU G		・図示　・	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV		・図示　・	
	・VU継手		・図示　・	

基床の厚さ及び種類　⊙図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
側塊の形状及び寸法　⊙図示　・
排水桝の種類　⊙図示　・
砂地業に用いる材料（6.4.2(2)）
・シルト　・山砂　・川砂　⊙砕砂
砂利地業に用いる材料（6.4.2(1)）
⊙再生クラッシャラン G　・切込砂利　・切込砕石

現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm²　・
現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・

凍上抑制層の厚さ　・図示　・
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　・行わない

② 鋳鉄製ふた

(21.2.1)

名　称	種　類	適用荷重	鍵	備　考
鋳鉄製マンホールふた	⊙水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・T－ 2用 ⊙T－ 6用 ・T－20用 ・	・有り ⊙無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

③ グレーチング

(21.2.1)

材　質	形　式	用　途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	**⊙受枠付き，ボルト固定** ・	⊙溝ふた（横断用） ⊙溝ふた（側溝用） ⊙桝ふた用 ⊙U字溝用	・歩行用 ・T－2用 ⊙T－6用 ・T－14用 ・T－20用	・細目 ※普通目 ・細目	・（　） ・（　）	・凹凸形 ・ ⊙平形 ・
・ステンレス製	**・受枠付き，ボルト固定** ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用	－ －	－ －	・凹凸形 ・ ・平形 ・

④ 街きょ，縁石，側溝

街きょ，縁石，側溝　(21.3.1)(表21.3.1)

種　類	形状，寸法
⊙縁石	⊙図示　・
・L形側溝	・図示　・
⊙U形側溝	⊙図示　・
⊙U形側溝ふた	⊙図示　・
・	・図示　・

地業の材料
・シルト　・山砂　・川砂　⊙砕砂
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ　※100（mm）　・図示
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm²　・
凍上抑制層の厚さ　・図示　・
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　・行わない

⑤ 埋戻し土

(21.2.1)

※B種（標準仕様書3.2.1）　・

㉒ 舗装工事

① 路床

(22.2.2)(22.2.3)(22.2.5)

路床の材料

種　別	材　料	厚　さ（mm）
⊙盛土	・A種　⊙B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	⊙図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂，海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10%以下）	・図示 ・
・フィルター層	・川砂，海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ・	・図示 ・

路床安定処理　⊙適用する　・適用しない
添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　⊙高炉セメントB種　G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（　・特号　・1号）　・消石灰（　・特号　・1号）
添加量　kg（目標CBR　・　以上　・　）
試験
砂の粒度試験　・行う　⊙行わない
路床土の支持力比（CBR）試験　⊙行う　・行わない
現場CBR試験　⊙行う　・行わない
路床締固め度の試験（現場密度）　⊙行う　・行わない

② 路盤

(22.3.2)(22.3.3)(22.3.5)(表22.3.1)

路盤の厚さ　⊙図示　・
路盤材料　・クラッシャラン　・粒度調整砕石
⊙再生クラッシャラン G　・再生粒度調整砕石 G　・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G　・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G
試験
路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

③ アスファルト舗装

(22.4.2～6)(表22.4.1～6)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料
アスファルト　⊙再生アスファルト G（・60～80　・80～100）　・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.4)(表22.4.4～5)

区　分	地　域	種　類
表層	⊙一般地域	⊙密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F)

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　⊙行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

4 コンクリート舗装

(22.5.2～4)(22.5.6)(表22.5.1～3)

コンクリート舗装の厚さ

舗装の種類	部　位	厚　さ（mm）
コンクリート舗装	歩行者用通路	※70　・図示
	車路及び駐車場	・150　・図示

寒冷地の縁部立下り寸法等　・図示
材料
コンクリート　・標準仕様書表22.5.1による　・
早強セメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
種類，間隔，構造　※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による　・図示
試験
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

5 カラー舗装

(22.6.2～4)(表22.6.1)

種類・工法		部　位	基　層	厚さ(mm)
・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場 ・歩行者用通路	・無し	・図示 ・
	・石油樹脂系混合物			
・常温系	・ニート工法		・アスファルト舗装	3～5
	・塗布工法		・コンクリート舗装	1程度以下

舗装厚さの許容差　※標準仕様書（22.4.2(3)）による　・
材料
加熱系混合物に添加する材料　・着色骨材（　）　・自然石（　）
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・
ニート工法及び塗布工法の配合等　・
試験
加熱系　標準仕様書(22.4.6(3))
抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

6 透水性アスファルト舗装

(22.7.2)(22.7.3)(22.5.6)

材　料	厚　さ（mm）
ストレートアスファルト	・図示　・

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

7 ブロック系舗装

(22.8.2)(22.8.3)

・コンクリート平板舗装

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（N） ・透水平板（P）	※300角 ・	・60 ・	※砂 ・モルタル	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

歩行者用通路に使用するコンクリート平板は G （再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水平板は G （透水性コンクリート）とする。
クッション材　※砂　・空練モルタル
仕上がり面の平たん性　※歩行に支障のないものとし，コンクリート平板間の段差3mm以内
・

・インターロッキングブロック舗装

種　類	部　位	厚さ（mm）	曲げ強度（N/mm2）	色彩，表面加工
※普通ブロック（N）	車路	※80　・	※5.0　・	・標準品 ・
・透水性ブロック（P）	歩行者用通路	※60　・	※3.0　・	
・				

歩道部に使用するブロックは G （再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
クッション材　※砂　・空練モルタル
目地材　※砂　・モルタル

・舗石舗装

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	施工方法	基層(mm)
・小舗石（花崗岩） ・	・ ・	・80 ・	・うろこ張り ・	・コンクリート舗装（※70　・　） ・アスファルト混合物（※50　・　）

クッション材　※砂　・空練モルタル
目地材　※砂　・モルタル

⑧ 砂利敷き

(22.9.2)(表22.9.1)

種別　⊙A種（施工範囲：⊙図示　・道路　・　）
・B種（施工範囲：・図示　・建物周囲他　・　）

⑨ 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種　類	施　工	適　用	色	幅（mm）	塗布厚さ（mm）
・1種 G	常温	液状	⊙白 ・	⊙150 ⊙100	⊙1.0 ・
⊙2種 G	加熱				
・3種1号	溶融	粉体状			

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

㉓ 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認等

(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　⊙行わない
電気伝導度（EC）の試験　・行う　⊙行わない

② 植栽基盤の整備

(23.2.2.4)(表23.2.2)

植　栽	工　法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
⊙樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ⊙植栽部分 ・図示 ・	⊙適用する ・適用しない
※芝，地被類	※B種 ・	※20 ・	⊙植栽部分 ・図示 ・	⊙適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）
⊙設けない

③ 植込み用土

(23.2.3)

⊙現場発生土の良質土　・客土

4 土壌改良材

(23.2.3)

・バーク堆肥 G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・50L　・　）

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）

材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので，植害試験の調査の結果，害が認められないものとする

⑤ 樹木

(23.3.2)

樹種，寸法，株立数等　※図示　・

⑥ 支柱

(23.3.2)(23.3.3)

支柱材　※丸太（間伐材） G　・真竹　・
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　⊙図示　・

7 幹巻き用材料

(23.3.2)

材料　・幹巻き用テープ　・わら　・こも

⑧ 芝

(23.4.2)

種類
※コウライシバ　・ノシバ
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備　考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・	・		

10 地被類

(23.4.2)

樹　種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・
・	・		

11 新植，移植樹木，芝等の枯保証

(23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)

新植樹木（芝張り，吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から１年　・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から１年　・無し

12 屋上緑化 G

(23.5.2)(23.5.3)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成形品
植込み用土　※改良土　・人口軽量土
樹木の樹種並びに種類，寸法，株立数，寸法等　※図示　・
見切り材，舗装材，水抜き管，マルチング材等　※図示　・

・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
見切り材，舗装材，水抜き管，マルチング材等　※図示　・

(23.5.4)

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の）風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない
支柱　・設置する（形式　・図示　・　）
かん水装置　・設置する（種類　・　・　）

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS 建築工事特記仕様書(9)	SCALE NS	NO. A－010

㉔ 一般共通追記事項

① 優先順位

図面等の優先順位は以下の通りとする。
1）質疑回答書および追加･修正･補足説明書
2）現場説明書
3）特記仕様書
4）設計図
5）建築工事標準仕様書（　・平成31年版国土交通省　・各都県の最新版　）
設計図書に不整合（誤謬、錯誤等を含む）がある場合、上記優先順位によるが、質疑応答時に指摘の無いものは監督員の指示に従う。この場合、請負金額の変更は行わない。

② 工事区分

工事区分は別紙に示す工事区分表による。

③ 工事契約

本工事の契約は、原則として民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款により行う。第２９条（２）の請負代金の変更については、工事の減少部分・増加部分とも契約内訳書単価ベースによるものとし、その他の条項については、契約時に別途協議するものとする。

④ 契約の保証

請負者は完成保証人を立てるか、請負金額の１０分の１以上の額を金融機関等（金銭保証人）において、契約保証をして契約書に添付すること。

⑤ 見積書

本工事見積書には、工事費内訳明細書をつける。また、その内容は特記として記載された下請業者並びに材料製品が必ず使用出来るものであること。なお、後日見積書中に誤記、脱漏等が発見されても、請負金額の修正は行わない。

⑥ 軽微な変更

現場の納まり、取合い等の関係で、材料の寸法、取付位置、取付工法を多少変え、あるいはこれらによって取付員数を幾分増減する等の軽微な変更は、監督員の指示によって行う。この場合請負金額は増減しない。

⑦ 設計変更等

請負者は契約上明らかで且つ著しい増額と認められるものを除き係員の指示により請負金額内にて施工すること。建築主及び設計者の指示により、工事を変更・追加・除外する場合、請負者は指示後２週間以内に変更見積書を提出し、建築主及び監督員の承認を得て実行する。
その際、変更見積書の単価は契約単価を使用する。

⑧ 別途工事と本工事の取合い

本工事と併行して行われる別途契約工事及び請負者の異なる別途工事については、関係者協議の上、相互の工事に漏れ無きよう円滑な進行と完全な施工に努めること。請負者は関係者と充分に協議する場を設け、工程も含め総括すること。

⑨ 工事提出図書

（契約関係書類は除く）
1．現場代理人、主任技術者承認願い　　3部（着工前）
2．全体工程表　　3部（着工前）
3．下請業者承認願い　　3部（着工前）
4．メーカーリスト（使用資材承認願い）　　3部（着工前）
5．工事月報（1ヶ月毎－総合定例打合せ時）　　3部
6．材料検収簿　　2部
7．月例報告書（出来高含む）、月間工程表　　2部（定例打合せ時に提出）
8．その他監督員から指示のあったもの

竣工引渡時提出
1．引渡証明書
2．工事完了届
3．検査済証（事前協議・建築・消防・緑化・保健所・福祉のまちづくり整備等）
4．鍵（箱入れ、ナンバー照合のこと）
5．各種届出書類の写し
6．建築物等の利用に関する説明書
7．主要な材料・機器一覧表
8．保証書（防水等）
9．機器取扱い説明書
10．機器性能試験成績書
11．完成図書(竣工図)
12．完成写真(竣工写真)
13．メンテナンス連絡一覧表左記受渡し証
14．ミルシート
15．コンクリート強度試験表、配合計画表
16．鉄筋圧接試験成績表
17．備品類
18．その他監督員から指示のあったもの
以上の書類及び支給の提出書類一覧表を作成し、ファイルに製本の上、建築主１部、監督員１部（一部複写）を提出する。
竣工図は工事目的物の完成時の状態を表現したものとし、作成は請負者の負担とする。

⑩ 工事用図面

各工事に必要な施工計画書、施工図（平面詳細図（総合図）を含む）、原寸図、施工要領書等は、遅滞なく作成し監督員の承諾を受ける。
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、建築主に移譲するものとする。

⑪ 共通仮設全般

1）工事に必要な仮設電力電話、仮設上下水道、仮設ガス等の各引込工事、及び受電後の電気料金本設引込後の下水道料金、ガスの基本料金・従量料金の支払いは本工事に含む。また、これに係る費用負担については、その一切を請負業者にて負担することとする。
れに関する費用は請負者の負担とする。
設計図書に基づき施工された各種工事が検査合格しない場合は、請負者の負担にて手直し又は取り壊し再施工するものとする。
また、官公署の立会い検査については請負者は監督員と協議の上遅滞なくその手続きを経て、立会い検査を受け、それに合格すると共に竣工迄に一切を完了しなければならない。これに要する費用は請負者の負担とする。

⑫ 工事報告書

月間工事報告書（Ａ４）は所定の用紙に記入して、監督員に３部提出する。（写真添付）また、各工事に於いて行った各種検査等の報告書、成績証明書も指示する部数を提出する。
記載事項　1．月間工事概要
2．工事別出来高調書
3．工程表と実績の比較表
4．各工程写真、工事全体写真（定位置）
部分工事報告　コンクリート工事報告書等、仕様書にて指定した工事及び監督員から指示のある工事について指定期日までに提出のこと。

⑬ 検査等

鉄筋、鉄骨及びコンクリートの強度試験、圧接引張試験、金属製建具製品検査、タイル検査、その他監督員が必要と認め指定したものに関しては、請負者が材料試験又は製品検査を行う。また、監督員が指示する項目については、監督員による工場製品検査を行う。これに関する費用は請負者の負担とする。
設計図書に基づき施工された各種工事が検査合格しない場合は、請負者の負担にて手直し又は取り壊し再施工するものとする。
また、官公署の立会い検査については請負者は監督員と協議の上、遅滞なくその申請書類の作成及び手続きを行い、立会検査を受け、それに合格すると共に竣工までに一切を完了しなければならない。これらに要する費用は請負者の負担とする。但し、申請手数料については建築主の負担とする。

⑭ 保険

請負者は本工事に関する全ての物に対して自己の負担を持って、妥当な金額の火災保険等を附しその写しを提出する。

⑮ 申請書類等

補助金申請等に必要な書類及びデータ（事業別の工事費内訳書等）を必要に応じ作成し、提出すること。

⑯ 保証書

保証の必要な工事の保証書は保証年限を監督員と協議の上、元請業者と工事施工業者（必要に応じて製作業者）との連名で提出し、仕様書、工事範囲図を添付する。部数は３部とする。
また、メーカー製作のものは、２年間以上の保証とすること。

⑰ 施工図

総合工程表の作成に合わせて施工図作成工程を作成し、係員の確認を受ける。施工図の作成に先立ち速やかに施工図及び設備機器の位置、取合い等を図示した総合図（平詳、展開、天伏）を作成して、設備工事等との調整を行い監督員の確認を受けること。また、作成にあたっては建築、機械、電気共、専門の施工図担当を常駐させること。
請負者は、この施工図作成工程に従って各工事に先行して遅滞なく施工図を作成し、監督員の確認を受けること。監督員の承諾業務は設計意図についてのみの確認であり、施工図寸法等の誤記に関しては責を負わない。確認作業の具体的な書類の形態、方法については協議の上決定する。

⑱ 工事打合せ

請負者は定例会議（週１回）及び月例会議（月１回）を実施すること。
出席者は、建築主、監理者、請負者（建築、機械設備、電気設備各担当者、及び関連業者）とし請負者の欠席は認めない。

⑲ 工程表

請負者は速やかに仮設工事、土工事の工程表を作成提出し、係員の承認を受ける。
全体工程表については係員と協議の上作成提出し、係員の承認を受ける。別途工事等との協調を充分に考慮し、その結果を盛り込んだ総合工程表とすること。また、必要に応じて各部分工事別の詳細工程表を作成し、係員に提出のこと。
毎週の定例打合せ会に、翌週の工程を明示した週間予定工程表を提出のこと。

⑳ 施工計画書

各工事の進捗に伴い、各工事項目の施工計画書・要領書等を係員に提出し、承諾を受けること。

㉑ 工事説明

工事に先立ち、近隣に対し工事説明を行うこと。説明範囲については監督員の指示に従う。

㉒ 近隣対策　事前調査

工事着工に先立ち、工事の影響を受けると思われる近隣家屋に対し、近隣敷地の地盤沈下等や、建築物及び工作物の内外について、現況状況の調査を写真及び実測により行い、報告書を作成し、提出する（写真は日付入り）。工事完了後も事後調査を行うものとする。尚、それらに係る全ての費用は請負者負担とする。
工事施工中災害、又は、公害が発生した場合は速やかに適切な処置を取り、その原因、経緯、被害の状況について監督員に報告する。特に、第三者に被害を及ぼした場合は直ちに監督員に報告し、早期に適切な解決を図ること。前期に対応する為の緊急連絡網を整備しておくこと。

㉓ 電波障害対策

工事中における仮設計画については周辺に及ぼす電波障害に充分考慮して対応も含め計画すること。
工事施工中の電波障害対策の負担は請負者とし、被害が発生した場合は速やかに対応を行い、監督員に報告を行うこと。

㉔ 完成引渡し

請負者は、竣工検査合格により建物の部分または全体の引き渡しが行われることを予定し、その部分または全体に関わる引渡しに必要な竣工書類及び引渡し品（鍵等）を準備し、竣工検査合格と同時に引渡しの手続きを進める。引渡し前に建築主に対して建物及び諸設備の取り扱い要領（建物取扱説明書）を提出し、その説明を行い、建物・設備の稼働に支障のないように引継ぎを行う。

㉕ 管理の継続

建物の引渡し後も、（概ね1か月程度）引き続き作業所の機能を最小限維持し、技術員を配置すること。問題があった場合、速やかに対応を行うこと。

㉖ 竣工後の検査

竣工引渡後６か月経過時時に契約当事者立会のうえ、建物及び諸設備の稼働状態の調査を行い、その結果を建築主に報告し、不良部分については速やかに改善する。
竣工引渡後、１年目、２年目に検査を行い、瑕疵のある場合は報告の上、ただちに補修、改善を行う。瑕疵担保期間の切れる２年経過後において、構造上の施工不良あるいはその他の瑕疵が認められる場合には、請負者が瑕疵担保責任を負う。

㉗ 掲示物・工事看板・標識

施工者は工事名・建築主・設計監理者名（指定者）・請負者名を表示した工事看板及び、建築工事に関する事項の掲示板を、工事中指定の場所に提示すること。
内容、体裁につきあらかじめ建築主及び監督員と協議し、承認後実行すること。

㉘ 安全対策

工事搬入周囲通路は通行人、工事関係外の車両等に対する安全に充分留意し、専門の誘導員を配置すること。

㉙ 仮囲い

仮囲いは境界に沿って設置する。　⊙図示
高さ　・1200　・1800（隣地境界）　・3000（敷地境界）
種類　・ロードフェンス　・単管白シート　・万能板
仕上　・塗装（一部ポリカーボネイト）
搬入口　（　　）ヶ所（パネルゲート）設ける
備品　騒音計、振動計

㉚ 足場

足場は　・枠組み足場（手摺先行専用足場型）　・ブラケット足場　・単管足場　とし、全ての箇所にネット状シートを設け、安全対策には充分留意すること。
また、仮設計画書を作成し、監督員に提出・確認を受けた上で施工を行うこと。

㉛ 敷地測量等

敷地境界の確認後、建物位置と境界までの距離の差異及び高低差測量（周辺道路及び隣接敷地共）を行うこと。結果を監督員の立会確認後、建物の位置・レベルを決定すること。

㉜ 境界点の確保

境界石、鋲が施工に支障になる場合は、関係者の立会を得て仮移設し、竣工時に再度立会のもとに道路境界ポイント（新規境界石）、民民ポイント（新規境界石）にて復旧すること。

㉝ 監督員詰所

仮設建物及び材料置き場の設置は監督員の指示により設ける。監督員詰所は15㎡以上とする。
打合せに必要な備品、棚等を備え、別途会議室（定員15名以上）を用意すること。光熱費、電話料各種備品等は請負者負担とする。

備える備品

種類	数量
ヘルメット	6
安全帯	6
安全靴	6
防寒着・作業着	6
事務机	2
事務椅子	2
打合せテーブル	2
椅子	4
本棚	1
パソコン　ＯＳ　W10以上 ＣＰＵ　i7以上　メモリー8G以上	1
プリンター　カラーレーザー A3	1
デジタルカメラ	1

インターネット・wi-fiの使える環境とする。8ポートhub1台
専用の電話回線を1回線引き込む。（電話機・FAX-A3　対応　共）

㉞ 補助金交付における現地調査、出来高検査、中間検査竣工検査について

補助金交付に係る現地検査に出席し、必要書類を作成すること。
（　　　　　　　　　　　　　　　　）に伴う立入検査で当日用意する書類は以下とする。
（1）着工時検査（根切工事の着工後）
入札関係書類、入札・契約に関する理事会議事録、契約書、現場代理人等通知書
現場代理人等経歴書、施工体制台帳・施工体系図、下請人通知書、
設計業務委託（監理）契約書、建築確認通知書、工程表、工事写真、監理業務日誌、
資材・製造所等選定報告書、補助金交付申請書補助金関係書類、
工事請負代金等の支払いに関する関係書類、土地に関する書類、その他施設整備関連書類
（2）中間検査（概ね躯体工事完了後）
契約書、変更契約書（変更箇所一覧表）、現場代理人等通知書、現場代理人等経歴書、
施工体制台帳・施工体系図、下請人通知書、設計業務委託（監理）契約書、
工程表、工事写真、監理業務日誌、資材、製造所等選定報告書、機器等の承認図、
各種試験成績表、補助協議書等補助金関係書類、工事請負代金等の支払いに関する関係書類
施設整備に関する理事会議事録、その他施設整備関係書類
（3）完成時検査（概ね行政検査の完了後）
契約書、変更契約書（変更箇所一覧表）、施工体制台帳・施工体系図、下請人通知書、
工程表、工事写真、監理業務日誌、資材、製造所等選定報告書、機器等の承認図、
各種試験成績表、設計業務委託（監理）契約書、業務完了報告書、消防検査済証、
建築基準法の検査済証、補助協議書等補助金関係書類、工事請負代金等の支払いに関する関係書類、施設及設備整備に関する入札及び契約関係書類
施設及設備整備に関する理事会議事録、その他施設及び設備整備関係書類

※検査時の指摘事項については、速やかに改善を行い提出書類の作成に協力すること。

㉟ 完成時の提出書類

名　称	種　類	提出部数	発注者	監理者
完成図	・A-1　・A-2　⊙A-3	4	2	2
	⊙電子データ（CD-R　またはDVD-R）	2	1	1
施工計画書	・A-1　・A-2　⊙A-3			
	⊙電子データ（CD-R　またはDVD-R）	2	1	1
施工図	・A-1　・A-2　⊙A-3	2	1	1
	⊙電子データ（CD-R　またはDVD-R）	2	1	1
保全に関する資料	・A-1　・A-2　⊙A-3			
	⊙電子データ（CD-R　またはDVD-R）	2	1	1

引渡図書はデータをCD-ROM化してファイルを２部提出のこと。
CD-ROM　作成要領
建築概要書　（監理者の指示する様式）
簡略図面　（配置図、平面図、立面図、断面図及び面積表、雑誌等掲載用）
竣工図　（設計修正図書のうち監理者の指示のあるもの）
許認可書類　（確認申請書、確認済証、検査済証、その他諸手続・許認可書類）
竣工引渡書類　（引渡図書目録、現場組織図、下請業者リスト、メーカーリスト）
緊急連絡先　（会社名、住所、電話番号、FAX番号、担当者の入ったもの）
竣工写真　（写真一式及び案内図、簡略図に撮影方向を記入したもの）
※CD-ROMの作成はNCRシステムによるものとし、管理者の承認する専門業者とする。

㊱ 予備品及び保守工具

下記材料の１%程度を建物引渡し時に発注者に提供すること。
床、壁材（各種　シート　タイルカーペット　クロス等）
天井材（各種　ボード　クロス等）
その他　標準工具（点検口・マンホール用フック　点検用懐中電灯含む）

㊲ 化学物質の濃度測定

揮発性有機化合物等の室内濃度測定は、次による。建物利用者・工事関係者の健康と生活環境を考え、工事に於いては、揮発性有機化合物の抑制に努めること。
・測定は行はない。
⊙次により、第三者の専門業者に委託して測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。なお、事前に測定に関する計画書（測定・分析機関の資料を添付）を作成し、監督員の承諾を受ける。
※MSDS（製品安全データシート）等を活用し、建材に含まれる化学物質の情報を入手しておく。

（1）測定方法（両単位の換算は、25℃の場合による。）
揮発性有機化合物等の室内濃度測定は、次による。建物利用者・工事関係者の健康と生活環境を考

対象化学物質	管理値	採取の条件	分析方法	その他
ホルムアルデヒド	100μg/㎥ (0.03ppm)	・アクティブ型採取機器による試料の採取	・DNPH誘導体固相吸着/溶媒抽出-高速液体クロマトグラフ法	
トルエン	260μg/㎥ (0.07ppm)	30分換気 5時間密閉		
キシレン	870μg/㎥ (0.20ppm)	30分採取	⊙固相吸着/溶媒抽出法 ガスクロマトグラフ/質量分析法	
エチルベンゼン	3800μg/㎥ (0.88ppm)	⊙パッシブ型採取機器による試料の採取		
スチレン	220μg/㎥ (0.05ppm)		・その他	

室名	箇所数	回数
事務室	2	1
多目的室	1	1
更衣室	2	1
休憩室	2	1
調理エリア	5	1

㊳ その他

・当事業は学校施設環境改善交付金事業である。
・施工業者は当該補助金事業に伴う各種提出書類の作成に協力すること。
・施工業者は当該補助金の立会検査（中間検査、竣工検査等）に立ち合うこと。
・施工業者は建設発生土の処分に関し、受入証明書を取寄せること。
・施工業者は産業廃棄物を適切に処理し、産業廃棄物処理計画書・委託契約書、マニュフェストの整備・管理を徹底すること。
・「障害者等駐車区画の適正利用に向けたガイドライン」の指導事項を遵守すること。
・区画の床面を目立つ色で塗装
・利用対象者を明示した看板を設置
・千葉県福祉のまちづくり条例の基準を遵守すること。
・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に関する届出・報告を行うこと。
・施工業者は、工事に伴う騒音・振動、道路占用・使用等の官公庁への書類提出を遅滞無く行い認可された書類の写しを監理者に提出すること。

㊴ BELS認証

・本工事はBELS認証を受けており、BEI計算は設計図の仕様及び機器で行っている。
BEI値が下がる事がない範囲で、仕様及び機器を同等品に変更することは可能であるが、その場合は、請負者により計算の修正及び、再認証を行うこと。その際の費用は請負者の負担とする。

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建築工事特記仕様書(10)	NS	A－011

工事区分表

躯体関係

項目		A	E	M	EV	別途	備考
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	O	O	O	O		
	補強を要する型枠材及び取付け	O					
	補強を要しない型枠材及び取付け	O	O	O	O		
	貫通孔・開口部の墨出し	O	O	O	O		
	貫通孔・開口部の補強	O					
	スリーブ・型枠の穴埋め	O	O	O	O		防火区画、防煙区画
2. S, SRC造の梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	O					
	使用されたスリーブの穴埋め	O	O	O	O		防火区画、防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	O	O	O	O		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	O	O	O	O		
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの	O					
	屋内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		O	O			
	屋外・屋上の基礎	O					
	屋上基礎で押えコンにアンカーしない軽微なもの		O	O			
	機器取付け用アンカー・架台		O	O			
	屋内受水タンク用の基礎	O					
4. 昇降機関連	昇降路の躯体	O					
	機械室の躯体	O					
	機械室の床開口	O					
	機械室の床配管ピット・ふた	O					
	機械室の上げ床コンクリート打込み・仕上げ	O					
	巻上げ機周囲のチェッカープレート敷き				O		
	昇降路内ピット防水・集水桝	O					
	各階出入口穴開け・同補強	O					
	三方枠取付け・枠回り埋戻し・同補修				O		
	出入口扉、三方枠及び幕板				O		
	出入口扉、三方枠及び幕板の各補強鉄骨	O					
	昇降路がRC造及びSRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鋼製部材一式				O		
	昇降路がS造の時の中間ビームブラケット受けピース	O					
	機械室天井フック取付け	O					
	昇降路内フック取付け	O					
	ホール押しボタン・インジケーター・鋼索等の壁開口	O					
	機械室換気設備			O			
	制御盤（EV機械室内又は昇降路内等）から外部インターホンまでの配管・配線工事				O		
	昇降路内ピット点検用タラップ				O		
	点検用コンセント		O				
	制御盤（EV機械室内又は昇降路内等）までの動力・照明用電源、アース、防災信号、拡声設備（館内放送用）の配管・配線工事		O				
	かご内部手摺				O		
5. その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	O					
	湧水・汚水ピット・RC造各種水槽	O					
	同上用防水・マンホール・タラップ等	O					
	避雷設備・同接地工事		O				
	ALC板の壁開口・補強	O					
	厨房排水溝	O					
	厨房グリース阻集器			O			
	オイルサービスタンクの防油堤	O					
	フリーアクセスフロア内の防水堤	O					

仕上げ関係

項目		A	E	M	EV	別途	備考
1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	O					
	補強を要しないボードの切込み		O	O			
	開口部の墨出し		O	O			
2. 可動間仕切	切込み及び補強	O					
	位置ボックス	O					
3. 吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		O	O			
4. 外壁まわり	外壁がらり及びダクト接続用フランジ	O					
	ウエザーカバー、ベントキャップ			O			
	換気扇			O			取付枠はA
	チャンパーボックス			O			
	乾式外壁材の貫通孔墨出し	O	O	O	O		開口制限あり
	乾式外壁材の貫通孔	O					開口制限あり
	外壁貫通の防水処理	O		O			
	室外機取付金物			O			
5. 湯沸室まわり	流し台・吊戸棚・水切棚・コンロ台・システムキッチン・ミニキッチン	O					取付・接続はM
	フード（標準詳細図のもの）	O					その他はM
6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット	O					接続はM
	既製浴槽（ふたを含む）	O					
	浴室及び便所の床排水金物			O			
7. 便所まわり	洗面カウンター	O					洗面器はM
	鏡（規格寸法のみ）			O			規格外はA
	衛生器具ユニット			O			
	身障者用手すり	O					衛生器具ユニット取付けはM
8. 事務室まわり	ファンコイルカバー	O					
	洗面カウンター	O					洗面器はM
	洗面化粧台	O					接続はM
9. フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア本体	O					
	床パネルの切込み加工	O					
	コンセント		O				
10. 自動扉・電動シャッターまわり	防火戸の自動開閉装置		O				
	上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置	O					1次側はE
	排煙窓本体・自動開閉装置	O					
	防煙垂れ壁本体・駆動装置	O					1次側はE
	上部電動シャッター・排煙窓・防煙垂れ壁連動制御装置の感知器		O				
	自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）	O					
	自動扉の手元電源スイッチ		O				
	電気錠の本体、扉内配線	O					
	電気錠の扉までの配管及び配線		O				
	自動閉鎖装置を取り付ける防火戸の切込み補強及びドアクローザー、フロアヒンジ	O					
	自動扉・電動シャッターからセンサー（付属スイッチ）への配管・配線工事	O					
	自動扉及び電動シャッターなど制御装置に至る一次側電源配管配線工事		O				
11. 造作家具	造作家具本体	O					
	家具の設備穴あけ加工	O					墨出しはE、M
	電気配線・コンセント工事		O				家具図に記載あるものはA
	衛生配管・器具・水栓工事			O			家具図に記載あるものはA
	シーリング	O					

12. その他

項目	A	E	M	EV	別途	備考
二重ピット及びトレンチのマンホールふた	O					
機器搬入用フック・ビーム	O					
チェーンブロック		O	O			
化粧マンホール上ぶたの表面仕上げ	O					
点検口（天井・壁・床下）	O					
排煙口等の天井仕上材の取付け	O					
消火器BOX設置工事	O					
消火器（本体）	O					
煙突底部排水目皿・排水管	O					
くつふきマット・玄関マット・自動扉マット部床排水金物（目皿共）・排水管	O					接続はM
くつ洗い流し部排水金物・排水管			O			
ルーフドレン	O					
雨水配管（GL上部）	O					
雨水利用設備集水管（GL下部）			O			
ピット内雨水配管			O			
ピット内警報装置		O				
洗濯機パン			O			
タラップ（内部・外部）	O					
サイン	O					
厨房機器	O					
厨房フード			O			
外壁給排気ガラリ、空調用ガラリ	O					
内壁空調用ガラリ			O			
ドアガラリ	O					
消火栓ボックス、消火器内臓消火栓ボックス			O			
避難器具、避難すべり台	O					
汚物処理機	O					
カーテン、ブラインド	O				O	
機械搬入口	O					
石、タイル、金属等の設備開口及び補強	O					
ダクト、配管等の露出仕上（塗装等）	O					
二重壁内の排水管、点検口	O					
設備機器廻りの点検デッキ	O					
設備用ハト小屋	O					
建築化照明	O					照明器具はE
電気温水器			O			
防音壁	O					
換気レジスター			O			

屋外排水設備・外構

項目		A	E	M	EV	別途	備考
1. 雨水	屋外雨水排水設備			O			浸層排水はA
	桝及び桝ぶた	O					
	雨水貯留槽、浸透桝、浸透トレンチ	O		O			
2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			O			
	桝及び桝ぶた			O			
3. 植栽	植栽及び客土	O					
	散水設備	O		O			自動灌水設備はA
4. ユニット形浄化槽	ピット形の躯体及び砂充填	O					浄化槽本体はM
	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付け等			O			
5. 屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充填	O					タンク本体はE又はM
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付け等		O	O			自家発用はE

6. 外構・造成

項目	A	E	M	EV	別途	備考
地盤改良	O					
既存樹木伐採・伐根	O					
敷地内舗装（アスファルト、インターロッキング、土間コン等）	O					
既存囲壁、門扉の撤去・処分・新設	O					
駐車場白線引、車止め	O					
縁石、U字溝、L型側溝	O					
屋外誘導ブロック	O					
構内標識・看板	O					躯体、基礎共A
駐車場ガソリントラップ（コンクリート造）	O					
公道部分の改修（舗装、路盤、切下げ等）	O					
既設給排水管の撤去			O			公道部分を含む
新設給排水管の取出接続			O			公道部分を含む
給水負担金					O	
ガス本支管工事			O			
公道部分の改修（舗装、路盤、切下げ等）	O					

電気配線配管

項目	A	E	M	EV	別途	備考
機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			O			二次側
機器付属の制御盤への電源供給配管配線		O				一次側
自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		O				
機器と付属操作スイッチの渡り配管配線			O			
煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線		O				
小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			O			
給油ポックス内アース端子よりのアース用配管配線		O	O			自家発用はE
天井扇及び厨房送風機のスイッチ		O				厨房簡易消火の防災連動含む
ガス漏れ警報器・受信盤・同電気配管配線		O				
機械警備監視盤・警備用センサー・同配線					O	
同上用配管・センサー取付用裏箱（扉・枠共）		O				
PBX（電話交換機）・電話機		O				
同上配管・配線・端子盤		O				
太陽光発電パネル		O				
同上基礎	O					
太陽光発電・変換装置・蓄電池・表示パネル		O				
太陽光発電　売電用低圧電力引込回線		O				
LAN配管		O				配線は施主負担

別途工事

項目	A	E	M	EV	別途	備考
移動家具（家具図にないもの）					O	家具図に記載あるものはA

その他共通事項

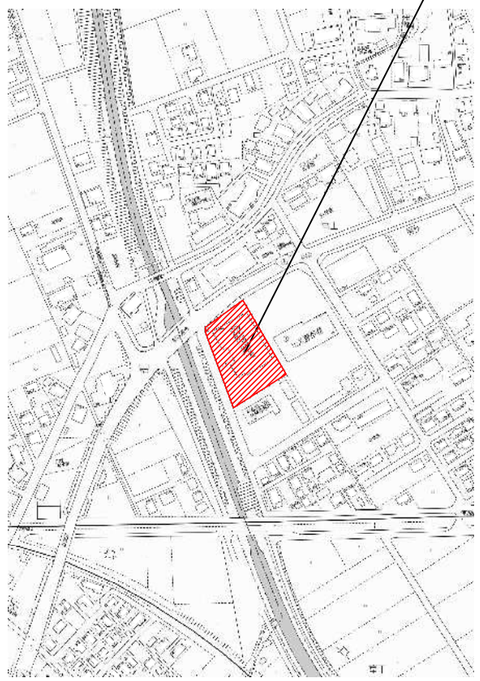
項目	A	E	M	EV	別途	備考
敷地測量					O	
地中障害物撤去工事					O	
工事用電力・上下水道・ガス引込工事	O	O	O			
工事用電力・上下水道・ガス料金（引込負担金・基本料金含む）	O	O	O			
電力本設引込工事・撤去工事		O				
上水道本設引込工事・撤去工事			O			
下水道本設引込工事・撤去工事			O			
ガス本設引込工事・撤去工事			O			
本設後引渡しまでの電力・上下水・ガス基本使用料金	O	O	O			
電話本設引込工事		O				
各種申請届出・検査費用					O	施主負担
受電後引渡しまでの受電設備保安委託料		O				

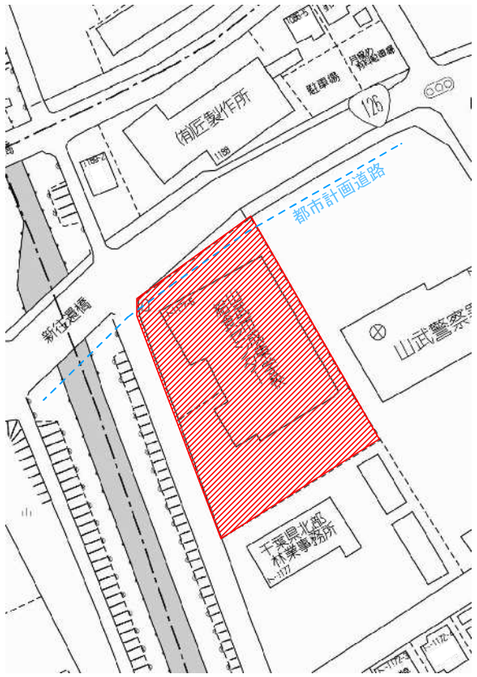
NOTE　A:建築工事　別途:別途工事
E:電気設備工事
M:機械設備工事
EV:エレベーター設備工事

検図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
		JOB	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	工事区分表	NS	A- 013

■ 案内図

計画地 ：千葉県山武市富田字三日月ト1177番6の一部





■ 建築概要

工事名称	山武市学校給食センター 改築工事	構　造	鉄骨造	基　礎	杭基礎
工事場所	千葉県山武市富田トの1177番地6（住居表示） 千葉県山武市富田字三日月ト1177番6の一部(地名地番)	規　模	地上2階		
		消防法上の用途	－		
建　築　主	山武市	建築面積	1,731.23㎡（緩和適用：1,591.53㎡）		
建物用途	学校給食共同調理場	建ぺい率	53.11%＜60%　（附属建築物を含む）		
工事種別	新築	延床面積	2,218.25㎡（671.02坪）		
敷地面積	3,003.14㎡（908.45坪）2,997.07㎡（道路後退後）（道路後退分：6.07㎡）	容積対象	2,202.67㎡		
用途地域	指定なし	容積率	73.50%＜200%　（附属建築物を含む）		
前面道路	－	附属建築物	受水槽ポンプ室：7.5㎡　消火水槽ポンプ室：4.0㎡		
防火地域	指定なし				
建物高さ	最高高さ：　指定なし				
許容建蔽率	60%(建物面積限度:2997.07×0.6=1798.24㎡)				
許容容積率	200%(床面積限度:2997.07×2.0=5994.14㎡)				
地域地区等	高度地区 なし				
その他	屋根：法22条、外壁：法23条				

■外部仕上表

２階屋根	ガルバリウム t0.8+0.6 折板(2重折板・断熱材敷込)葺、軒樋W200既製品
１階屋根	アスファルト保護断熱防水、軒樋：塩化ビニル t=0.4
樋、ドレイン	竪樋 VPΦ100 @4500、横引きドレイン
庇	屋根：ガルバリウム t0.6 立馳葺、軒樋W200既製品、破風:アルミパネル t=1.0 焼付塗装 軒天：アルミスパンドレル t=1.0 W200
巾木	モルタル金ゴテ仕上
外　壁	ALC t100 横貼り ＋ 防水型複層仕上塗材吹付け（一部アルミパネル t=2.0 焼付塗装）

■ 断熱仕様 ：断熱材の仕様及び施工箇所は下表による

温熱環境の地域区分：Ⅳ地域：千葉県　　断熱材の部屋内巻込み及び梁部分下がりは図示による

部　位	使用箇所	種　類	厚さ（d）（m）	熱伝導率（λ）（W／m・K）	熱抵抗値(R) R＝d／λ（㎡・K／W）
屋根又は天井	屋根（ｱｽﾌｧﾙﾄ防水）	押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ	0.050	0.035	1.428
	屋根（ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ折板）	グラスウール 10kg/㎥（2重折板内敷込）	0.100	0.050	2.000
壁	外壁	吹付硬質ウレタンフォームＡ種１Ｈ	0.050	0.034	1.470
床	床下	押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ	0.050	0.035	1.428

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				(仮称)山武市学校給食センター改築工事	建築概要・案内図・外部仕上表	N.S.	A-014 KA-01

内 部 仕 上 表

特 記 事 項 1 （内外共通）

1. 仕上材料として用いる材料のホルムアルデヒド放散量の等級は、F☆☆☆☆とし、家具等の合板類及び接着剤もすべてF☆☆☆☆とする。
2. 建築物の基礎、主要構造部及び建令第144の3に規定する部分に使用する指定建築材料の種別は、日本工業規格又は日本農林規格の規格に適合するものとする。
3. 法28条の2~1項および2項の規定に基づき、当建築物で使用する材料は、石綿その他の物質の建築材料からの飛散又は発散による衛生上の支障がない材料を使用するものとする。

内装制限適用事項

平成12年5月31日建設省告示第1436号四項ニ

(1):壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを準不燃材料でし、かつ、屋外に面する開口部以外の開口部のうち、居室又は避難の用に供する部分に面するものに法第2条第九号の二ロに規定する防火設備で令112条第14項第一号に規定する構造であるものを、それ以外のものに戸又は扉を、それぞれ設けたもの(室)

(2):床面積が100㎡以下で、令126条の2第1項に掲げる防煙壁により区画されたもの(室)

(3):床面積100㎡以内ごとに準耐火構造の床若しくは壁又は法第2条第九号の二ロに規定する防火設備で令第112条第14項第一号に規定する構造であるものによって区画され、かつ、壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを準不燃材料でしたもの(居室)

(4):床面積が100㎡以下で、壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを不燃材料でし、かつ、その下地を不燃材料で造ったもの

特 記 事 項 2

特記なき限り下記の通りとする

1. 1時間耐火構造については日本木造住宅産業協会仕様による
2. ビニル床シート張は継目溶接とする
3. 特記無き巾木はH=60とする
4. 壁、天井のクロス張下地の石膏ボードは、継目処理を行う。
5. 壁のクロスは、不燃・防かび仕様とする
6. 天井下地は軽量鉄骨とする。(外部は耐風圧型を使用)
7. 壁仕上において、タイルとクロスの取合の見切は、シーリングを施すものとする。
8. 天井廻り縁は、塩ビ製とする。
9. 耐火間仕切り壁は、梁下及びスラブ下までとし、必要な耐火シール等の施工を完璧に行う。
10. 外部に面する壁、建具廻りには現場発泡ウレタン吹付 t=30を行う。
11. 外部に面するスラブ下面は、現場発泡ウレタン吹付 t=30を行う。
12. １階スラブ下にはグラスウール引き込み
13. 天井点検口は特記無き限りｱﾙﾏｲﾄとする。（設置ヶ所：**）
14. 1F床化粧ハッチ（防臭型）。（設置ヶ所：**）
15. 全ての窓にブラインド設置
16. 居室内ＰＳにおいて，壁GB-Rは二重貼とし、上下共スラブまで貼り、スラブ取合部はシーリング施工とする。
17. キッチン・トイレ・洗面室の壁下地はGB-Ｓｔ＝１２．５、天井はGB-Ｓｔ＝12.5とする。
18. キッチン・コンロ廻りは、防火構造とする。（下地は不燃GB-Ｓｔ＝１２．５＋KBｔ＝６以上を使用）
19. サッシ額縁:オレフィンシート貼り(浴室はアルミ額縁)

凡 例

略 号	仕 上 げ 材 等
CB	コンクリートブロック積み
GB-R	せっこうボード
GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧無し:下地張り用)
GB-NT	不燃積層せっこうボード(化粧あり:ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
GB-D	化粧せっこうボード
GB-S	シージングせっこうボード(準不燃:タイガー防水ボード、不燃:タイガー不燃防水ボード程度)
GB-F	強化せっこうボード(タイガーボード・タイプZ程度)
GB-R-H	普通硬質せっこうボード(タイガーハイパーハードC程度)
KB	けい酸カルシウム板
SOP	合成樹脂調合ペイント(艶消し)塗り（木部、鉄鋼面及び亜鉛メッキ鋼面）
CL	クリヤラッカー塗り （木部）
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り （屋内のコンクリート面、モルタル面）
DP	耐候性塗料塗り （屋外の鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面、コンクリート面等）
EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り （※1）
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り （※2）
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り （屋内のコンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面等）
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り （木部）
LE	ラッカーエナメル塗り （木部）
OS	オイルステイン塗り （木部）
WP	木材保護塗料塗り （木部）

※1:コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等並びに屋内の木部、鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼

※2:コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等

略 号	名 称
LGS	軽量鉄骨下地
CB	カーテンボックス
CL	カーテンレール
GL	GL工法(吉野石膏仕様)
UL	UL工法(吉野石膏仕様)
SL	セルフレベリング下地
Pレール	ピクチャーレール
NC①	長尺塩ビシート
NC②	特殊防滑長尺シート
HT	ホモジニアスビニル床タイル
HTL	置敷きビニル床タイル

防 火 材 認 定 番 号

GB-R	t=9.5	準不燃	QM-9828
GB-R	t=12.5	不燃	NM-8619
GB-NC	t=9.5	不燃	NM-0441
GB-R-H	t=9.5、12.5、15	不燃	NM-9645
		不燃	NM-1908
GB-S	t=9.5、12.5	準不燃	QM-9826
GB-S	t=12.5	不燃	NM-9639
GB-F	t=12.5，15，21	不燃	NM-8615
GB-F(V)	t=15.21(ひる石入り)	不燃	NM-8615
軽量化粧せっこうボード	t=9.5	不燃	NM-1864
キッチンパネル		不燃	NM-2183
ビニールクロス		不燃	NM-9903
耐水ビニールクロス		不燃	NM-3992
化粧シート		不燃	NM-3958
ケイ酸カルシウム板	化粧ケイ酸カルシウム板	不燃	NM-1217
岩綿吸音板		不燃	NM-8599
耐久間仕切	ハイパーウォールZ	耐火	FP060NP-0199
	ハイパーウォールZ＋GW	耐火	FP060NP-0200
	Sウォール	耐火	FP060NP-0007
	Sウォール・100	耐火	FP060NP-0189
	S12・W I	耐火	FP060NP-0175
		遮音	SOI-0110
	S12	耐火	FP060NP-0174
吹付ﾛｯｸｳｰﾙ半乾式	t=25(1時間耐火)	柱	FP060CN-9460
		梁	FP060BM-9408
発泡性耐火塗料被覆	1時間耐火	柱	FP060CN-9472
		梁	FP060BM-9419

内 部 仕 上 表 1

区 分	室 名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地(仕上下地)	天井 仕上	廻縁	天井高	ｶｰﾃﾝbox ﾌﾞﾗｲﾝﾄbox	備考 本工事	備考 設備工事	備考 別途工事	内装制限 適用区分
1階	風除室	RC	300角磁気質タイル	磁器質タイル	150	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500		下足入れ			不燃(下地仕上共)
	玄関	RC	ビニル床タイル t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500		受付カウンター	手洗い		不燃(下地仕上共)
	共用廊下	RC	ビニル床タイル t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500					不燃(下地仕上共)
	事務室	RCの上、OAフロア	ビニル床タイル t2.5 (OAフロア)	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500	○	ミニキッチン、受付カウンター ブラインド		机、椅子、キャビネット	不燃(下地仕上共)
	給湯コーナー	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500					不燃(下地仕上共)
	更衣室	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500				ロッカー	不燃(下地仕上共)
	職員用WC	RC	ビニル床シート t2.5	床材巻上げ	100	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2400			手洗い、便器		不燃(下地仕上共)
	調理員WC	RC	ビニル床シート t2.5	床材巻上げ	100	LGS/GL GB-R t12.5	EP-G	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500			手洗い、便器		不燃(下地仕上共)
	書庫	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木 H60	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500				キャビネット	不燃(下地仕上共)
	調理員専用廊下	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木 H60	60	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500					不燃(下地仕上共)
	検収室前室	RC	ビニル床シート t2.5 特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500		姿見鏡	手洗い		不燃(下地仕上共)
	汚染作業区域前室準備室	RC	ビニル床シート t2.5 特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500		姿見鏡	非接触手洗い	クリーンロッカーなど	不燃(下地仕上共)
	非汚染作業区域前室準備室	RC	ビニル床シート t2.5 特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500		エアシャワー	非接触手洗い	クリーンロッカーなど	不燃(下地仕上共)
	パスボックス廃棄物	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500					不燃(下地仕上共)
	器具洗浄室1～3	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500			手洗い	シンク、消毒保管庫など	不燃(下地仕上共)
	皮むき室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500			手洗い	皮むき器など	不燃(下地仕上共)

NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	内部仕上表（1）	NS	A-015 KA-02

内 部 仕 上 表 2

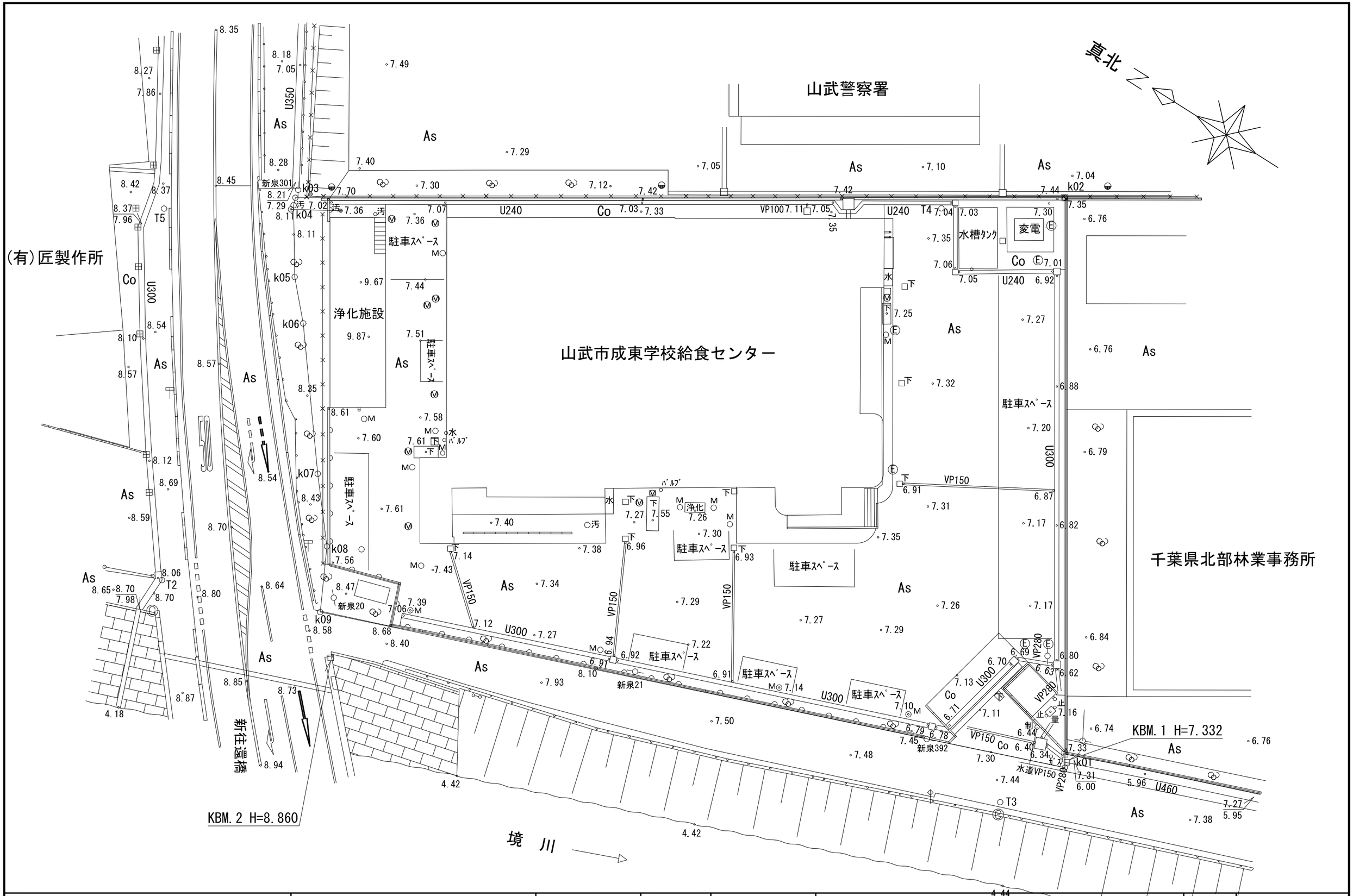
区分	室名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地(仕上下地)	天井 仕上	天井 廻縁	天井高	カーテンbox ブラインドbox	備考 本工事	備考 設備工事	備考 別途工事	内装制限適用区分
1階	荷受室(パン・麺、肉魚類、野菜類)	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500			手洗い		不燃(下地仕上共)
	廃棄物庫	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500					不燃(下地仕上共)
	食油庫	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500			手洗い	給油槽など	不燃(下地仕上共)
	検収室(肉魚類、野菜類)	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500				検収台など	不燃(下地仕上共)
	冷凍室・冷蔵室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL	カラー鋼板ユニット	LGS	カラー鋼板ユニット	塩ビ	2500				プレハブ冷蔵庫、プレハブ冷凍庫	不燃(下地仕上共)
	野菜下処理室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500		受渡しカウンター	手洗い	シンクなど	不燃(下地仕上共)
	食品庫	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500				冷蔵庫など	不燃(下地仕上共)
	計量仕分室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2080 2500		受渡しカウンター	手洗い	作業台など	不燃(下地仕上共)
	米庫	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	3500			手洗い	納米庫など	不燃(下地仕上共)
	洗米室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	3500				洗米送米機など	不燃(下地仕上共)
	炊飯室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2470 2700 3500 3900			手洗い	連続炊飯器など	不燃(下地仕上共)
	揚物焼物調理室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2470 3000			手洗い	連続フライヤーなど	不燃(下地仕上共)
	上処理コーナー	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500					不燃(下地仕上共)
	アレルギー対応専用調理室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500			手洗い	スチームコンベクションオーブンなど	不燃(下地仕上共)
	煮炊き調理室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6 (～H1800) ケイカル板 t6 + EP-G (H1800～)	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2470 2500 2800 (吹抜部7000)			手洗い	回転釜など	不燃(下地仕上共)
	和え物室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	3000			手洗い	和え釜など	不燃(下地仕上共)
	和え物準備室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	3000			手洗い	コンベクションオーブンなど	不燃(下地仕上共)
	コンテナプール	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2470 2700 3300			手洗い	コンテナ消毒保管庫など	不燃(下地仕上共)
	洗浄室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	3300			手洗い	洗浄機など	不燃(下地仕上共)
	配送風除室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2950		ガードポール	手洗い		不燃(下地仕上共)
	配送回収前室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2700			手洗い	クリーンロッカーなど	不燃(下地仕上共)
	回収風除室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-F t15 LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2950		ガードポール	手洗い	シンクなど	不燃(下地仕上共)
	汚染作業区域準備室	RC	ビニル床シート t2.5 特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2500		姿見鏡	非接触手洗い	クリーンロッカーなど	不燃(下地仕上共)
	厨芥室	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2700			手洗い	厨芥処理機など	不燃(下地仕上共)
	備品庫	RC	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材貼上(R仕様)	400	LGS/GL GB-R t12.5	化粧ケイカル板 t6	LGS	ケイカル板 t6 + EP-G	塩ビ	2700					不燃(下地仕上共)

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE ※※ JOB	TITLE (仮称) 山武市学校給食センター改築工事	ITEMS 内部仕上表(2)	SCALE NS	NO. A-016 KA-03

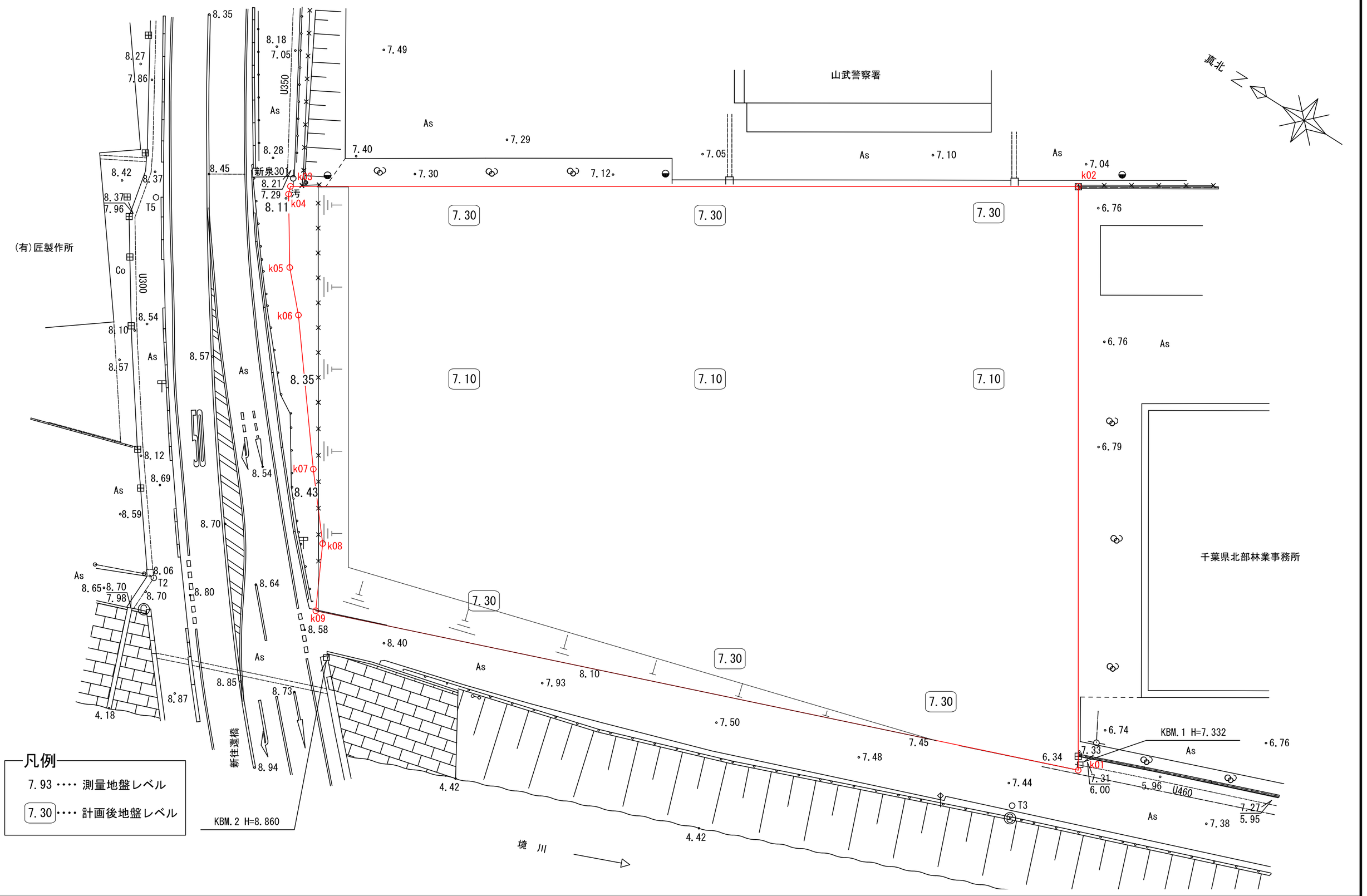
内 部 仕 上 表 3

区 分	室 名	床 下地	床 仕 上	巾木 仕 上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕 上	天 井 下地(仕上下地)	天 井 仕 上	天 井 廻縁	天井高	カーテンbox ブラインドbox	備 考 本工事	備 考 設備工事	備 考 別途工事	内装制限 適用区分
1階	盤室	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500					不燃 (下地仕上共)
	調理員専用階段	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ						不燃 (下地仕上共)
	一般用階段	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ						不燃 (下地仕上共)
2階	EVホール	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500		トイレブース、手洗いカウンター	手洗い、便器、SK		不燃 (下地仕上共)
	一般用WC、多目的WC	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500		トイレブース、手洗いカウンター	手洗い、便器、SK		不燃 (下地仕上共)
	多目的会議室	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500	○	調理実習台 ブラインド	プロジェクター、スクリーン	机、椅子	不燃 (下地仕上共)
	会議室倉庫	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500					不燃 (下地仕上共)
	防災備蓄倉庫	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2700				ワイヤーシェルフ、備蓄品など	不燃 (下地仕上共)
	ホール	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500		展示什器		体験用厨房機器	不燃 (下地仕上共)
	手洗いコーナー	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス	LGS GB-R	ビニルクロス	塩ビ	2500					不燃 (下地仕上共)
	調理員WC	RC	ビニル床シート t2.5	床材巻上げ	100	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500			手洗い、便器		不燃 (下地仕上共)
	調理員休憩室	RC	ビニル床シート t2.5 一部畳敷き　一部フローリング	ビニル巾木 H60	60	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500	○	畳敷き小上がり ブラインド	手洗い		不燃 (下地仕上共)
	調理員更衣室	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木 H60	60	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500	○	姿見鏡 ブラインド		ロッカー	不燃 (下地仕上共)
	調理員専用廊下	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木 H60	60	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500					不燃 (下地仕上共)
	調理員事務室	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木 H60	60	LGS/GL GB-R t12.5	EP	LGS GB-R	EP	塩ビ	2500	○	ブラインド			不燃 (下地仕上共)
	洗濯乾燥室	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木 H60	60	LGS/GL GB-R t12.5	ケイカル板 t6 + EP	LGS	ケイカル板 t6 + EP	塩ビ	2500		物干しフック	洗濯パン、二槽シンク	洗濯機、乾燥機	不燃 (下地仕上共)
	機械室	RC	防塵塗装	床材塗上	100	LGS/GL GB-R t12.5	ケイカル板 t6 + EP-G	LGS GB-R	グラスウールt50 ガラスクロス	塩ビ	2700			ボイラー機器		不燃 (下地仕上共)
	電気室1	RC	防塵塗装	床材塗上	100	LGS/GL GB-R t12.5	ケイカル板 t6 + EP-G	LGS GB-R	素地アラワシ	塩ビ	2700			ボイラー機器		不燃 (下地仕上共)
	電気室2	RC	防塵塗装	床材塗上	100	LGS/GL GB-R t12.5	ケイカル板 t6 + EP-G	LGS GB-R	素地アラワシ	塩ビ	2500			ボイラー機器		不燃 (下地仕上共)
	倉庫	RC	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木	H60	LGS/GL GB-R t12.5	ビニルクロス (一部 EP)	LGS GB-R	EP	塩ビ	2600				ワイヤーシェルフ、備蓄品など	不燃 (下地仕上共)
	設備ダクトスペース	RC	防塵塗装	壁材素地	-	LGS/GL GB-R t12.5 ALC t100	素地	-	屋根折板表わし	-	-					

NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	内部仕上表（3）	NS	A－017 KA-04



NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	敷地現況図	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	A-018 KA-05



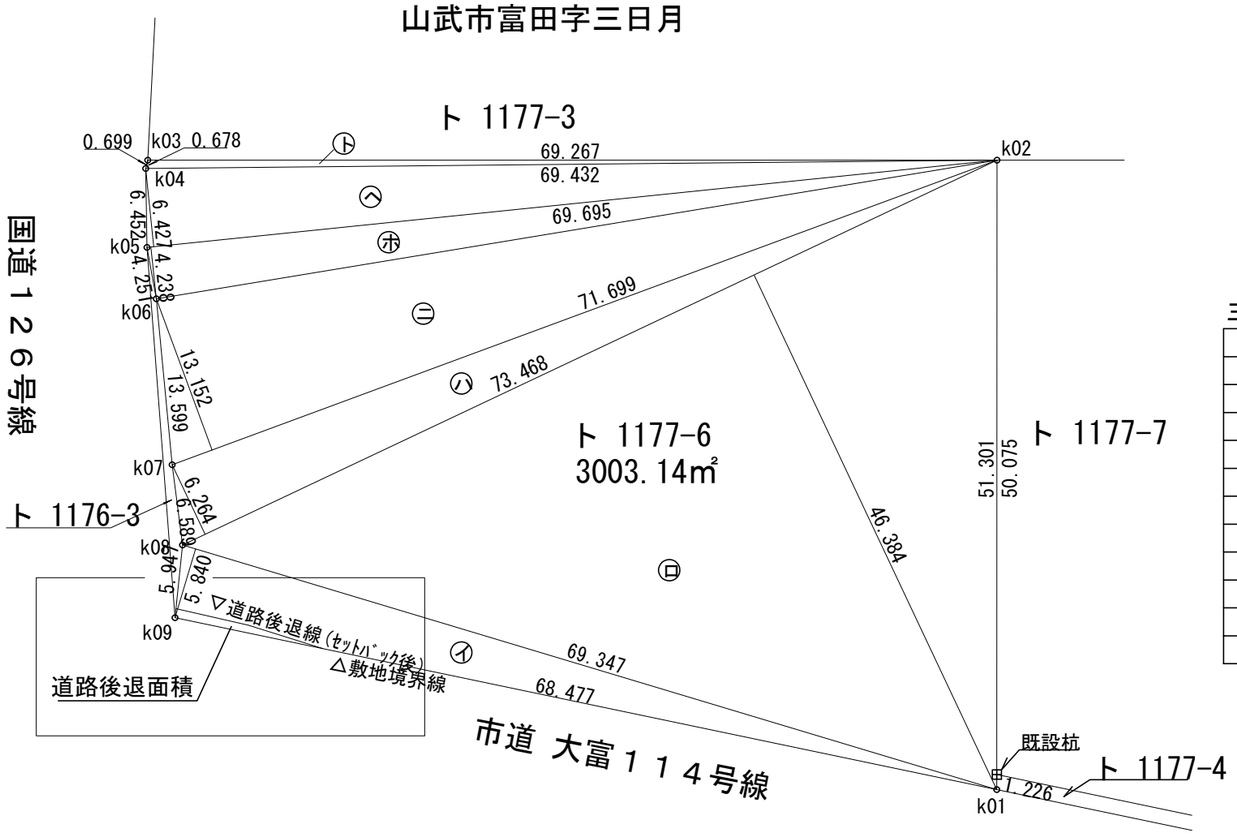
NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	解体後配置図	1/300	A-019 K-003

座標一覧表

点　名	X座標	Y座標
k01	-43183.866	52783.332
k02	-43156.416	52826.671
k03	-43097.900	52789.607
k04	-43098.127	52788.946
k05	-43101.663	52783.549
k06	-43104.546	52780.425
k07	-43112.896	52769.691
k08	-43117.093	52764.612
k09	-43119.748	52759.291
既設杭	-43183.210	52784.367

敷地面積求積図　S=1/500

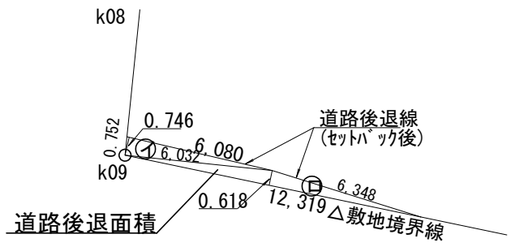
山武市富田字三日月



三斜面積求積表

地　番	ト 1177-6		
符　号	底　辺	高　さ	倍　面　積
㋑	69.347	5.840	404.986480
㋺	73.468	46.384	3407.739712
㋩	73.468	6.264	460.203552
㋥	71.699	13.152	942.985248
㋭	69.695	4.238	295.367410
㋬	69.695	6.427	447.929765
㋣	69.432	0.678	47.074896
		合　計	6006.287063
		合　計　面　積	3003.1435315
		地　積	3003.14 ㎡

道路後退面積求積図　S=1:250



三斜面積求積表

地　番	道路後退面積		
符　号	底　辺	高　さ	倍　面　積
㋑	6.080	0.746	4.535680
㋺	12.319	0.618	7.613142
		合　計	12.148822
		合　計　面　積	6.074411
		地　積	6.07 ㎡

土地利用面積一覧表

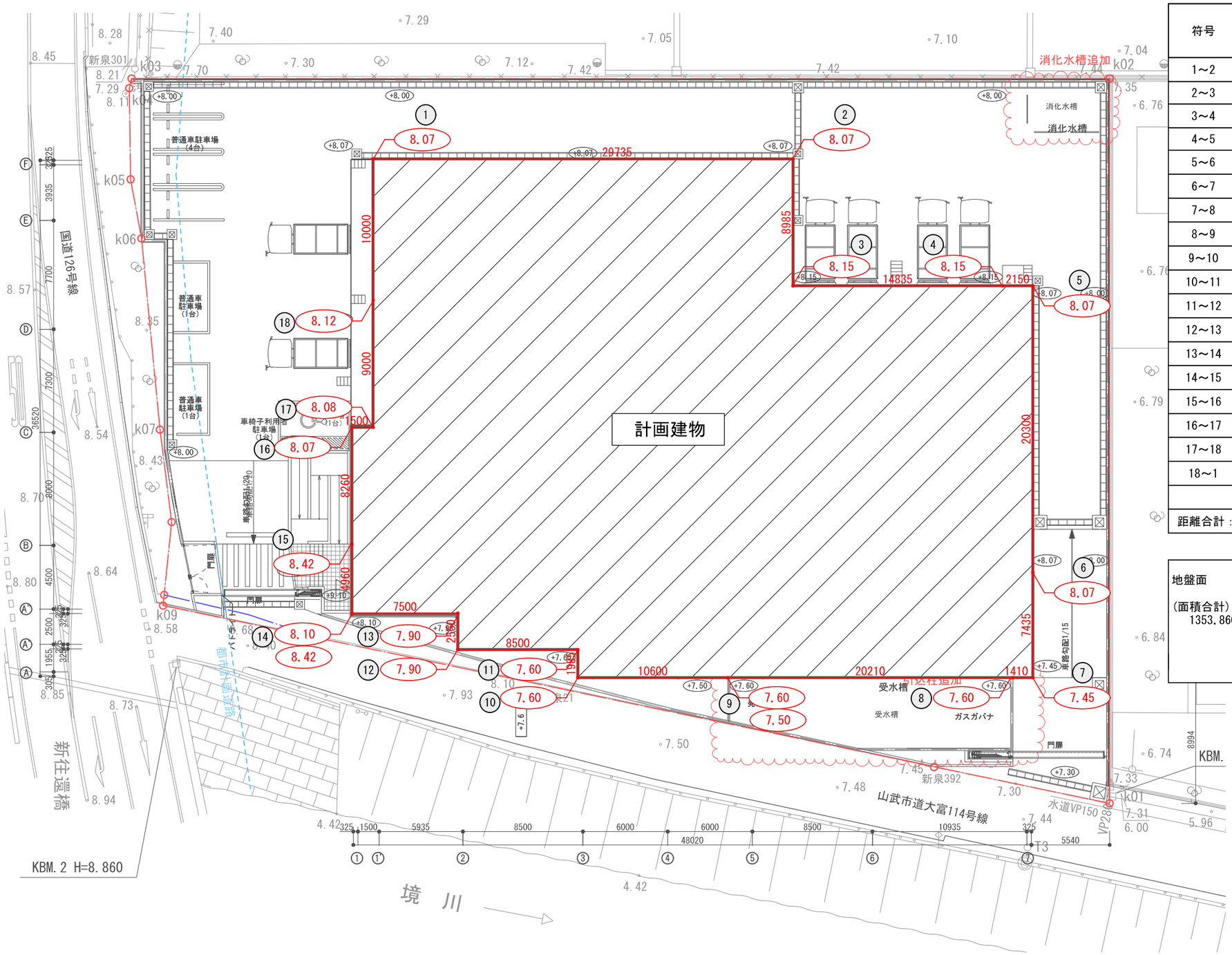
区　分	面積（㎡）	備　考
建築敷地面積	2,997.07㎡	
道路後退面積	6.07㎡	ｾｯﾄﾊﾞｯｸ道路
敷地全体面積	3,003.14㎡	地番ト1177-6

境界点凡例

⊞	コンクリート境界杭
○	計算点

全点：全て既設杭から算出

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	敷地求積図	S=1/250(A1) S=1/500(A3)	A－020 ＫＡ－006



平均地盤算定表

符号	計算式						面積(㎡)
	距離(m)	地盤面高さ(m)					
1～2	29.735	× (	8.070 +	8.070) ×	1/2		239.961450
2～3	8.985	× (	8.070 +	8.150) ×	1/2		72.868350
3～4	14.835	× (	8.150 +	8.150) ×	1/2		120.905250
4～5	2.150	× (	8.150 +	8.070) ×	1/2		17.436500
5～6	20.300	× (	8.070 +	8.070) ×	1/2		163.821000
6～7	7.435	× (	8.070 +	7.450) ×	1/2		57.695600
7～8	1.410	× (	7.450 +	7.600) ×	1/2		10.610250
8～9	20.210	× (	7.600 +	7.600) ×	1/2		153.596000
9～10	10.600	× (	7.500 +	7.600) ×	1/2		80.030000
10～11	1.985	× (	7.600 +	7.600) ×	1/2		15.086000
11～12	8.500	× (	7.600 +	7.900) ×	1/2		65.875000
12～13	2.550	× (	7.900 +	7.900) ×	1/2		20.145000
13～14	7.500	× (	7.900 +	8.100) ×	1/2		60.000000
14～15	4.960	× (	8.420 +	8.420) ×	1/2		41.763200
15～16	8.260	× (	8.420 +	8.070) ×	1/2		68.103700
16～17	1.500	× (	8.070 +	8.080) ×	1/2		12.112500
17～18	9.000	× (	8.080 +	8.120) ×	1/2		72.900000
18～1	10.000	× (	8.120 +	8.070) ×	1/2		80.950000
距離合計：	169.915			面積合計：			1353.859800

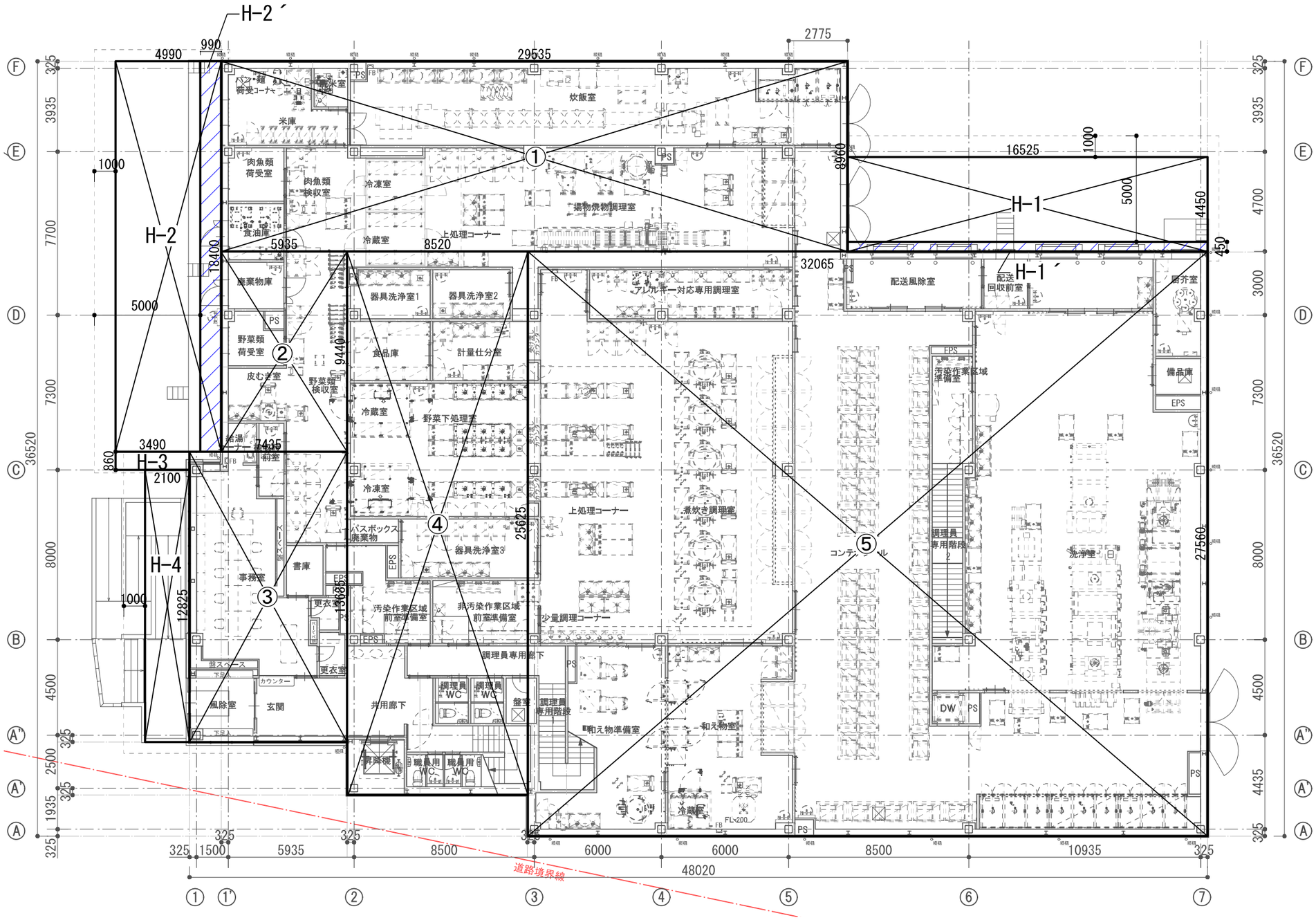
地盤面

(面積合計) 1353.860 / (距離合計) 169.915 = 7.967865

= 7.96

平均地盤面(m) = 設計GL (8.00) −0.04= 7.96

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	平均地盤算定図	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	A−021 ＫＡ−007



■建築面積

①	29.535	×	8.960	=	264.634㎡
②	5.935	×	9.440	=	56.026㎡
③	7.435	×	13.685	=	101.748㎡
④	8.520	×	25.625	=	218.325㎡
⑤	32.065	×	27.560	=	883.711㎡
H-1	16.525	×	4.450	=	73.536㎡
H-2	18.400	×	4.990	=	91.816㎡
H-3	3.490	×	0.860	=	3.001㎡
H-4	12.825	×	2.100	=	26.933㎡
合計					1719.731㎡
					1719.73㎡

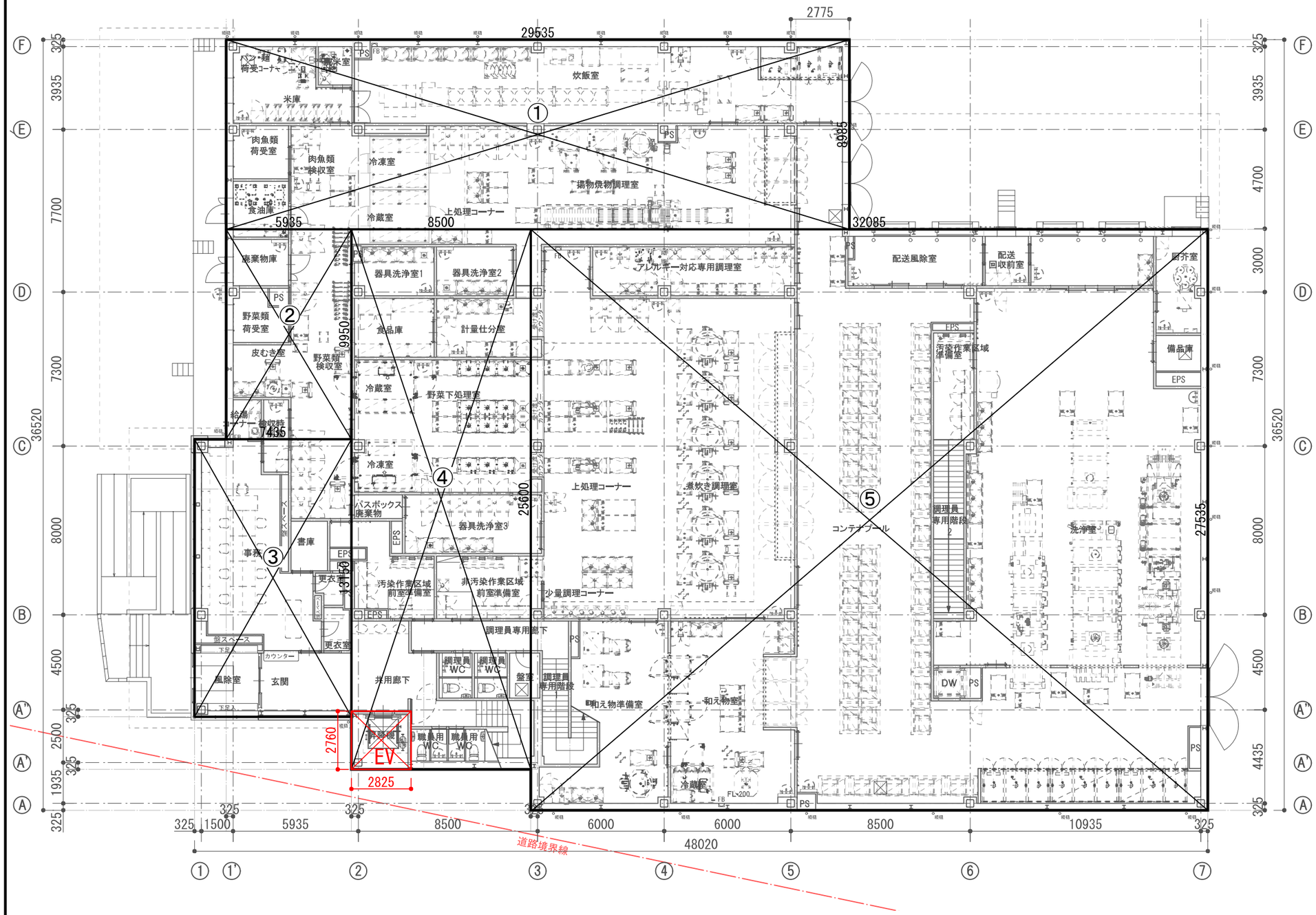
■建蔽率算定建築面積（令和5年 政令34号緩和適用）

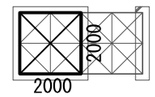
①	29.535	×	8.960	=	264.634㎡
②	5.935	×	9.440	=	56.026㎡
③	7.435	×	13.685	=	101.748㎡
④	8.520	×	25.625	=	218.325㎡
⑤	32.065	×	27.560	=	883.711㎡
H-1´	16.525	×	0.450	=	7.436㎡
H-2´	18.400	×	0.990	=	18.216㎡
H-3	3.490	×	0.860	=	3.001㎡
H-4	12.825	×	2.100	=	26.933㎡
合計					1580.031㎡
					1580.03㎡

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建物求積図・求積表（1）	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-022 KA-08

■1階床面積

①	29.535	×	8.985	＝	265.372㎡
②	5.935	×	9.950	＝	59.053㎡
③	7.435	×	13.150	＝	97.770㎡
④	8.500	×	25.600	＝	217.600㎡
⑤	32.085	×	27.535	＝	883.460㎡
合計					1523.256㎡
					1523.25㎡

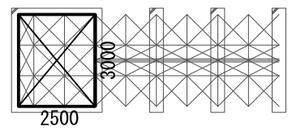




消火水槽

床面積（＝建築面積）

2.00×2.00＝4.00㎡

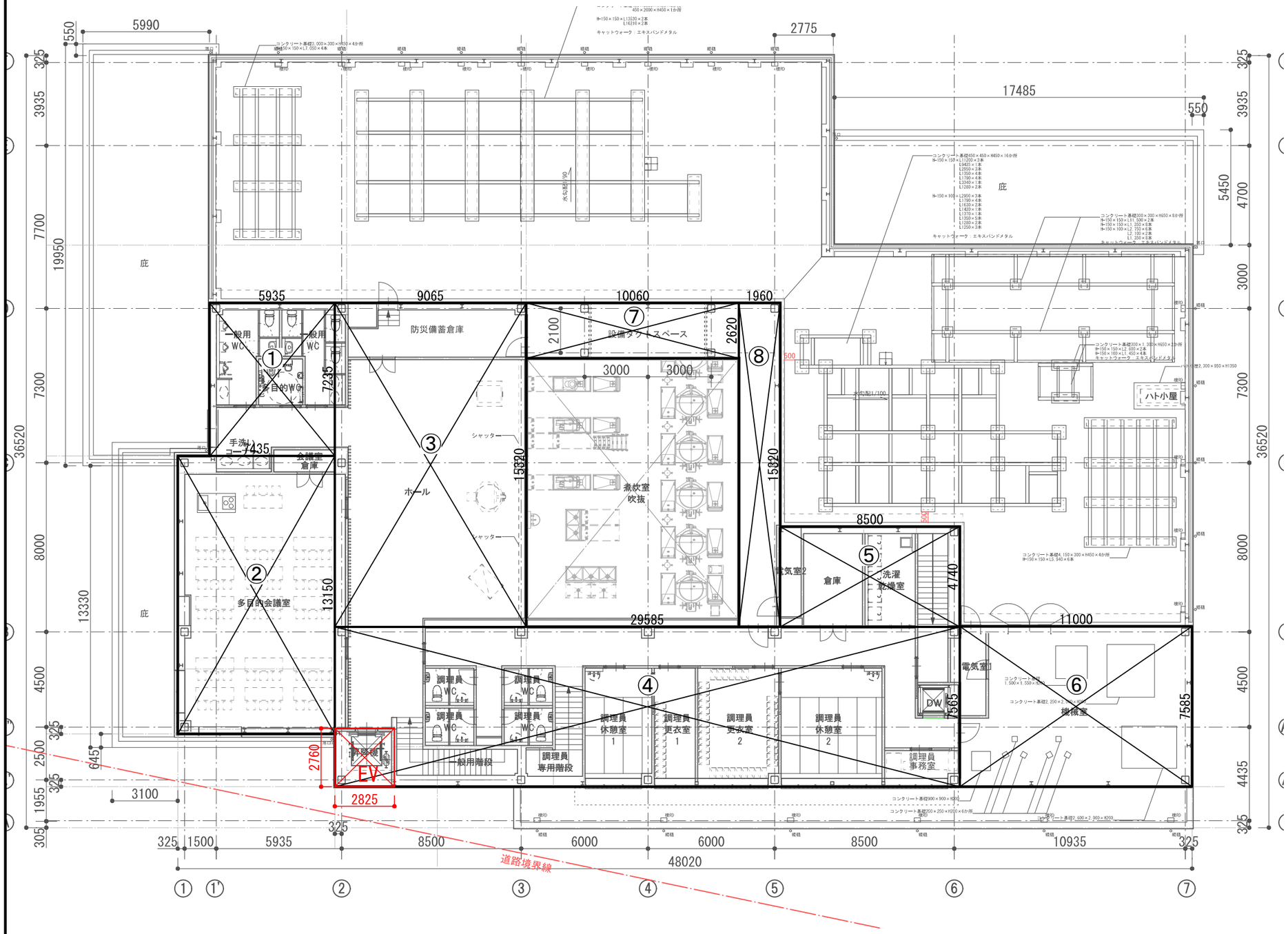


受水槽

床面積（＝建築面積）

2.50×3.00＝7.50㎡

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建物求積図・求積表（2）	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-023 KA-09



■2階床面積

①	5,935	×	7,235	＝	42,940㎡
②	7,435	×	13,150	＝	97,770㎡
③	9,065	×	15,320	＝	138,876㎡
④	29,585	×	7,565	＝	223,811㎡
⑤	8,500	×	4,740	＝	40,290㎡
⑥	11,000	×	7,585	＝	83,435㎡
⑦	10,060	×	2,620	＝	26,357㎡
⑧	1,960	×	15,320	＝	30,027㎡
合計					683,506㎡
					683,50㎡

■延床面積

1階床面積	1523,25㎡
2階床面積	683,50㎡
合計	2206,75㎡

■EV面積

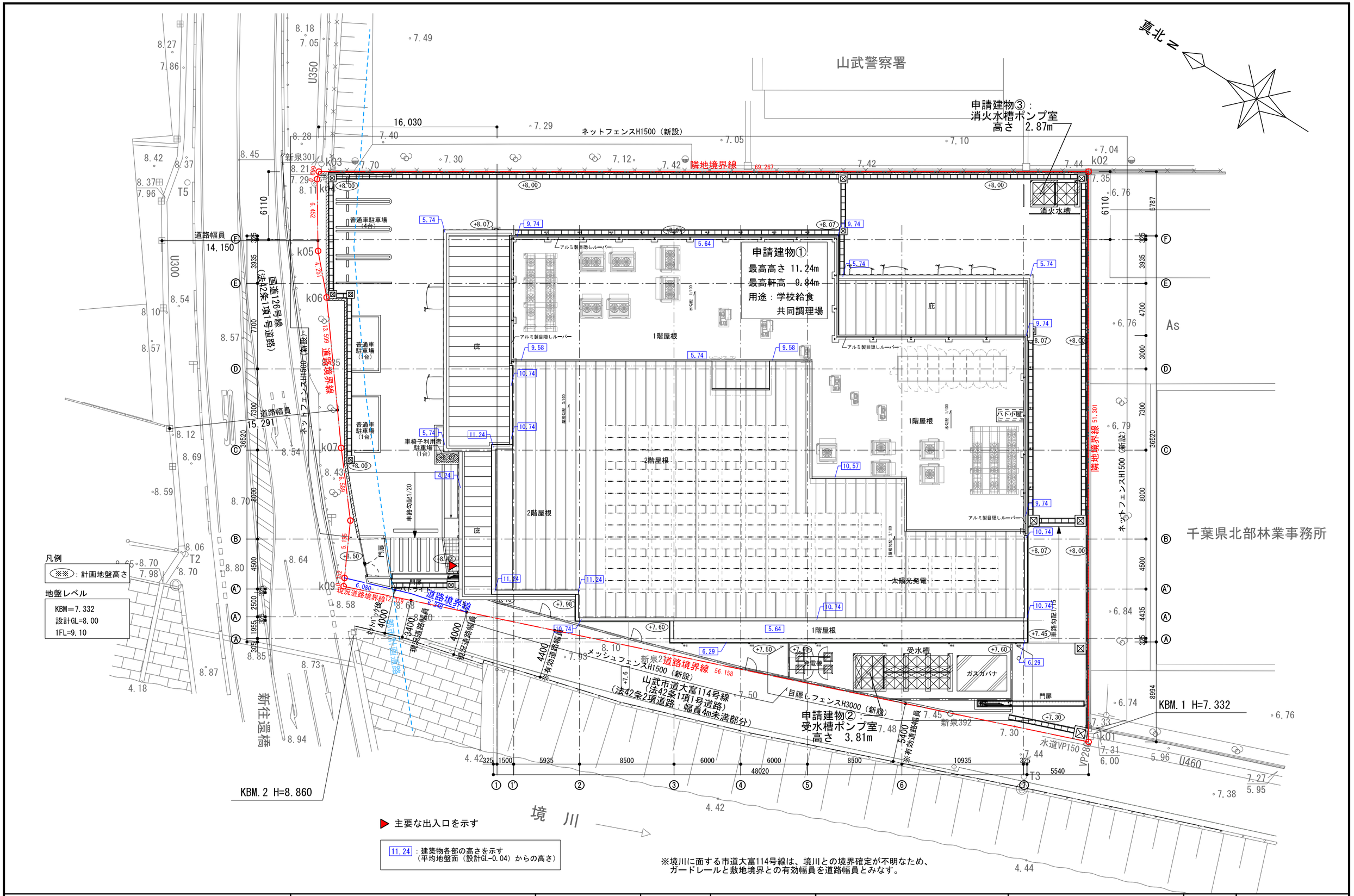
1階EV	2,825	×	2,760	＝	7,797㎡
2階EV	2,825	×	2,760	＝	7,787㎡
合計					15,584㎡
					15,58㎡

■容積対象面積

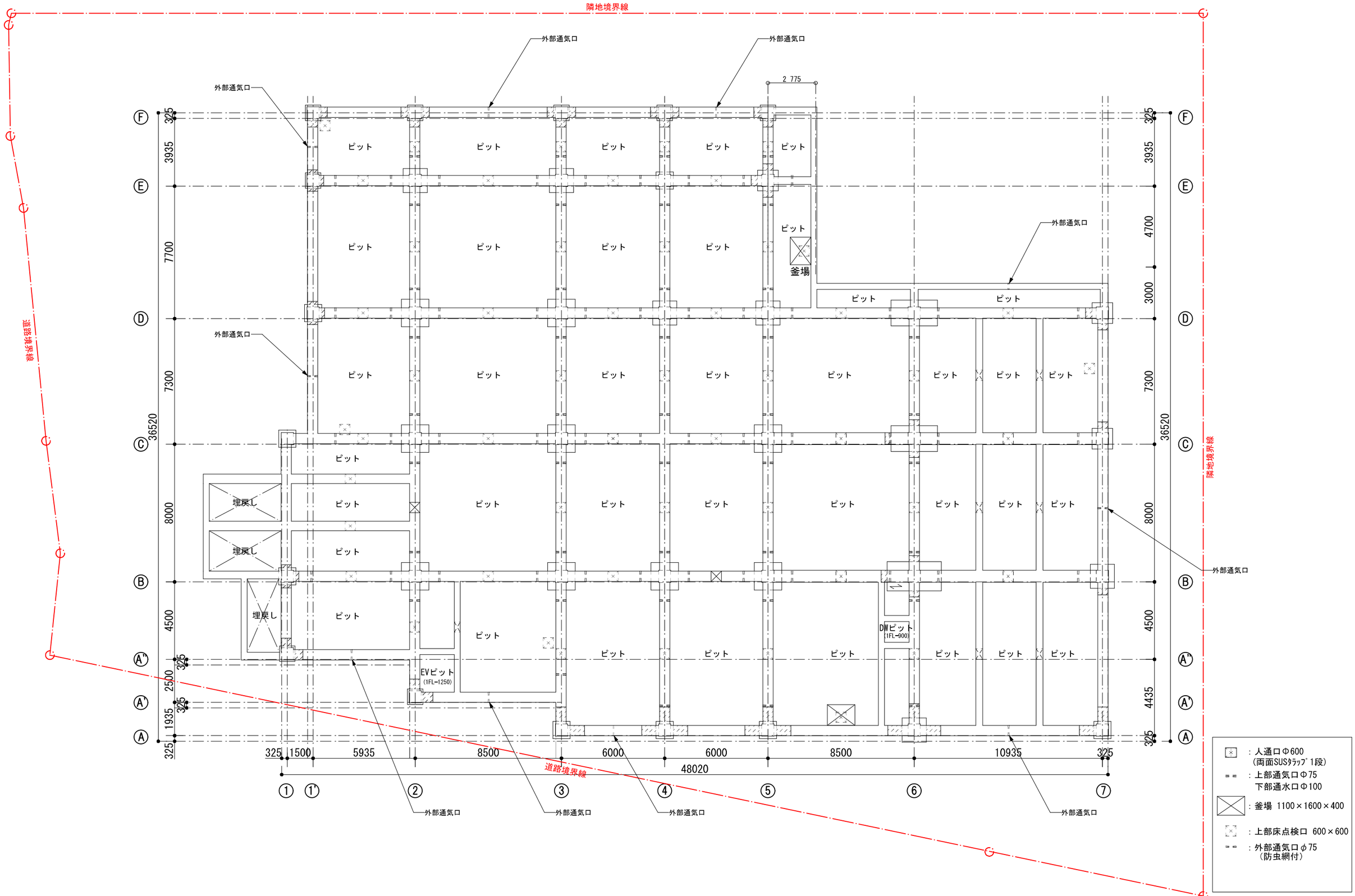
延床面積ーEV面積＝2191.17

2191.17㎡

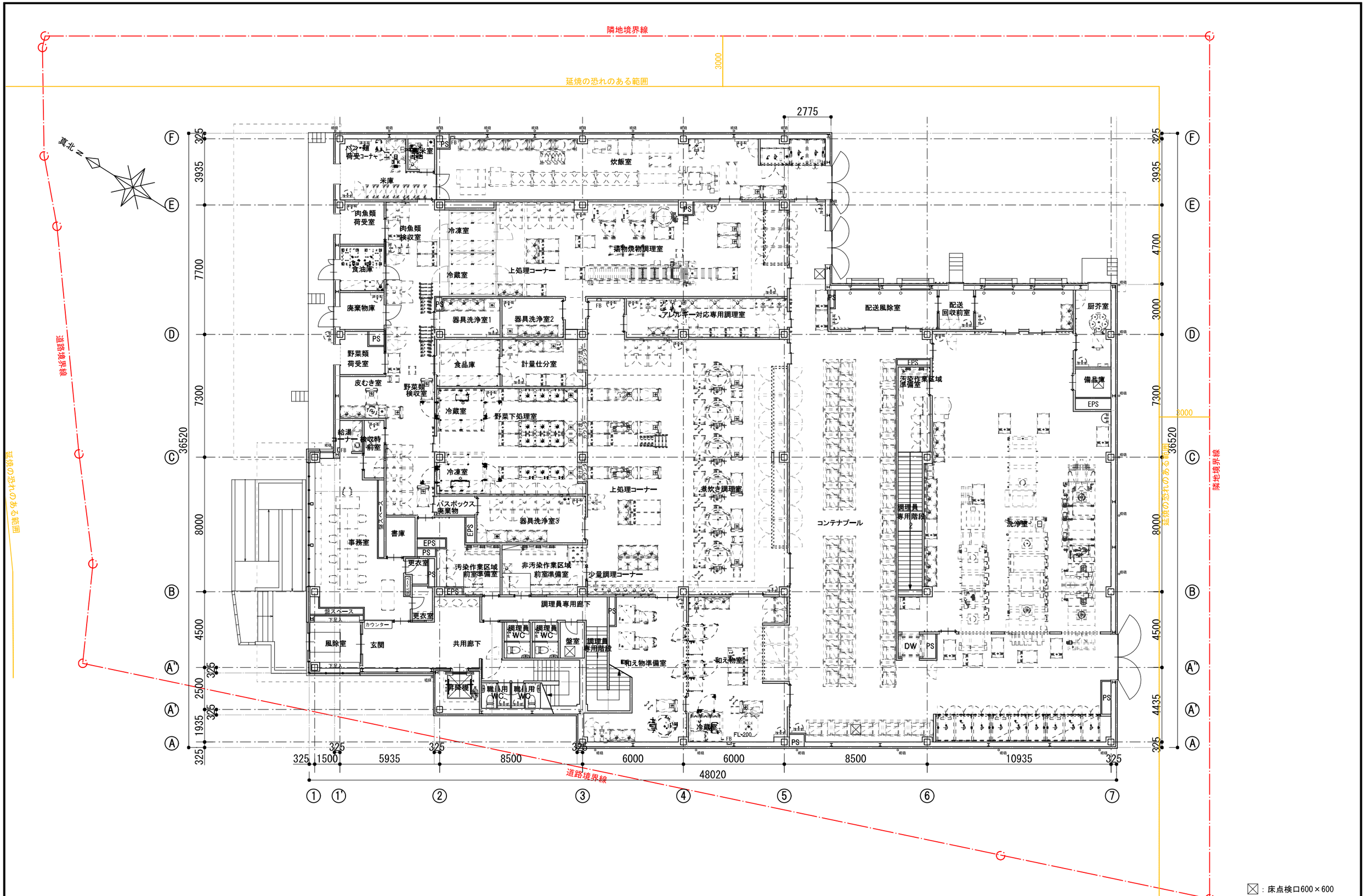
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建物求積図・求積表（3）	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-024 KA-10



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	配置図	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	A-025

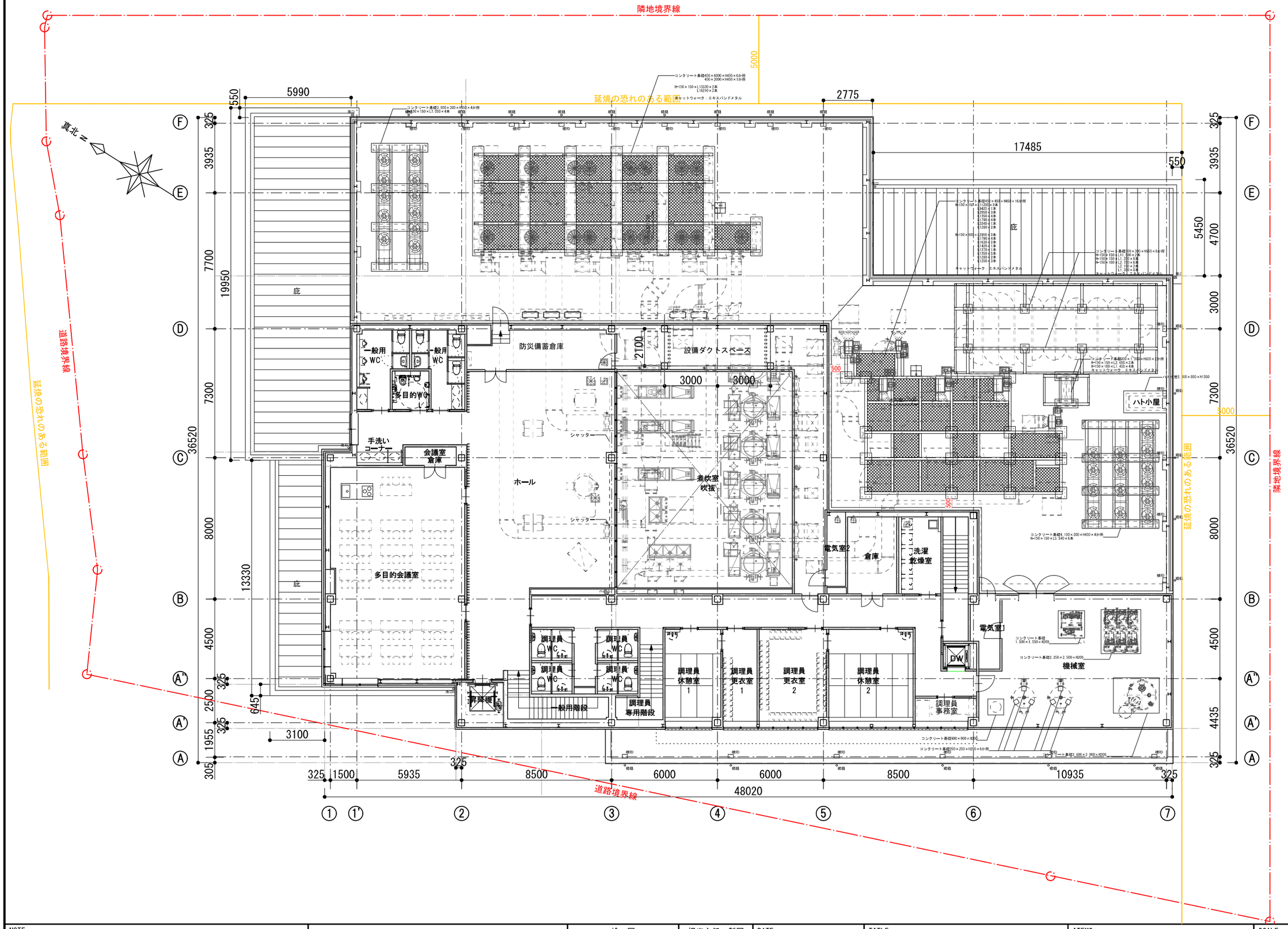


NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	ピット階平面図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-026

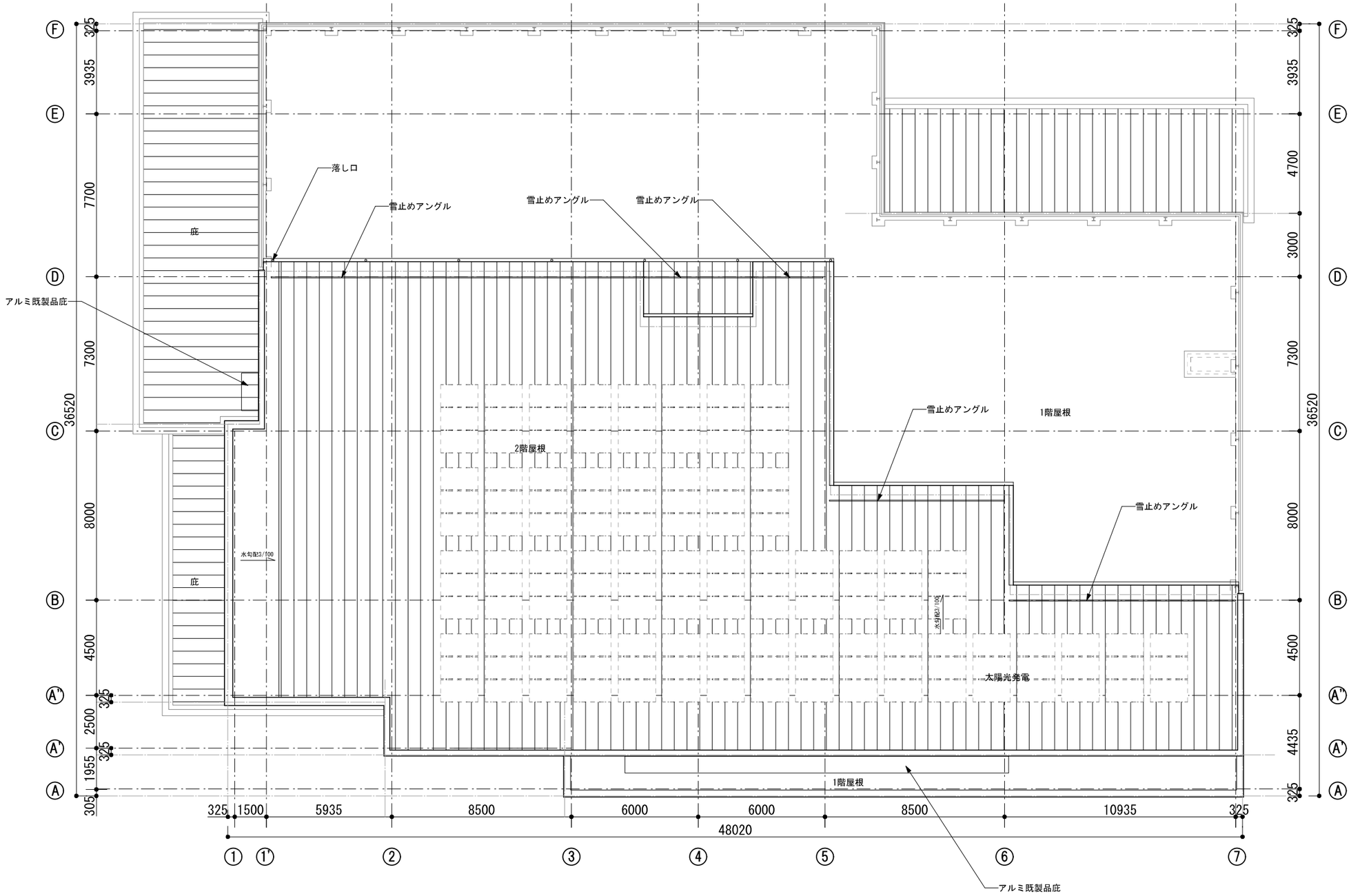


⊠：床点検口600×600

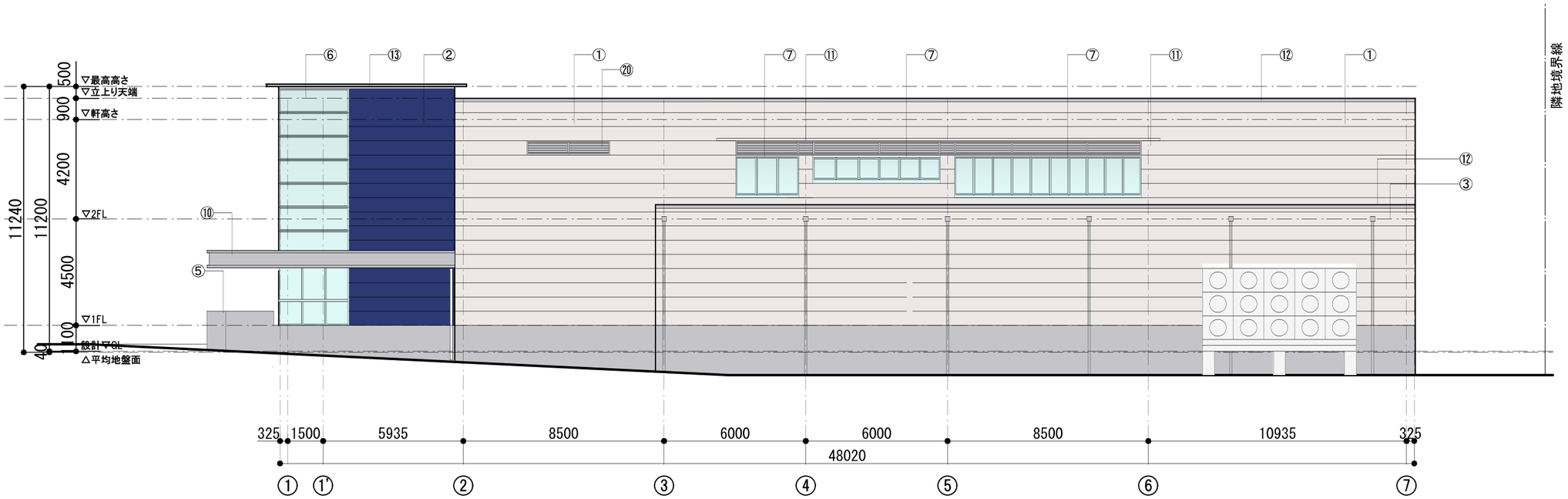
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	1階平面図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-027 KA-12



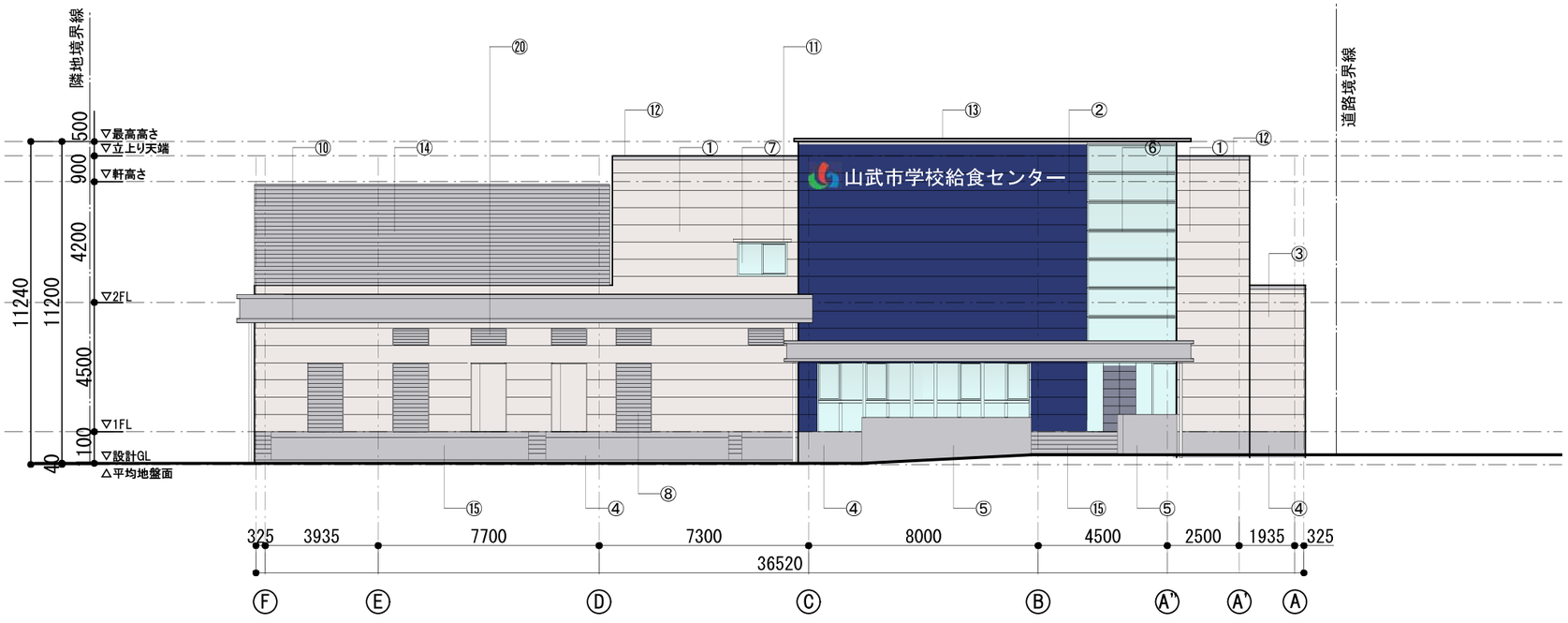
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	2階平面図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-028 KA-13



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	屋根伏図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-029 ＫＡ-14



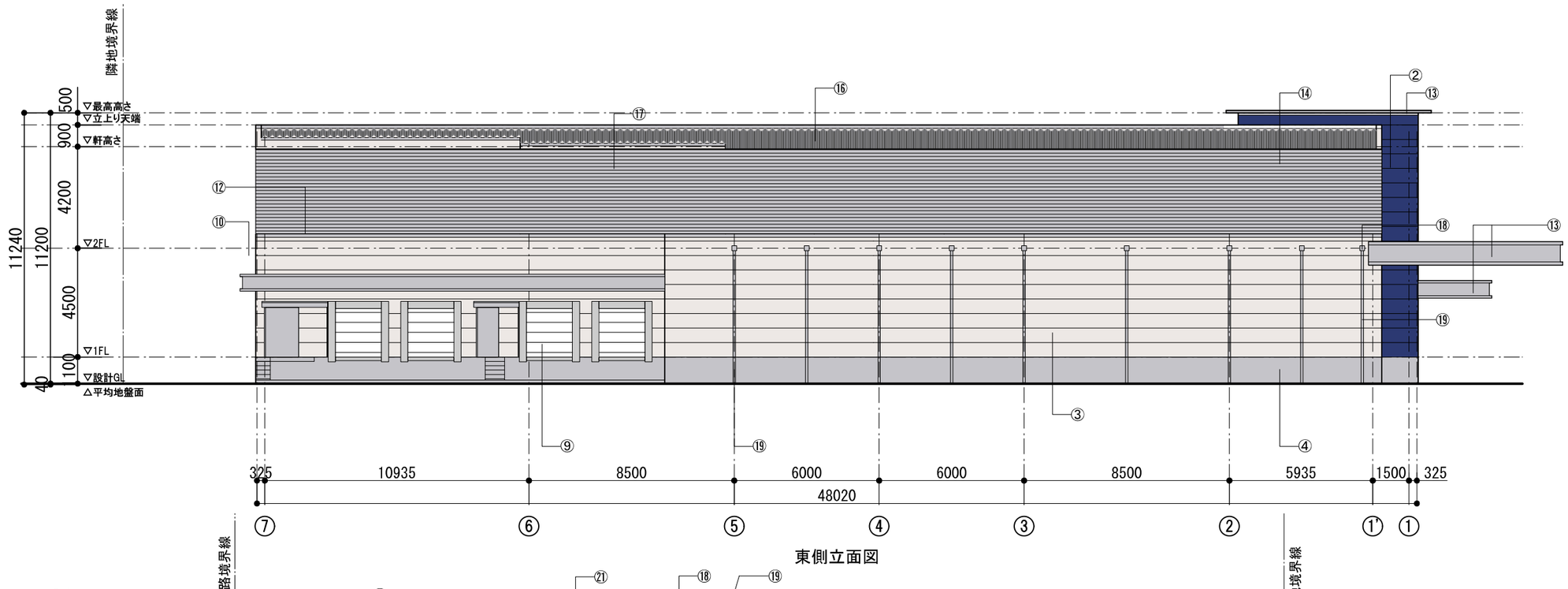
西側立面図



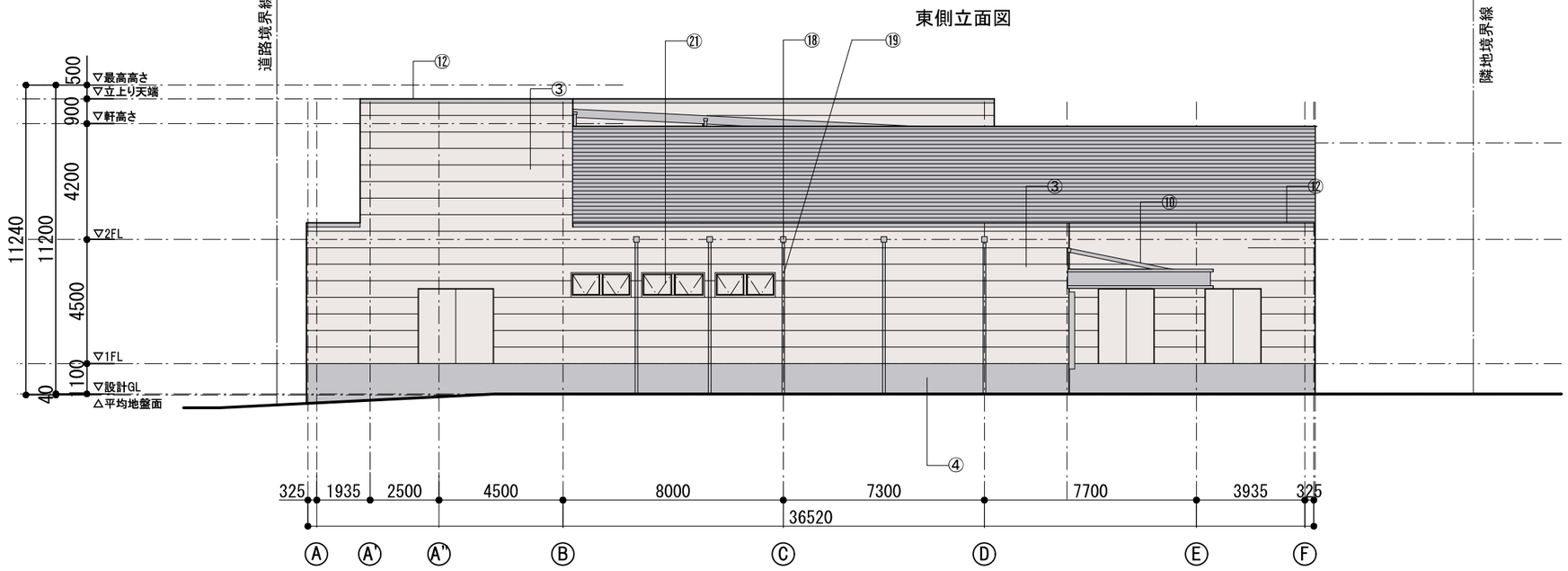
北側立面図

① ALC t=100 横張り防水型複層塗料E吹付 色A
② ALC t=100 の上アルミパネルt=2.0 焼付塗装
③ ALC t=100 横張り防水型複層塗料E吹付 色C
④ コンクリート立上り モルタル金ゴテ仕上
⑤ コンクリート立上り 打放しの上撥水剤塗り
⑥ アルミカーテンウォール
⑦ アルミサッシ
⑧ スチールシャッター
⑨ ドッグシェルター・オーバースライドドア
⑩ 庇：アルミ製幕板 金属屋根
⑪ 庇：アルミ既製品 D=500
⑫ アルミ笠木A
⑬ アルミ笠木B
⑭ 防音壁
⑮ プラットホーム・階段 コンクリート刷毛引き仕上
⑯ ガルバリウム鋼板 二重折板屋根
⑰ 軒樋 塩ビ製W150
⑱ アルミ製飾り桝
⑲ 竪樋 VPΦ100
⑳ アルミガラリ
㉑ アルミ排煙窓

NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	立面図(1)	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-030 ＫＡ-15



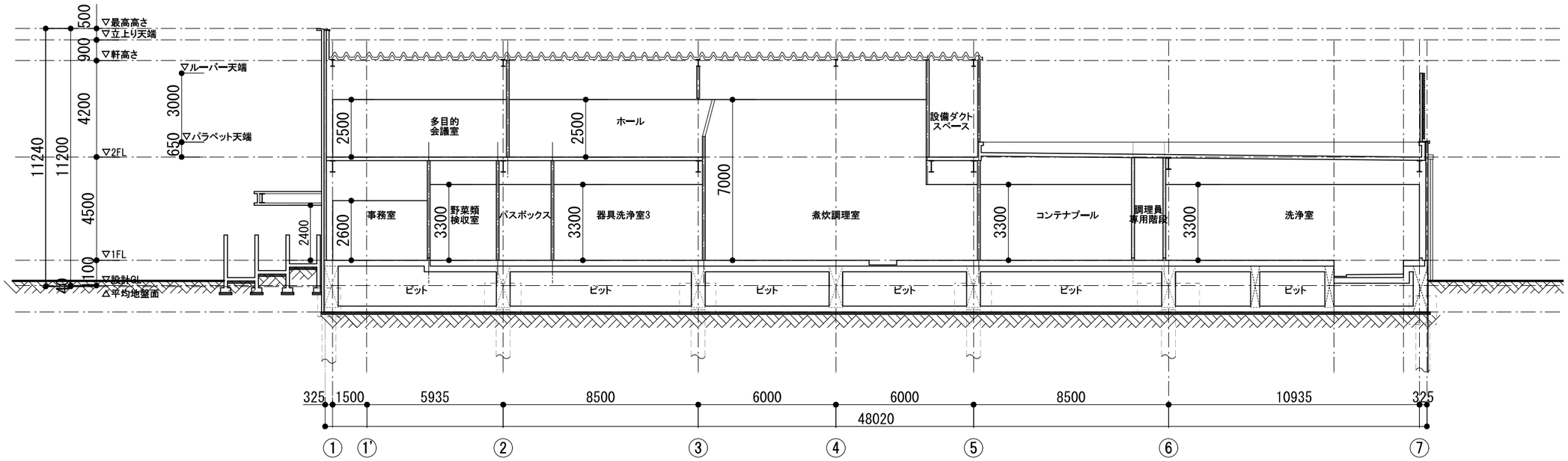
東側立面図

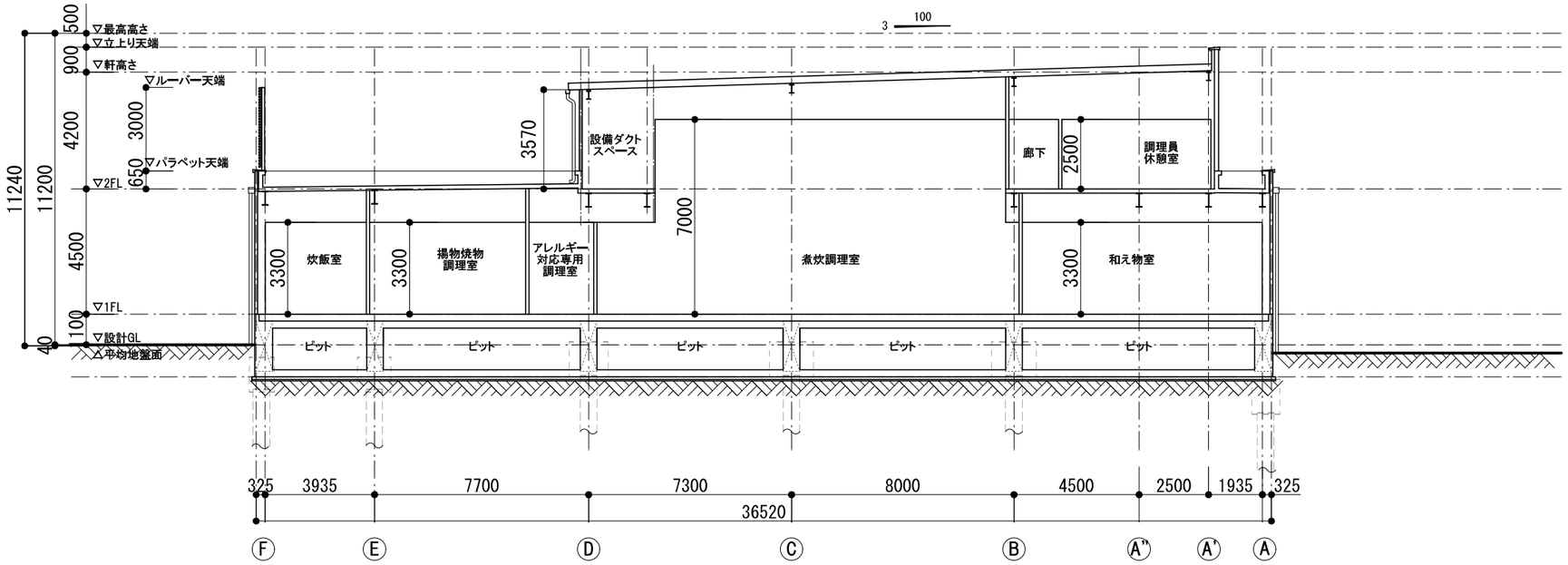


南側立面図

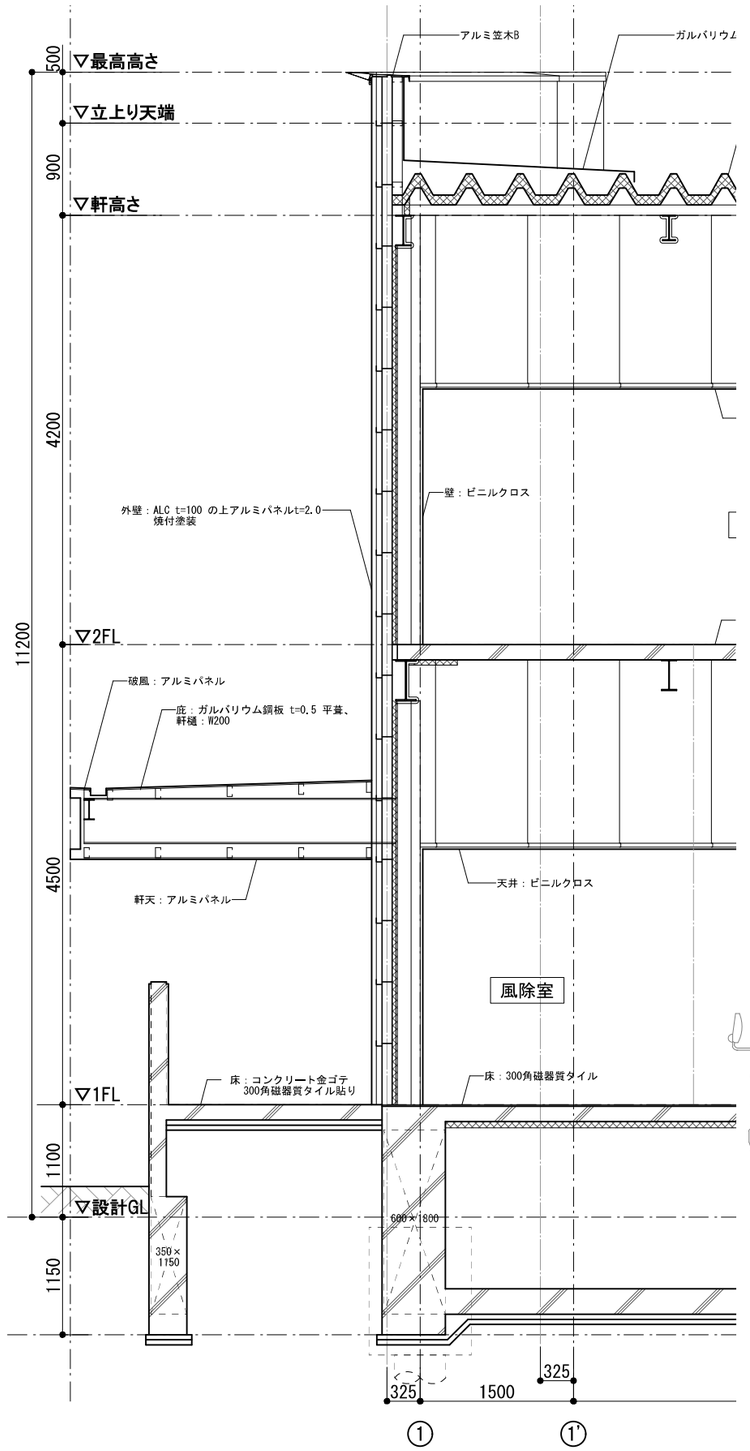
① ALC t=100 横張り防水型複層塗料E吹付 色A
② ALC t=100 の上アルミパネルt=2.0 焼付塗装
③ ALC t=100 横張り防水型複層塗料E吹付 色C
④ コンクリート立上り モルタル金ゴテ仕上
⑤ コンクリート立上り 打放しの上撥水剤塗り
⑥ アルミカーテンウォール
⑦ アルミサッシ
⑧ スチールシャッター
⑨ ドッグシェルター・オーバースライドドア
⑩ 庇：アルミ製幕板 金属屋根
⑪ 庇：アルミ既製品 D=500
⑫ アルミ笠木A
⑬ アルミ笠木B
⑭ 防音壁
⑮ プラットホーム・階段 コンクリート刷毛引き仕上
⑯ ガルバリウム鋼板 二重折板屋根
⑰ 軒樋 塩ビ製W150
⑱ アルミ製飾り桝
⑲ 竪樋 VPΦ100
⑳ アルミガラリ
㉑ アルミ排煙窓

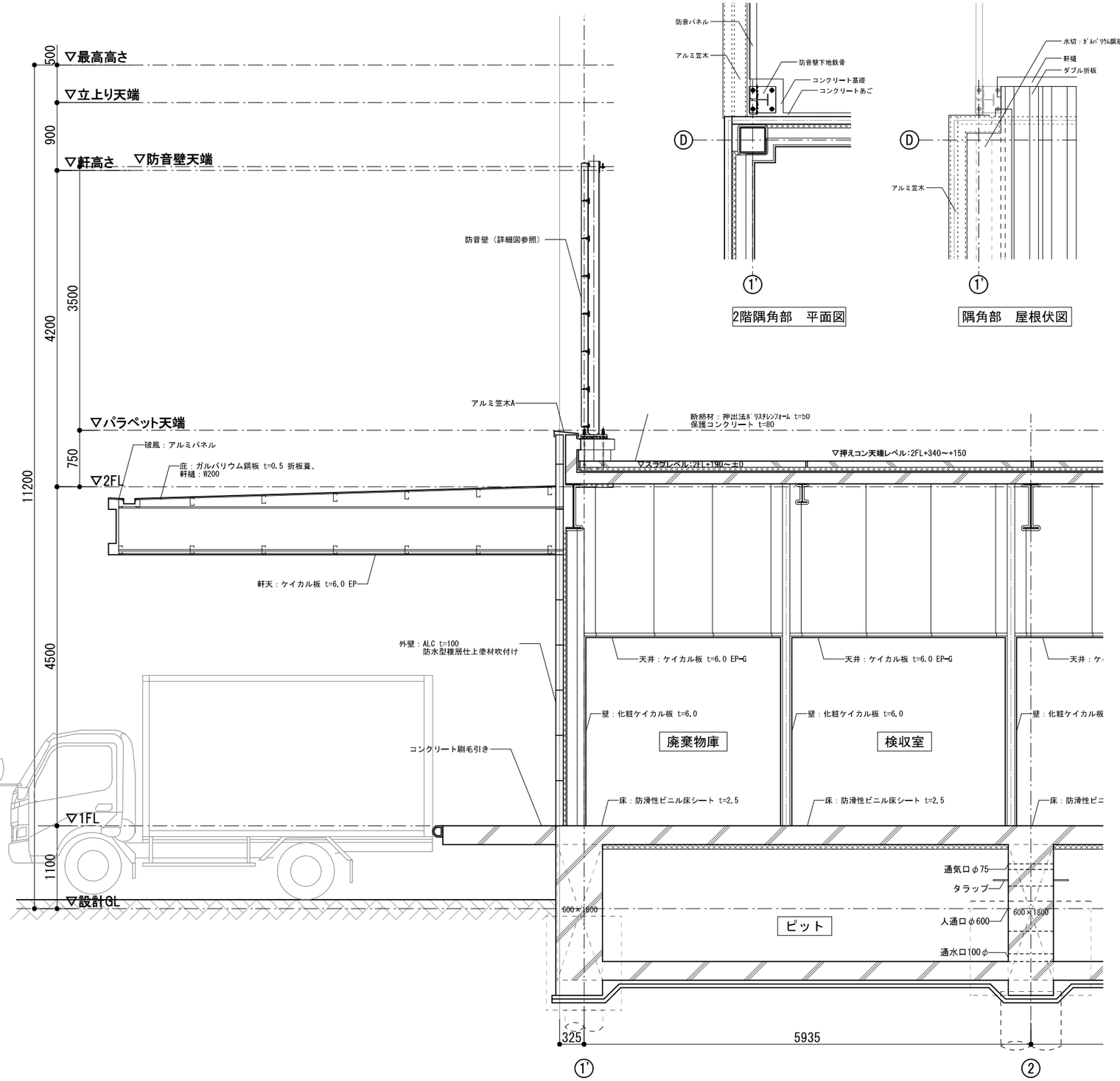
NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	立面図(2)	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-031 ＫＡ-16



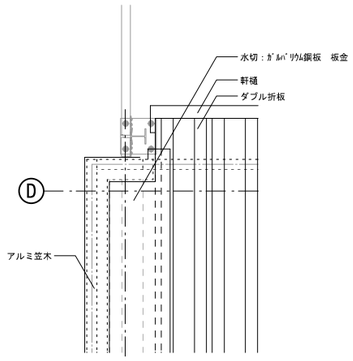


NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS 断面図	SCALE S=1/100(A1) S=1/200(A3)	NO. A-032 KA-17



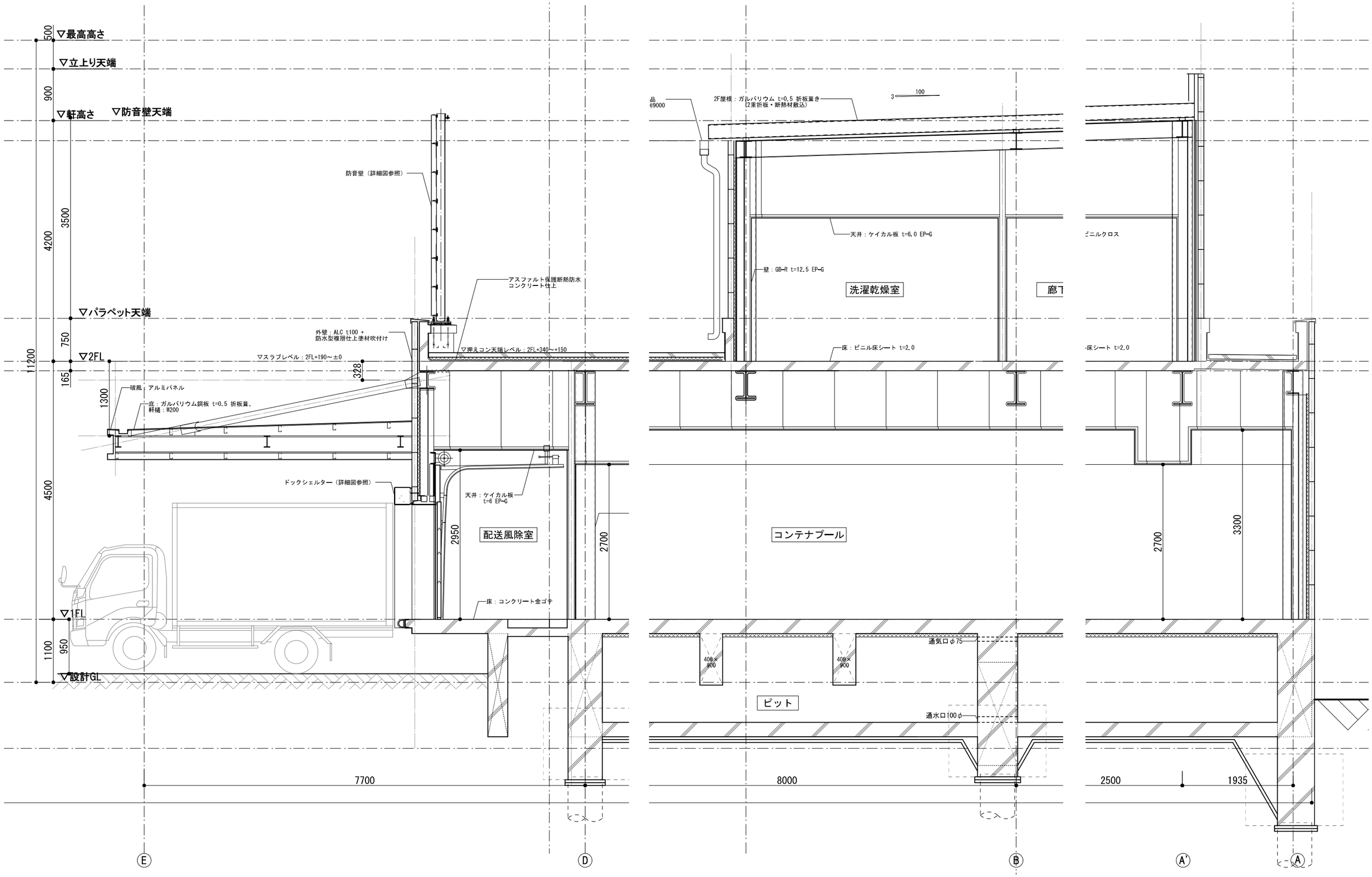


2階隅角部　平面図

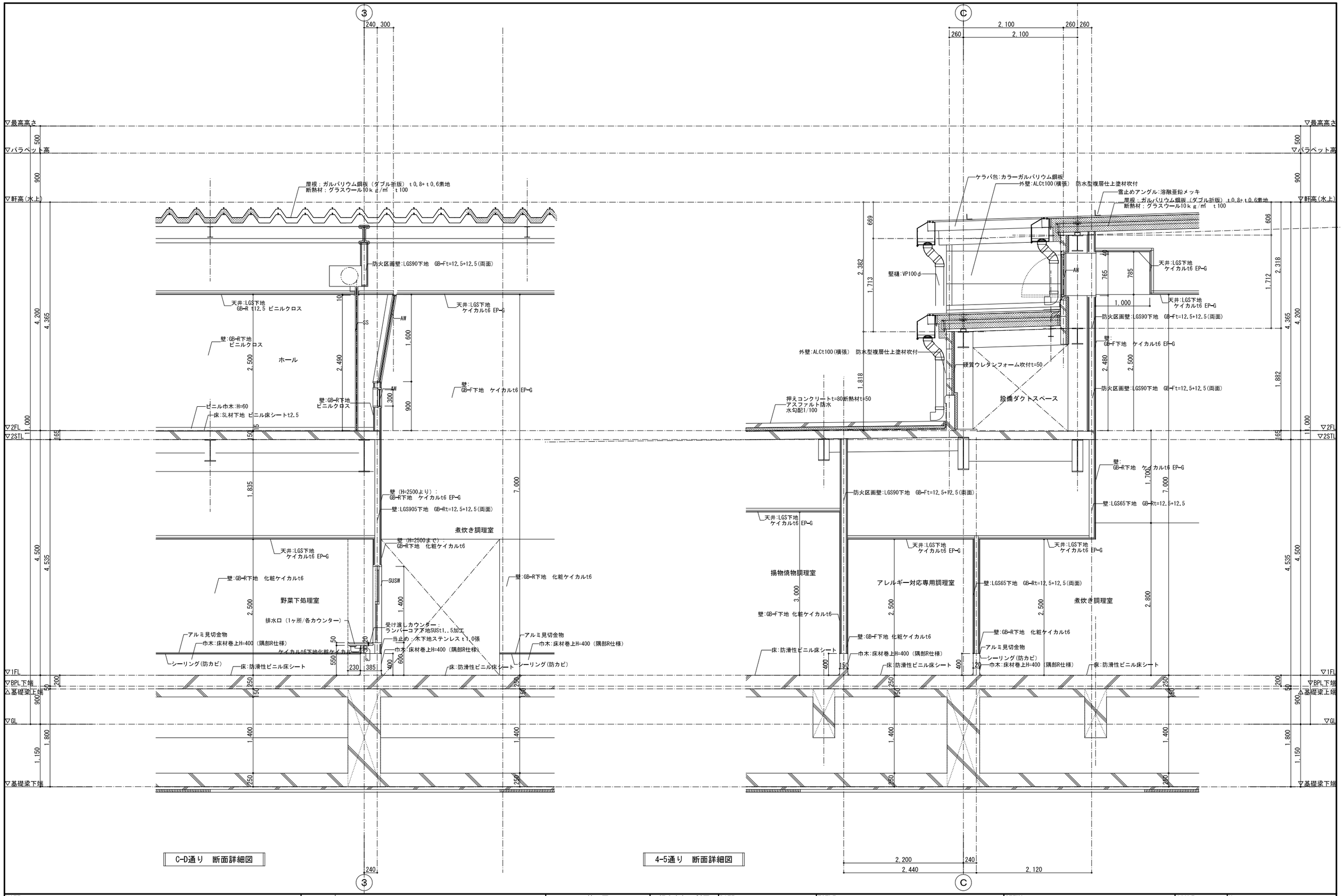


隅角部　屋根伏図

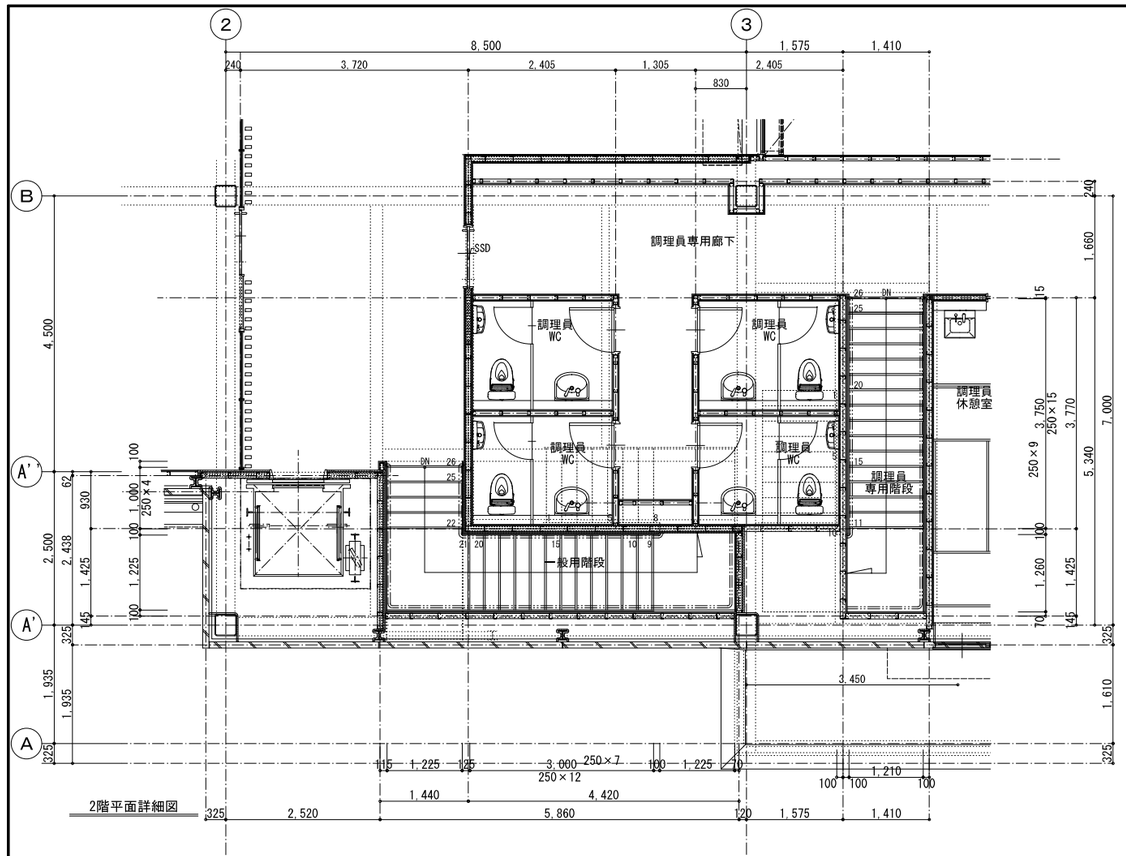
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	矩計図(1)	S=1/30(A1) S=1/60(A3)	A-033



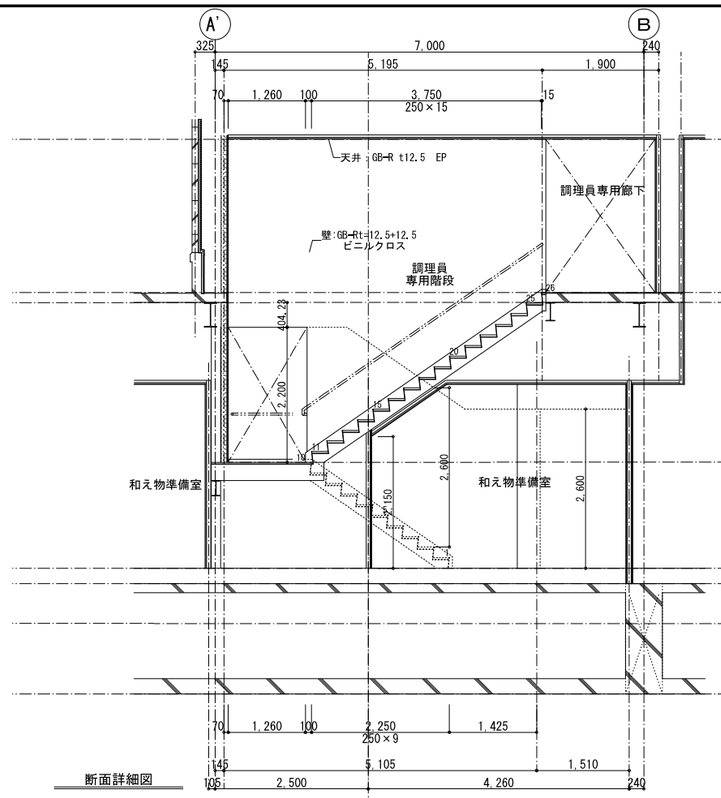
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	矩計図(2)	S=1/30(A1) S=1/60(A3)	A-034



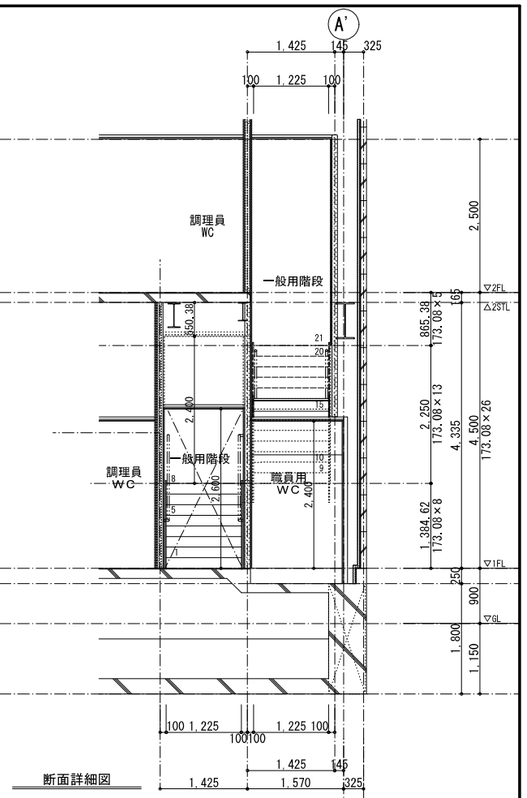
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	矩計図（3）	A1:S=1/30 A3:S=1/60	A ー 035



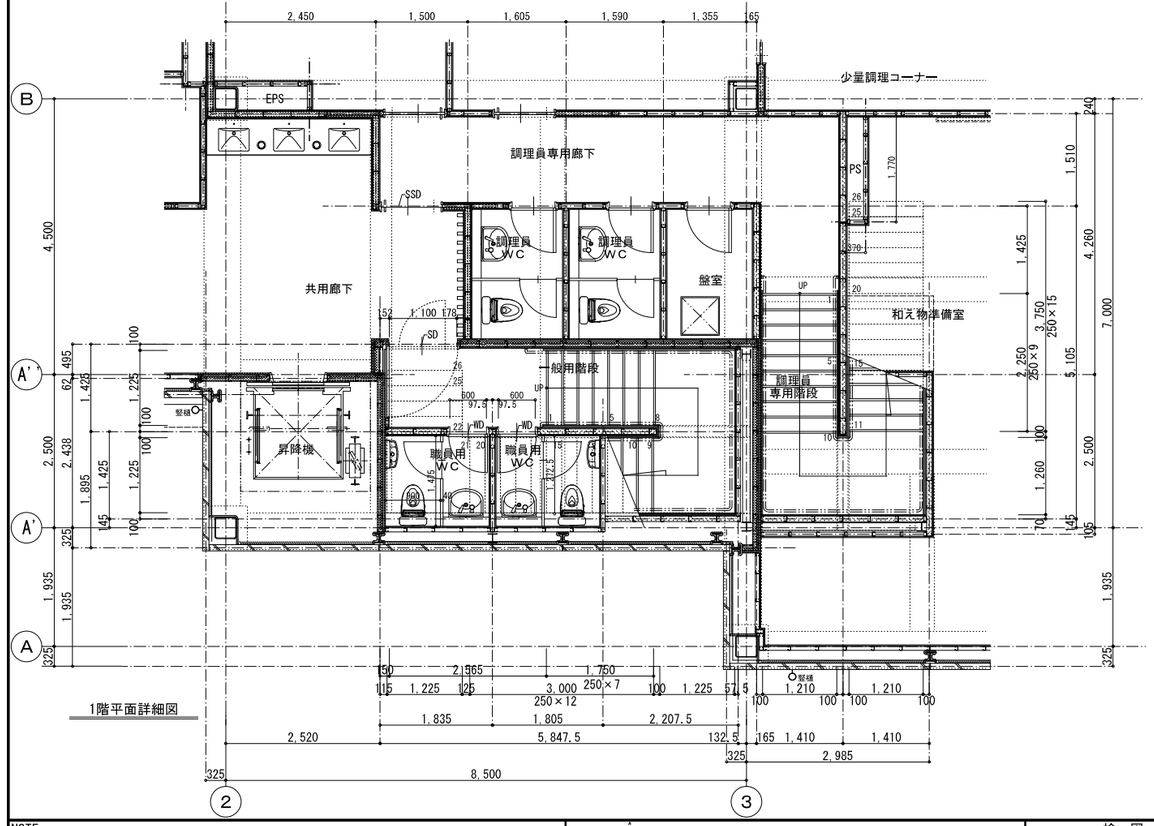
2階平面詳細図



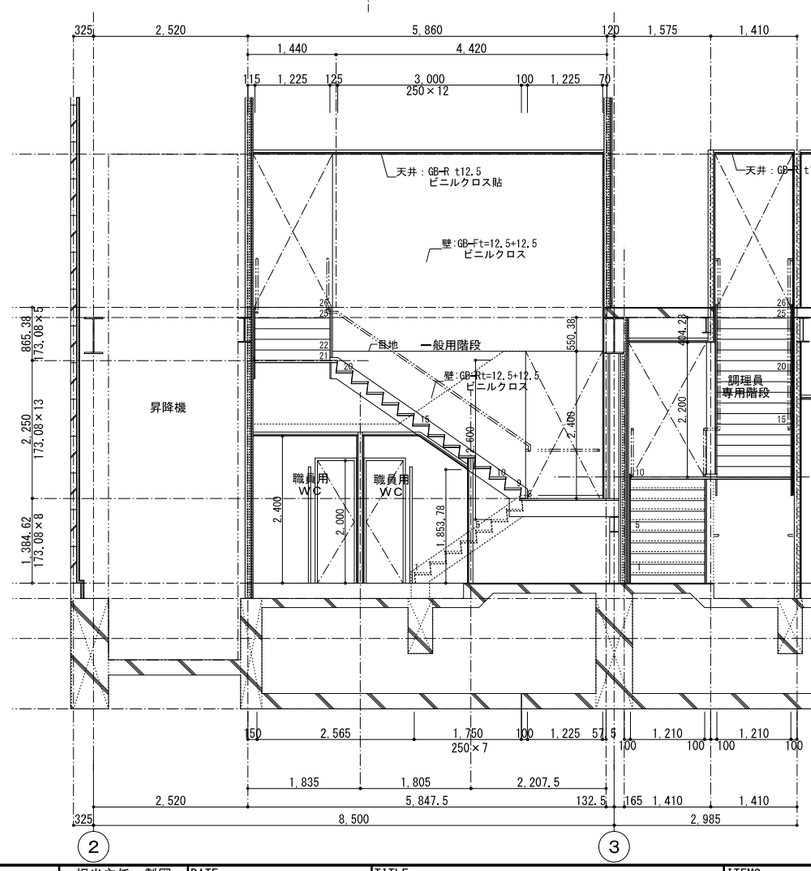
断面詳細図

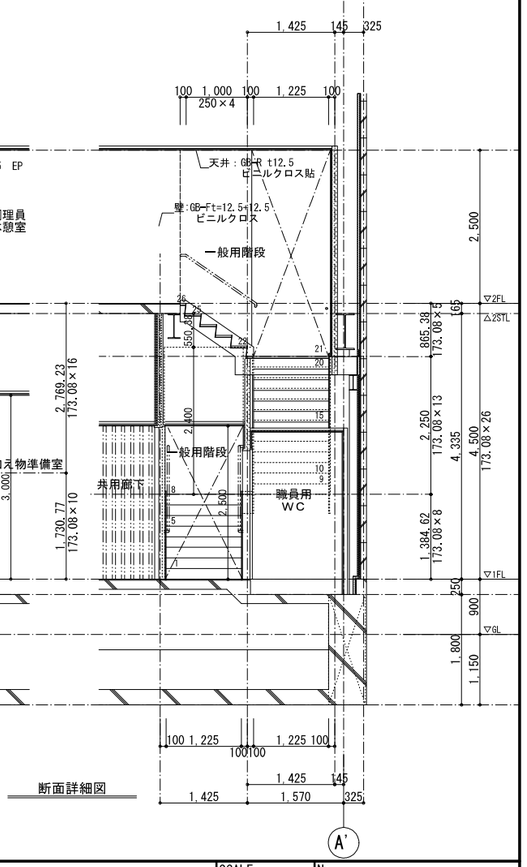


断面詳細図



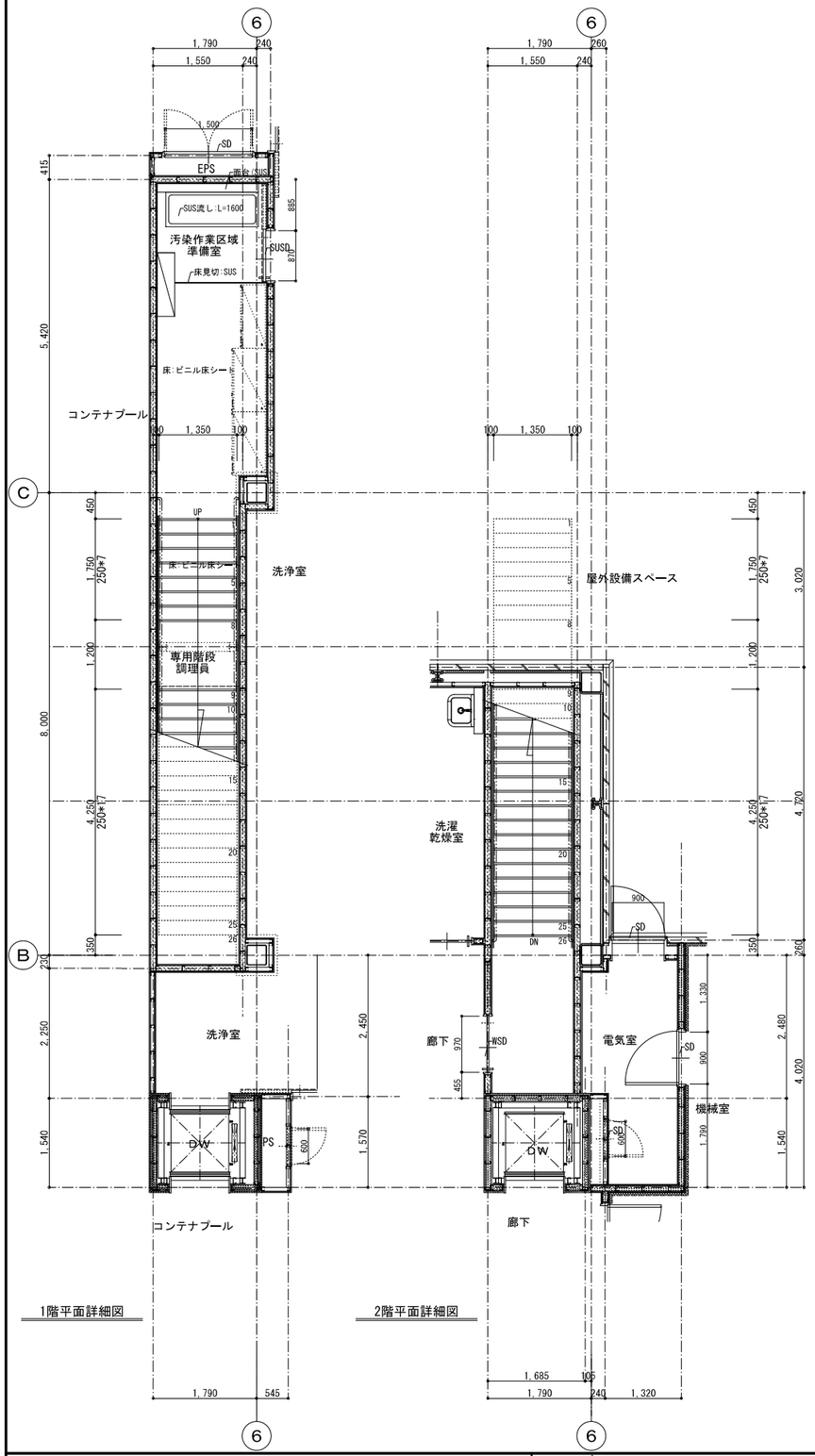
1階平面詳細図





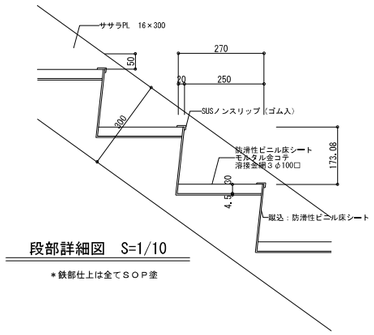
断面詳細図

NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	屋内階段詳細図(1)	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 036



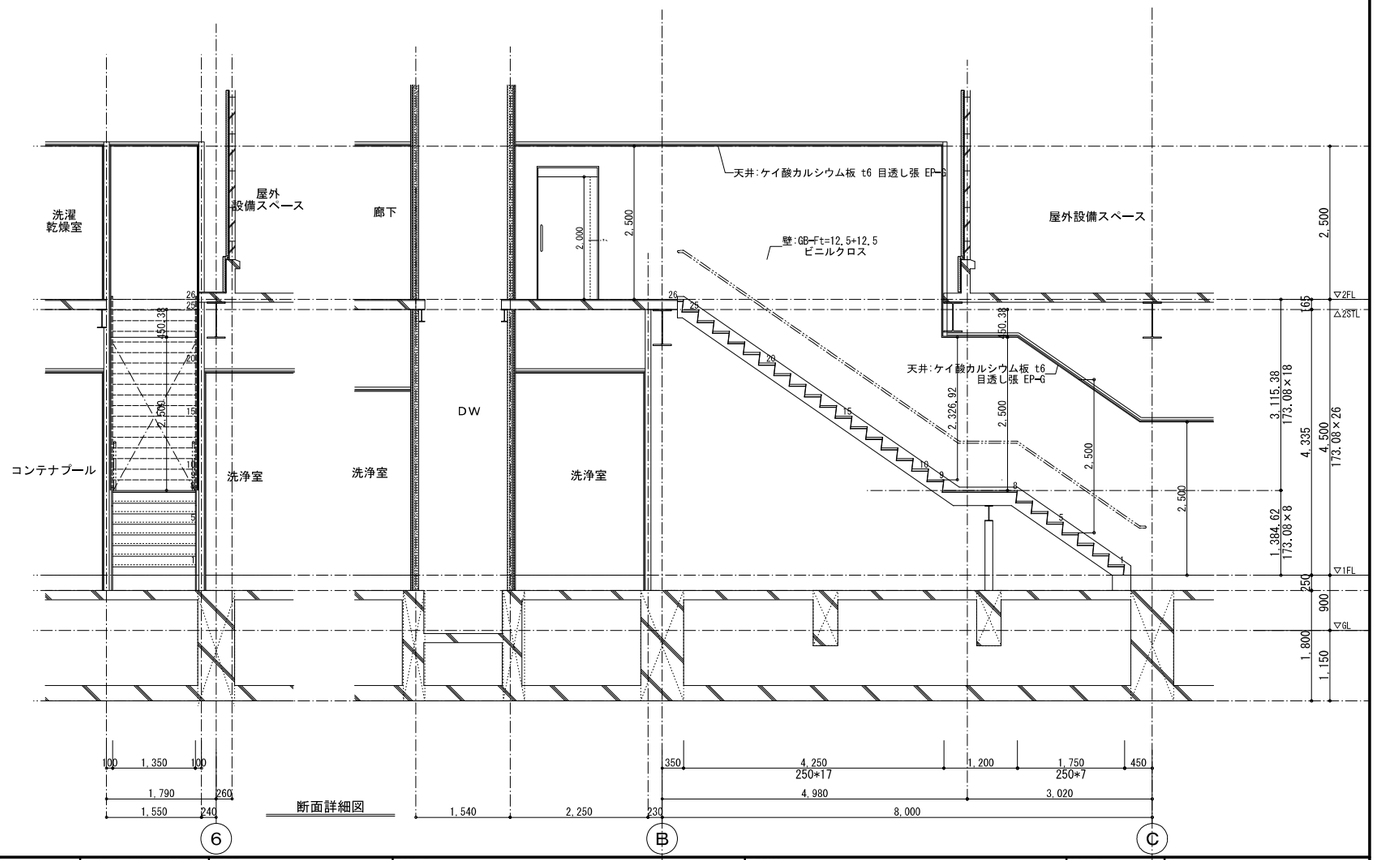
1階平面詳細図

2階平面詳細図



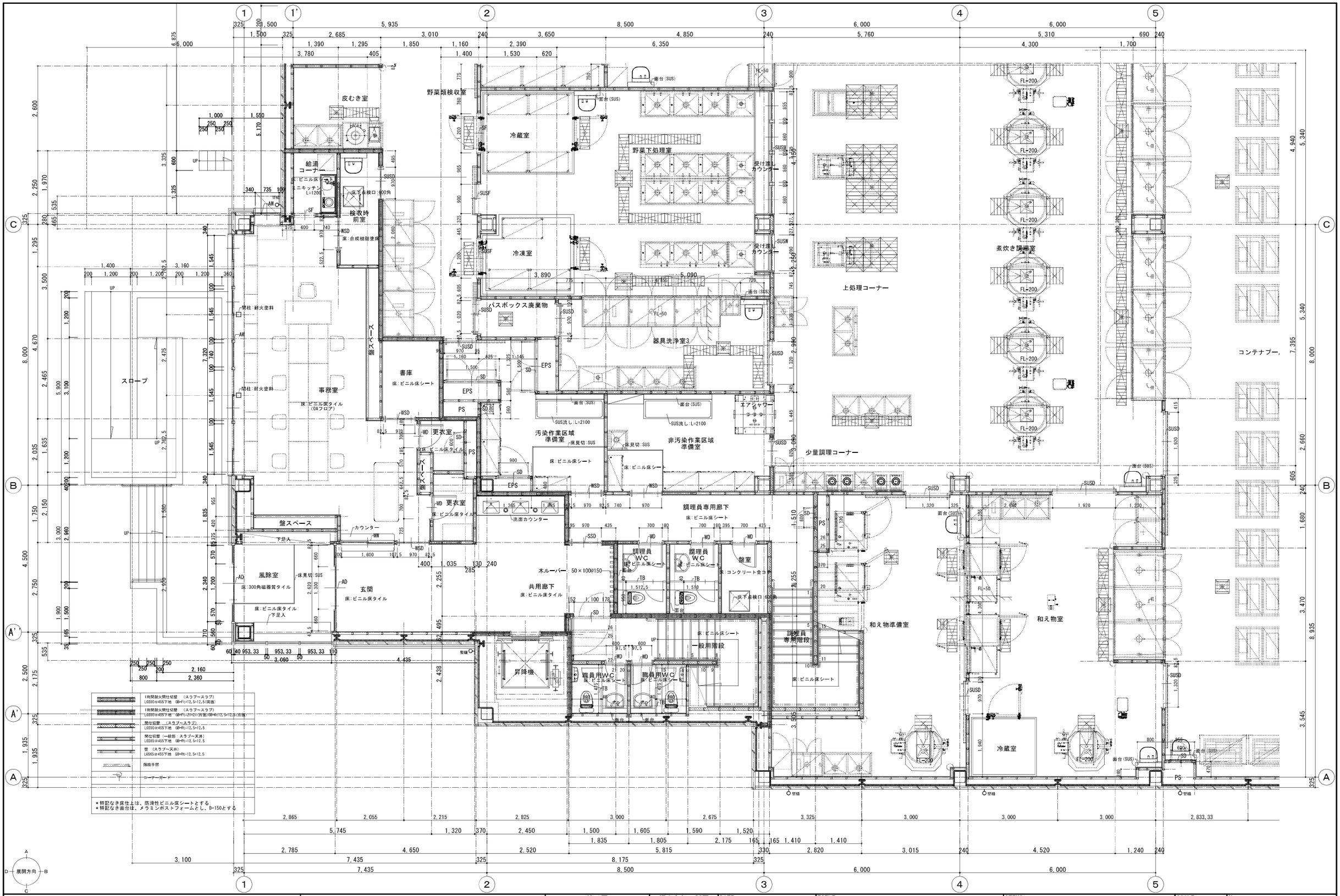
段部詳細図 S=1/10

＊鉄部仕上は全てＳＯＰ塗



断面詳細図

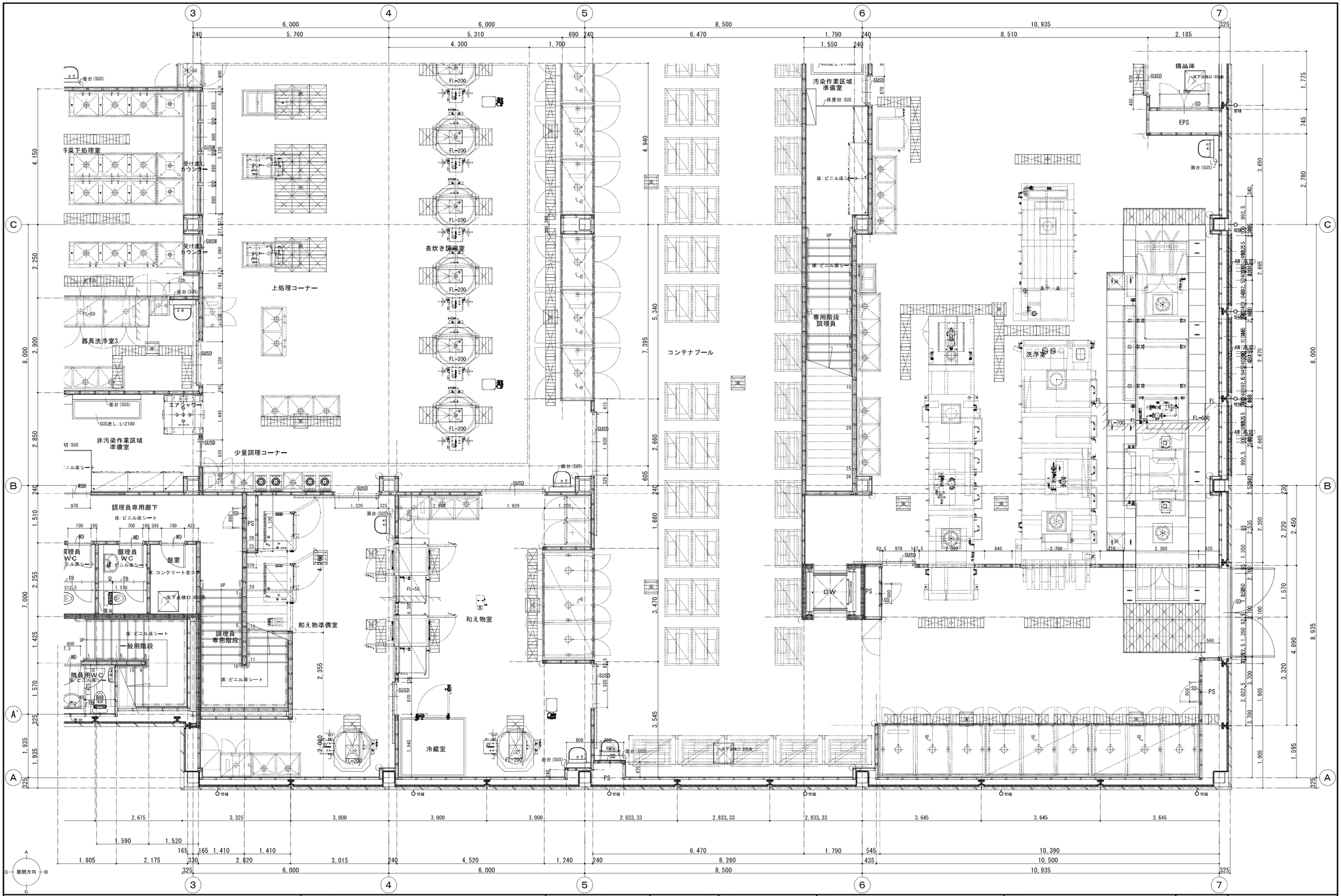
NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	屋内階段詳細図(2)	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 037



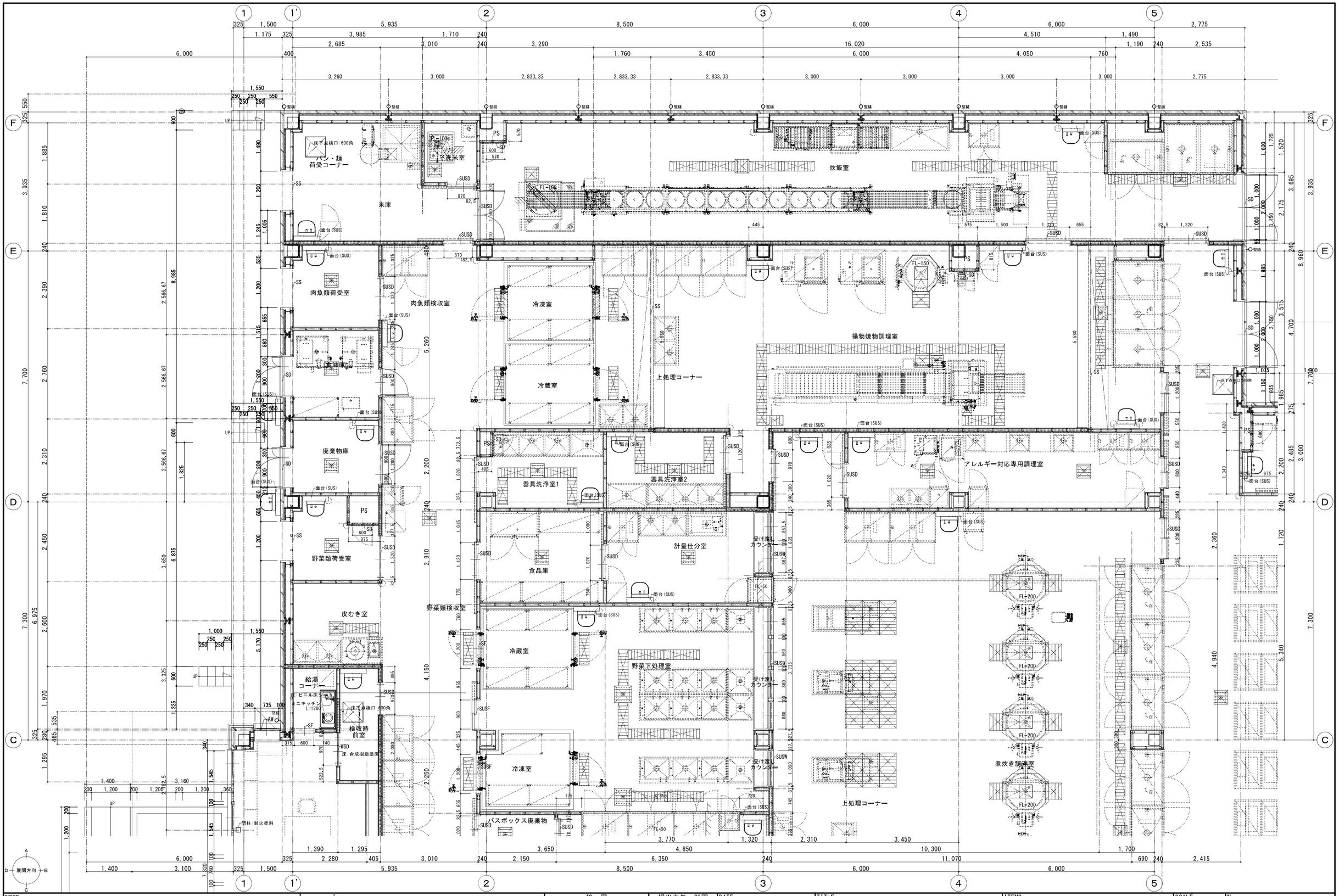
1時間耐火間仕切壁 (スラブ～スラブ) LGS90@455下地 GB-F(t=12.5+12.5(両面)	
1時間耐火間仕切壁 (スラブ～スラブ) LGS90@455下地 GB-F(t=21(内面)/GB-R(12.5+12.5(外面)	
間仕切壁 (スラブ～スラブ) LGS90@455下地 GB-R(t=12.5+12.5	
間仕切壁 (一般部 スラブ～天井) LGS65@455下地 GB-R(t=12.5+12.5	
壁 (スラブ～天井) LGS65@455下地 GB-R(t=12.5+12.5	
階段手摺	
コーナーガード	

＊特記なき床仕上は、防滑性ビニル床シートとする
＊特記なき面台は、メラミンポストフォームとし、D=150とする

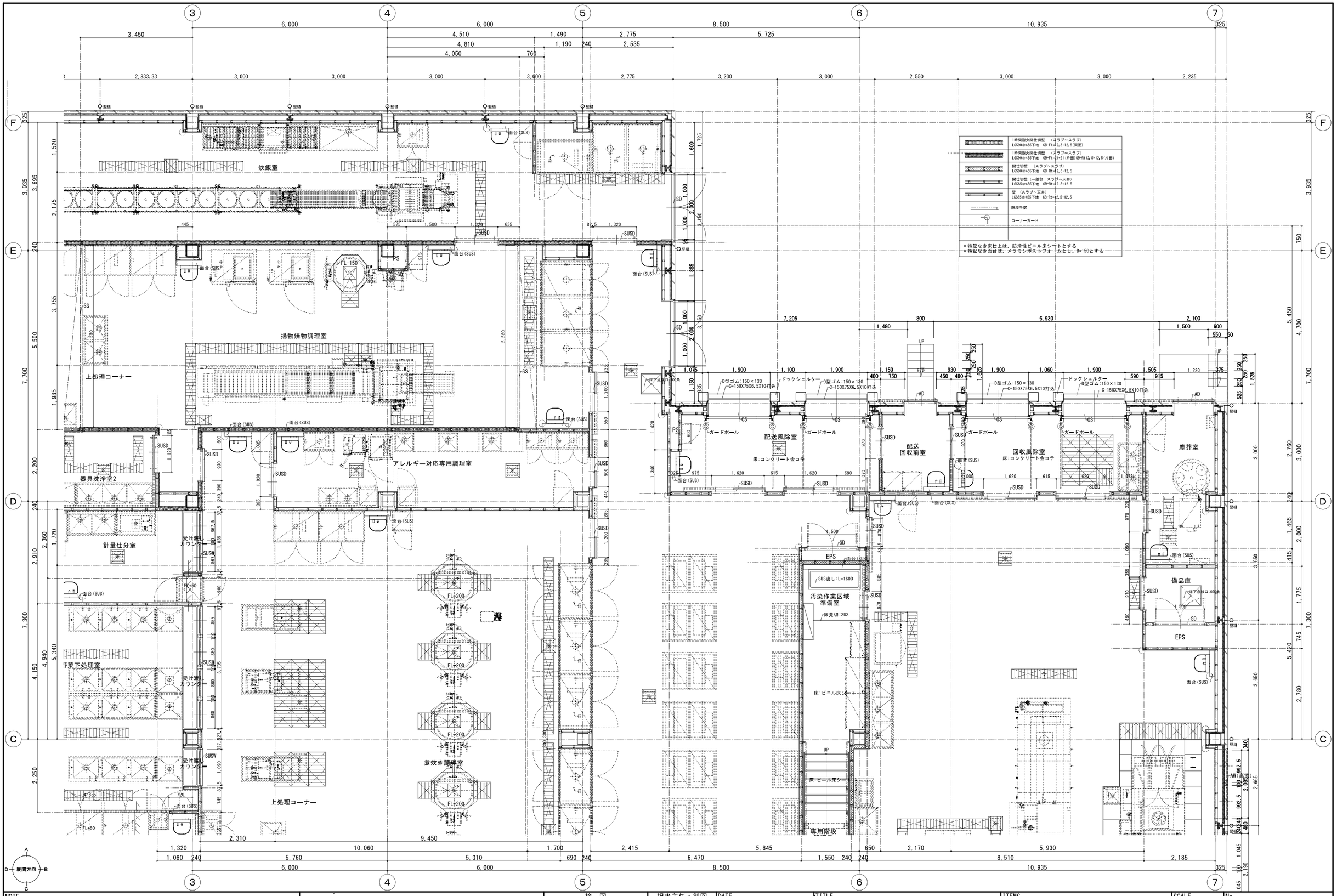
NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	1階平面詳細図（1）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 038



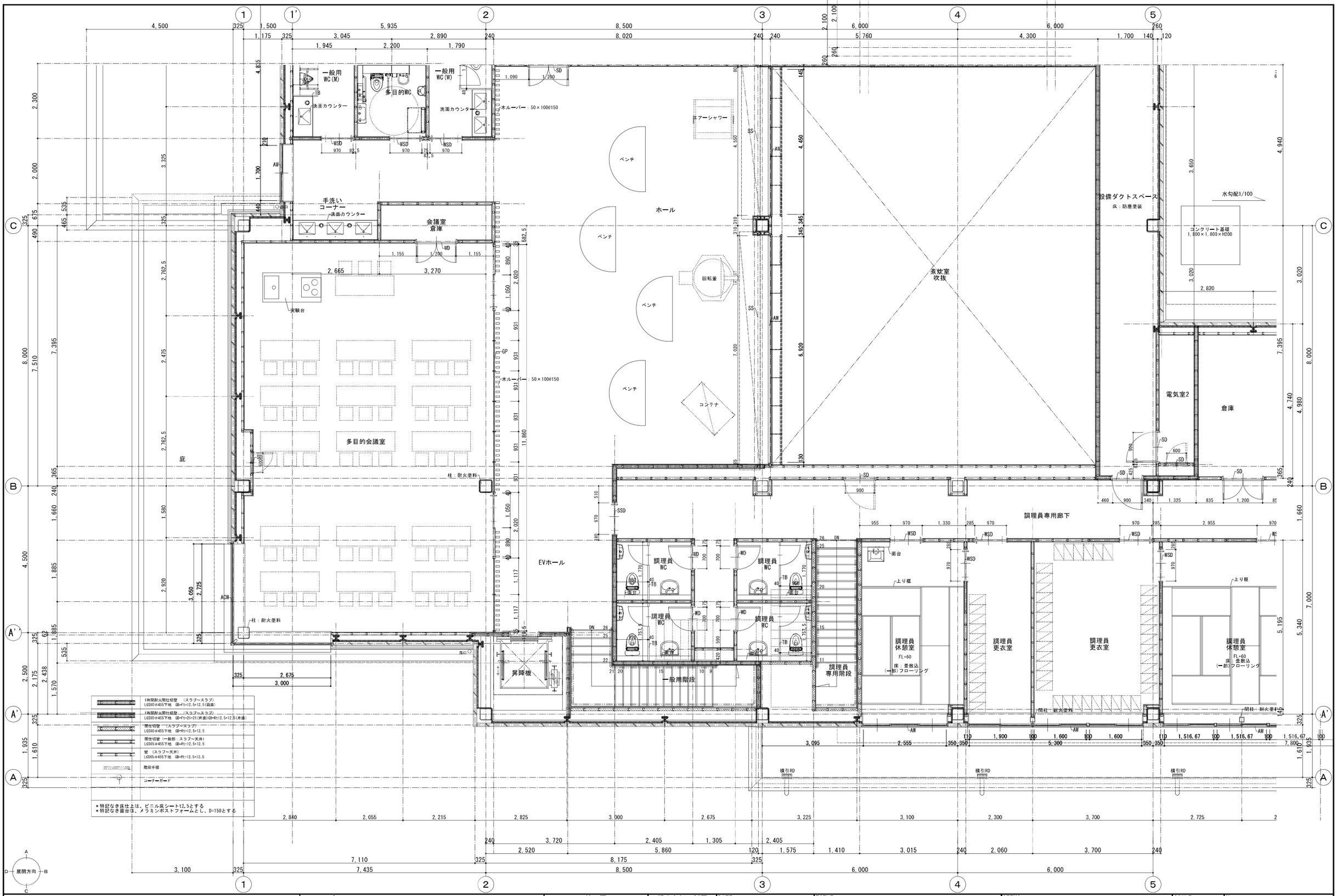
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階平面詳細図（２）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 039



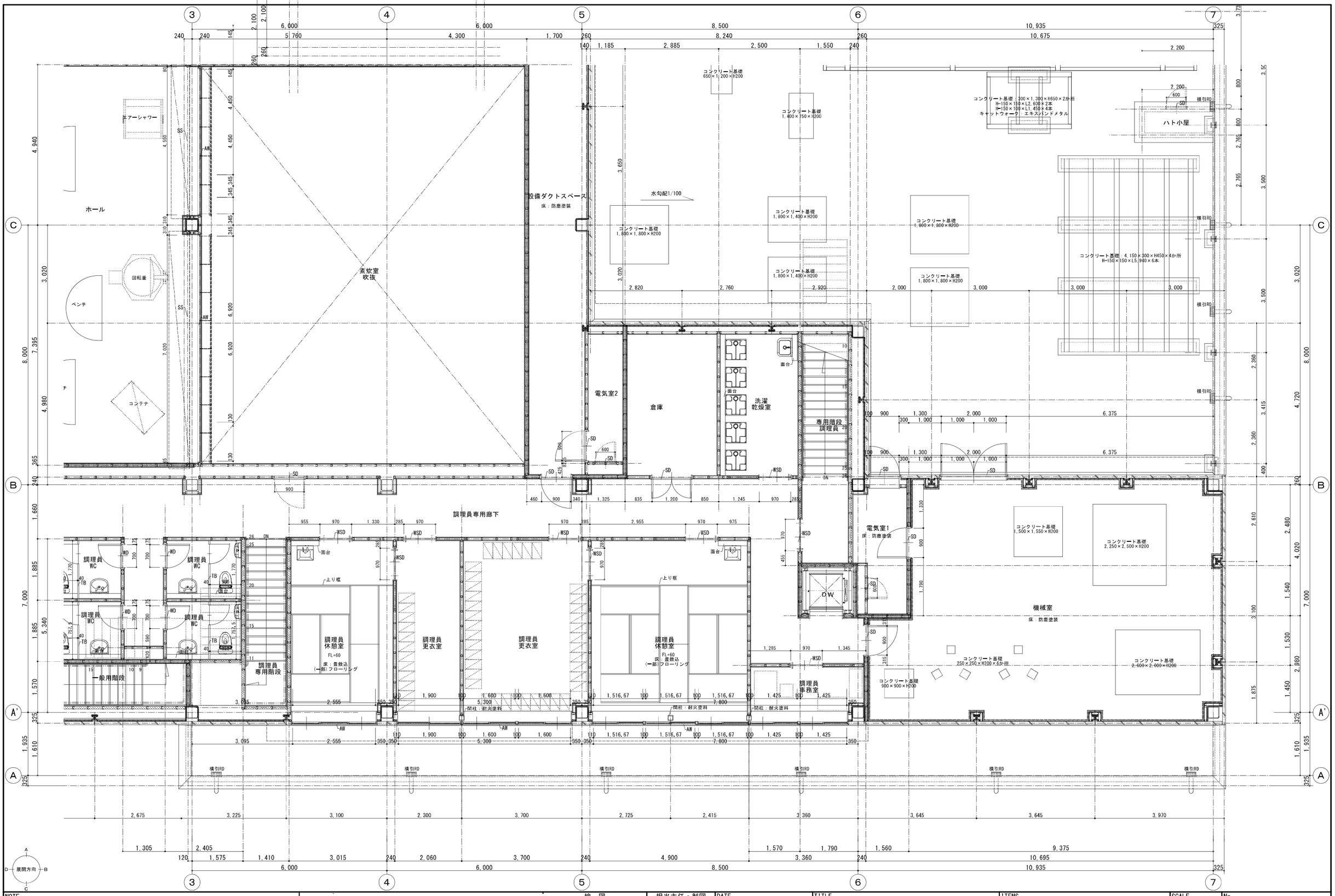
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階平面詳細図（３）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 040



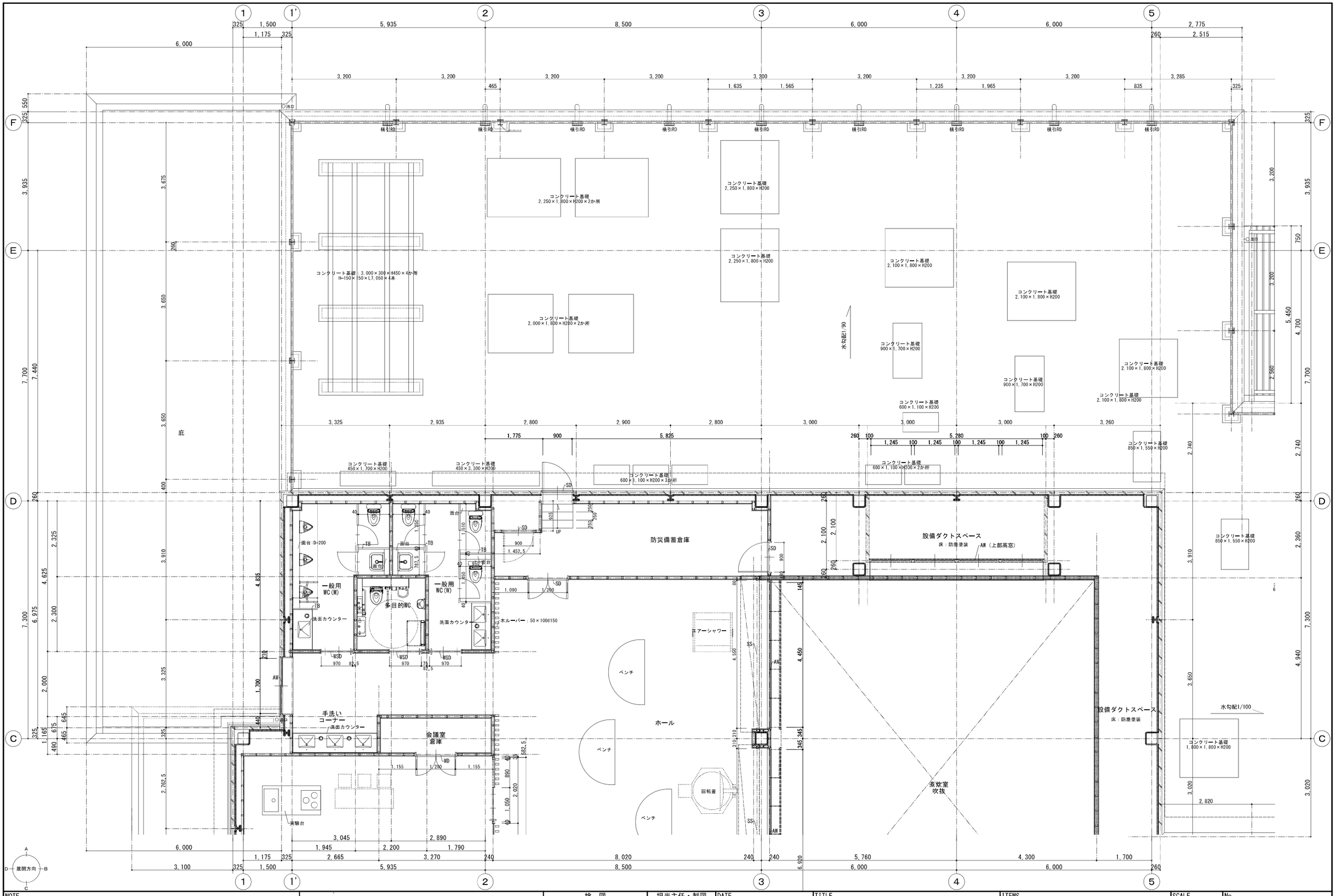
NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階平面詳細図（４）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A － 041



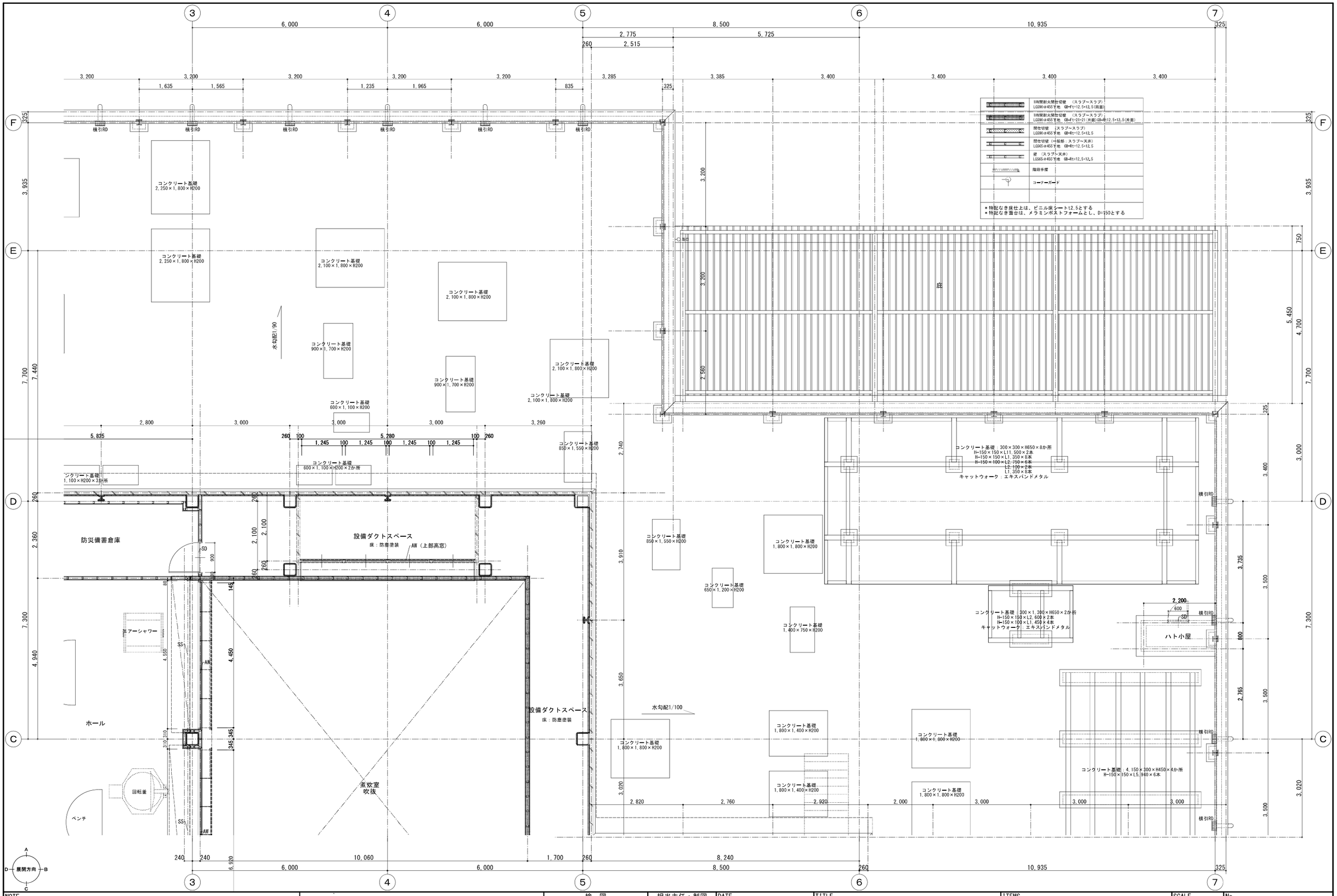
NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階平面詳細図（１）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A － 042



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階平面詳細図（２）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 043

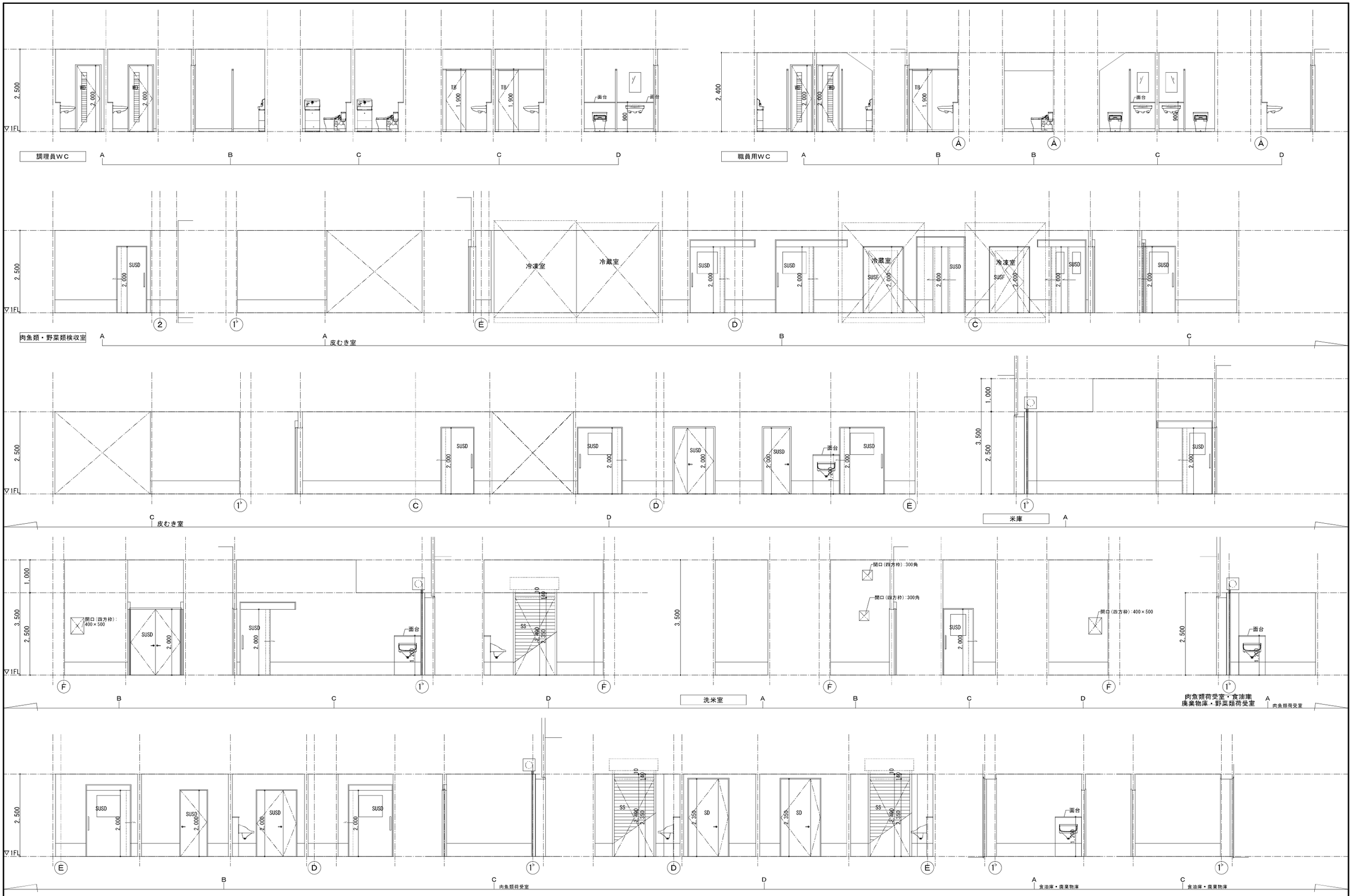


NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階平面詳細図（３）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 044

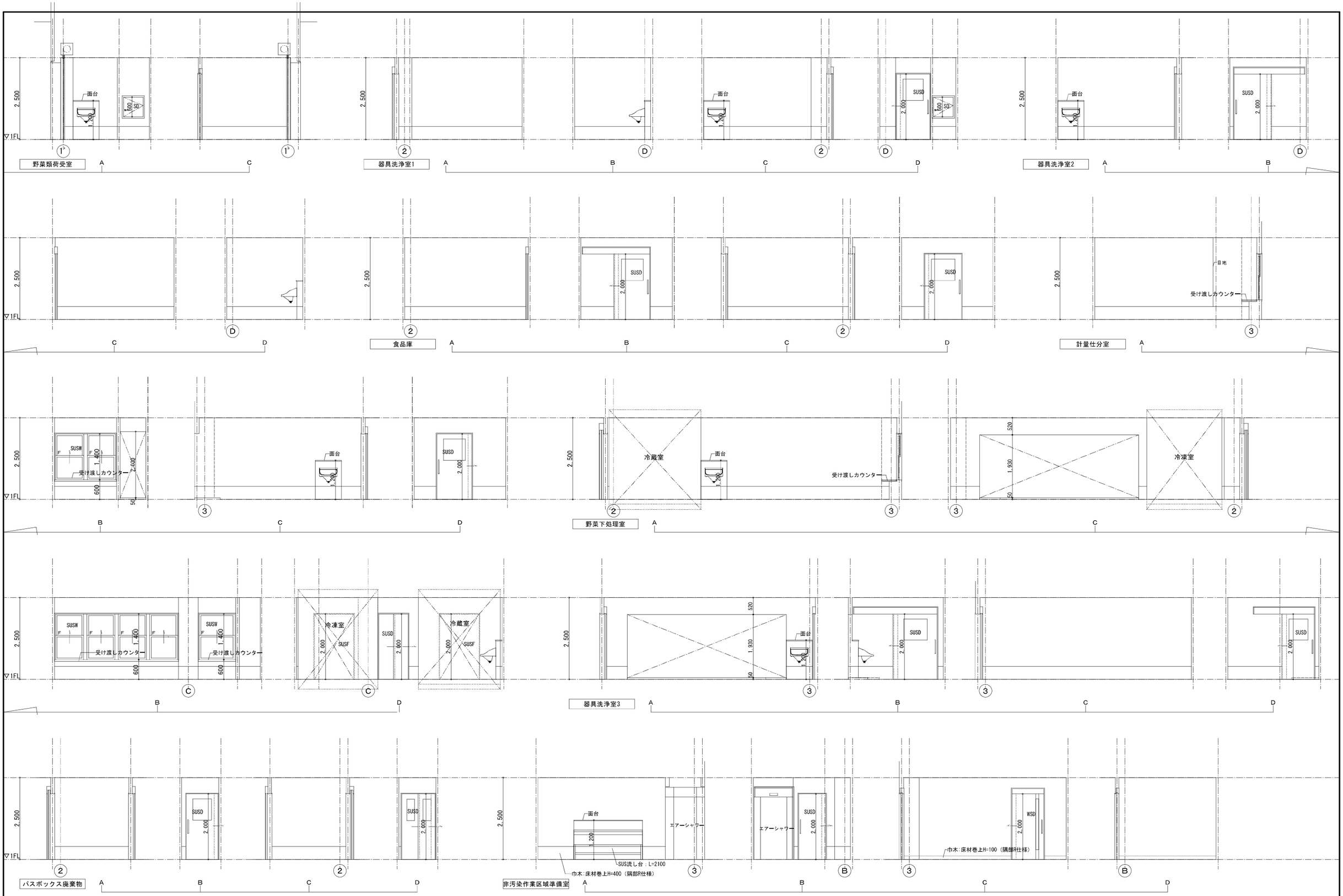


NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階平面詳細図（４）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 045

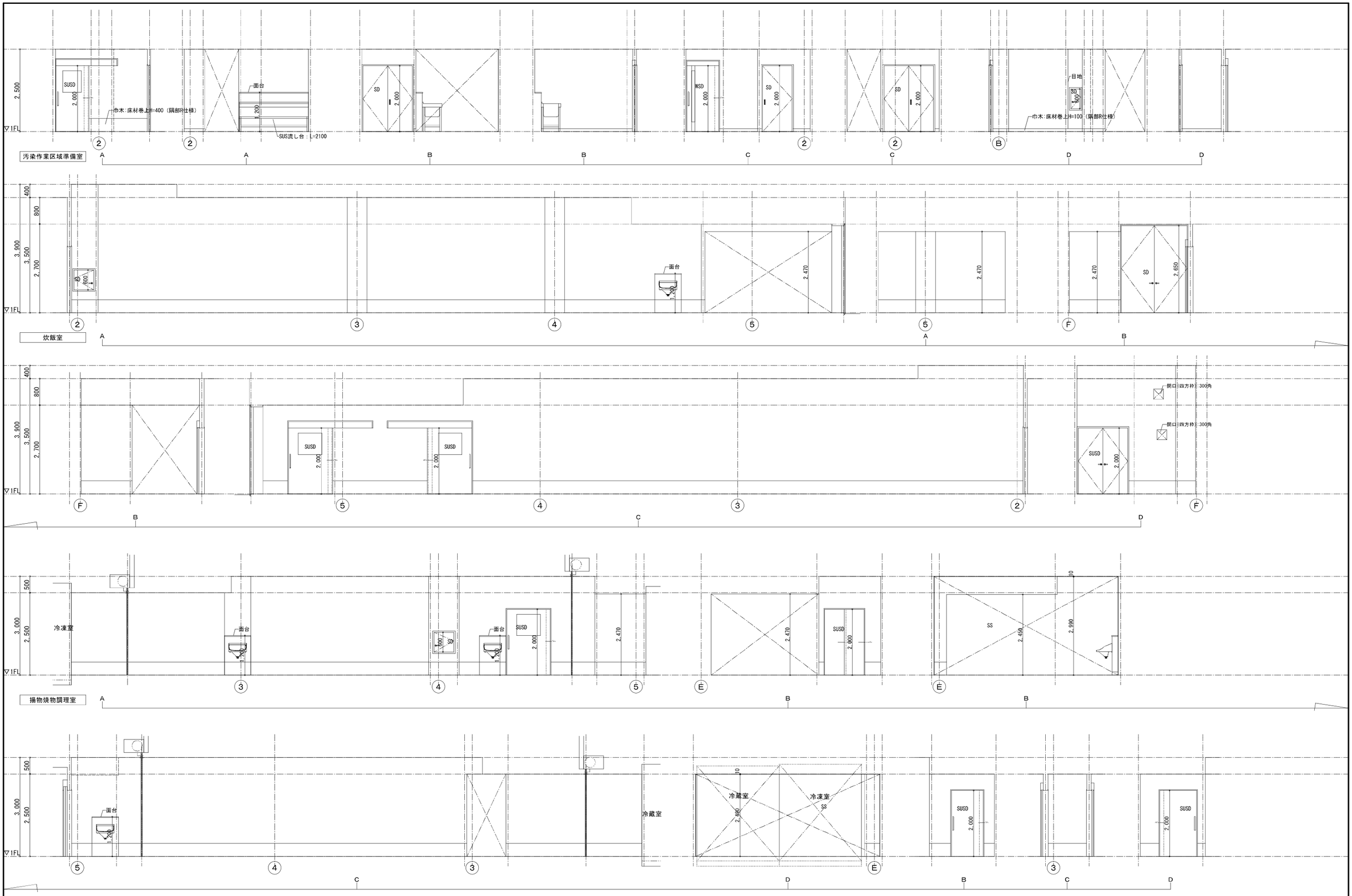
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階展開図（１）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 046



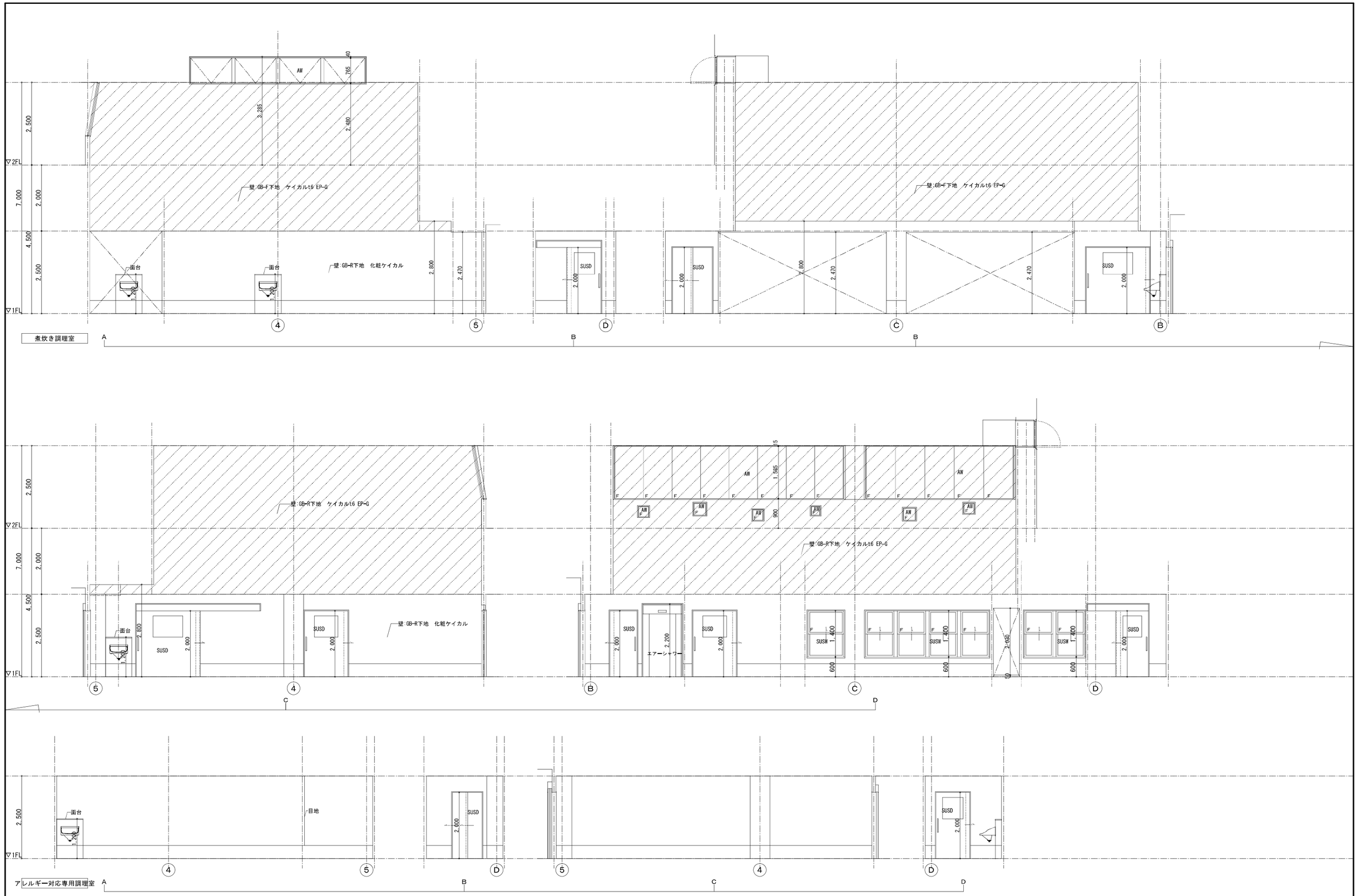
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階展開図（２）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ー 047



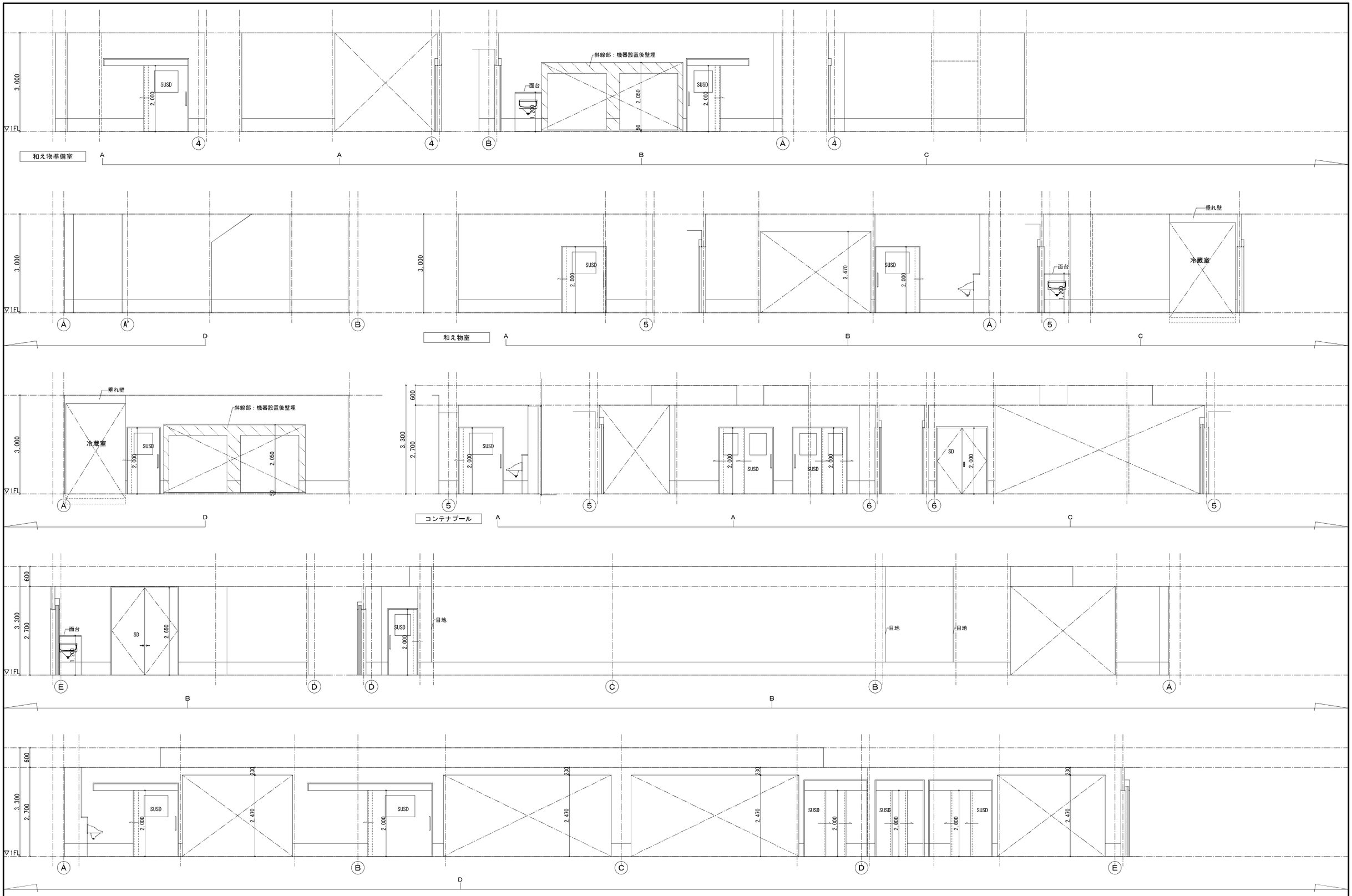
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階展開図（３）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 048



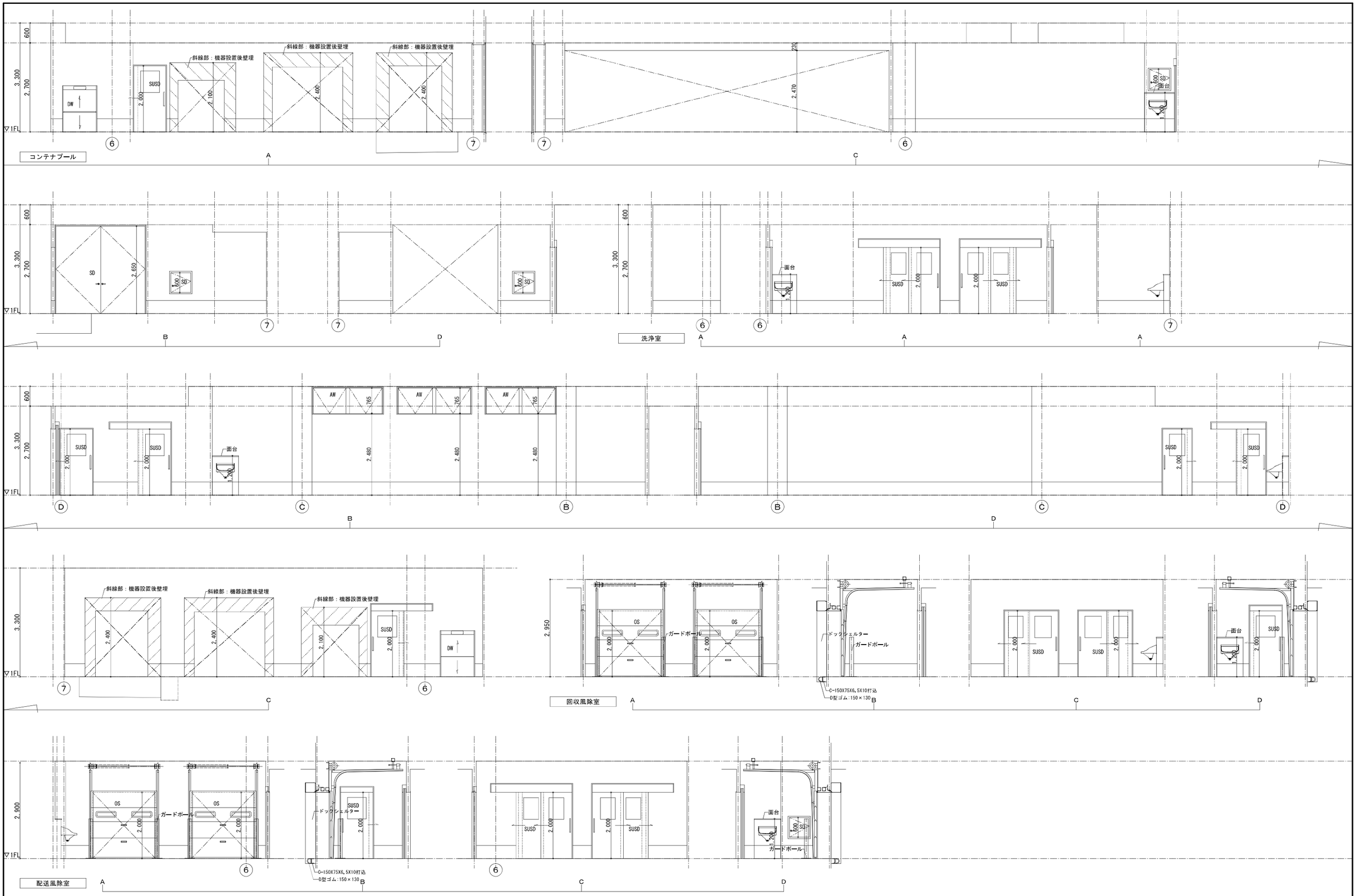
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階展開図（４）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ー 049



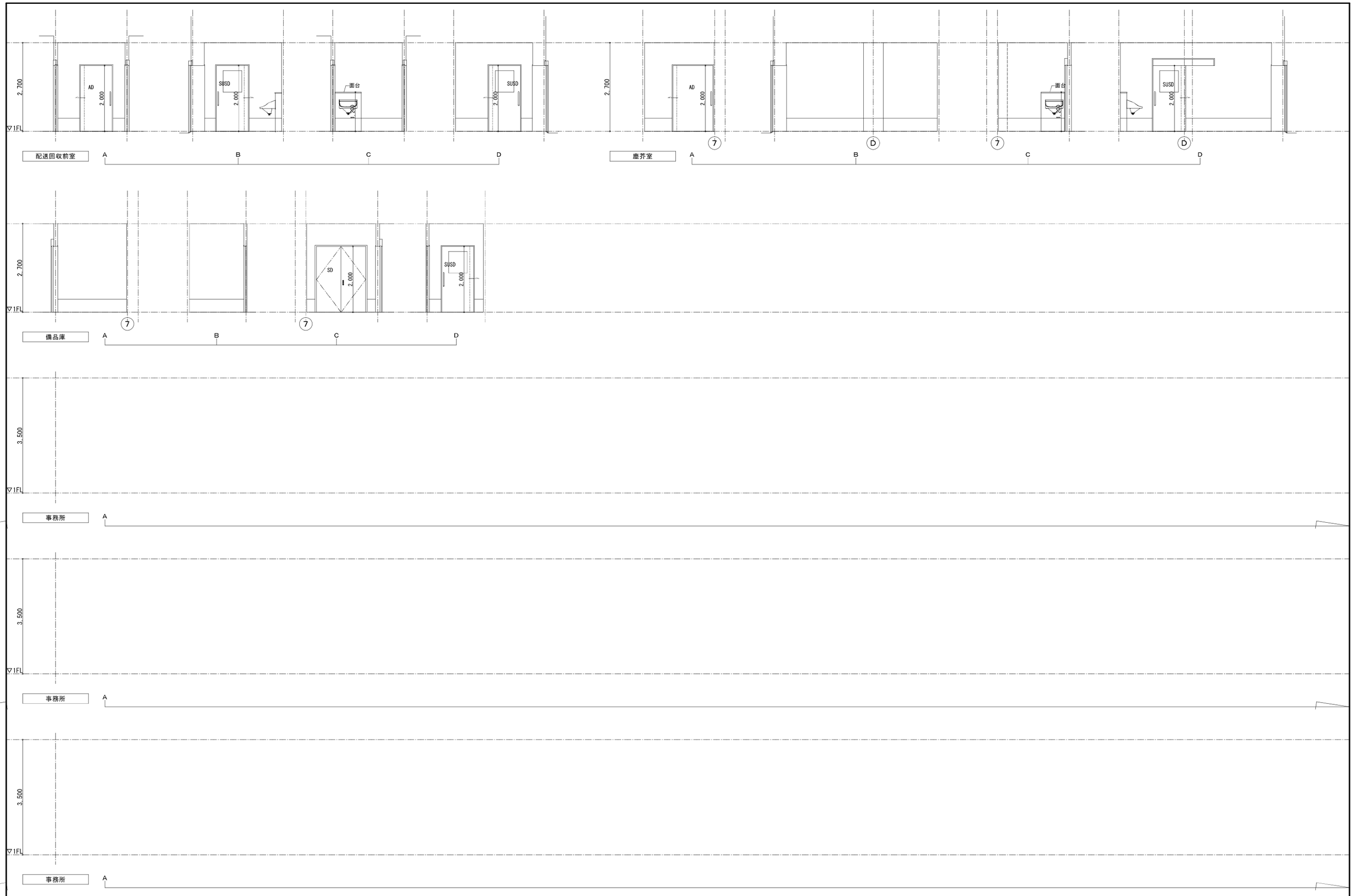
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階展開図（５）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ― 050



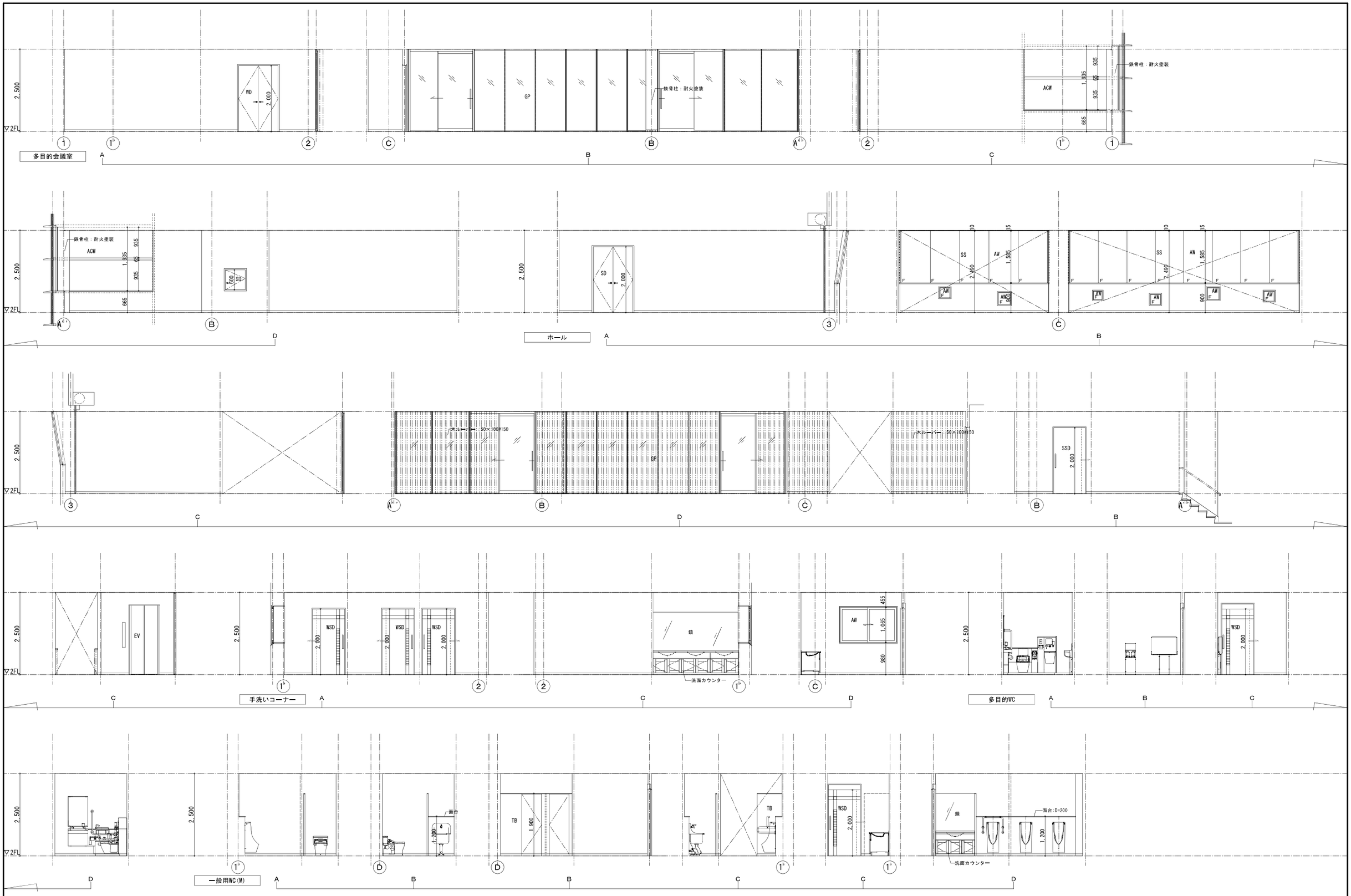
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS １階展開図（６）	SCALE A1:S=1/50 A3:S=1/100	No. A ― 051



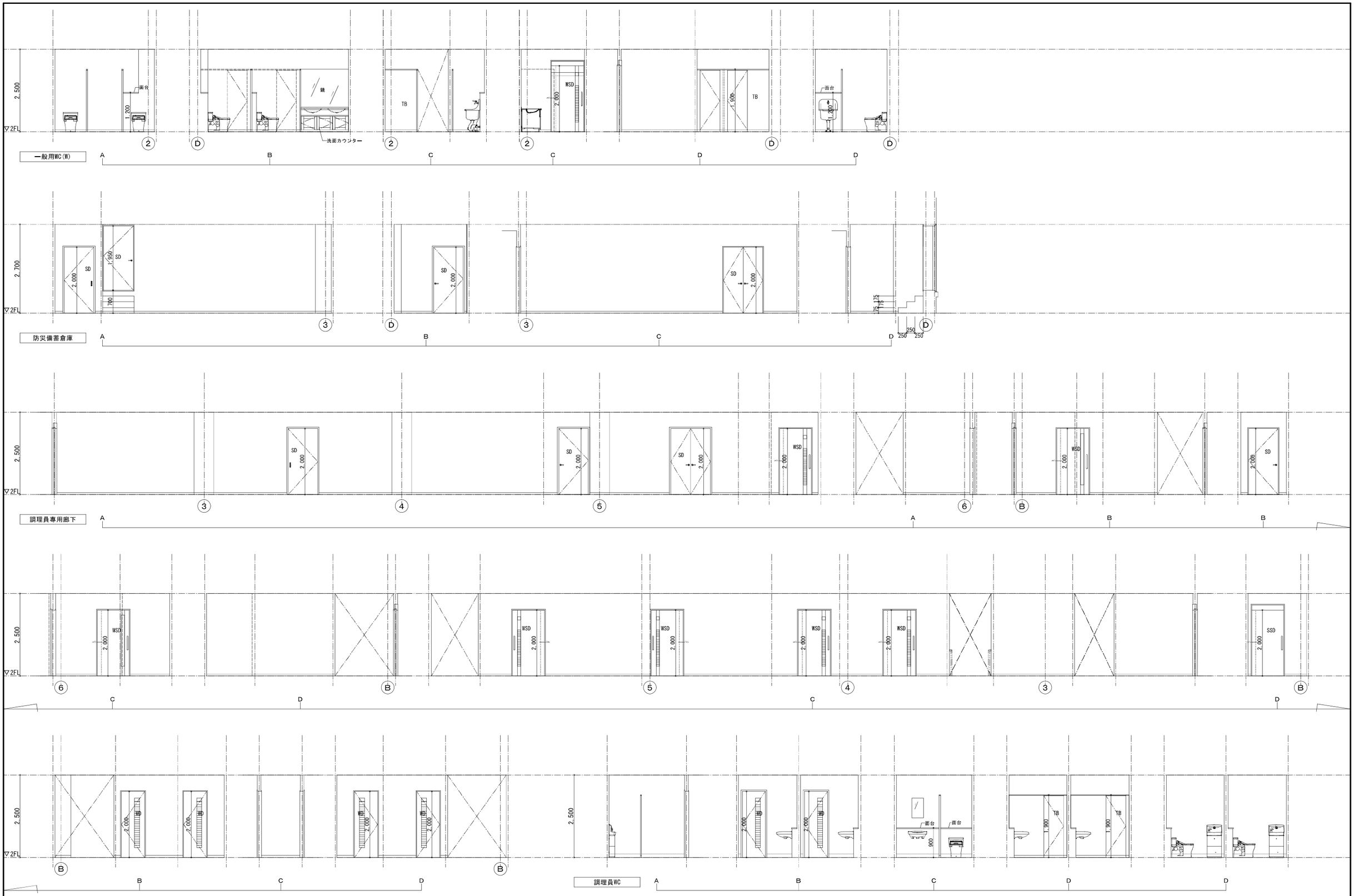
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE JOP	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS １階展開図（７）	SCALE A1:S=1/50 A3:S=1/100	No. A ー 052



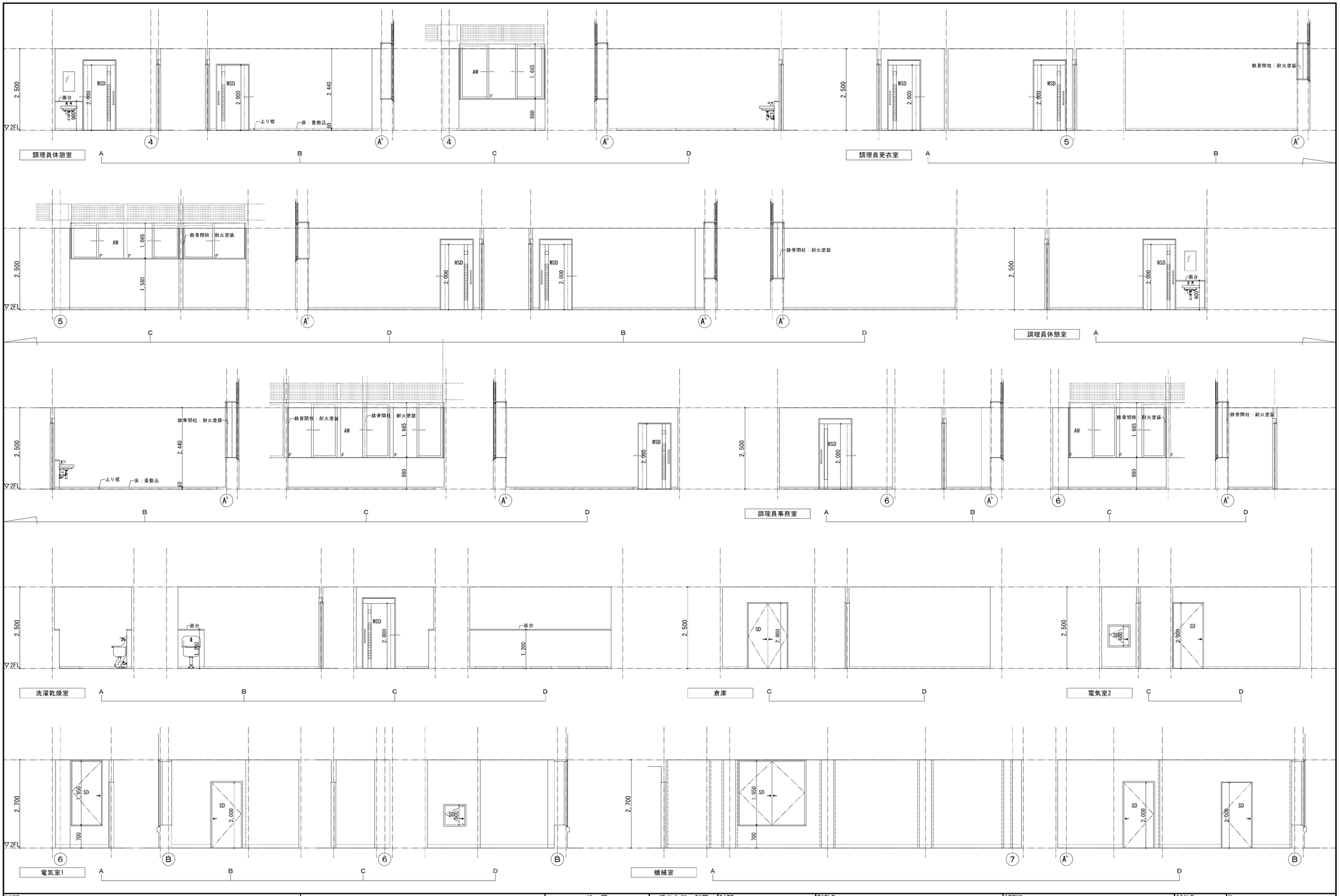
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階展開図（８）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ー 053



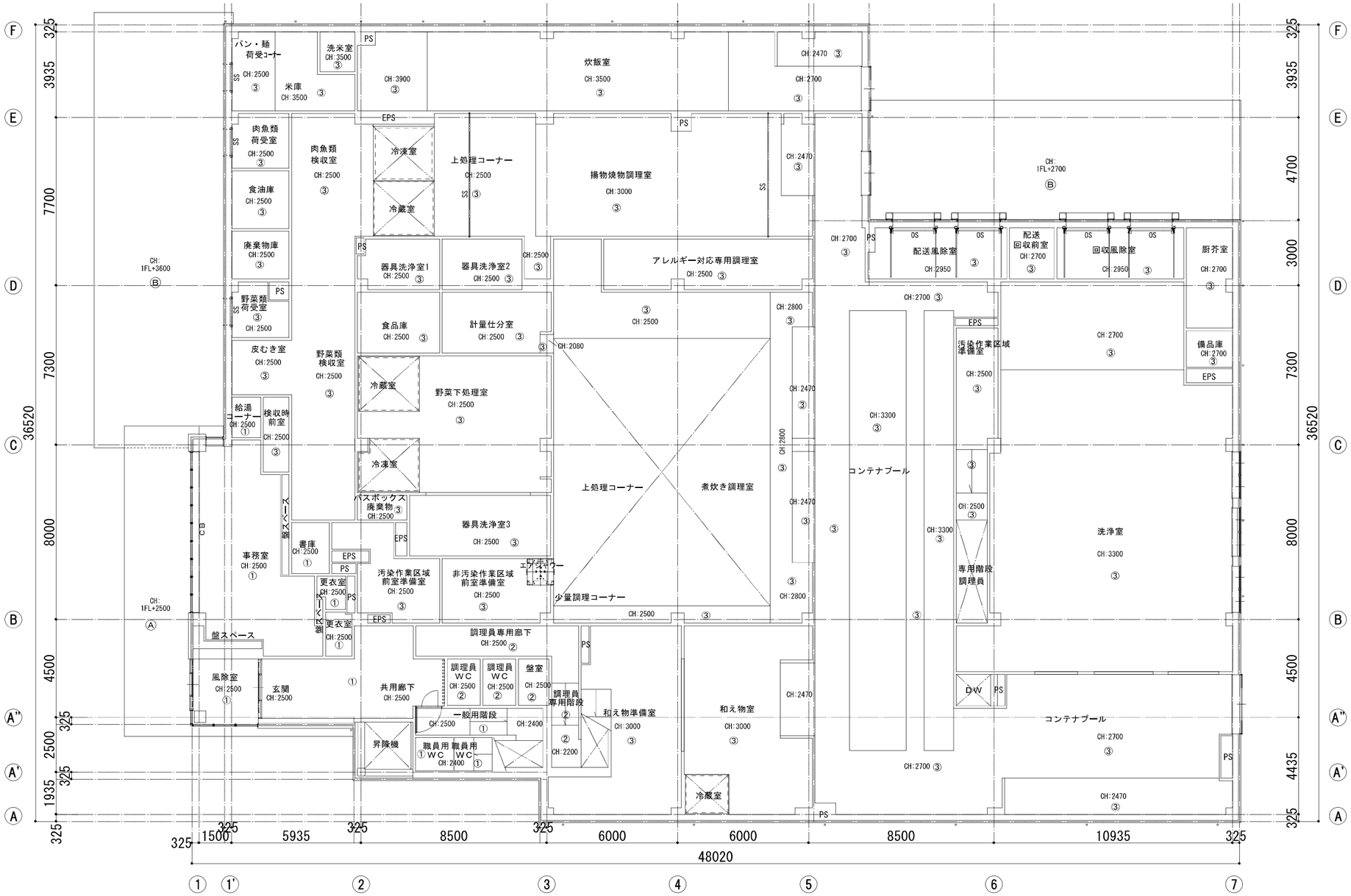
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階展開図（１）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ー 054



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS ２階展開図（２）	SCALE A1:S=1/50 A3:S=1/100	No. A ー 055



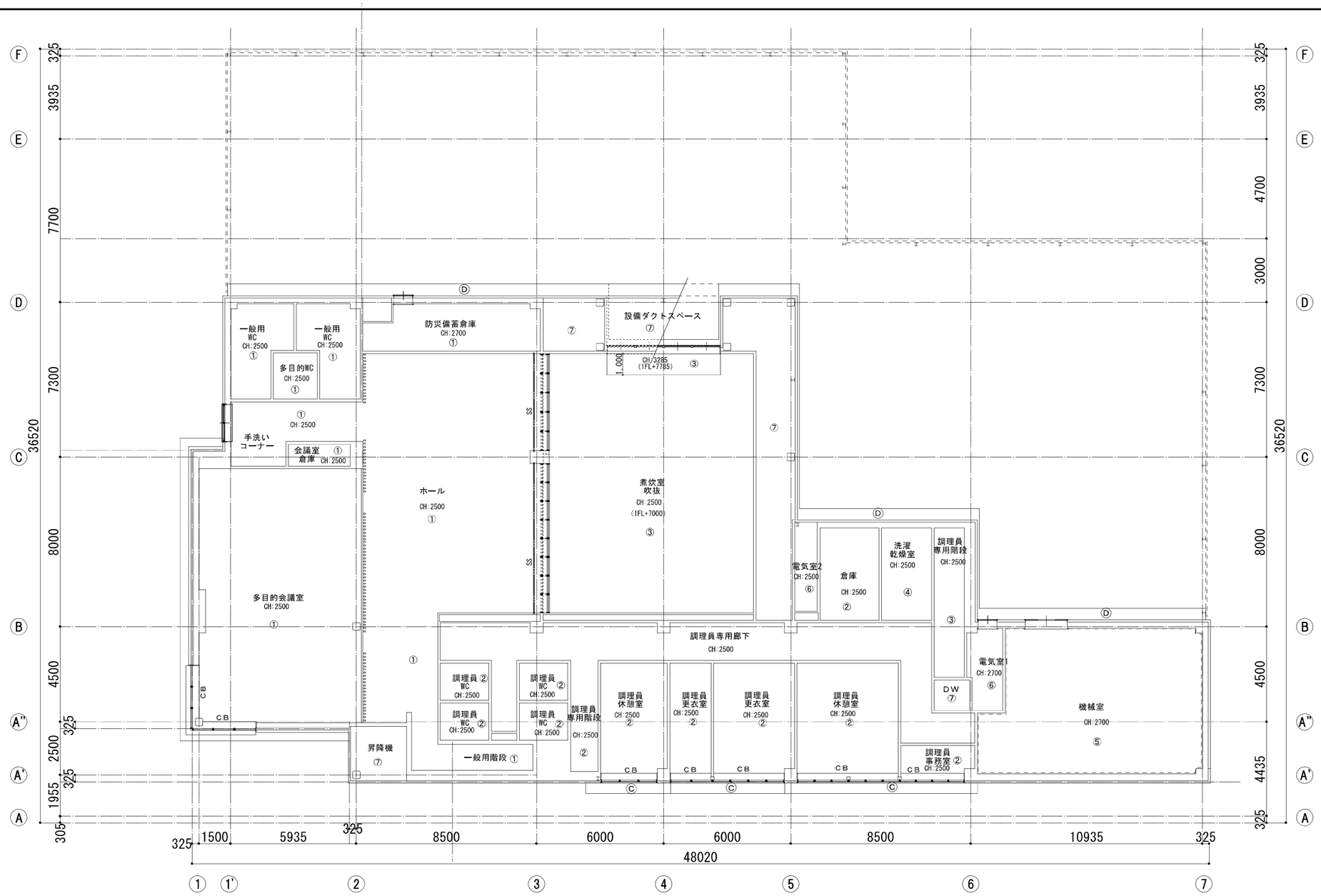
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階展開図（３）	A1:S=1/50 A3:S=1/100	A ー 056



凡例

記号	内部天井仕上	記号	外部天井仕上	記号	仕上
1	GB-R t12.5 ビニルクロス貼	A	アルミパネル	CB	カーテンBOX
2	GB-R t12.5 EP	B	アルミスパンドレル	CR	カーテンレール(天付)
3	ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張 EP-G	C	アルミ製既製品庇 D=500	PR	ピクチャーレール
4	ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張 EP	D	折板あらわし		天井点検口：450角
5	GB-R t12.5 グラスウールt50 ガラスクロス	E	ケイ酸カルシウム板 t6 吹付タイル		
6	折板あらわし	F			
7	GB-NC t9.5 化粧フィルム貼	G		＊天井高さはFLからの高さとする	
8	GB-D t9.5	H		＊特記なき天井はCH＝2500とする	
9		I		＊PS・DS内は天井仕上げ無しとする	
10		J			

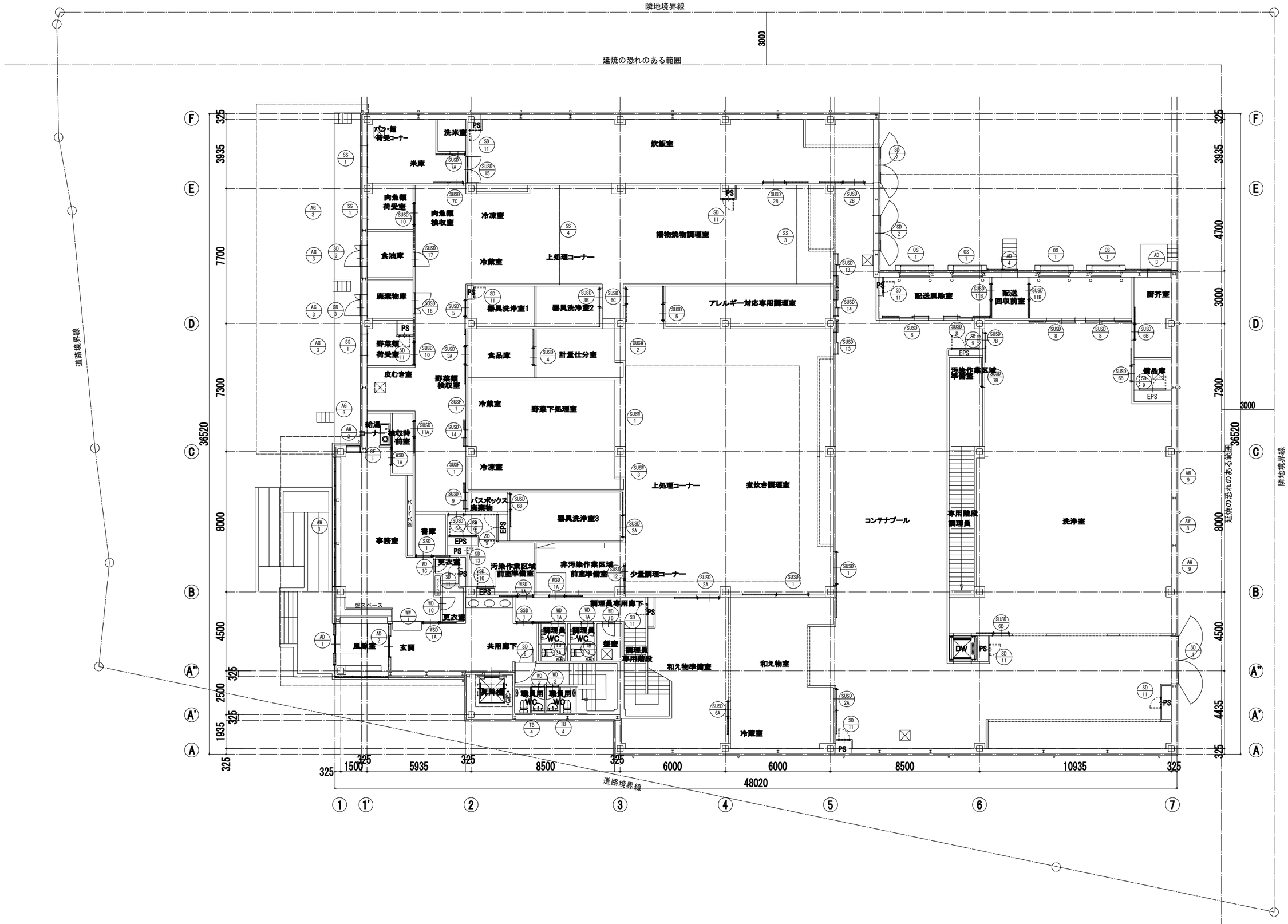
NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	1階天井伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A ー 057



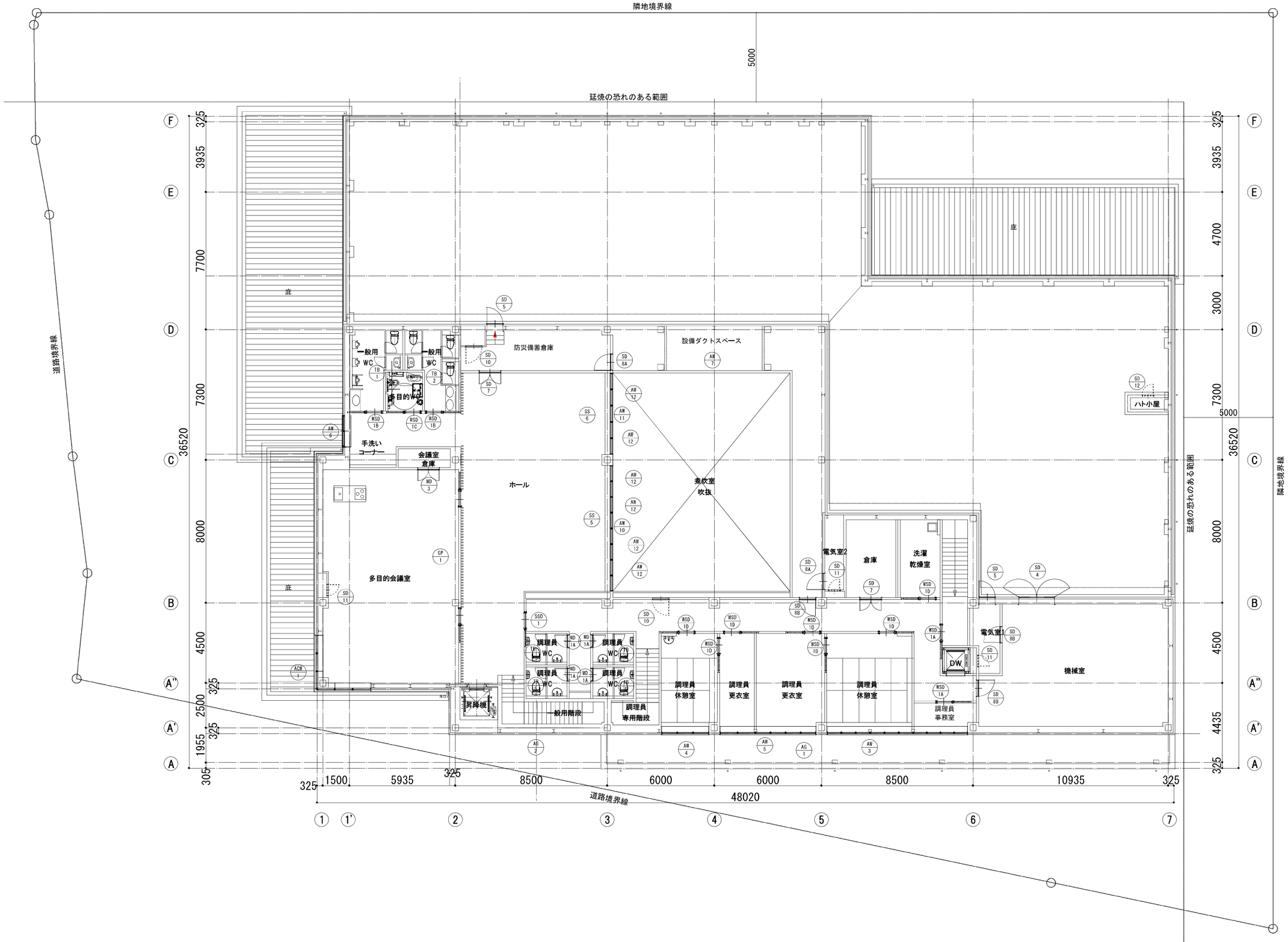
凡例

記号	内部天井仕上	記号	外部天井仕上	記号	仕上
①	GB-R t12.5　ビニルクロス貼	Ⓐ	アルミパネル	CB	カーテンＢＯＸ
②	GB-R t12.5　EP	Ⓑ	アルミスパンドレル	CR	カーテンレール(天付)
③	ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張 EP-G	Ⓒ	アルミ製既製品庇　D=500	PR	ピクチャーレール
④	ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張 EP	Ⓓ	折板あらわし		天井点検口：450角
⑤	GB-R t12.5　グラスウールt50 ガラスクロス	Ⓔ			
⑥	GB-R t12.5　素地	Ⓕ			
⑦	折板あらわし	Ⓖ		＊天井高さはFLからの高さとする	
⑧	GB-NC t9.5　化粧フィルム貼	Ⓗ		＊特記なき天井はCH＝2500とする	
⑨	GB-D t9.5	Ⓘ		＊PS・DS内は天井仕上げ無しとする	
⑩		Ⓙ			

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階天井伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A ー 058



NOTE		検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	１階建具配置図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A — 059



NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	２階建具配置図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A － 060

共　通　事　項

建具略号

略号	建具名称
ＡＣＷ	アルミ製カーテンウォール
ＡＤ	アルミ製戸
ＡＷ	アルミ製窓
ＡＧ	アルミ製がらり
ＳＦ	鋼製三方枠
ＳＤ	鋼製戸
ＳＳＤ	鋼製引戸
ＳＷ	鋼製窓
ＳＧ	鋼製がらり
ＳＳ	重量シャッター
ＬＳＤ	鋼製軽量戸
ＬＳＳＤ	鋼製軽量引戸
ＳＳ(Ｌ)	軽量シャッター
ＳＵＳＤ	ステンレス製戸
ＳＵＳＷ	ステンレス製窓
ＳＵＳＧ	ステンレス製がらり
ＷＤ	木製戸
ＷＳＤ	木製引戸
ＷＷ	木製窓
Ｆ	ふすま
Ｓ	障子
ＳＰ	スチールパーティション
ＳＬＷ	スライディングウォール
ＴＢ	トイレブース
ＯＨＤ	オーバーヘッドドア

ガラス略号

略号	ガラス
Ｐ	フロート板ガラス
Ｆ	型板ガラス
ＮＦ	網入型板ガラス
ＷＦ	線入型板ガラス
ＮＰ	網入磨板ガラス
ＷＰ	線入磨板ガラス
ＨＡＰ	熱線吸収フロート板ガラス
ＨＡＮＰ	熱線吸収網入磨板ガラス
ＨＡＷＰ	熱線吸収線入磨板ガラス
Ｔ	強化ガラス
ＴＦ	型板強化ガラス
ＩＧ	複層ガラス
ＨＲ	熱線反射ガラス
ＤＳ	倍強度ガラス
Ｌ	合わせガラス
ＡＰ	アルミ製パンチングメタル
Ａ	アクリル板

防火戸の種別

特	特定防設備（１時間）
防20	防火設備（２０分)耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域等の建築物の外壁に設ける防火設備
不	常閉不燃戸

扉見込寸法　(mm)

ＳＤ及びＳＵＳＤ	40（Ｈ＝2,400未満、扉一枚の幅＝1,050以下）
	50（Ｈ＝2,400以上、扉一枚の幅＝1,600以下）
	50（Ｈ＝2,700以上、扉一枚の幅＝1,500以下）
	60（Ｈ＝3,200以上、扉一枚の幅＝2,000以下）
ＬＳＤ	36
ＬＳＳＤ	36
ＷＤ	30（Ｈ＝1,000未満、扉一枚の幅＝900以下）
	36（Ｈ＝1,800未満、扉一枚の幅＝900以下）
	40（Ｈ＝2,400未満、扉一枚の幅＝900以下）
Ｆ	21（戸ふすまは30mm）
Ｓ	24

枠見込寸法　(mm)

＊ＳＤ・ＳＵＳＤ・ＬＳＤ・ＷＤに適用

Ａ：100mm未満　　Ｂ：100～200mm

Ｃ：200～300mm　　Ｄ：300mm以上

建具符号　　記号凡例

SD 1　建具略号　建具番号

◁▷：額縁取付用アングル（両面）

◁：アルミ額縁　電解着色仕上

▲：ステンレス下枠及び水切り

特記なきＡＷ・ＡＤは
アルミ水切、室内側額縁取付用アングル付

＊図中にFIXとあるのはハメ殺しガラス部分を示す

特　記　事　項

〔一般〕

０１．下枠、沓摺は特記なき限り、ステンレスｔ＝２．０とする。
０２．目地線はステンレス６×１５とする。
０３．透明ガラスはフロート板ガラス、網入りはクロスワイヤーとする。
０４．ガラスの厚さについては、メーカー決定の後に、確認のための計算をすること。
０５．ドアクローザは原則として室内側取付とし、防火戸以外はストッパー付とする。
０６．丁番は特記なき限り、ステンレス製とする。
０７．電気錠は通電時施錠式とし、鍵取付及び制御盤及びテンキー、枠から２ｍまで配線は本工事、配線、結線は電気工事とする。
０８．網戸は特記なき限り、（※ステンレス・合成樹脂）とする。
０９．点検口扉にはワイヤー金物を取り付ける。
１０．鍵はＣＰ「防犯性の高い建物部品」認定品とする。
１１．クレセントは大型クレセント（ロック付）とする。
１２．排煙窓のクレセント及び操作レバーの位置は床面から１．５００m以下とする。
１３．扉の握り玉及び把手類の高さは、１．０００ mとする。
１４．建具寸法は、メーカー仕様及び現場取り合いにより、詳細を検討すること。
１５．メーカーにより枠見込及び扉見込等が異なる場合は、現場にて検討の上、最適なものを採用すること。
１６．壁当たりとなる開き戸は、図面に寸法の記載がない場合、壁面から逃げ寸法を１００mm程度以上とし、ドアクローザの有無にかかわらず戸当りを設ける。
１７．ＦＩＸ部分には結露受け、外部排出孔を設置する。
１８．外部建具廻りには、ロックウールを充填する。
１９．異種素材額縁の場合は取付けアングルを見込むこと。（アングルは結露アングルとする）
２０．防音型（ＡＴ，セミＡＴ）は四面クロロプレンゴム取付、ゴム取合い部はステンレス鋼板1.5mmとし、扉内部ＲＷ充填とする。
２１．建具はすべてＦ☆☆☆☆の材料を使用すること
２１．特記なき限り、ステンレスは　SUS304　とする。
２２．ガラリは特記なき限り、外部はⅠ型とし、内部はⅢ型とする。
２３．外部に面するガラリは防鳥網付（ステンレス製）とする。
２４．ダクト接続のガラリには四方枠（表面処理亜鉛めっき鋼板 t2.3（めっき付着量Z12又はF12）加工、見込45mm、見付30mm、ＳＯＰ仕上）を付ける。
２５．アルミパンチングメタルはt=2.0mmとする。
２６．焼付塗装は、日塗オートカラー２００９より選定する。（バックヤードは除く）
２７．扉戸先側にコーナーガードを取付けること（内外）　カイダーベース工業 SSコーナーガード（H=300）同等品
２８．強化ガラスで、使用可能な箇所（厚さ・製作範囲）は、スクールテンパガラスとする。

〔ＳＵＳＤ，ＳＵＳＷ〕

０１．ステンレス製建具はすべてＢ角出とする。
０２．特記なき限り、ガラリ・窓枠・枠及び額縁の仕上は扉同等とする。

〔ＳＤ〕

０１．特記なき限り、ガラリ・窓枠・枠及び額縁の仕上は扉同等とする。
０２．

〔ＬＳＤ〕

０１．仕上は特記なき限り、指定色粉体焼付塗装（ガラリ、窓枠含む）とする。
０２．ＬＳＤ、ＬＳＳＤの芯材はペーパーコアとし、百合わせおよび根小口包み板は（※ステンレス鋼板　・鋼板）とする。

〔ＬＳＳＤ〕

０１．仕上は特記なき限り、指定色粉体焼付塗装（ガラリ、窓枠含む）とする。
０２．特記なき限り、枠及び額縁も指定色焼付塗装とする。
０３．戸袋タイプには手摺、ストレッチャーガードのための戸袋補強を施す。
０４．自閉式とし、防火戸以外は全開時ストッパー付とする。
０５．

〔ＡＷ，ＡＤ，ＡＧ〕

０１．外部に面する建具はＢ種「耐風圧Ｓ-５、気密性Ａ-４、水密性Ｗ-４、遮音性Ｔ-１」とする。
０２．ＳＡＴ（セミエアタイト）は、遮音性等級Ｔ-２とする。
０３．特記なき限り、枠見込は７０mmとする。
０４．特記なき限り、下枠はアルミ製とし、アルミ水切付とする。
０５．特記なき限り、室内側は額縁取付用アングル付（下部は結露受アングル）、またはアングル一体型とする。
０６．特記なき限り、ストッパーは開口制限ストッパー（障子に面付、鍵付）とする。
０７．ＡＤノンレールタイプはアルミ製排水レールを含む。
０８．網戸付とする。

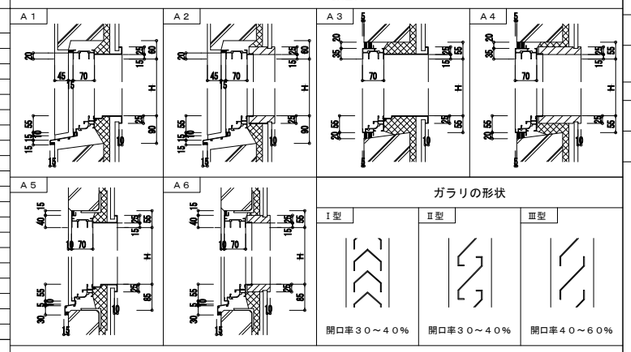
〔ＷＤ〕

０１．枠の仕上は特記なき限り、鋼製枠は指定色焼付塗装、木製枠は非塩ビシート(オレフィンシート)貼りとする。
０２．特記なき限り、収納に設置する開き戸の吊金具は、スライド丁番とし、上記以外の吊金具は、ピボットヒンジとする。
０３．引き戸には引き残しのため、枠に戸当たりを設置のこと。
０４．

〔ＴＢ〕

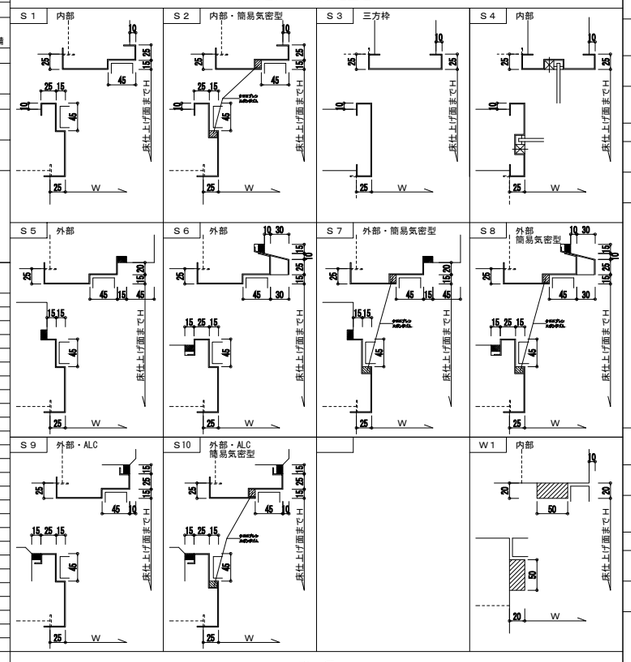
０１．トイレブースはポリ合板(木目)仕上、芯材はペーパーハニカム、巾木型とする。
０２．

アルミニウム製建具枠

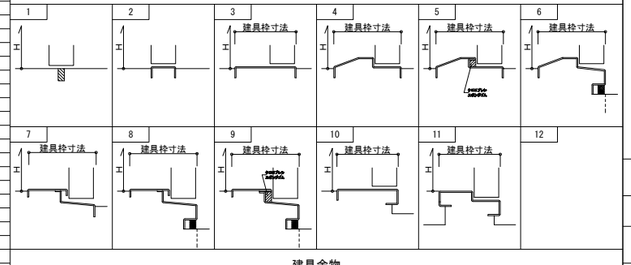


ガラリの形状

鋼製建具枠・鋼製軽量建具枠

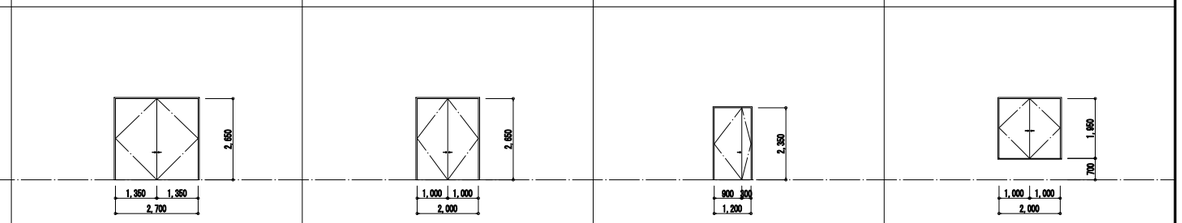


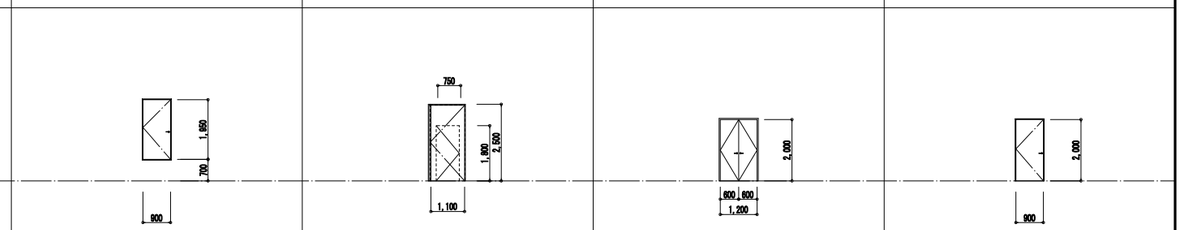
沓　摺



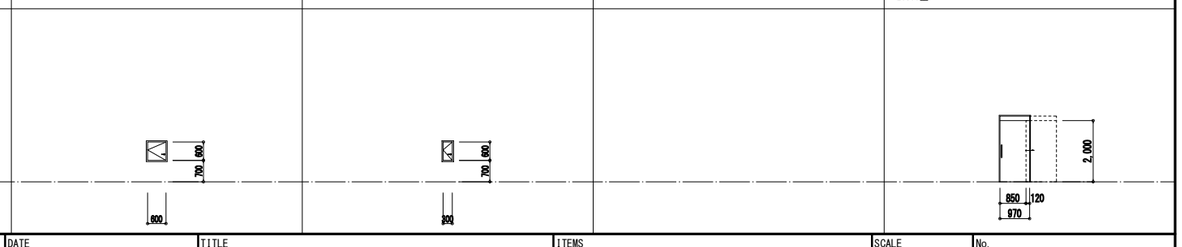
建具金物

建具略号	金物	参考品番（全て同程度とする）	
共通	ドアチェック	リョービ（株）	ジオプロ
	ドアチェック(ＷＤ)	リョービ（株）	ドアマン
	レバーハンドル錠	美和ロック（株）	ＬＡ、ハンドルは９４８タイプシルバー
	電気錠	美和ロック（株）	ＥＬ－１０１
	戸当り	ユニオン（株）	UT260-53-AL5（床）UT-261-90-AFS（壁）
	押棒	ユニオン（株）	Ｇ７３６－０１－１４１，Ｌ＝６５０
	オペレーター	オイレス工業（株）	ＳＬ８８シリーズ、ボックスはハンドルボックス１１０－Ⅱ焼付塗装
	引手(ＬＳＤ)	ユニオン（株）	Ｔ－６０１０

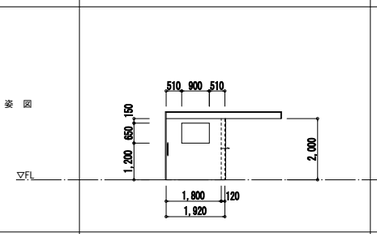
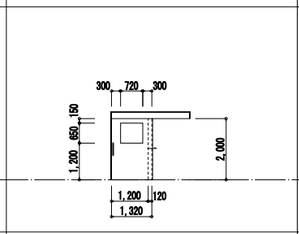
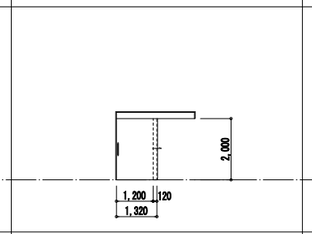
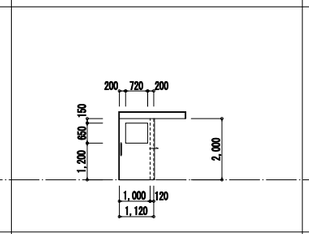
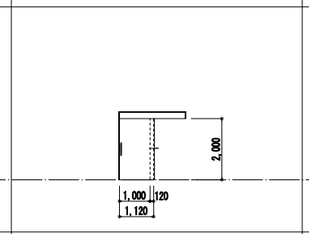
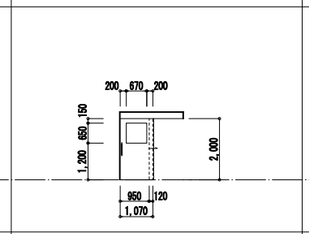
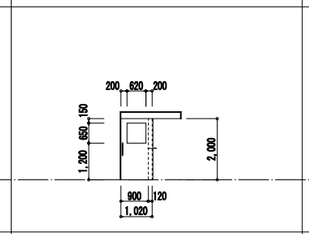
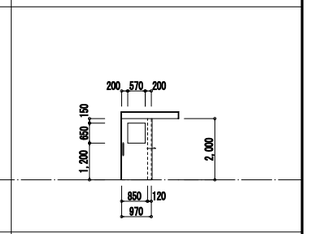
符号・形式/防火（ ）内はらん未他を示す		SD 1 両開きフラッシュ戸（セミエアタイト） —	SD 2 両開きフラッシュ戸（セミエアタイト） —	SD 3 親子開きフラッシュ戸（セミエアタイト） —	SD 4 両開きフラッシュ戸（セミエアタイト） —
材質・仕上	枠廻り記号（枠一容摺）枠見込寸法	スチール　SOP　S10 — 7 D	スチール　SOP　S10 — 7 D	スチール　SOP　S10 — 7 D	スチール　SOP　S10 — 8 B
金　物		グレモンハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー SUS丁番・戸当り・順位調整器	グレモンハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー SUS丁番・戸当り・順位調整器	グレモンハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー SUS丁番・戸当り・フランス落とし	グレモンハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー SUS丁番・戸当り・順位調整器
ガラス種類・厚さ		—	—	—	—
取付位置	数量	1階　コンテナプール　1 ヶ所	1階　コンテナプール・炊飯室　2 ヶ所	1階　廃棄物庫・食油庫　2 ヶ所	2階　機械室　1 ヶ所
備　考		扉内部ロックウール充填	扉内部ロックウール充填	扉内部ロックウール充填	扉内部ロックウール充填
姿　図					

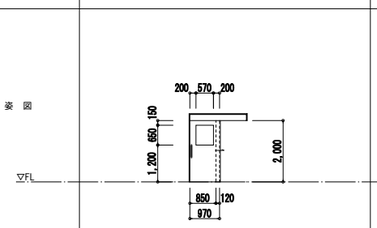
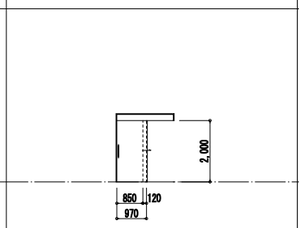
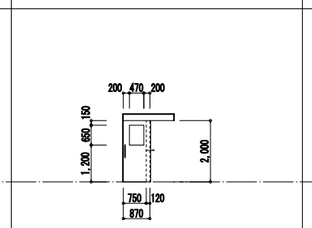
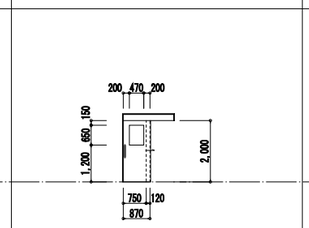
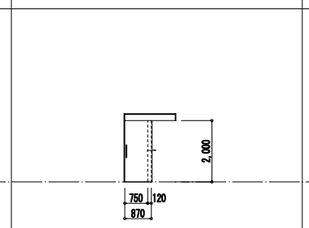
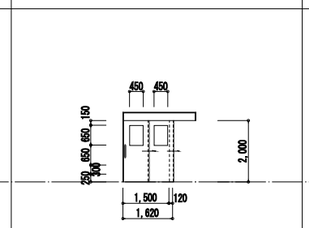
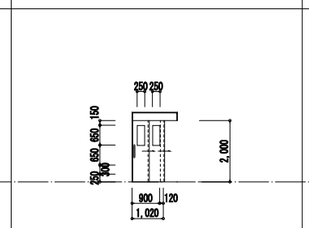
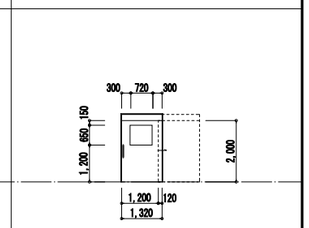
記号・形式/防火（ ）内はらん未他を示す		SD 5 片開きフラッシュ戸（セミエアタイト） —	SD 6 常時開放式片開きフラッシュ戸（煙感連動・くぐり戸付） 特	SD 7 両開きフラッシュ戸 —	SD 8A 片開きフラッシュ戸（セミエアタイト） —
材質・仕上	枠廻り記号（枠一容摺）枠見込寸法	スチール　SOP　S10 — 8 B	スチール　焼付塗装　S1 — 1 B	スチール　焼付塗装　S1 — 1 B	スチール　焼付塗装　S2 — 5 B
金　物		グレモンハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー SUS丁番・戸当り	埋込引手・付属金物一式	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り・順位調整器	グレモンハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り
ガラス種類・厚さ		—	—	—	—
取付位置	数量	2階　防災備蓄倉庫・電気室　2 ヶ所	1階　一般用階段　1 ヶ所	2階　倉庫・防災備蓄倉庫　2 ヶ所	2階　設備ダクトスペース・電気室２　2 ヶ所
備　考		扉内部ロックウール充填	-	-	扉内部ロックウール充填
姿　図					

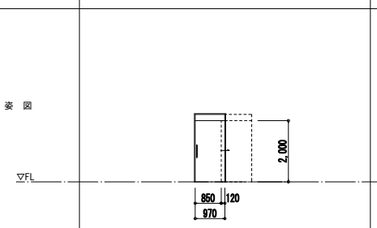
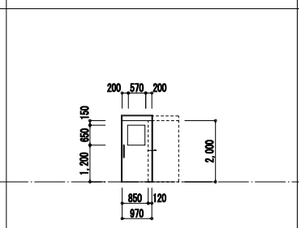
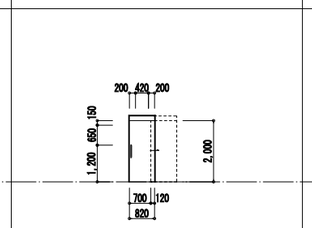
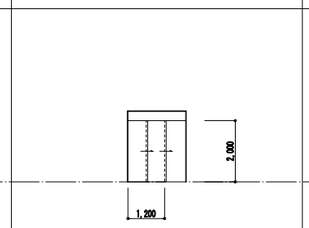
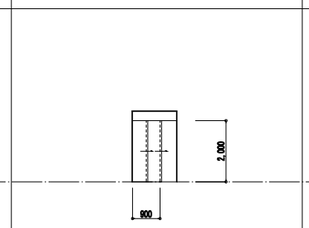
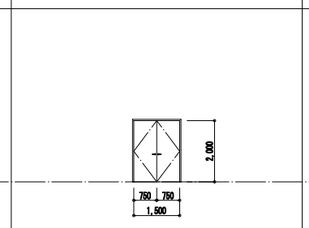
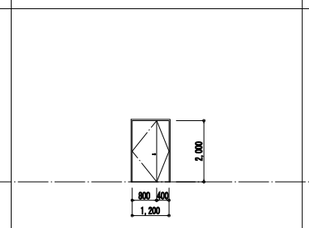
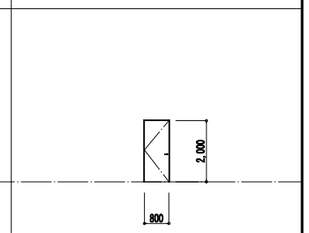
記号・形式/防火（ ）内はらん未他を示す		SD 8B 片開きフラッシュ戸（セミエアタイト） 特	SD 9 両開き片面フラッシュ戸(2連) —	SD 10 片開き片面フラッシュ戸 —	SD 11 片開きフラッシュ戸 —
材質・仕上	枠廻り記号（枠一容摺）枠見込寸法	スチール　焼付塗装　S2 — 5 B	スチール　焼付塗装　S1 — 2 A	スチール　焼付塗装　S1 — 2 A	スチール　焼付塗装　S1 — A
金　物		グレモンハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り	点検口締り、平面ハンドル(鍵付)、丁番	点検口締り、平面ハンドル(鍵付)、丁番	点検口締り、平面ハンドル(鍵付)、丁番
ガラス種類・厚さ		—	—	—	—
取付位置	数量	2階　設備ダクトスペース・機械室・電気室１　3 ヶ所	1階　EPS　4 ヶ所	1階　EPS 2階　PS　3 ヶ所	1・2階　PS　13 ヶ所
備　考		扉内部ロックウール充填	-	-	-
姿　図					

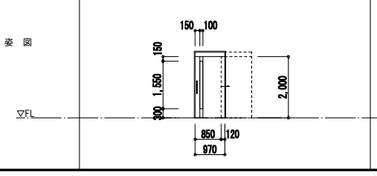
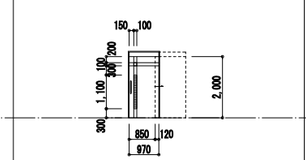
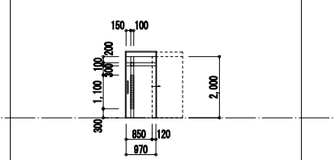
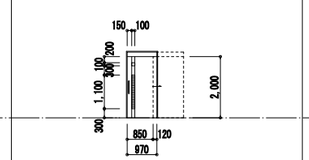
記号・形式/防火（ ）内はらん未他を示す		SD 12 片開きフラッシュ戸 —	SD 13 片開きフラッシュ戸 —		SSD 1 片引きフラッシュ戸 LGS内蔵型 特
材質・仕上	枠廻り記号（枠一容摺）枠見込寸法	スチール　SOP　S1 — A	スチール　焼付塗装　S1 — A	—	スチール　化粧フィルム　S3 — 1 B
金　物		レバーハンドル・シリンダー本締錠・丁番	点検口締り、平面ハンドル(鍵付)、丁番		シリンダー本締錠・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式
ガラス種類・厚さ		—	—		—
取付位置	数量	2階　ハト小屋　1 ヶ所	1階　PS　1 ヶ所	ヶ所	1階　調理員専用廊下 2階　調理員専用廊下　3 ヶ所
備　考		-	-		フリーストッパーなし（自閉）LGS90型
姿　図					

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建具表（１）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A — 061

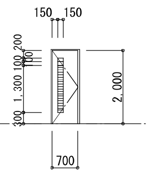
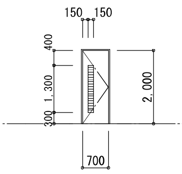
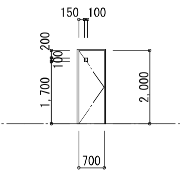
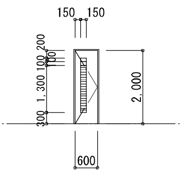
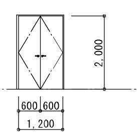
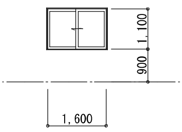
記号・形式/防火 ( )内はらん未他を示す	SUSD 1 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 2A 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 2B 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 特	SUSD 3A 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 3B 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 特	SUSD 4 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 5 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 6A 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —
材質・仕上 枠廻り記号(枠一設置)枠見込寸法	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C
金物	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式
ガラス種類・厚さ	T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム	—	T t5 飛散防止フィルム	—	T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム
取付位置 数量	1階 煮炊き調理室・和え物室 2 ヶ所	1階 器具洗浄室3・和え物室・和え物準備室 3 ヶ所	1階 炊飯室 2 ヶ所	1階 食品庫 1 ヶ所	1階 器具洗浄室2 1 ヶ所	1階 計量仕分室 1 ヶ所	1階 器具洗浄室1・アレルギー対応専用調理室 2 ヶ所	1階 汚染作業区域準備室・和え物準備室 2 ヶ所
備考	-	-	-	-	-	-	-	-
姿図								

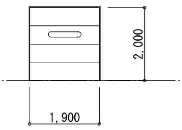
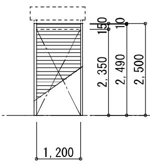
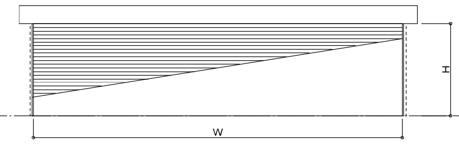
記号・形式/防火 ( )内はらん未他を示す	SUSD 6B 片引きフラッシュ戸 面付型 —	SUSD 6C 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 特	SUSD 7A 片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 7B 片引きフラッシュ戸 面付型 —	SUSD 7C 片引きフラッシュ戸 面付型 特	SUSD 8 2重片引きフラッシュ戸 面付型 —	SUSD 9 2重片引きフラッシュ戸 面付型 —	SUSD 10 片引きフラッシュ自動ドア LGS内蔵型 —
材質・仕上 枠廻り記号(枠一設置)枠見込寸法	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 B
金物	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式
ガラス種類・厚さ	T t5 飛散防止フィルム	—	T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム	—	T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム
取付位置 数量	1階 バスボックス廃棄物 洗浄室・備品庫・塵芥室 4 ヶ所	1階 揚物焼物調理室 1 ヶ所	1階 洗米室 1 ヶ所	1階 洗浄室・調理員専用階段 2 ヶ所	1階 米庫 1 ヶ所	1階 回収風除室・配送風除室 4 ヶ所	1階 バスボックス廃棄物 1 ヶ所	1階 野菜類荷受室・肉魚類荷受室 2 ヶ所
備考	-	-	-	-	-	-	-	-
姿図								

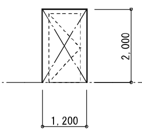
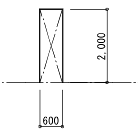
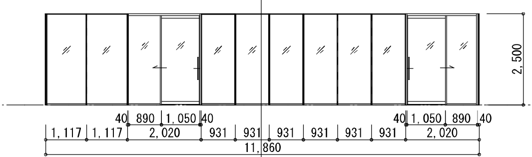
記号・形式/防火 ( )内はらん未他を示す	SUSD 11A 片引きフラッシュ自動ドア LGS内蔵型 特	SUSD 11B 片引きフラッシュ戸 LGS内蔵型 —	SUSD 12 片引きフラッシュ戸 LGS内蔵型 —	SUSD 13 2重片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 14 2重片引きフラッシュ自動ドア 面付型 —	SUSD 15 両開きフラッシュ戸 —	SUSD 16 親子開きフラッシュ戸 —	SUSD 17 片開きフラッシュ戸 —
材質・仕上 枠廻り記号(枠一設置)枠見込寸法	ステンレス HL S3 — 1 B	ステンレス HL S3 — 1 B	ステンレス HL S3 — 1 B	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S3 — 1 C	ステンレス HL S1 — 1 B	ステンレス HL S1 — 1 B	ステンレス HL S1 — 1 B
金物	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・引棒・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・無目付センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・付属金物一式	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り・順位調整器	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り・フランス落とし	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り
ガラス種類・厚さ	—	T t5 飛散防止フィルム	—	—	—	—	—	—
取付位置 数量	1階 検収時前室 1 ヶ所	1階 配送回収前室 2 ヶ所	1階 非汚染作業区域準備室 1 ヶ所	1階 揚物焼物調理室・煮炊き調理室 2 ヶ所	1階 野菜下処理室・アレルギー対応専用調理室 2 ヶ所	1階 米庫 1 ヶ所	1階 廃棄物庫 1 ヶ所	1階 食油庫 1 ヶ所
備考	LGS90型	-	LGS90型	-	-	-	-	-
姿図								

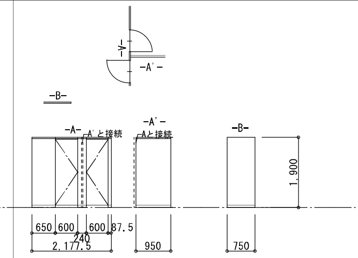
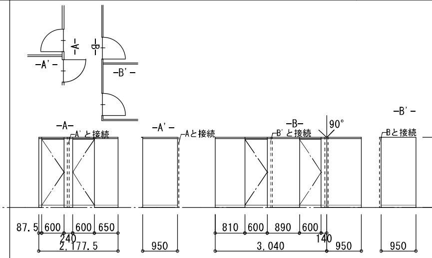
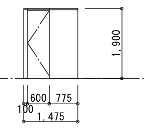
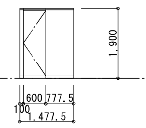
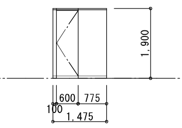
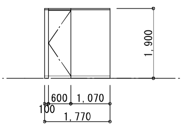
記号・形式/防火 ( )内はらん未他を示す	SUSD 1A 片引きフラッシュ戸 LGS内蔵型 不	SUSD 1B 片引きフラッシュ戸 LGS内蔵型 不	SUSD 1C 片引きフラッシュ戸 LGS内蔵型 不	SUSD 1D 片引きフラッシュ戸 LGS内蔵型 不				
材質・仕上 枠廻り記号(枠一設置)枠見込寸法	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 S3 — 1 B	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 S3 — 1 B	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 S3 — 1 B	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 S3 — 1 B	—	—	—
金物	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式・ガラリ	シリンダー表示錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式・ガラリ	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ソフトクローザー・付属金物一式・ガラリ				
ガラス種類・厚さ	F t4	F t4	F t4	F t4				
取付位置 数量	1階 事務室・検収時前室 汚染作業区域準備室・非汚染作業区域準備室 2階 調理員事務室・調理員専用階段 6 ヶ所	2階 一般用WC 2 ヶ所	2階 多目的WC 1 ヶ所	2階 調理員更衣室・調理員休憩室・洗濯乾燥室 7 ヶ所	ヶ所	ヶ所	計 ヶ所	ヶ所
備考	-	-	-	-				
姿図								

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建具表（２）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A — 062

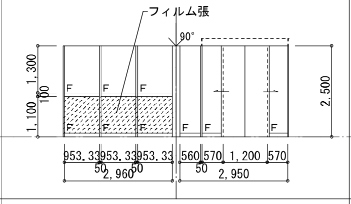
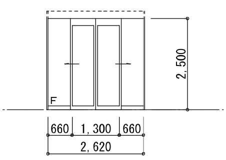
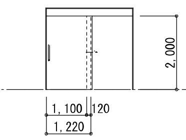
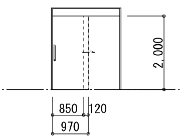
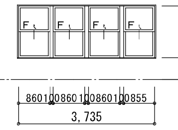
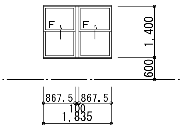
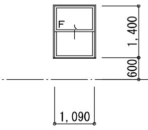
記号・形式/防火 （ ）内はらんま他を示す	WD 1A 片開きフラッシュ戸 不	WD 1B 片開きフラッシュ戸 不	WD 1C 片開きフラッシュ戸 不	WD 2 片開きフラッシュ戸 不	WD 3 両開きフラッシュ戸 ー		WW 1 カウンター引違い窓 ー	
材質・仕上 / 枠廻り記号（枠ー沓摺）枠見込寸法	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 / S1 ー 1 B	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 / S1 ー 1 B	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 / S1 ー 1 B	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 / S1 ー 1 B	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 / S1 ー 1 B	ー	木(不燃) オレフィンシート スチール枠 焼付塗装 / ー B	ー
金物	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り・ガラリ	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り・ガラリ	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り・ガラリ	レバーハンドル・シリンダー本締錠・ドアクローザー ピボットヒンジ・戸当り		引手・戸車・敷レール・付属金物一式	
ガラス種類・厚さ	F t4	ー	F t4	F t4	ー		T t5	
取付位置 / 数量	1階 調理員用WC 2階 調理員用WC / 6 ヶ所	1階 盤室 / 1 ヶ所	1階 更衣室 / 2 ヶ所	1階 職員用WC / 2 ヶ所	2階 会議室倉庫 / 1 ヶ所	ヶ所	1階 受付 / 1 ヶ所	ヶ所
備考	-	-	アンダーカット20mm	-	アンダーカット		ー	
姿図								

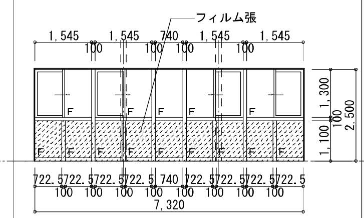
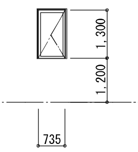
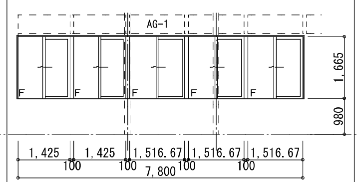
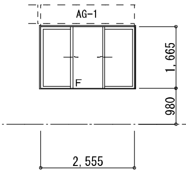
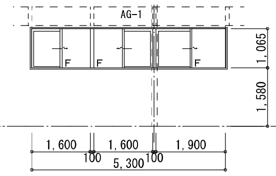
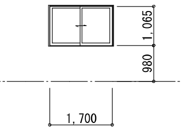
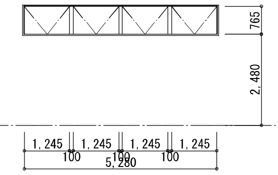
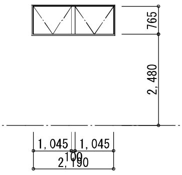
記号・形式/防火 （ ）内はらんま他を示す	OS 1 スチール製断熱オーバースライダー 手動・チェーン式 ー		SS 1 軽量シャッター 電動式(常時閉鎖) ー	SS 2	SS 3 防火防煙重量シャッター 常時開放 煙感連動 特	SS 4 防火防煙重量シャッター 常時開放 煙感連動 特	SS 5 防火防煙重量シャッター 常時開放 煙感連動 特	SS 6 防火防煙重量シャッター 常時開放 煙感連動 特
材質・仕上 / 枠廻り記号（枠ー沓摺）枠見込寸法	チルドスチール / S3 ー D	ー	高耐食カーラー鋼板 / S3 ー D	ー	SUS HL / S3 ー B	SUS HL / S3 ー B	亜鉛メッキ処理鋼板 / S3 ー B	亜鉛メッキ処理鋼板 / S3 ー B
金物	ガイドレール・三方枠・ラッチ錠・付属金物一式		ガイドレール(SUS)・まぐさ(SUS)・座板(SUS)・三方枠 シャッターボックス・電動巻上装置・安全装置 付属金物一式		ガイドレール(SUS)・まぐさ(SUS)・座板(SUS)・三方枠 シャッターボックス・安全装置 付属金物一式	ガイドレール(SUS)・まぐさ(SUS)・座板(SUS)・三方枠 シャッターボックス・安全装置 付属金物一式	ガイドレール(SUS)・まぐさ(SUS)・座板(SUS)・三方枠 シャッターボックス・安全装置 付属金物一式	ガイドレール(SUS)・まぐさ(SUS)・座板(SUS)・三方枠 シャッターボックス・安全装置 付属金物一式
ガラス種類・厚さ	P t3+A6+P t3		ー		ー	ー	ー	ー
取付位置 / 数量	1階 回収風除室・配送風除室 / 4 ヶ所	ヶ所	1階 野菜類荷受室・肉魚類荷受室・米庫 / 3 ヶ所	ヶ所	1階 揚物焼物調理室 / 1 ヶ所	1階 揚物焼物調理室 / 1 ヶ所	2階 ホール / 1 ヶ所	2階 ホール / 1 ヶ所
備考	耐風圧強度：1000Pa		-		-	-	-	-
姿図					 SS-3 W=5,580 H=3,000 SS-4 W=5,580 H=2,500 SS-5 W=7,020 H=2,500 SS-6 W=4,550 H=2,500			

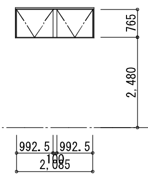
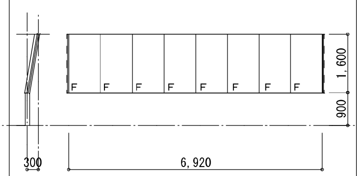
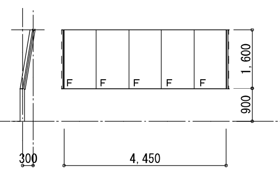
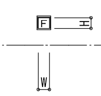
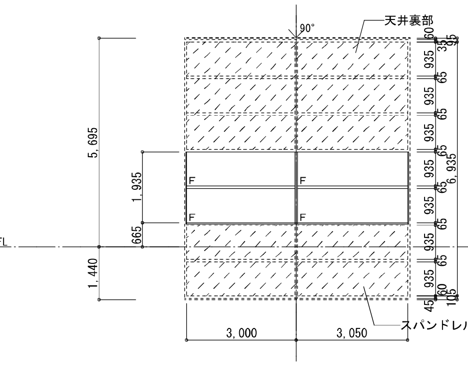
記号・形式/防火 （ ）内はらんま他を示す	SUSF 1 三方枠 ー	SF 1 三方枠 ー		GP 1 ガラスパーティション （FIX窓） ー				
材質・仕上 / 枠廻り記号（枠ー沓摺）枠見込寸法	SUS HL / S3 ー B	スチール 焼付塗装 / S3 ー B	ー	ー	ー	ー	ー	ー
金物	付属金物一式	付属金物一式						
ガラス種類・厚さ	ー	ー						
取付位置 / 数量	1階 冷蔵室・冷凍室 / 2 ヶ所	1階 給湯コーナー(事務室) / 1 ヶ所	ヶ所	2階 多目的会議室 / 1 ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所
備考	ー	ー		別図参照				
姿図								

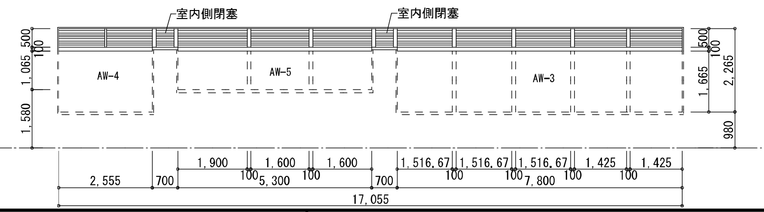
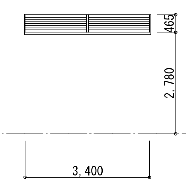
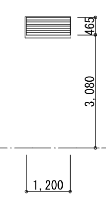
記号・形式/防火 （ ）内はらんま他を示す	TB 1 トイレブース ー	TB 2 トイレブース ー		TB 3 トイレブース ー	TB 3A トイレブース ー	TB 4 トイレブース ー	TB 5 トイレブース ー	
材質・仕上 / 枠廻り記号（枠ー沓摺）枠見込寸法	メラミン化粧合板フラッシュt40 / ー	メラミン化粧合板フラッシュt40 / ー	ー	メラミン化粧合板フラッシュt40 / ー	メラミン化粧合板フラッシュt40 / ー	メラミン化粧合板フラッシュt40 / ー	メラミン化粧合板フラッシュt40 / ー	ー
金物	芯材：ペーパーコア 巾木：ステンレス グレビディヒンジ（90°ストップ）・アルミアールエッジ 表示付取手・戸当り・付属金物一式	芯材：ペーパーコア 巾木：ステンレス 付属金物一式		芯材：ペーパーコア 巾木：ステンレス 付属金物一式	芯材：ペーパーコア 巾木：ステンレス 付属金物一式	芯材：ペーパーコア 巾木：ステンレス 付属金物一式	芯材：ペーパーコア 巾木：ステンレス 付属金物一式	
ガラス種類・厚さ	ー	ー		ー	ー	ー	ー	
取付位置 / 数量	2階 一般用男子WC / 1 ヶ所	2階 一般用女子WC / 1 ヶ所	ヶ所	1階 調理員用WC / 1 ヶ所	1階 調理員用WC / 1 ヶ所	1階 職員用WC / 2 ヶ所	2階 調理員用WC / 4 ヶ所	ヶ所
備考	ー	ー		ー	ー	ー	ー	
姿図								

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建具表（3）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A — 063

記号・形式/防火 ( ) 内はらんま他を示す	AD 1 引き分け自動ドア+FIX窓 —	AD 2 引き分け自動ドア —	AD 3 片引きフラッシュ戸	AD 4 片引きフラッシュ戸		SUSW 1 上げ下げ窓 —	SUSW 2 上げ下げ窓 —	SUSW 3 上げ下げ窓 —
材質・仕上 / 枠廻り記号 (枠ー沓摺) 枠見込寸法	アルミ 電解着色 ダイノックシート(扉)・SUS目地 / A5 — 1 B	アルミ 電解着色 / — 1 B	アルミ 電解着色 / A5 — 1 B	アルミ 電解着色 / A5 — 1 B	—	SUS HL / S3 — B	SUS HL / S3 — B	SUS HL / S3 — B
金物	自動ドアエンジン一式・天井センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・付属金物一式	自動ドアエンジン一式・天井センサー・安全センサー パニックオープン機構・スイッチボックス シリンダー本締錠・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ハンガーレール・振れ止・付属金物一式	シリンダー本締錠・フリーストッパー・引棒 ハンガーレール・振れ止・付属金物一式		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
ガラス種類・厚さ	T t12	T t12	—	—		T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム	T t5 飛散防止フィルム
取付位置 / 数量	1階 風除室 / 1 ヶ所	1階 風除室 / 1 ヶ所	1階 塵芥室 / 1 ヶ所	1階 配送回収前室 / 1 ヶ所	ヶ所	1階 野菜下処理室 / 1 ヶ所	1階 計量仕分室 / 1 ヶ所	1階 野菜下処理室 / 1 ヶ所
備考	腰部：フィルム張り	衝突防止シール	—	—		受け渡しカウンター：SUSt1.5加工	受け渡しカウンター：SUSt1.5加工	受け渡しカウンター：SUSt1.5加工
姿図								

記号・形式/防火 ( ) 内はらんま他を示す	AW 1 片引窓+FIX窓 —	AW 2 縦スベリ出し窓 —	AW 3 片引窓+FIX窓 —	AW 4 両袖片引窓 —	AW 5 片引窓 —	AW 6 引違い窓 —	AW 7 外倒し排煙窓 —	AW 8 外倒し排煙窓 —
材質・仕上 / 枠廻り記号 (枠ー沓摺) 枠見込寸法	アルミ 電解着色 / A6 — A	アルミ 電解着色 / A6 — A	アルミ 電解着色 / A6 — A	アルミ 電解着色 / A6 — A	アルミ 電解着色 / A6 — A	アルミ 電解着色 / A6 — A	アルミ 電解着色 / A5 — A	アルミ 電解着色 / A5 — A
金物	引き手・クレセント(ロック付) 付属金物一式・網戸	グレモンハンドル 付属金物一式・網戸	引き手・クレセント(ロック付) 付属金物一式・網戸	引き手・クレセント(ロック付) 付属金物一式・網戸	引き手・クレセント(ロック付) 付属金物一式・網戸 間仕切り取合金物	引き手・クレセント(ロック付) 付属金物一式・網戸	ワンタッチ式オペレーター機構（隠蔽型） 付属金物一式	ワンタッチ式オペレーター機構（隠蔽型） 付属金物一式
ガラス種類・厚さ	IG T5+A6+LowE5	IG T5+A6+LowE5	IG T5+A6+LowE5	IG T5+A6+LowE5	IG T5+A6+LowE5	IG T5+A6+LowE5	アルミ複合板	アルミ複合板
取付位置 / 数量	1階 事務室 / 1 ヶ所	1階 事務室 / 1 ヶ所	2階 調理員休憩室・事務室 / 1 ヶ所	2階 調理員休憩室 / 1 ヶ所	2階 調理員更衣室 / 1 ヶ所	2階 手洗いコーナー / 1 ヶ所	2階 煮炊室吹抜上部 / 1 ヶ所	1階 洗浄室上部 / 1 ヶ所
備考	腰部：フィルム張り	—	—	—	—	—	窓内部ロックウール充填	窓内部ロックウール充填
姿図								

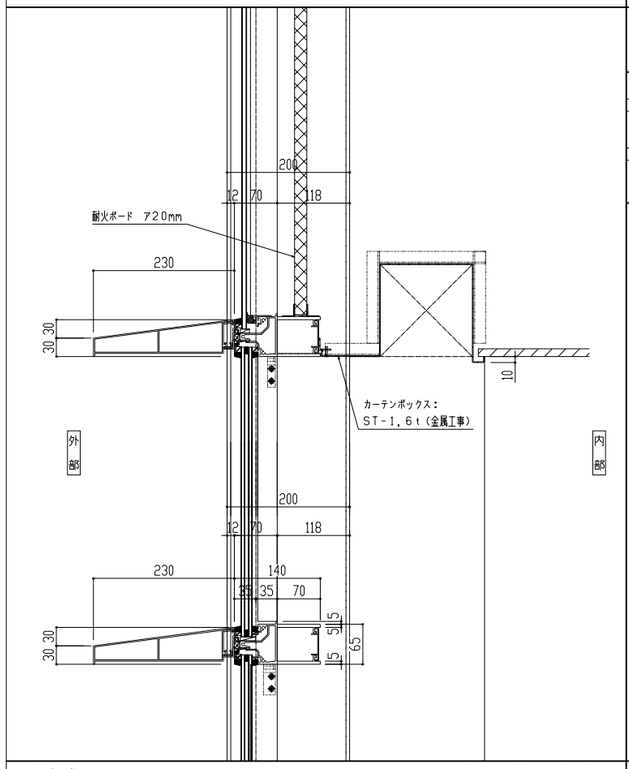
記号・形式/防火 ( ) 内はらんま他を示す	AW 9 外倒し排煙窓 —	AW 10 FIX傾斜窓 —	AW 11 FIX傾斜窓 —	AW 12 FIX窓 —			ACW 1 FIX窓	
材質・仕上 / 枠廻り記号 (枠ー沓摺) 枠見込寸法	アルミ 電解着色 / A5 — A	アルミ 電解着色 / — A	アルミ 電解着色 / — A	アルミ 電解着色 / A6 — A	—	—	アルミ 電解着色 / —	—
金物	ワンタッチ式オペレーター機構（隠蔽型） 付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式			ワンタッチ式オペレーター機構（隠蔽型） 付属金物一式・網戸	
ガラス種類・厚さ	アルミ複合板	IG T8+A12+P t8	IG T8+A12+P t8	IG T5+A6+P t5			IG P t8+A6+LowE t8 スパンドレル部：NP t6.8+A6+LowE t8	
取付位置 / 数量	1階 洗浄室上部 / 2 ヶ所	2階 ホール / 1 ヶ所	2階 ホール / 1 ヶ所	2階 ホール / 6 ヶ所	ヶ所	ヶ所	2階 多目的会議室 / 1 ヶ所	ヶ所
備考	窓内部ロックウール充填	—	—	—			スパンドレル部・天井裏部：半透明フィルム貼・ケイカル板裏打	
姿図				W・H=250 1ヶ所 W・H=300 3ヶ所 W・H=350 2ヶ所 程度 				

記号・形式/防火 ( ) 内はらんま他を示す	AG 1 アルミガラリ —			AG 2 アルミガラリ —	AG 3 アルミガラリ —	
材質・仕上 / 枠廻り記号 (枠ー沓摺) 枠見込寸法	アルミ 電解着色 / A6 — A	—	—	アルミ 電解着色 / A6 — A	アルミ 電解着色 / A6 — A	—
金物	付属金物一式・ダクト接続金物			付属金物一式・ダクト接続金物	付属金物一式・ダクト接続金物	
ガラス種類・厚さ	—			—	—	
取付位置 / 数量	2階 調理員休憩室・更衣室・事務室 / 1 ヶ所	ヶ所	ヶ所	2階 一般階段上部 / 1 ヶ所	1階 野菜類荷受室・肉魚類荷受室 食油庫・廃棄物庫・皮むき室 上部 / 5 ヶ所	ヶ所
備考	—			—	—	
姿図						

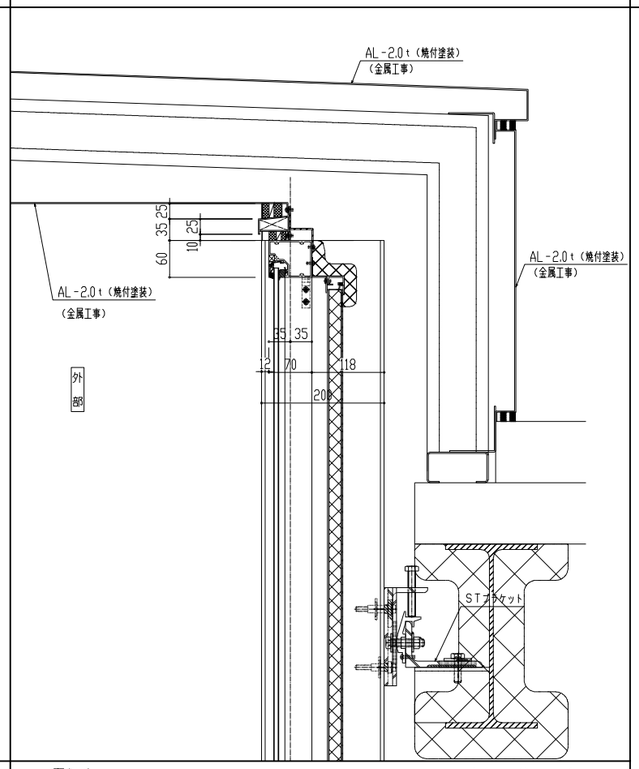
NOTE		検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	No.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	建具表（4）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	A — 064

多目的会議室

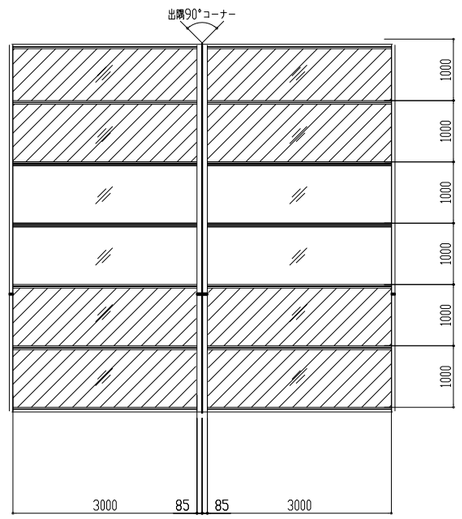
天井部断面　A1: S = 1/5



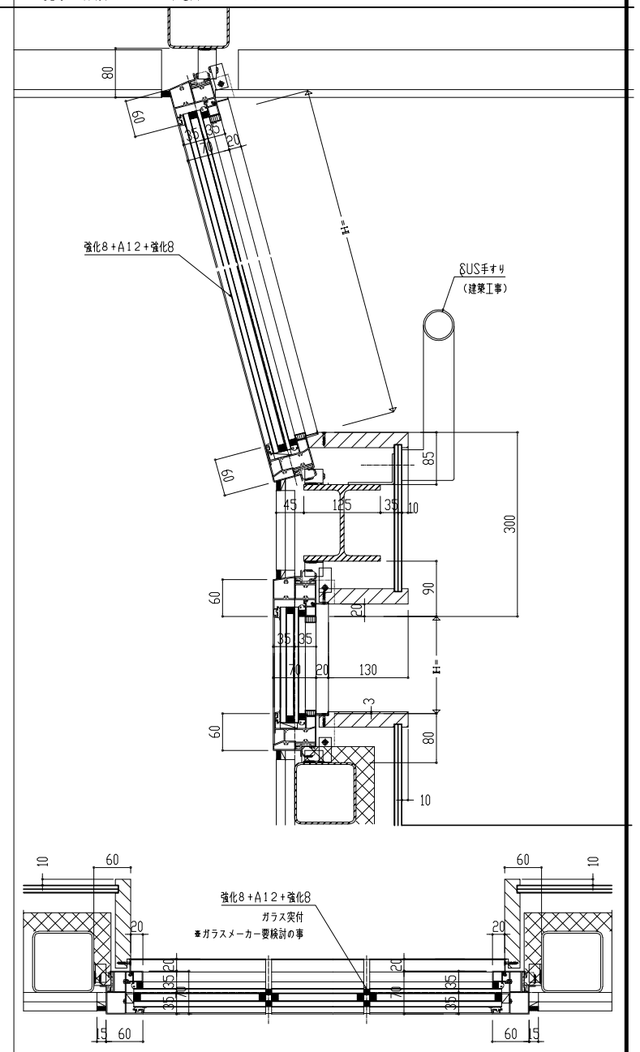
最上部断面　A1: S = 1/5



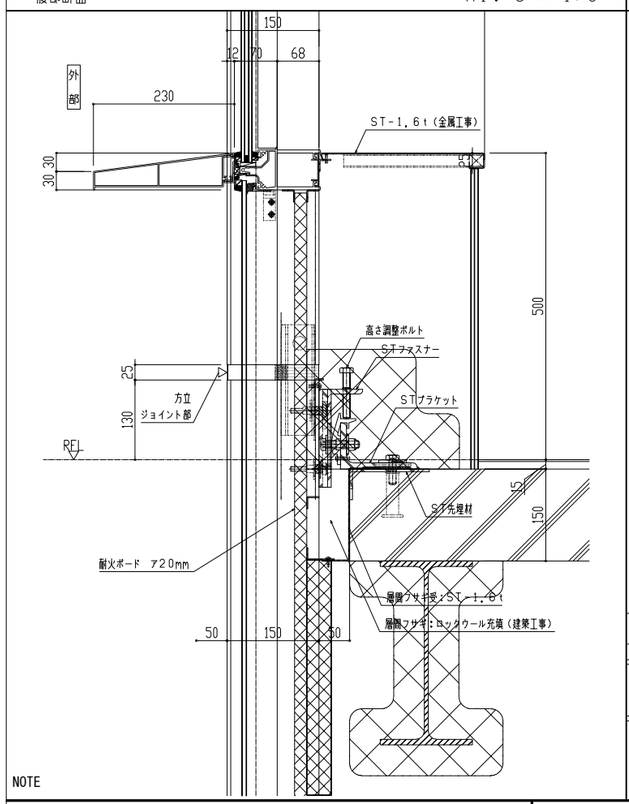
姿図　A1: S = 1/50



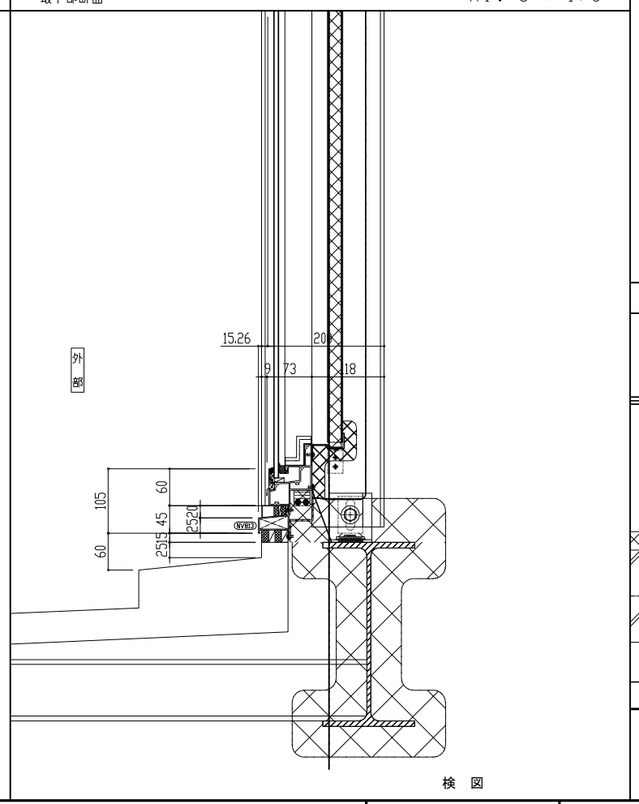
見学・体験コーナー FIXスクリーン　A1: S = 1/5



腰部断面　A1: S = 1/5



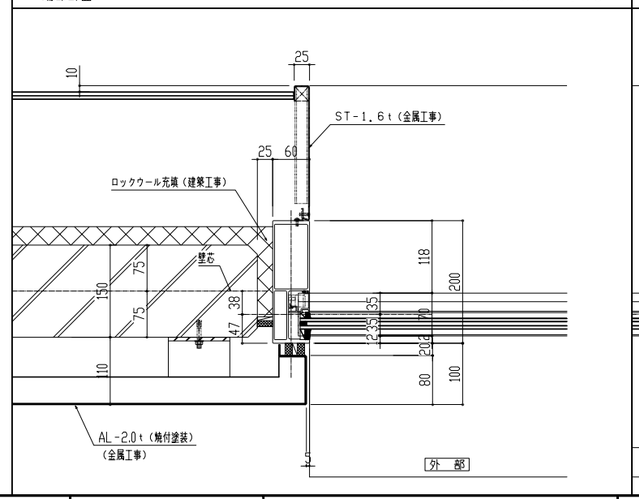
最下部断面　A1: S = 1/5



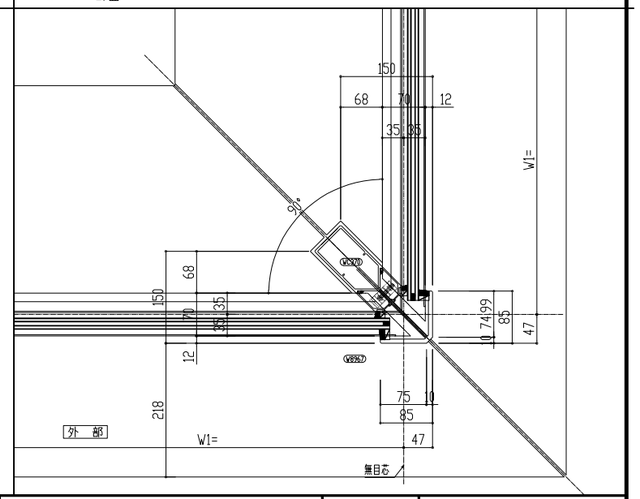
検　図

非　防　火	
外観図	**仕様** 耐風圧性:S-4 気密性:A-4 水密性:W-5 商品名:SR-GARELIA 開口形式:FIX窓 方立:200mm 無目見込:60mm ガラス溝幅: 非防火 36mm 腰部 24mm 層間変位:1/300で構成材に損傷なし 1/100で破損・脱落なし 取付工法:ノックダウン

端部断面　A1: S = 1/5



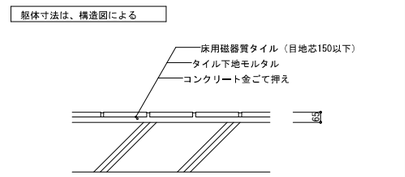
コーナー断面　A1: S = 1/5



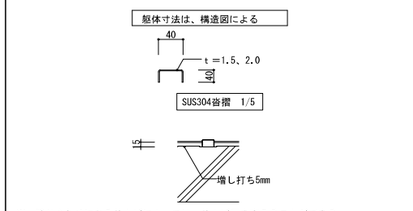
NOTE

担当主任・製図	DATE JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
		(仮称) 山武市学校給食センター改築工事	建具詳細図	A1:1/5 A3:1/10	A-065

床-1　床タイル貼　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

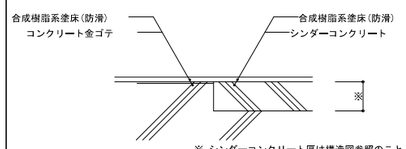


床-2　床見切り　S=1/10(A1) S=1/20(A3)



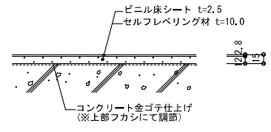
※　隣り合わせになる仕上げによっては、仕上げ厚を変えることができる
仕上げ厚は、設計者の指定による

床-5　塗床　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

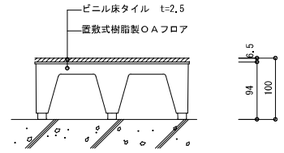


※ シンダーコンクリート厚は構造図参照のこと
作業エリア全体:250mm
配送風除室・配送回収前室:150mm

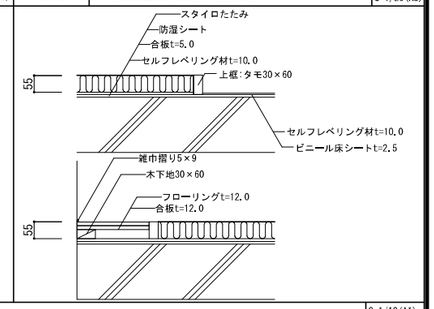
床-6　床ビニルシート（一般部）　S=1/5(A1) S=1/10(A3)



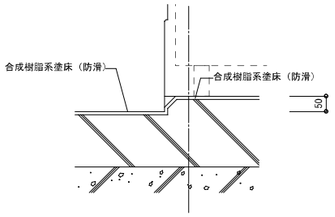
床-7　事務室OAフロア　S=1/5(A1) S=1/10(A3)



床-8　2階調理員休憩室　畳敷き　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

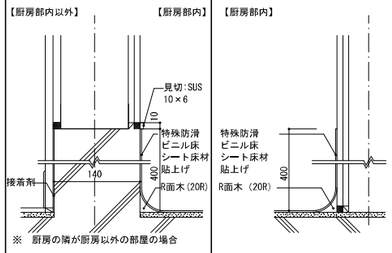


床-9　パススルー機器床段差部（一般部）　S=1/5(A1) S=1/10(A3)



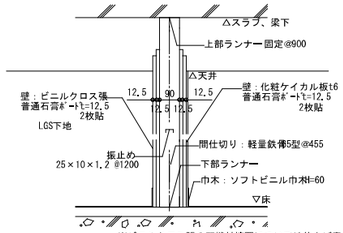
床-10　床材巻上げ（厨房間仕切り壁）　S=1/5(A1) S=1/10(A3)

床-11　厨房外壁内壁　S=1/5(A1) S=1/10(A3)



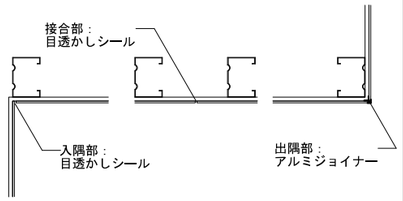
※　厨房の隣が厨房以外の部屋の場合

壁-1　一般間仕切り　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

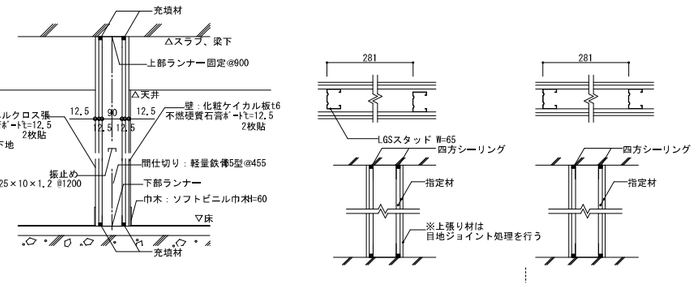


※ビニルクロス張の不燃材摘要については仕上げ表を参照。
※特記ない場合4.0m以下はLGS65型とし、
LGS、ボード共　天井までとする。

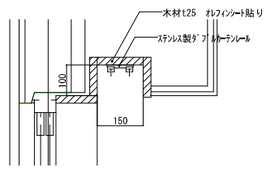
壁-2　化粧ケイカル板納まり　S=1/10(A1) S=1/20(A3)



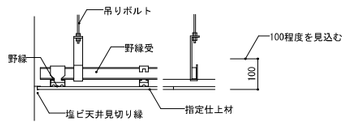
壁-3　114条区画部LGS下地耐火間仕切　（スラブ-スラブ間の納まり）　S=1/10(A1) S=1/20(A3)



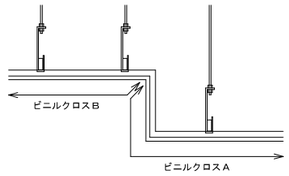
天井-1　カーテンボックス　S=1/10(A1) S=1/20(A3)



天井-2　一般部　野縁と野縁受の関係　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

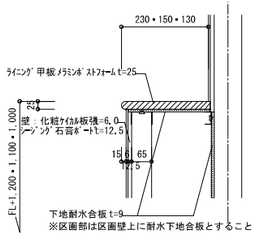


折上-1　天井折上　S=1/5(A1) S=1/10(A3)

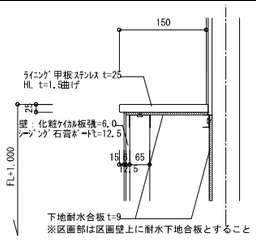


※ ビニルクロス色を変える場所は入隅見切りとする

ﾗｲﾆﾝｸﾞ-1　詳細図(一般)　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

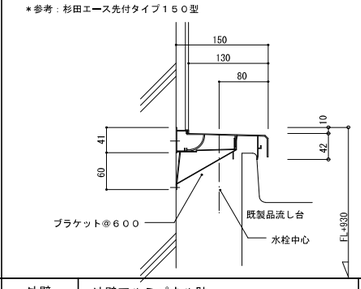


ﾗｲﾆﾝｸﾞ-2　検収室・下処理室・調理室・洗浄室・ｺﾝﾃﾅﾌﾟｰﾙ　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

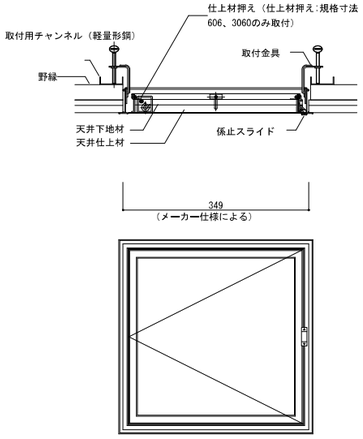


ﾗｲﾆﾝｸﾞ-3　流し台水切りカバー　S=1/5(A1) S=1/10(A3)

＊参考：杉田エース先付タイプ１５０型

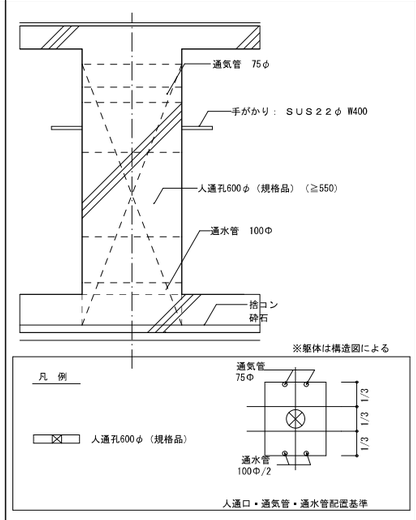


天井-3　天井点検口　額縁タイプ　S=1/5(A1) S=1/10(A3)

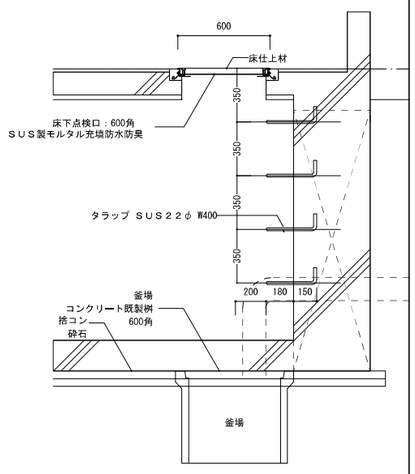


※仕様及び詳細は選定したメーカーによる

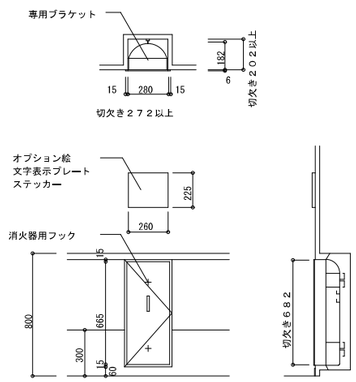
ピット-1　人通口・通気管・通水管　S=1/10(A1) S=1/20(A3)



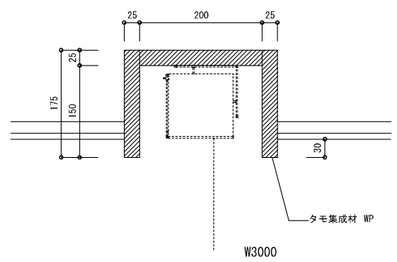
ピット-2　床点検口・タラップ　S=1/20(A1) S=1/40(A3)



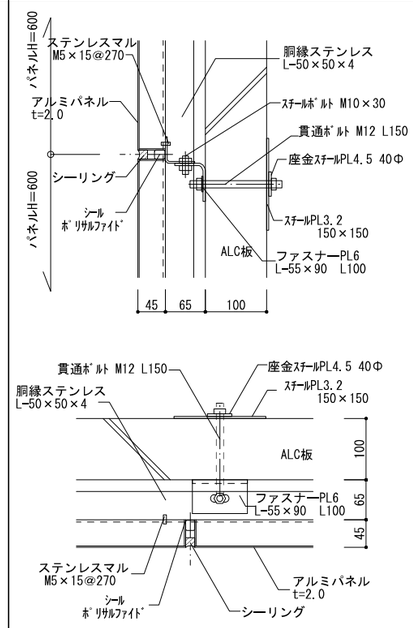
雑-1　消火器ボックス　S=1/20(A1) S=1/40(A3)



雑-2　スクリーンボックス（多目的会議室）　S=1/5(A1) S=1/10(A3)



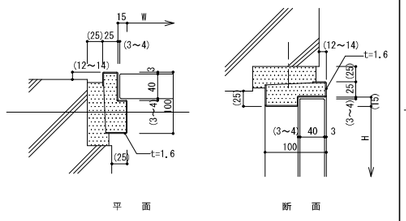
外壁　外壁アルミパネル貼　S=1/5(A1) S=1/10(A3)



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	部分詳細図（1）	図示	A-066

建具-1　鋼製建具枠　1

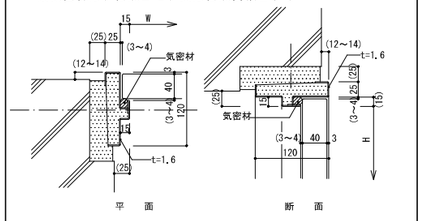
S=1/5(A1)
S=1/10(A3)



建具-2　鋼製建具枠　2（簡易気密の場合）

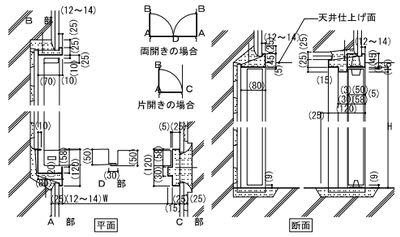
S=1/5(A1)
S=1/10(A3)

※気密材は、合成ゴム、又は合成樹脂とする



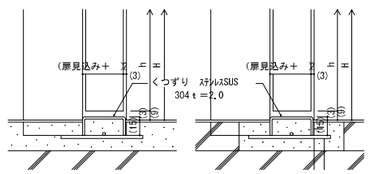
建具-3　鋼製防火戸建具枠

S=1/10(A1)
S=1/20(A3)



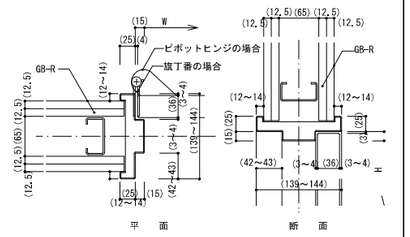
建具-4　くつずり　1

S=1/3(A1)
S=1/6(A3)



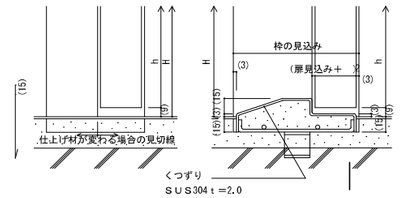
建具-5　鋼製軽量建具枠

S=1/5(A1)
S=1/10(A3)



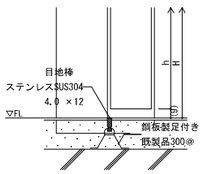
建具-6　くつずり　2

S=1/3(A1)
S=1/6(A3)



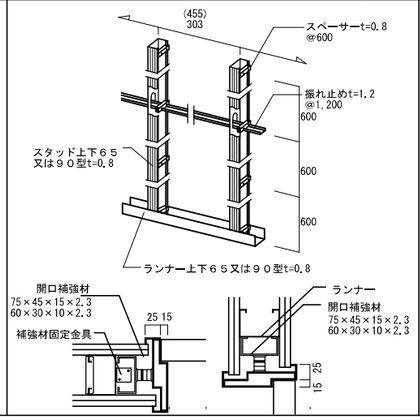
建具-7　目地棒

S=1/3(A1)
S=1/6(A3)



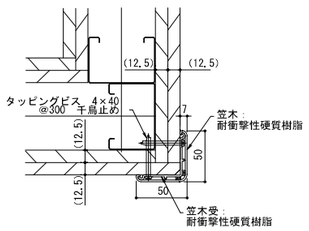
建具-8　LGS下地間仕切

S=1/20(A1)
S=1/40(A3)



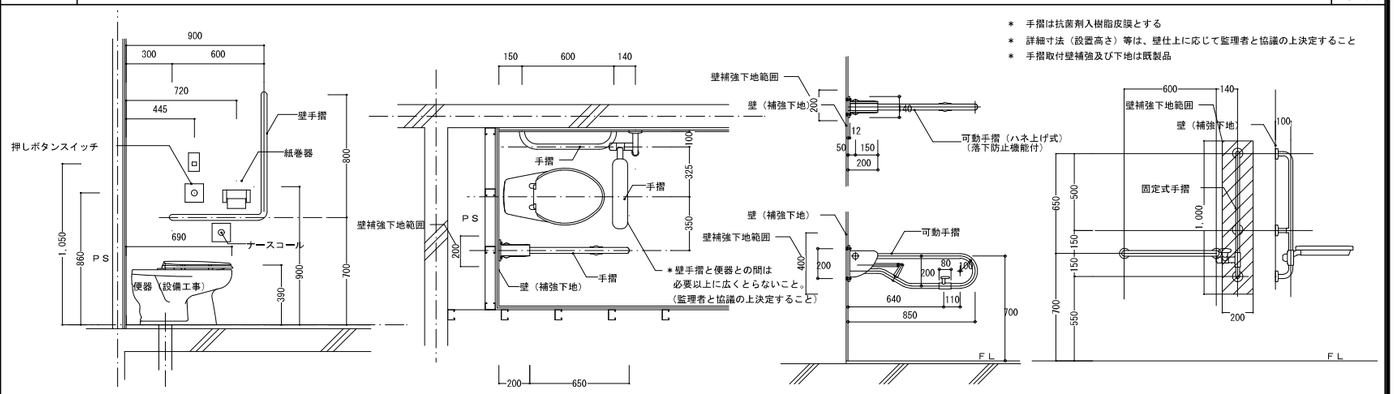
壁出隅保護　コーナーガード

S=1/3(A1)
S=1/6(A3)



水廻り　便所標準詳細図（参考図）

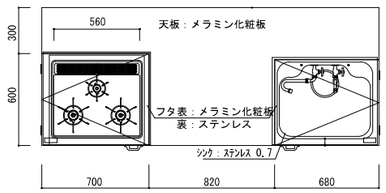
S=1/10(A1)
S=1/20(A3)



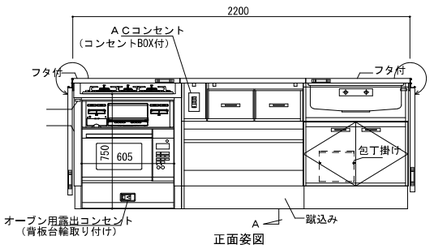
＊　手摺は抗菌剤入樹脂皮膜とする
＊　詳細寸法（設置高さ）等は、壁仕上に応じて監理者と協議の上決定すること
＊　手摺取付壁補強及び下地は既製品

ユニット-1　教師用調理台詳細図（参考図）

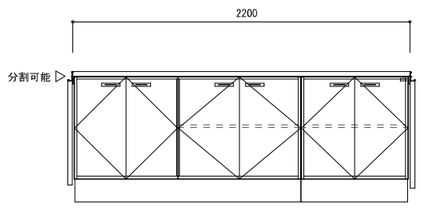
S=1/20(A1)
S=1/40(A3)



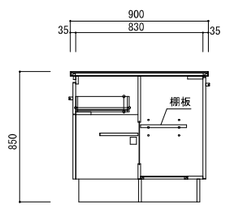
教師用調理台		
寸法	Ｗ２２００×Ｄ９００×Ｈ８５０mm	
質量	２０６ｋｇ	
天板	メラミン化粧板　ｔ１．０mm	
	セフティーエッジ　ｔ３mm　ホットメルト接着	
	厚さ　ｔ３０mm	
調理器具置き台	ステンレス　ｓｕｓ４３０　ｔ１．０mm	
シンク	ステンレス　ｓｕｓ３０４　ｔ０．７mm	
本体	ユニボード ピュアＨｉ　ｔ１８mm　Ｆ☆☆☆☆	
	樹脂シート　ｔ０．４５mm　ホットメルト接着	
建具類	ユニボード ピュアＨｉ　ｔ１８mm　Ｆ☆☆☆☆	
	セフティーエッジ　ｔ３mm　ホットメルト接着	
抽斗箱	シュブラーゼ　ｔ１５mm　（スライドレール使用）	
台輪	ウレタン塗装（水性）　Ｆ☆☆☆☆	
蝶番	インターマート　１１０°開き	
	ビョーブ蝶番	
把手	樹脂成型品 Ｂ－２	
水栓	折りたたみ自在水栓　水用　（逆止弁付）	2
排水トラップ	樹脂製ゴミ収納器付 φ１８０mm ４０Ａ用	1
調理器具	ビルトインコンロ　ＲＢ３１ＡＭ４Ｈ２Ｓ	1
	ビルトインオーブン電子レンジ	1
コンセント	ＡＣ：１００Ｖ ２口アースターミナル付	1
	ＡＣ：１００Ｖ 露出１口・接地極付	1
包丁掛け	樹脂成型品	1
空気孔	樹脂成型品	2
床固定アングル	樹脂成型品　Ｂ－１	2



正面姿図



背面姿図

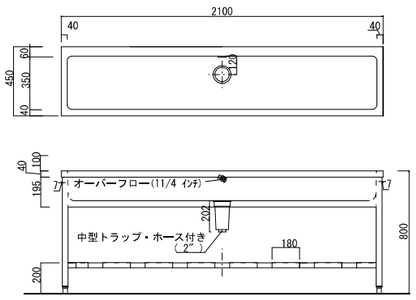


Ａ部　断面図

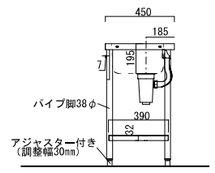
準備室　ステンレスシンク

S=1/20(A1)
S=1/40(A3)

業務用厨房　一槽シンク　カウンターD-450タイプ　仕様明細	
天　板	SUS-430ステンレス　1.0ｔ
化粧板	SUS-430ステンレス　1.0ｔ
脚	SUS-430ステンレス　38φ
排水金具	中型トラップ116φ　ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ・ｼﾞｬﾊﾞﾗﾎｰｽ(80cm)付き
スノコ	SUS-430ステンレス 1.0ｔ　平板(取り外し可)



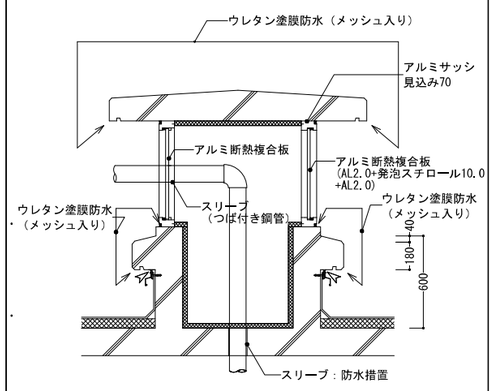
正面図



断面図

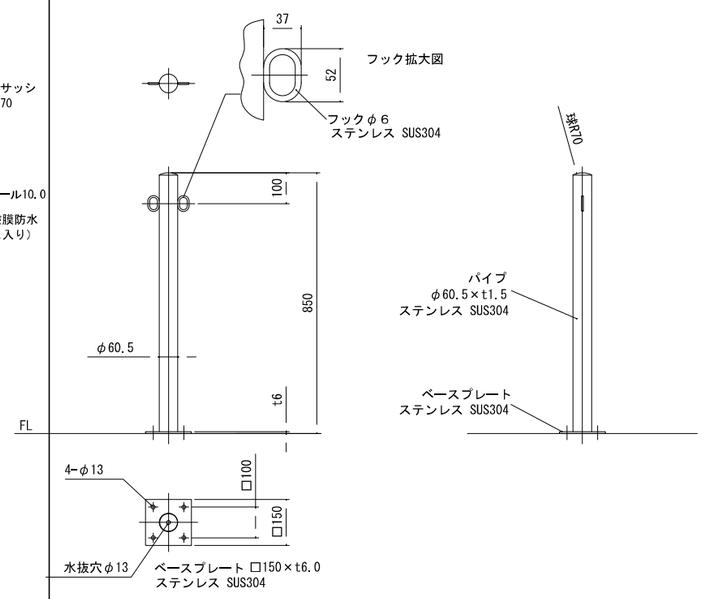
屋上　ハト小屋

S=1/20(A1)
S=1/40(A3)



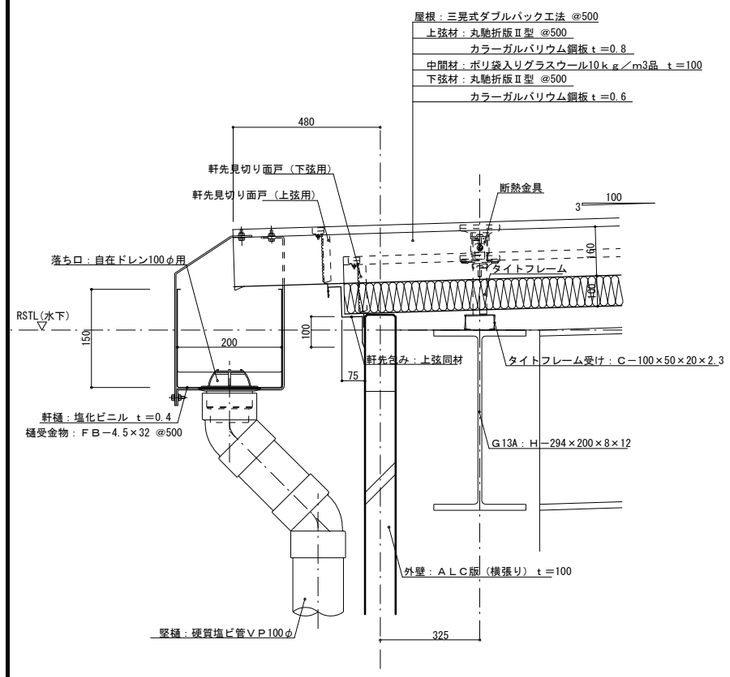
雑-3　ガードポール（配送風除室）

S=1/10(A1)
S=1/20(A3)

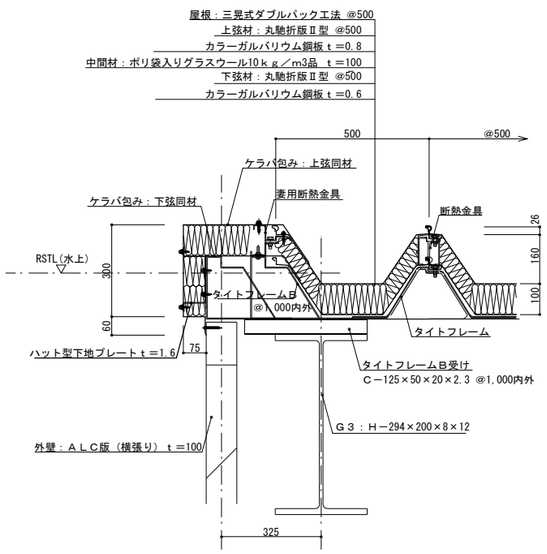


NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	部分詳細図（2）	図示	A-067

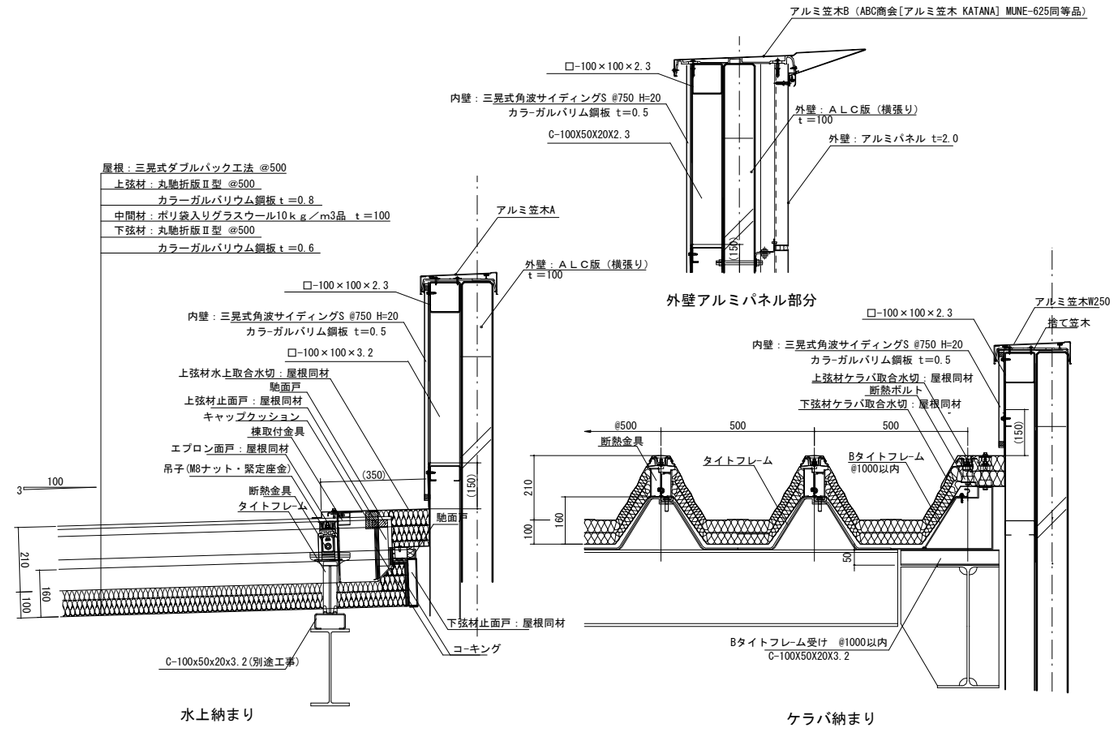
屋根-1　軒先 詳細図　S=1/30(A3)



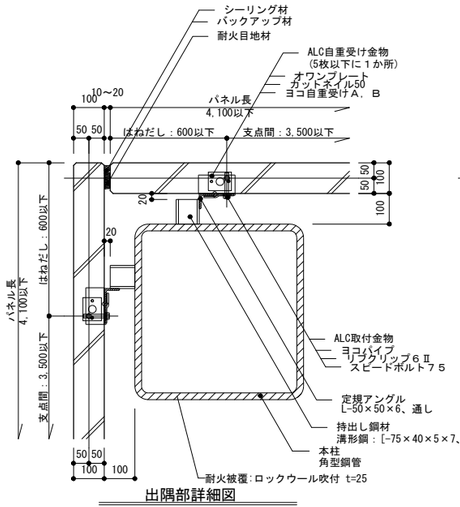
屋根-2　ケラバ 詳細図　S=1/30(A3)

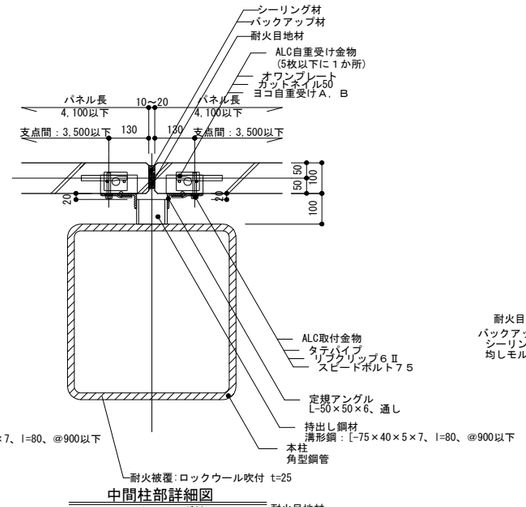


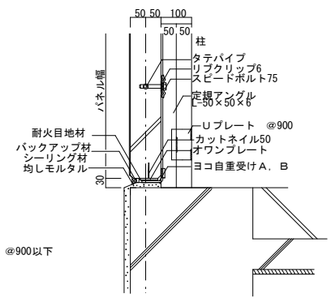
屋根-3　屋根-外壁取合部詳細図　S=1/30(A3)

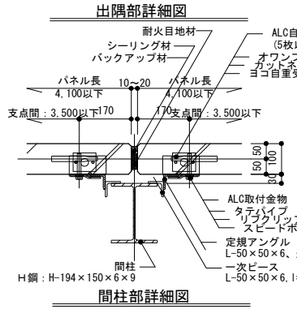


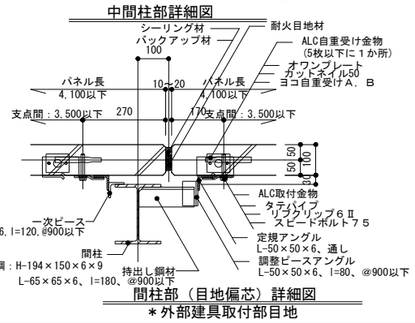
外壁　ALC 横張り外壁部標準納まり





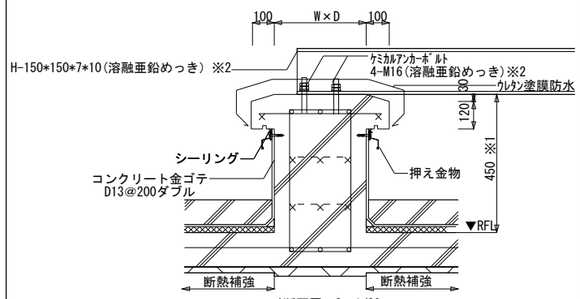


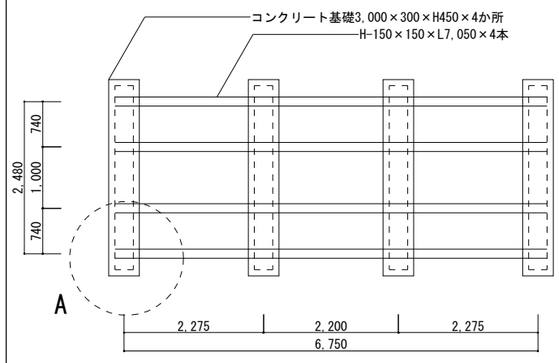




屋上　設備基礎1　S=1/20(A1) S=1/20(A3)

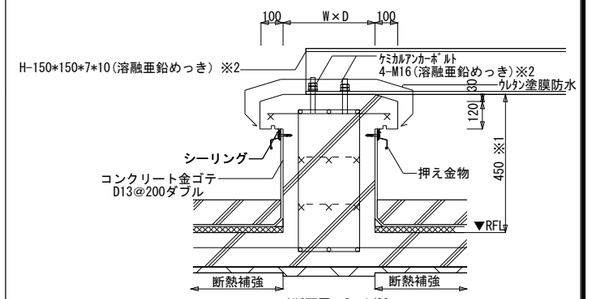
※H鋼は建築工事
※1の数字は、水上のあご下を300確保した後に決定する
※2の数字は、構造計算による

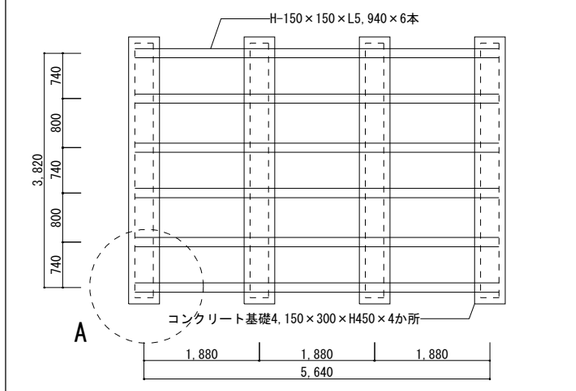




屋上　設備基礎2　S=1/10(A1) S=1/20(A3)

※H鋼は建築工事
※1の数字は、水上のあご下を300確保した後に決定する
※2の数字は、構造計算による



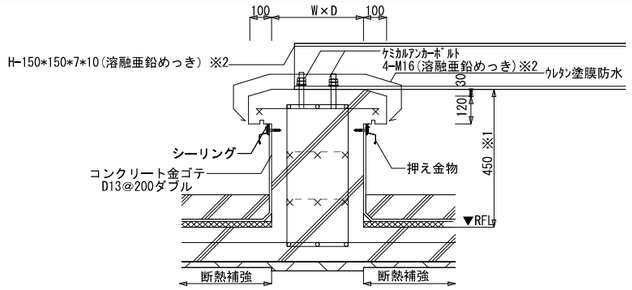


NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	部分詳細図（3）	図示	A-068

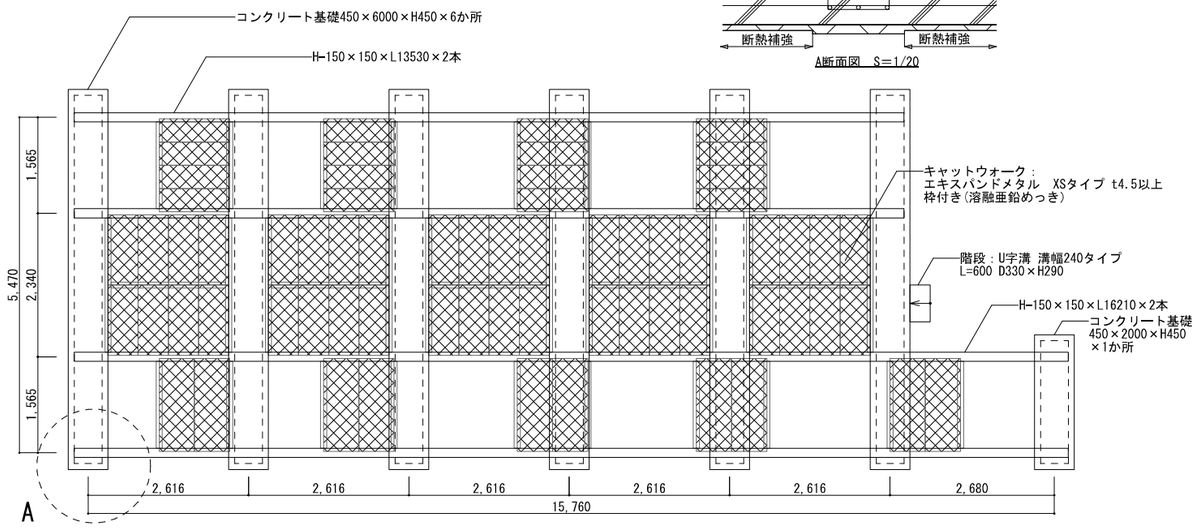
屋上　設備基礎3

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)

※H鋼は建築工事
※1の数字は、水上のあご下を300確保した後に決定する
※2の数字は、構造計算による



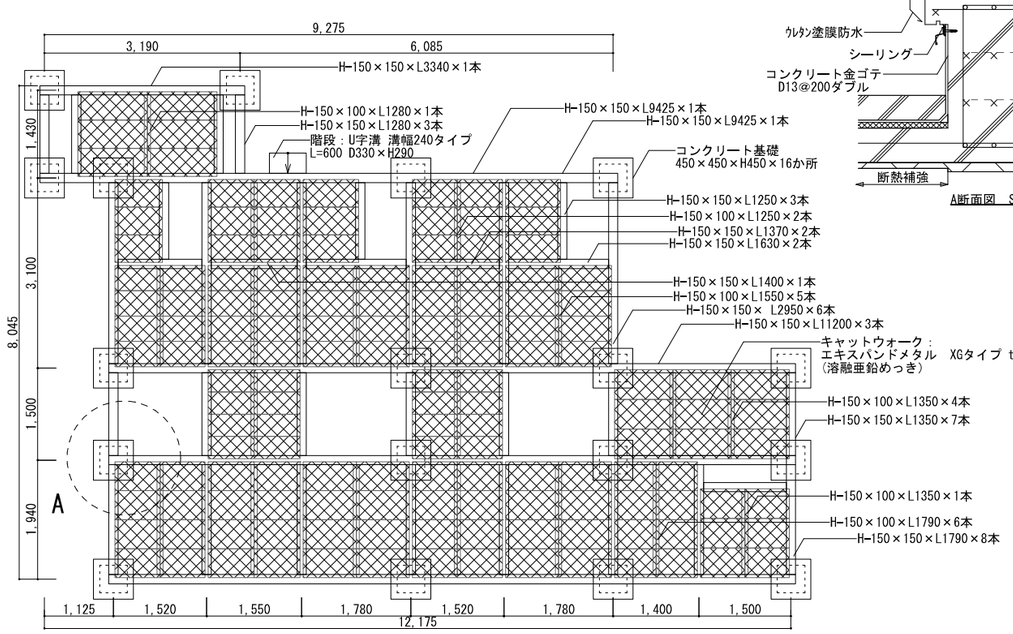
A断面図　S=1/20

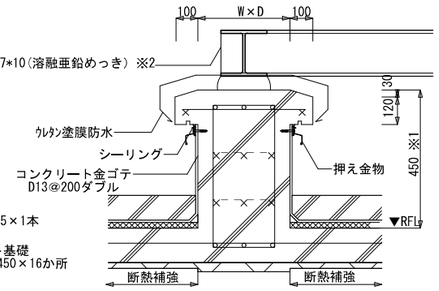


屋上　設備基礎4

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)

※H鋼は建築工事
※1の数字は、水上のあご下を300確保した後に決定する
※2の数字は、構造計算による

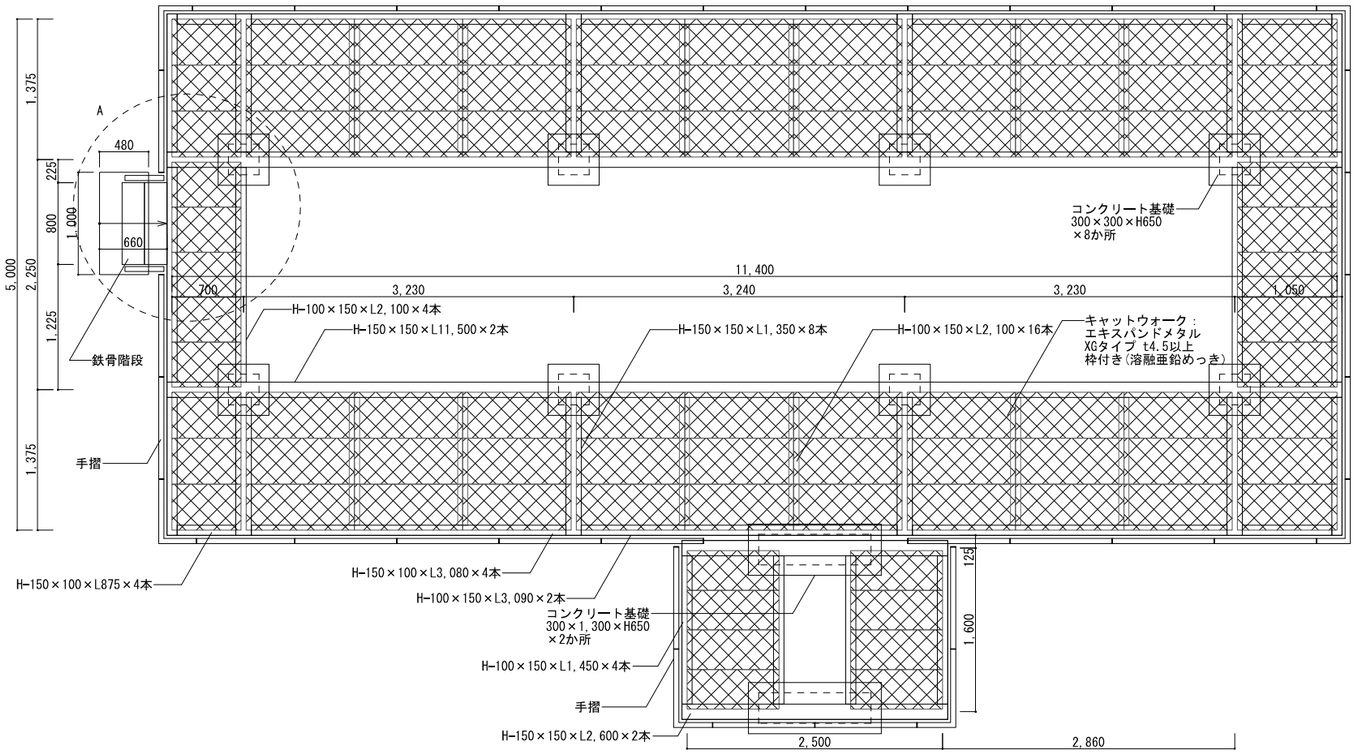


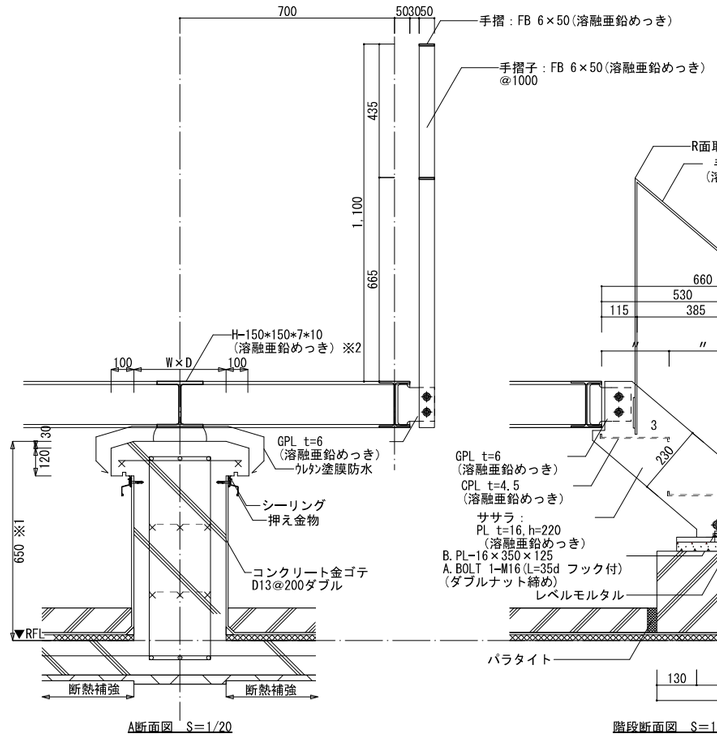


A断面図　S=1/20

屋上　設備基礎5

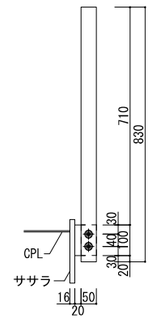
S=1/50(A1)
S=1/100(A3)





A断面図　S=1/20

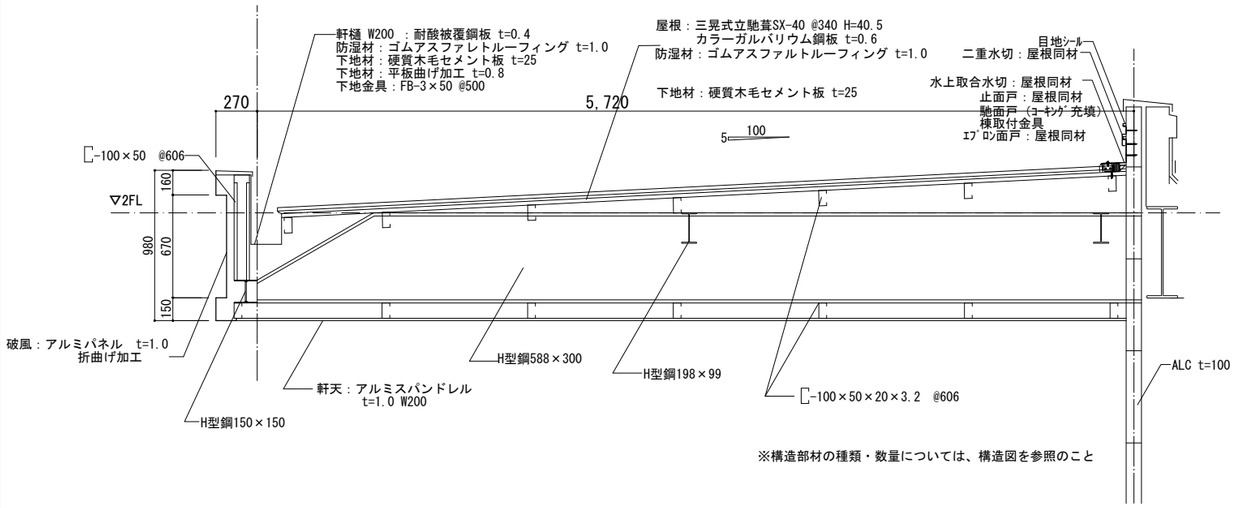
階段断面図　S=1/20



階段手摺縁結部
S=1/20

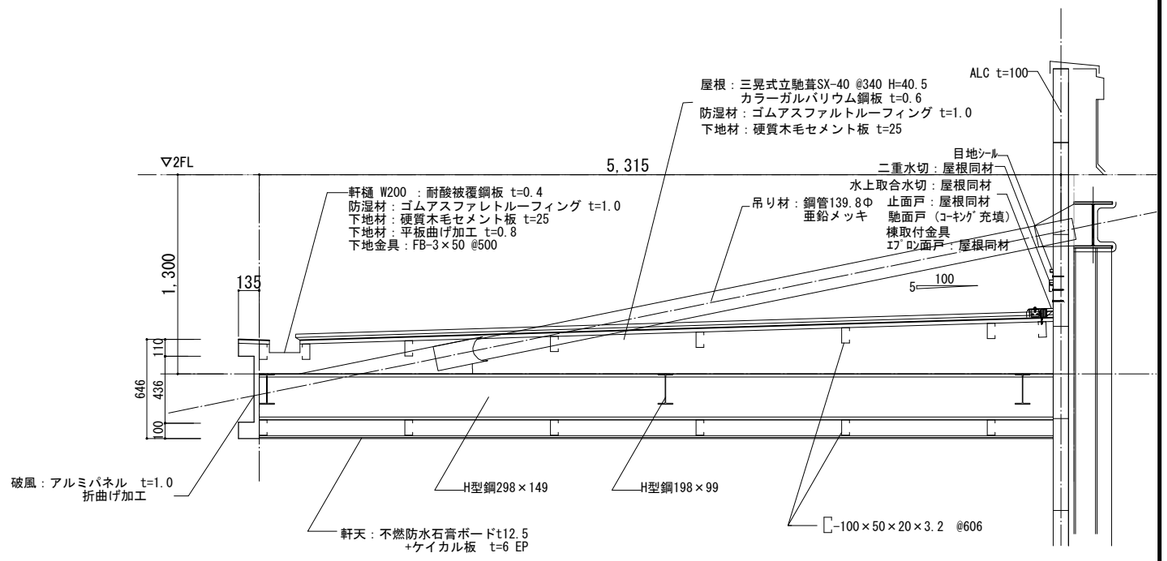
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	部分詳細図（4）	図示	A-069

鉄骨庇　A 庇詳細　S=1/20(A1) S=1/40(A3)



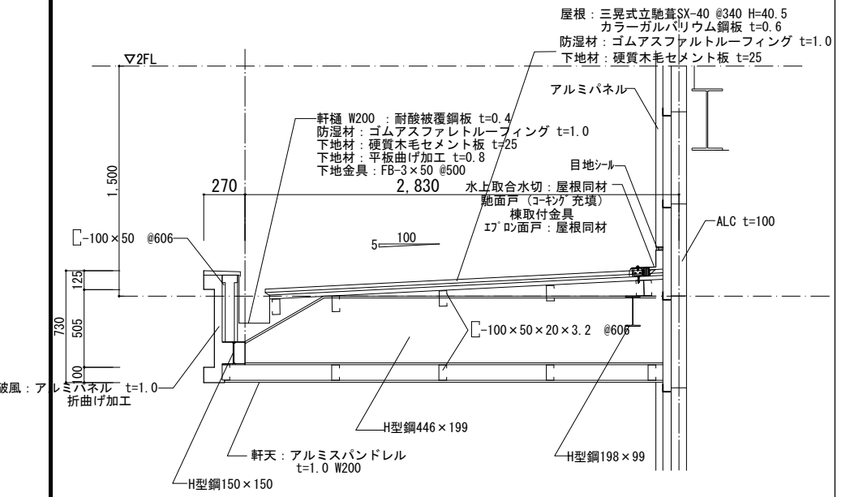
※構造部材の種類・数量については、構造図を参照のこと

鉄骨庇　B 庇詳細　S=1/20(A1) S=1/40(A3)



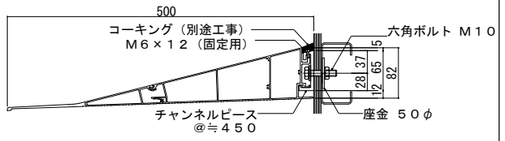
※構造部材の種類・数量については、構造図を参照のこと

鉄骨庇　C 庇詳細　S=1/20(A1) S=1/40(A3)

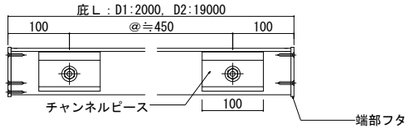


※構造部材の種類・数量については、構造図を参照のこと

アルミ庇　D1,D2 庇詳細　S=1/5(A1) S=1/10(A3)

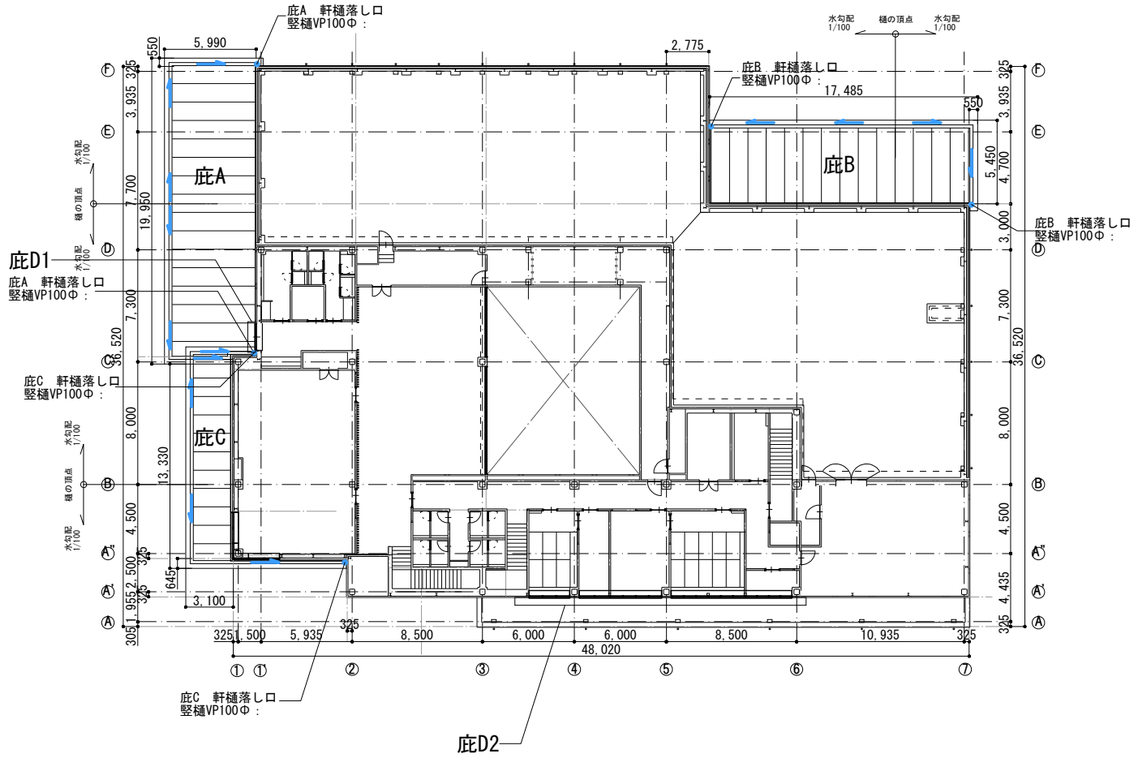


断面図



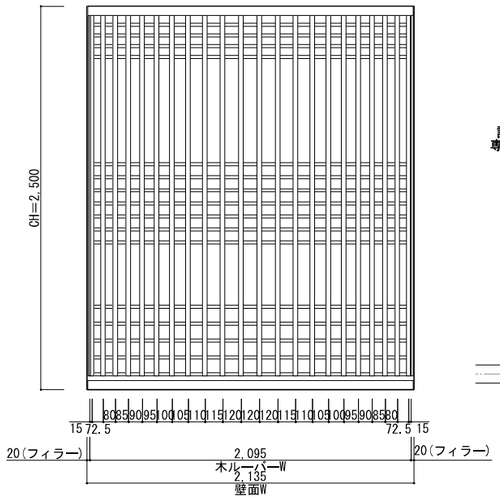
立面図

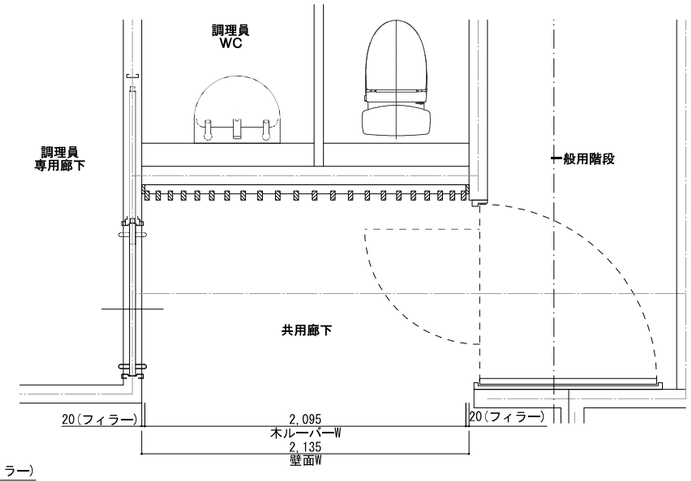
鉄骨庇配置／軒樋落し口位置　S=1/200(A1) S=1/400(A3)



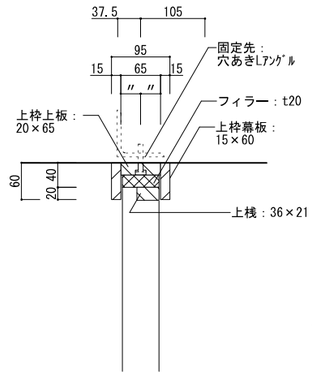
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	部分詳細図（5）	図示	A-070

1F木ルーバー　木ルーバー　姿図・平面図・詳細図　S=1/20(A1) S=1/40(A3)

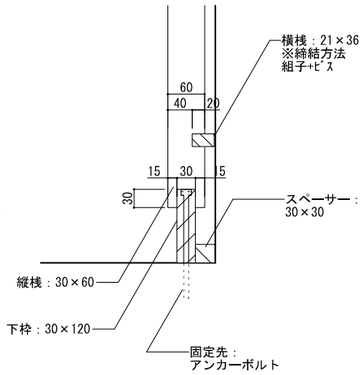




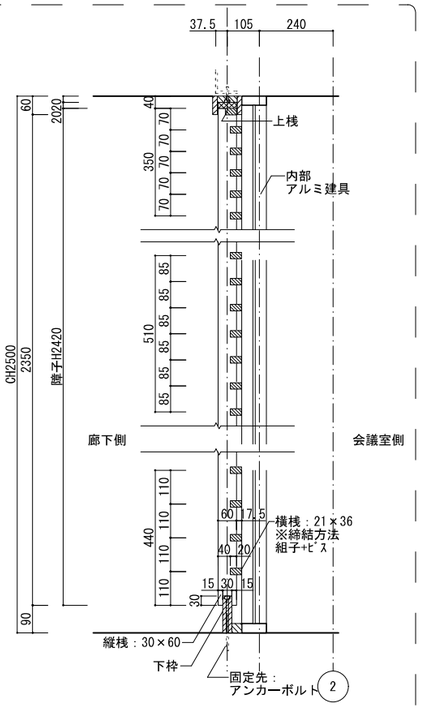
※木ルーバー共通納まり



上枠断面図　S=1/10

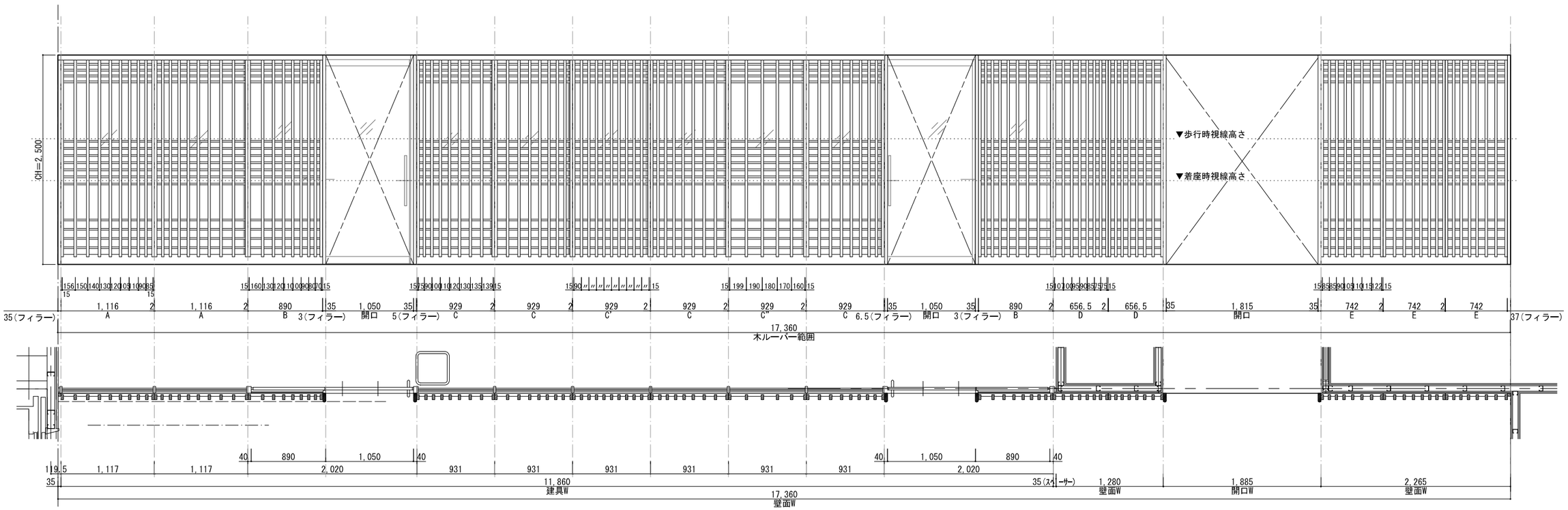


下枠断面図　S=1/10



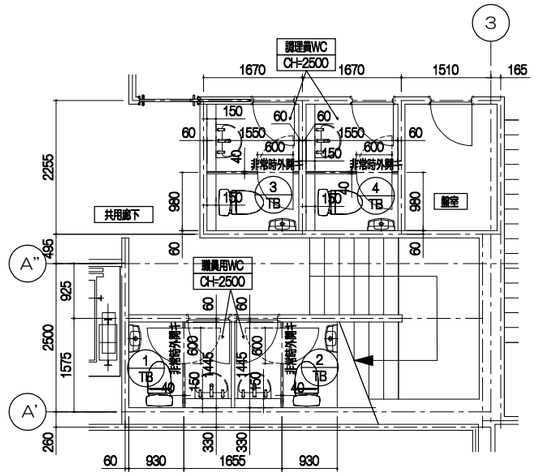
断面図　S=1/20

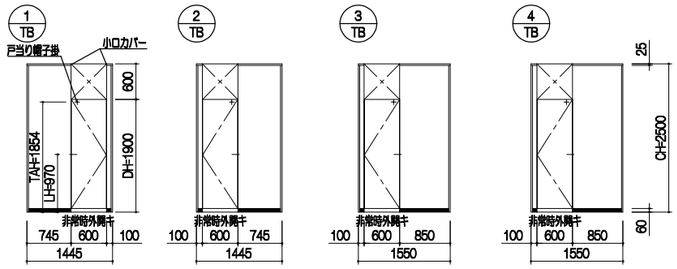
2F木ルーバー　木ルーバー　姿図・平面図　S=1/25(A1) S=1/50(A3)



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	部分詳細図（6）	図示	A-071

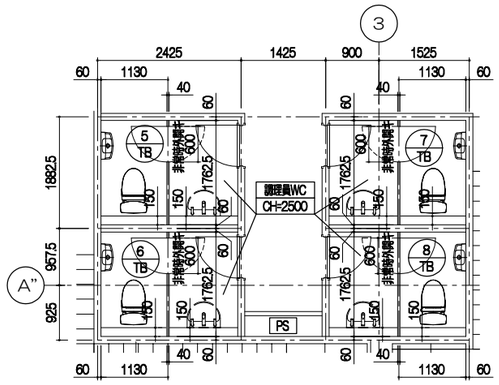
1階

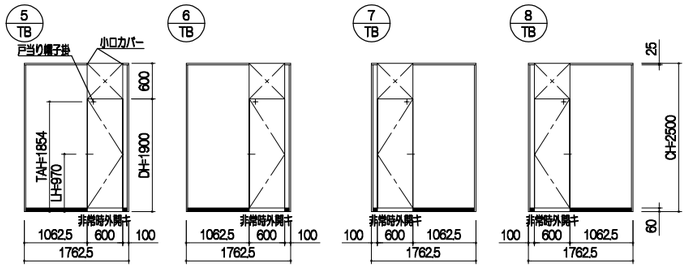


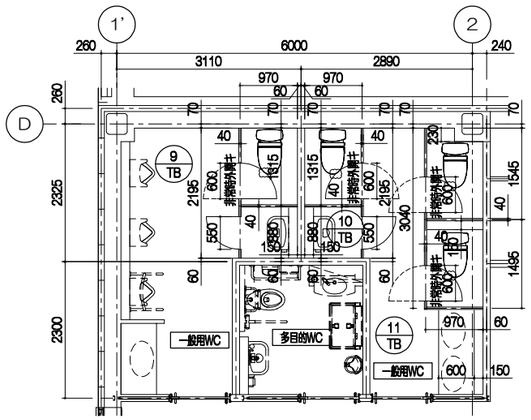


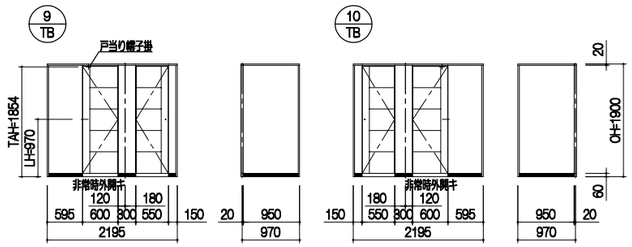
天井マデノパネルノ上ハ、天レール取付用ノ天井内補強ガ必要デス

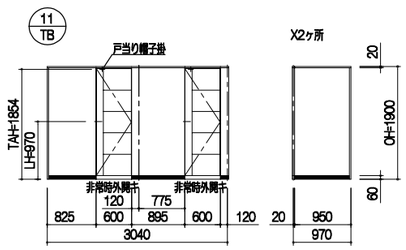
2階





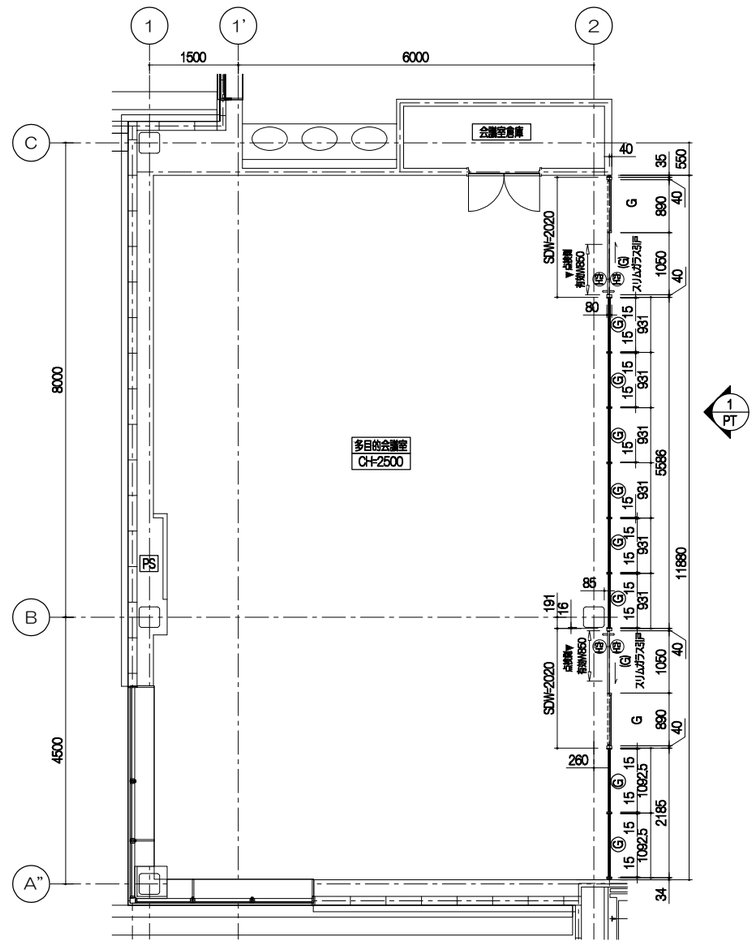


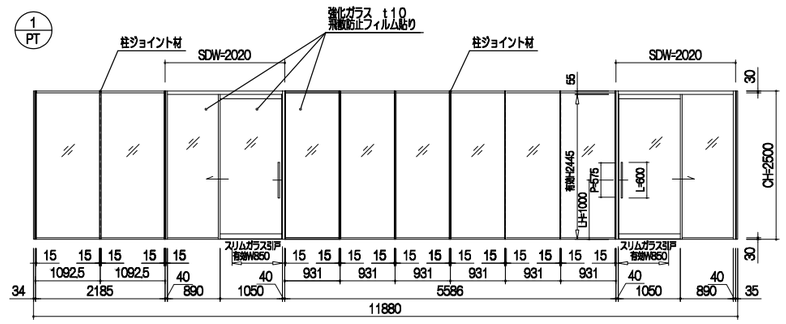




天井マデノパネルノ上ハ、天レール取付用ノ天井内補強ガ必要デス

2階

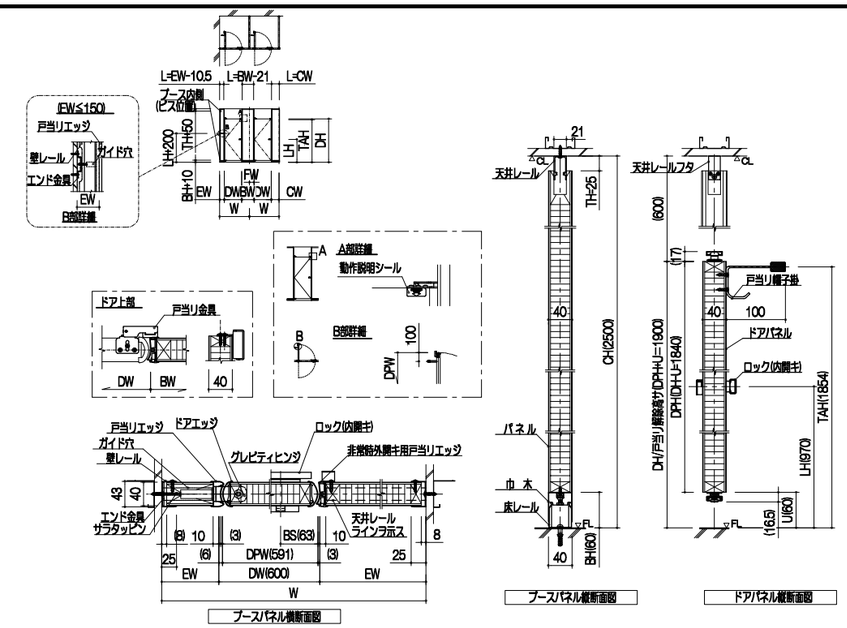




230123029

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
2023.02.15 修正		孫生偉		（仮称）山武市学校給食センター改築工事	アルミパーティション展開図	S=1/50(A1) S=1/100(A3)	A-072

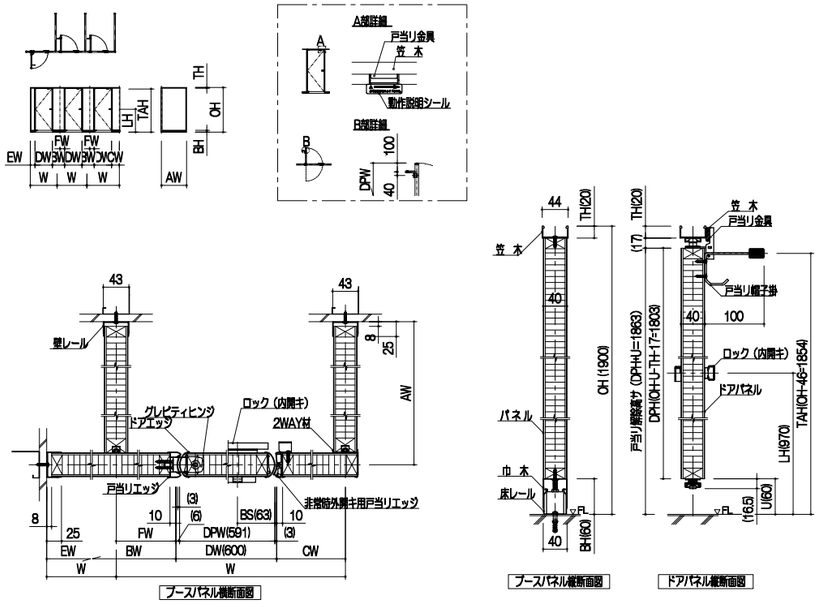
詳細図
トイレブース
S=1：5

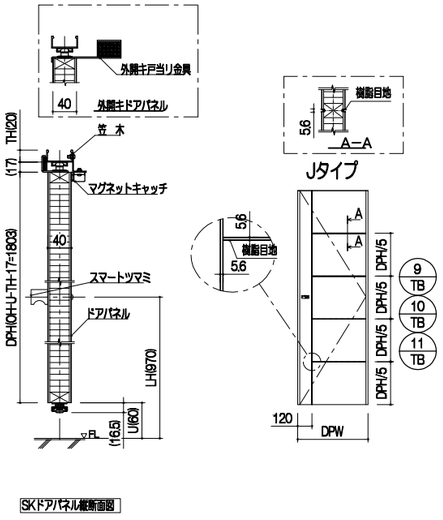


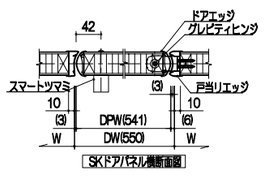
1/TB ~ 8/TB

トイレブース仕様一覧表（CB-AR）

パネル・ドア（40ミリ厚）	表面材	高圧メラミン樹脂化粧板（BMDエンボス仕上げ）
	枠材	木製
	芯材	ペーパーコア
天井レール・壁レール・エッジ		アルミニウム押出形材 アルマイトクリア仕上げ
グレビティヒンジ		ステンレス製
ロック		ステンレス製（表示錠付）
巾木		SUS HL仕上げ
備考	非常時外開き（可動式アルミエッジ）	
特記	コマニー（株）CB-ARフルパネル同等品	





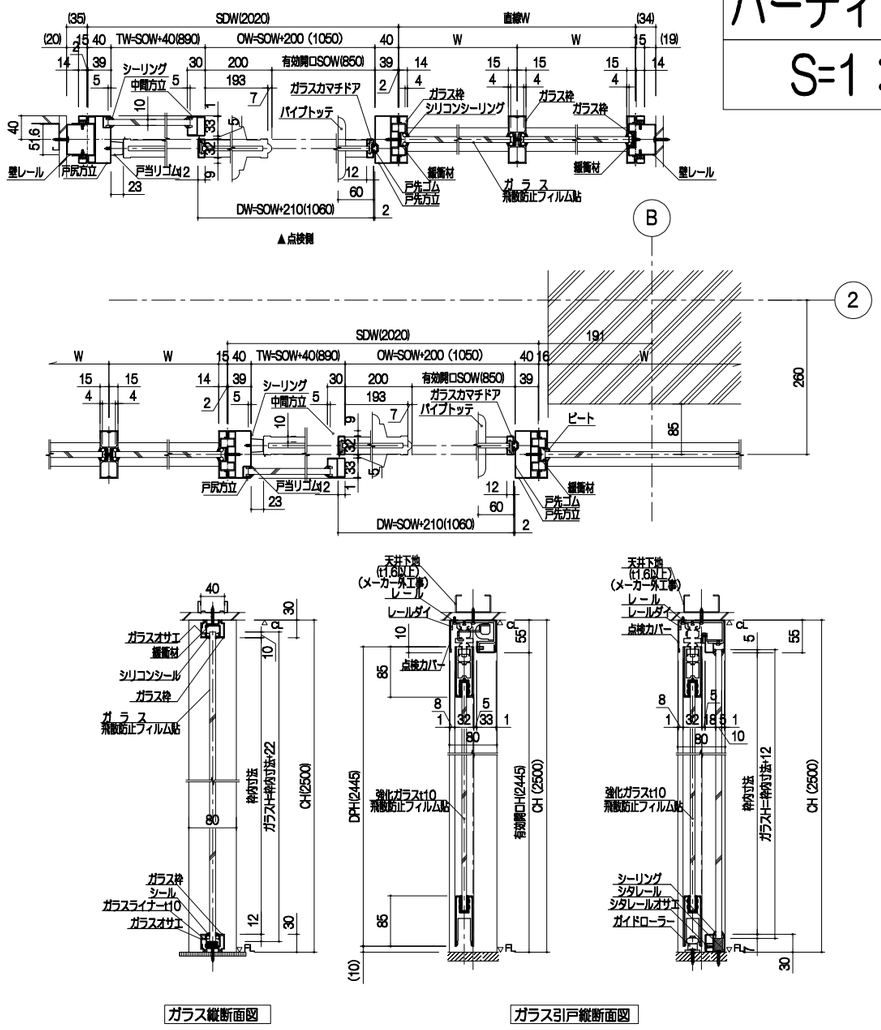


トイレブース仕様一覧表（CB-AR Style Edge）

パネル・ドア（厚さ40ミリ）	表面材	高圧メラミン樹脂化粧板（BMDエンボス仕上げ）
	枠材	木製
	芯材	ペーパーコア
	エッジ（ビスレス）	アルミニウム押出形材 カラー焼付塗装仕上げ
2WAY材 笠木・壁レール		アルミニウム押出形材 カラー焼付塗装仕上げ
グレビティヒンジ		ステンレス製
ロック		ステンレス製
巾木		SUS HL仕上げ
備考	非常時外開き（可動式アルミエッジ）　リネアートドア(Jタイプ)	
特記	コマニー（株）CB-AR Style Edge 同等品	

230123029

詳細図
パーティション
S=1：5



【スリムガラス引戸】仕様一覧表

ガラス部	ガラス	強化ガラス　t10(飛散防止フィルムアリ)
	ガラスオサエ	シリコンシーリング
ドアパネル	フレーム	ステンレスHL　#150
	ガラスオサエ	シリコンシーリング
	ハンドル	シブタニ：AG1022-10-116-L600 ステンレスHL仕上
特記	コマニー（株）CSGHD同等品	

【高耐震ガラスパーティション】仕様一覧表

ガラス部	ガラス枠	アルミニウム合金押出形材（A6063S-T5）塗装仕上
	ガラス枠部押エ	シール
部材	スタッド	溶融亜鉛メッキ鋼板（SGCCt1．6）塗装仕上
	壁レール	溶融亜鉛メッキ鋼板（SGCCt0．8/t1．2）塗装仕上
塗装		メラミン樹脂焼付塗料
特記	コマニー（株）BDシンクロン・シングルガラス連装同等品	

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
2023.02.15　修正		孫生偉		（仮称）山武市学校給食センター改築工事	アルミパーティション・トイレブース詳細図	S=1/5(A1) S=1/10(A3)	A-073

工　事　概　要

1	工事名称	（仮称）山武市学校給食センター改築工事
2	工事場所	千葉県山武市富田トの1177番地6
3	設計・監理	株式会社奥野設計
4	施工	株式会社奥野設計
5	工事項目	1）防音パネル工事 2） 3） 4）

防音工事仕様書

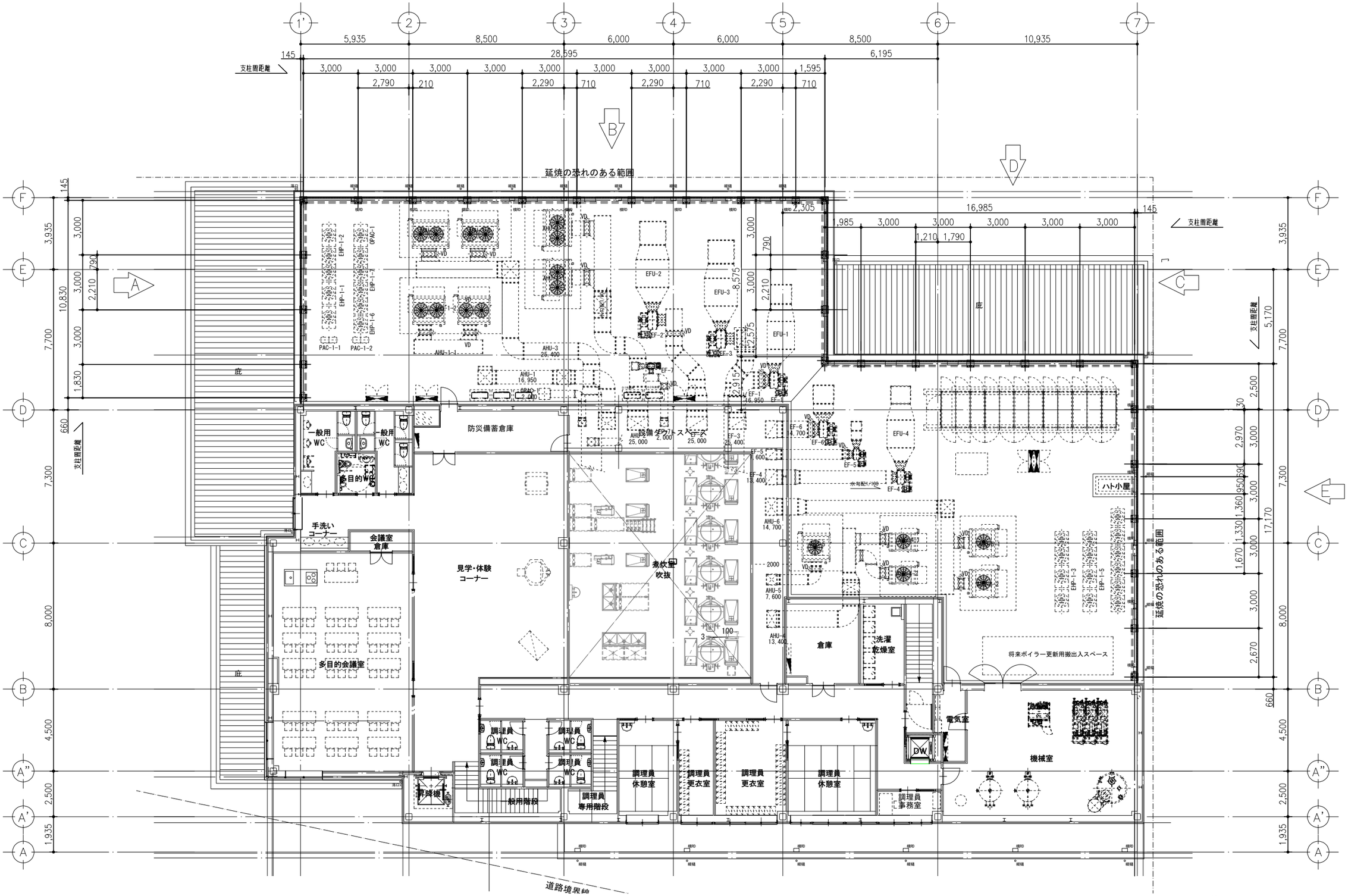
1　施工範囲は図面による。

2　特記仕様書の取扱は下記による。
　1）項目は、項目番号に○印のついたものを適用する。
　2）特記仕様書は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印がついた場合は共に適用する。
　3）その他特記事項は、（　　）内に記載する。

	項目	特記事項
1 鉄骨工事	1　鋼材	※SS400
	2　高力ボルト	※溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）
	3　普通ボルト	※SS400相当（溶融亜鉛めっき）
	4　アンカーボルト	※アンカーボルトは、二重ナット及び座金を用い、その先端はねじがナットの外に3山以上出るようにする。 ・工　法：　※先付け工法 ・あと施工法（・ケミカルアンカー　・芯棒打込み式おねじタイプ　・本体打込み式他穿孔めねじタイプ） ・材　質：　※SS400相当（溶融亜鉛めっき） ・SUS304
	5　表面処理	※溶融亜鉛めっき　JIS H 8641　HDZ55 ただし、最小板厚が3.2～4.5mm未満の鋼材についてはHDZ45、1.6～3.2mm未満の鋼材についてはHDZ35とする。
2 防音パネル工事	①　防音パネル	⊙種　類：　・BP−90　・BPH−90　⊙BPC−90　・MSB　・クリーンアレスタP ⊙吸音材：　⊙JIS A 6301 はっ水性グラスウール(フローティングウール) 32kg/m³ 厚50mm　（表面はっ水性ガラスクロス平貼） ・ポリエステル吸音材　24kg/m³ 厚50mm　（ポリエステル不織布平貼） ⊙表面材：　⊙高耐食性めっき鋼板パンチング　K27　パンチングメタル　厚0.4mm ・特殊形状アルミニウムスリット板　JIS H 4000　A5052P　厚1.0mm ⊙板　材：　※高耐食性めっき鋼板　K27　厚1.6mm ・溶融亜鉛めっき鋼板　JIS G 3302　SGH400　Z27　厚1.6mm ⊙塗　装：　・無し（めっき鋼板表し）　・アクリル樹脂焼付塗装　・フッ素樹脂焼付塗装 ⊙塗装色：　（色：日塗工No.　未定　）
	②　普通ボルト	⊙SUS304　・SS400相当（溶融亜鉛めっき）　⊙S45C相当（ボルト）　⊙S50C相当（特殊ワッシャー）
3 屋外吸音工事(A-III工法)	1　吸音材	※JIS A 6301 はっ水性グラスウール(フローティングウール) 32kg/m³ 厚50mm　（表面はっ水性ガラスクロス平貼） ・ポリエステル吸音材　24kg/m³ 厚50mm　（ポリエステル不織布平貼）
	2　表面保護材	・高耐食性めっき鋼板パンチング　K27　パンチングメタル　厚0.4mm
	3　見切縁・目地材	※アルミ型材押出型材 JIS H 4100　A6063S−アルマイトクリア　厚1.2mm、2.0mm ・高耐食性めっき鋼板 K27　厚1.0mm
	4　固定ビス	※ドリルねじ　SUS
	5　ビスアンカー	※ビスアンカー　SUS
4 消音器工事	1　消音器	・整流板：　・上流および下流側共　・上流側のみ　・下流側のみ　・無し ・吸音材：　※JIS A 6301 はっ水性グラスウール充填 ・表面材：　※高耐食性めっき鋼板パンチング　K27　パンチングメタル　厚0.8mm ・板　材：　※高耐食性めっき鋼板　K27　厚0.8mm、1.6mm、2.3mm ・塗　装：　・無し（めっき鋼板表し）　・アクリル樹脂焼付塗装　・フッ素樹脂焼付塗装 ・塗装色：　（　　）
	2　普通ボルト	・SS400相当（溶融亜鉛めっき）　・SUS304
5 消音ルーバー工事	1　消音ルーバー	・吸音材：　※JIS A 6301 はっ水性グラスウール充填 ・表面材：　※高耐食性めっき鋼板パンチング　K27　パンチングメタル　厚0.8mm ・板　材：　※高耐食性めっき鋼板　K27　厚0.8mm、1.6mm、2.3mm ・塗　装：　・無し（めっき鋼板表し）　・アクリル樹脂焼付塗装　・フッ素樹脂焼付塗装 ・塗装色：　（　　）
	2　普通ボルト	※SS400相当（溶融亜鉛めっき）　・SUS304

塗装仕様・塗装色ご指示願います。

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	防音パネル工事 仕様書		A−074



平面図（2FL）　S=1/100

※特記事項

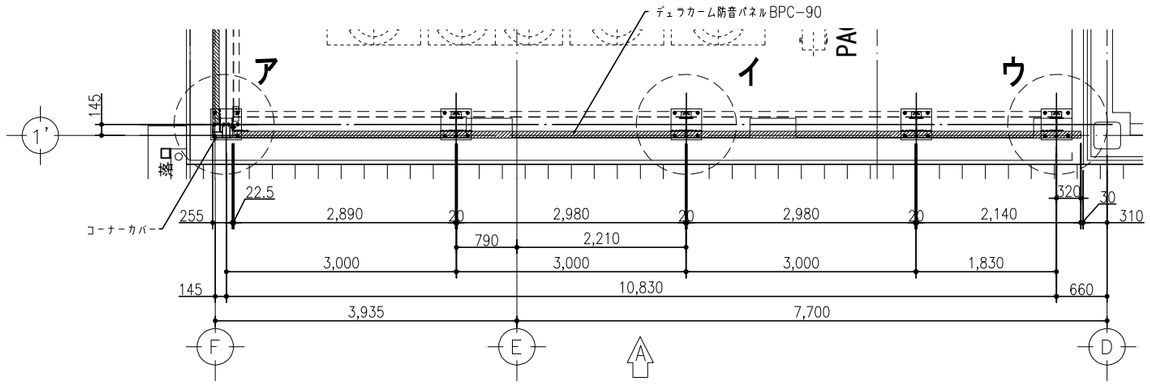
注1）特記なき鋼材・ボルト類は、溶融亜鉛めっき品とする。

注2）基礎工事・鉄骨工事は、別途工事とする。

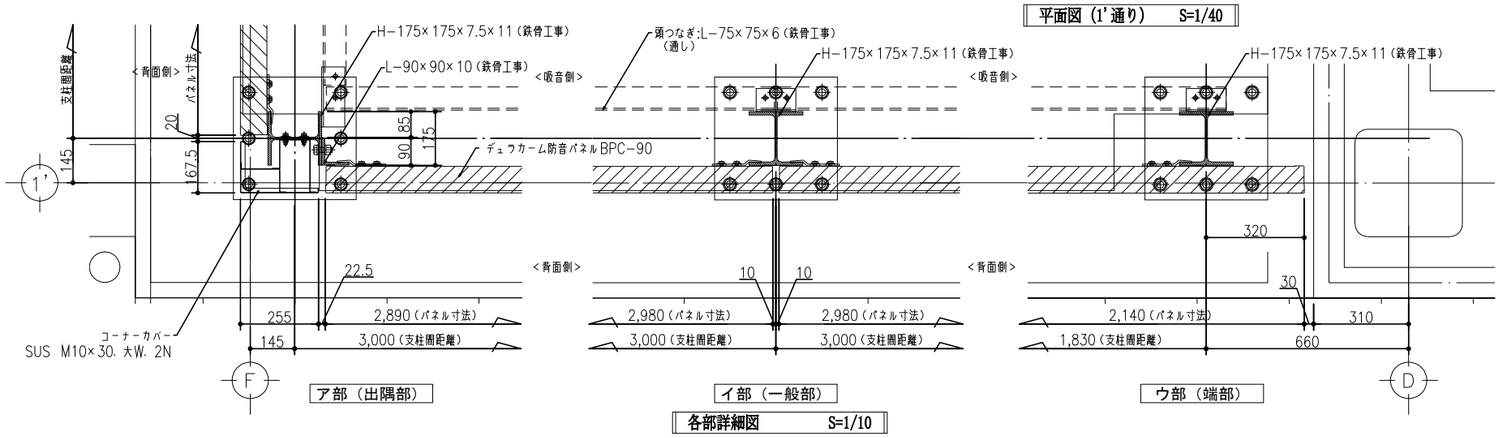
注3）防音パネルの背面側は、○○樹脂焼付塗装とする。

（色：日塗工No. 未定　）

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	防音パネル工事 全体平面図	A1:1/100 A3:1/200	A－075

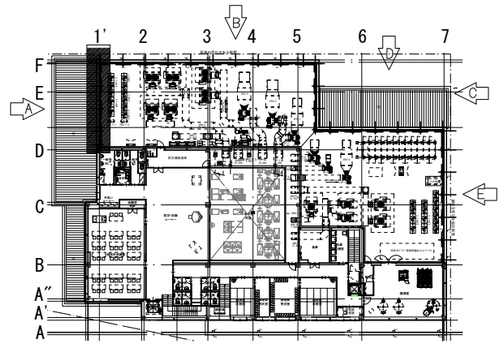


平面図（1'通り）　S=1/40

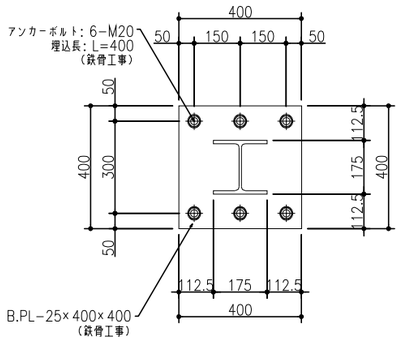


ア部（出隅部）　イ部（一般部）　ウ部（端部）

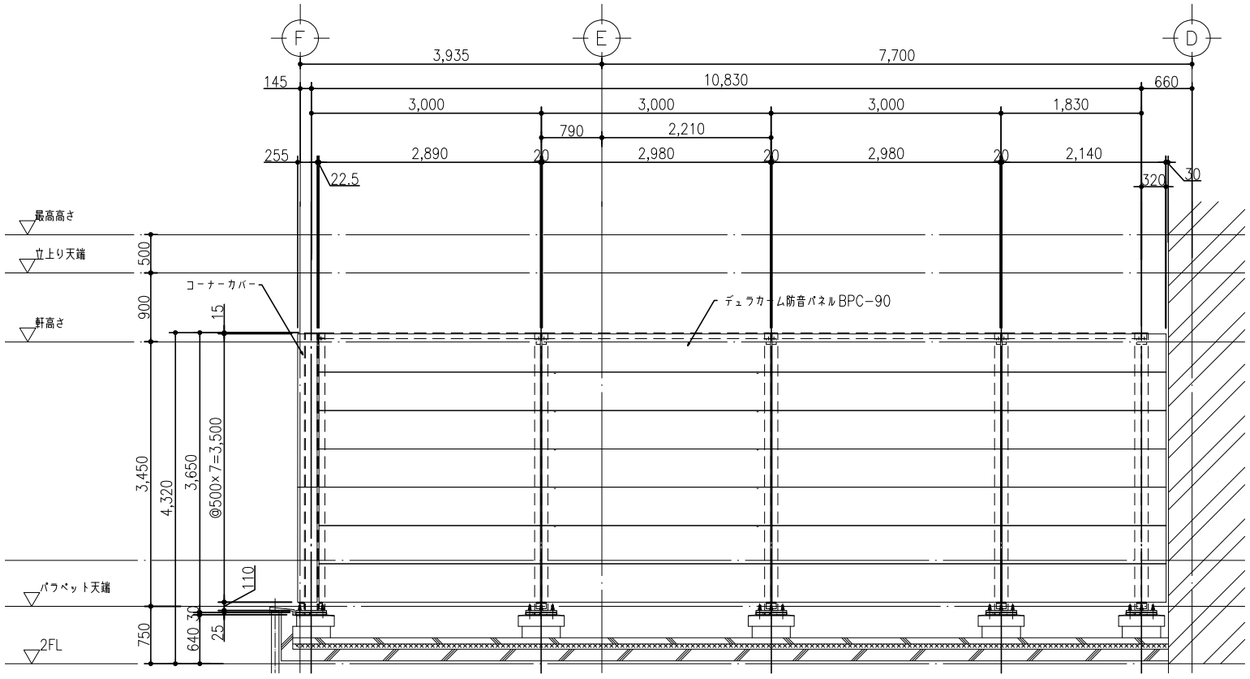
各部詳細図　S=1/10



Key Plan



ベースプレート詳細図　S=1/10



A立面図　S=1/40

*特記事項

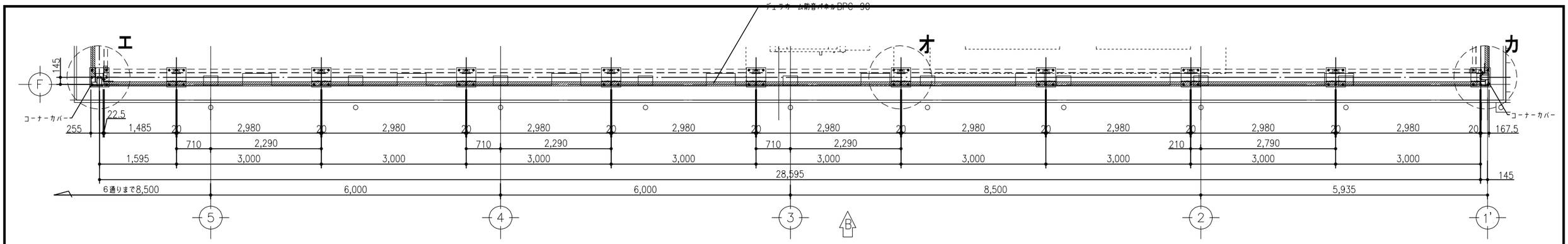
注1) 特記なき鋼材・ボルト類は、溶融亜鉛めっき品とする。

注2) 基礎工事・鉄骨工事は、別途工事とする。

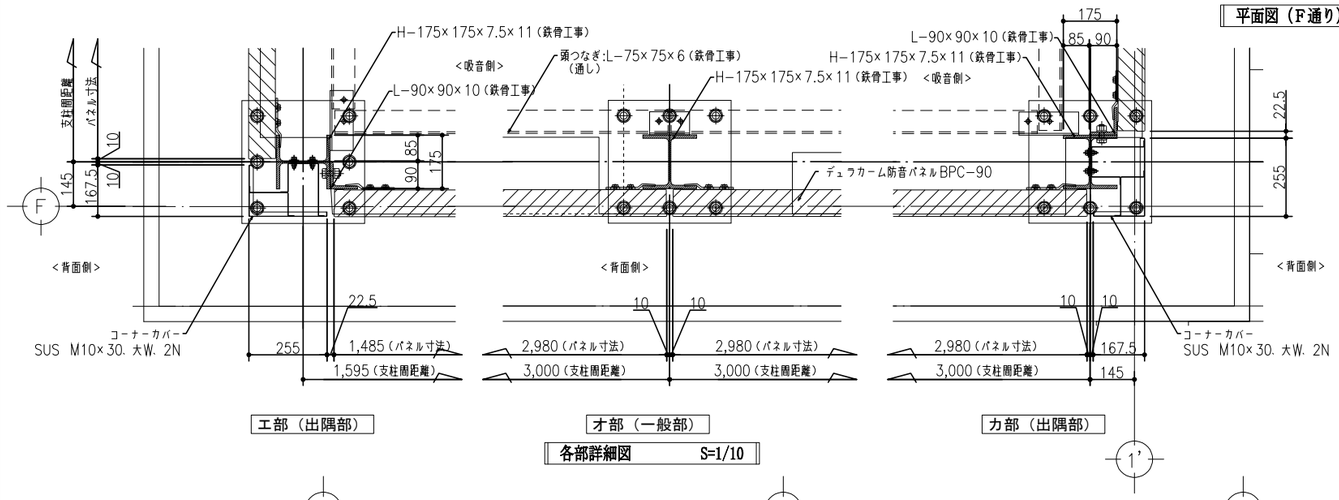
注3) 防音パネルの背面側は、○○樹脂焼付塗装とする。

（色：日塗工No. 未定　）

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	防音パネル工事 各部詳細図①	A1:1/40 A3:1/80	A−076

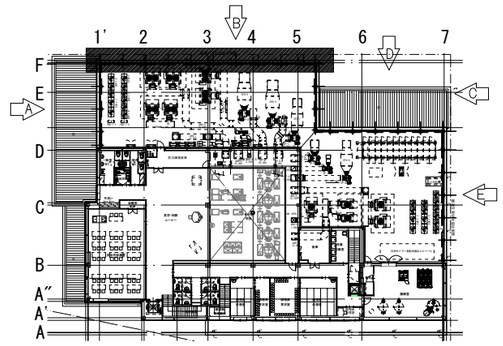


平面図（F通り）　S=1/40

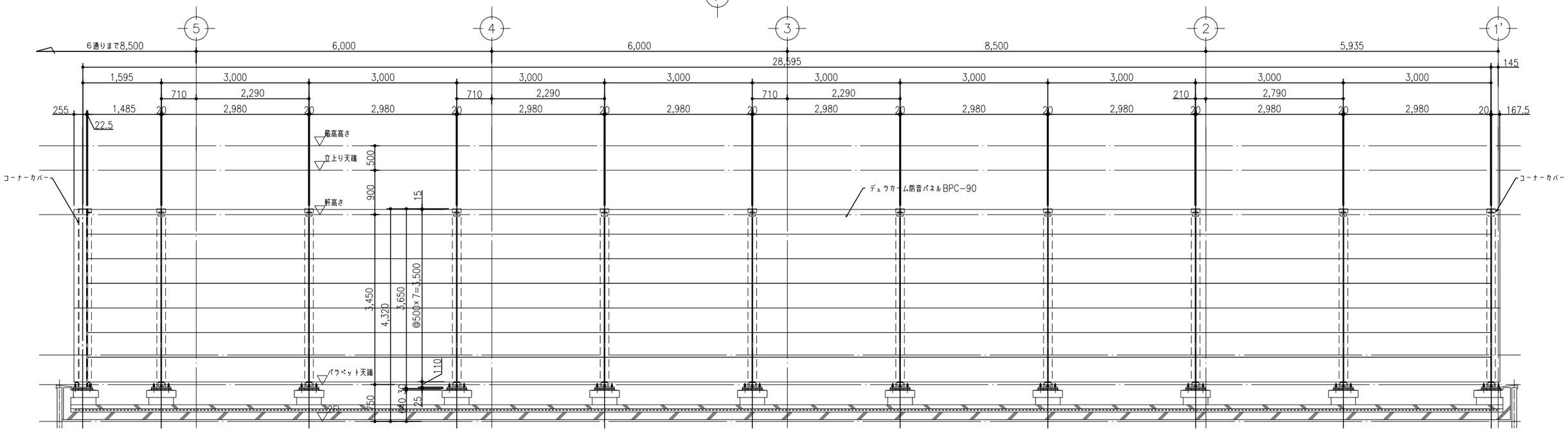


エ部（出隅部）　オ部（一般部）　カ部（出隅部）

各部詳細図　S=1/10



Key Plan



B立面図　S=1/40

※特記事項

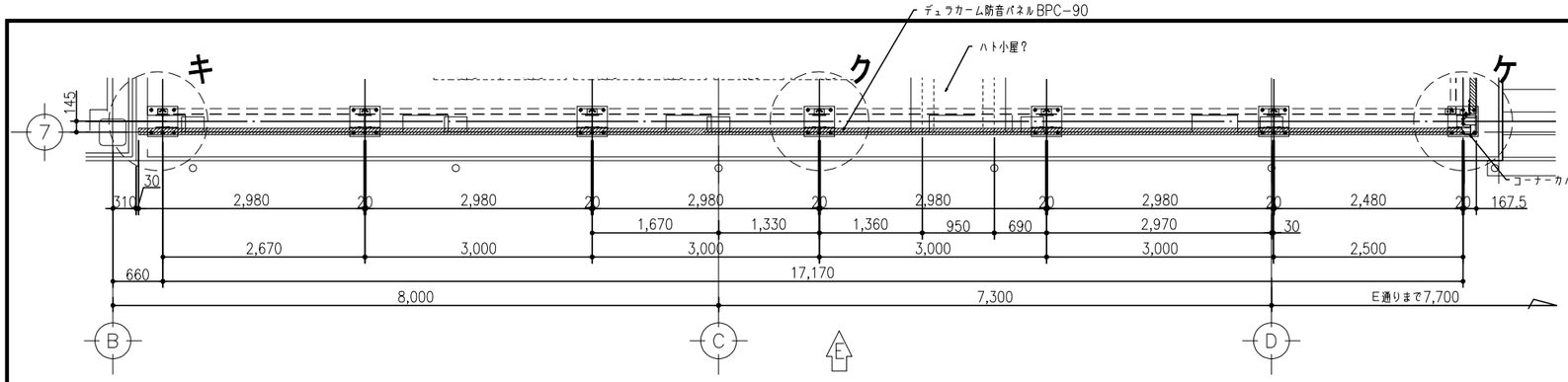
注1）特記なき鋼材・ボルト類は、溶融亜鉛めっき品とする。

注2）基礎工事・鉄骨工事は、別途工事とする。

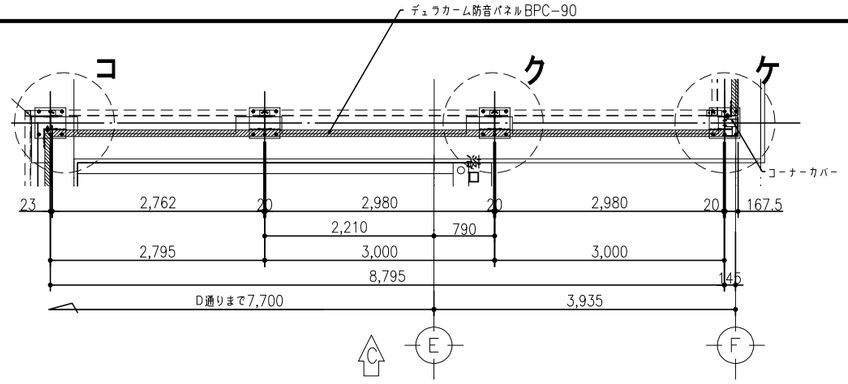
注3）防音パネルの背面側は、○○樹脂焼付塗装とする。

（色：日塗工No. 未定　）

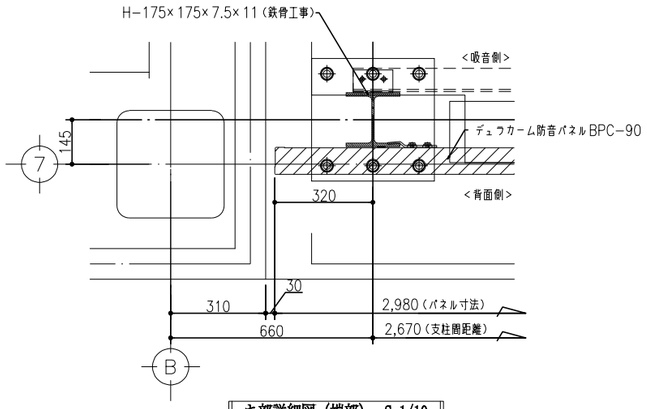
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	防音パネル工事 各部詳細図②	A1:1/40 A3:1/80	A-077



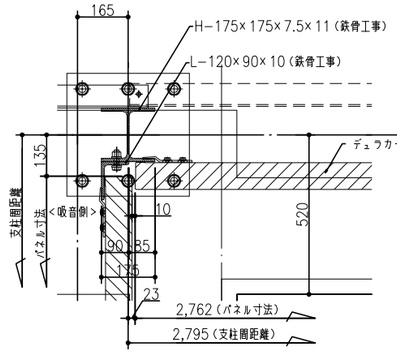
平面図（7通り）　S=1/40



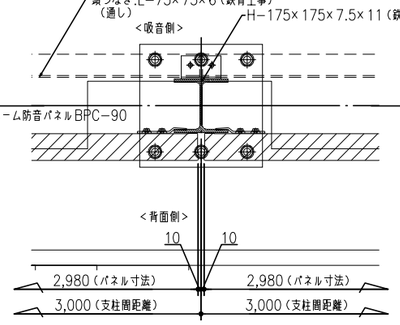
平面図（5+2,525通り）　S=1/40



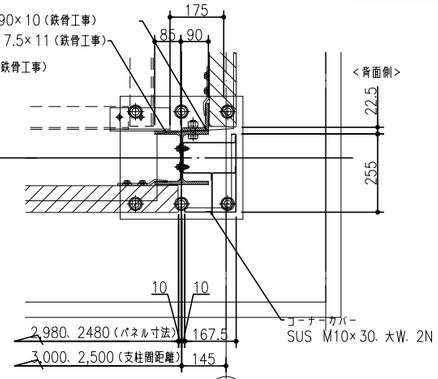
キ部詳細図（端部）　S=1/10



コ部（入隅部）

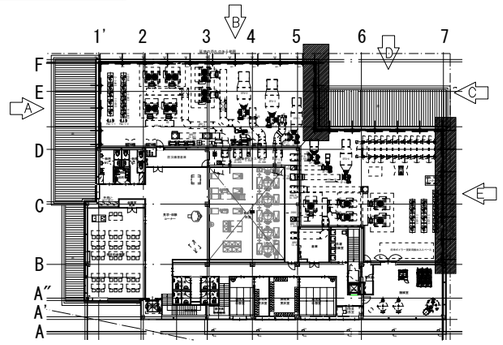


ク部（一般部）

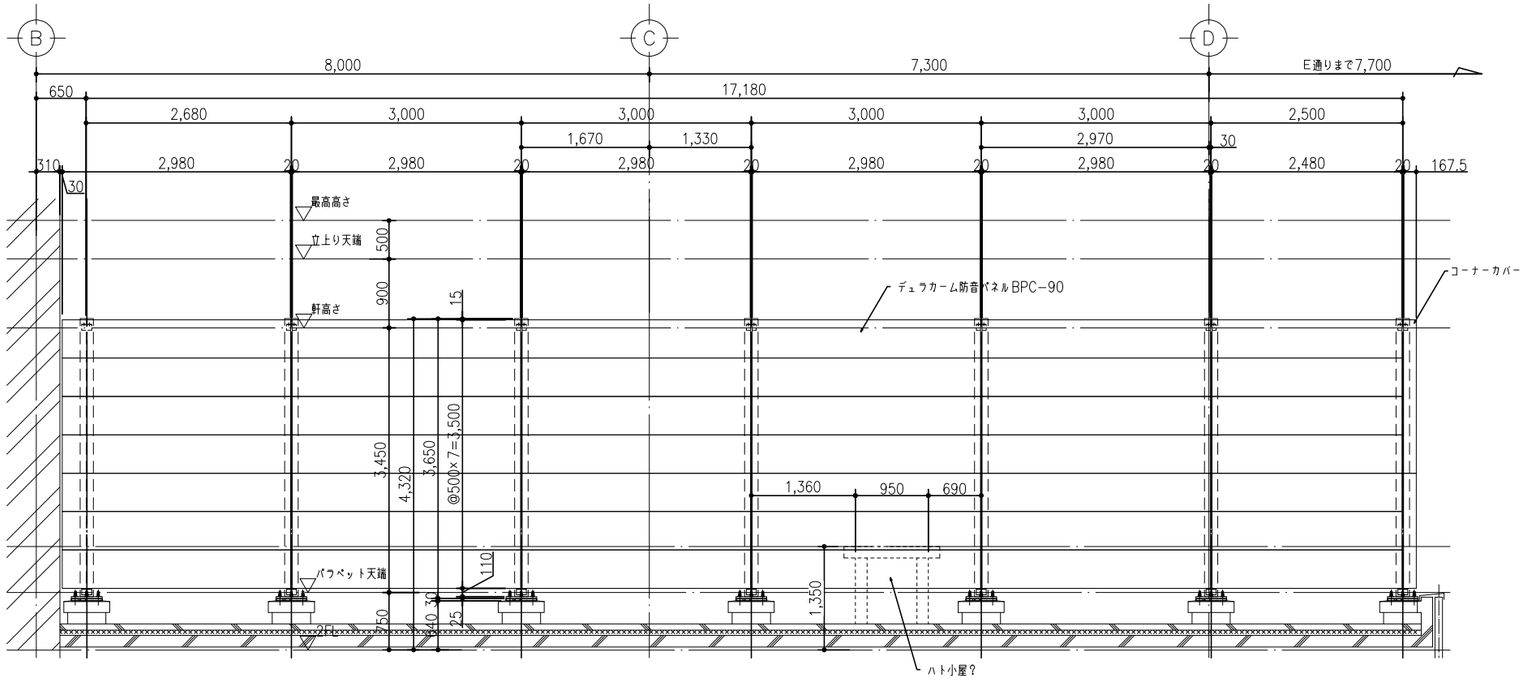


ケ部（出隅部）

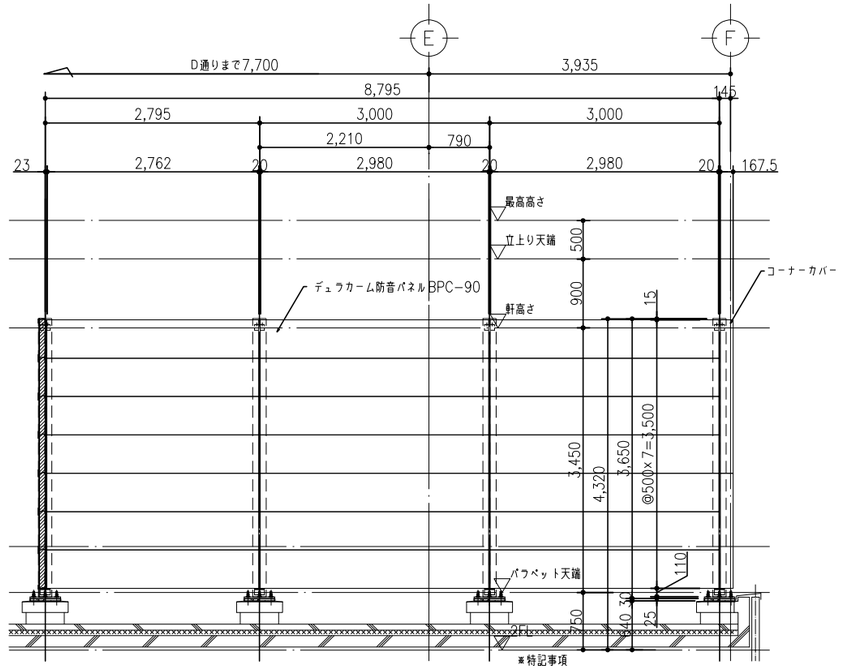
各部詳細図　S=1/10



Key Plan



E立面図　S=1/40

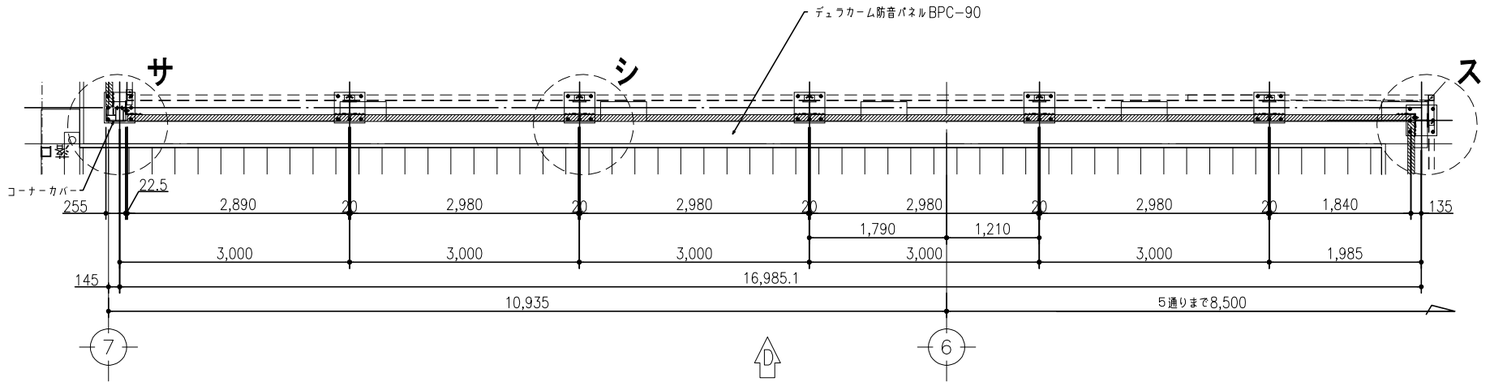


C立面図　S=1/40

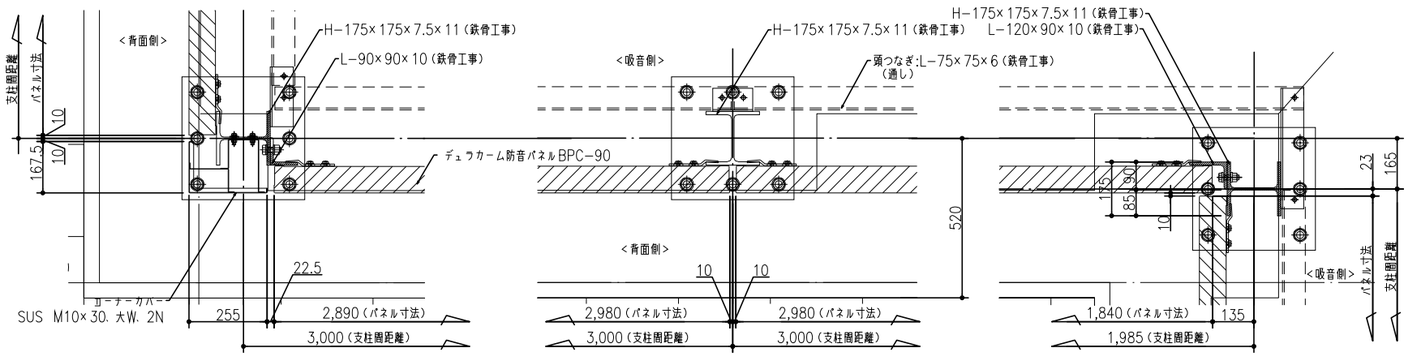
＊特記事項

注1）特記なき鋼材・ボルト類は、溶融亜鉛めっき品とする。
注2）基礎工事・鉄骨工事は、別途工事とする。
注3）防音パネルの背面側は、○○樹脂焼付塗装とする。
（色：日塗工No. 未定　）

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	防音パネル工事 各部詳細図③	A1:1/40 A3:1/80	A−078

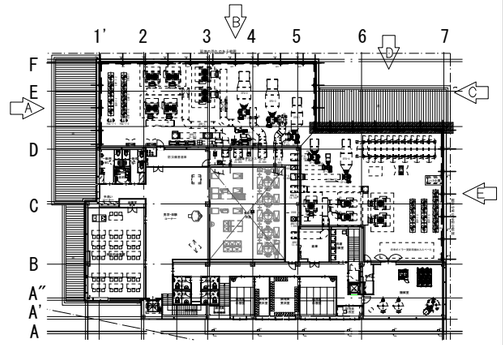


平面図（D+2,750通り） S=1/40

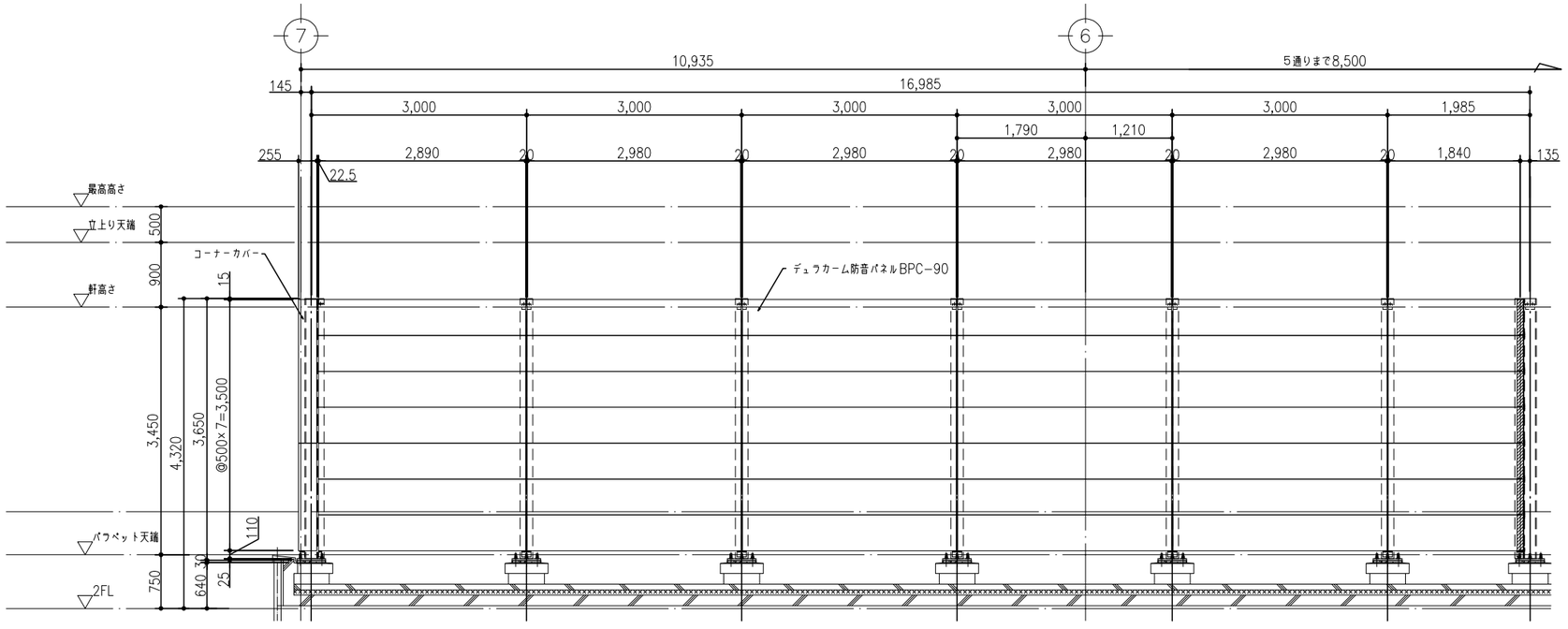


サ部（出隅部）　シ部（一般部）　ス部（入隅部）

各部詳細図 S=1/10



Key Plan



D立面図 S=1/40

※特記事項

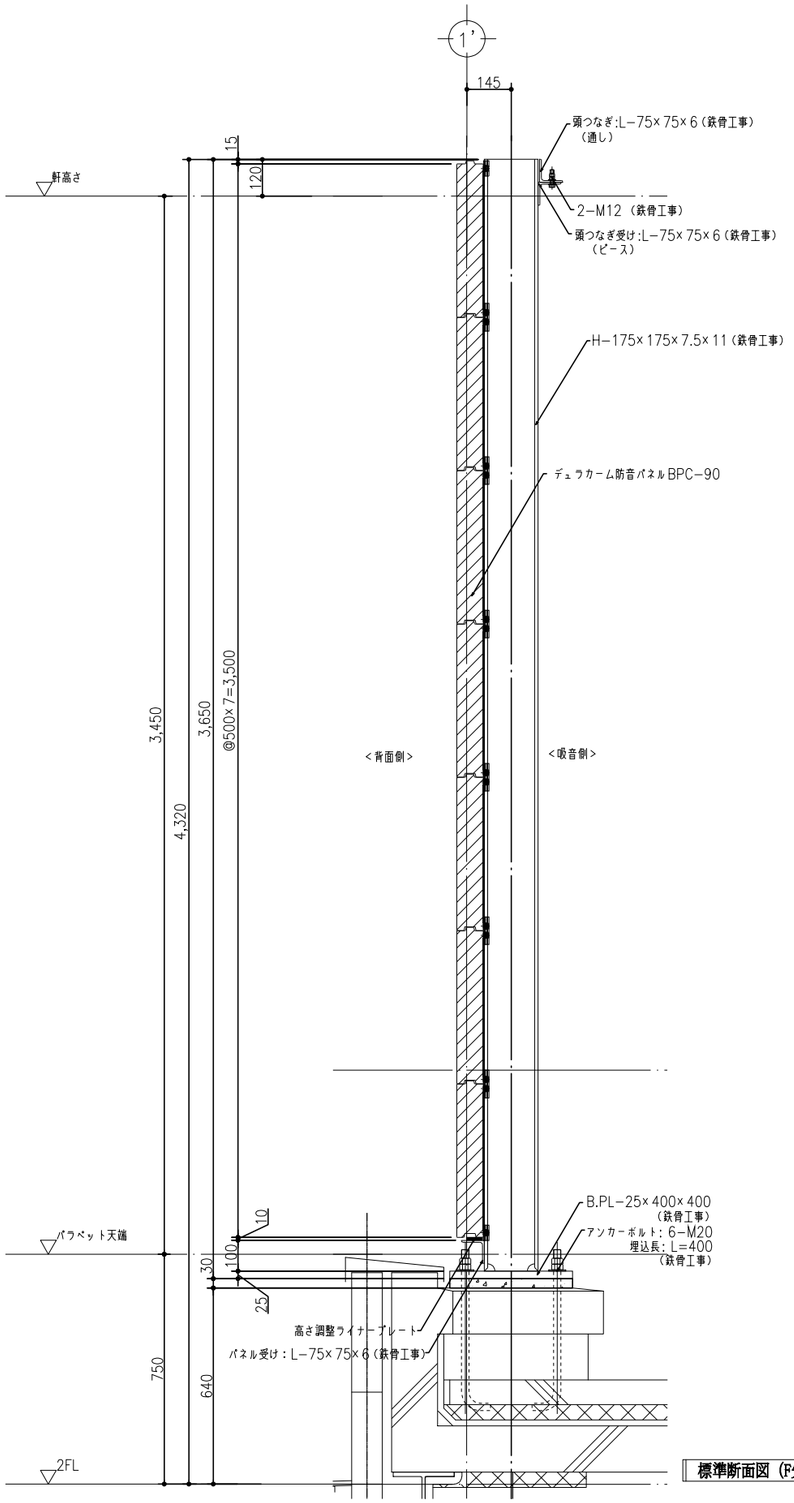
注1）特記なき鋼材・ボルト類は、溶融亜鉛めっき品とする。

注2）基礎工事・鉄骨工事は、別途工事とする。

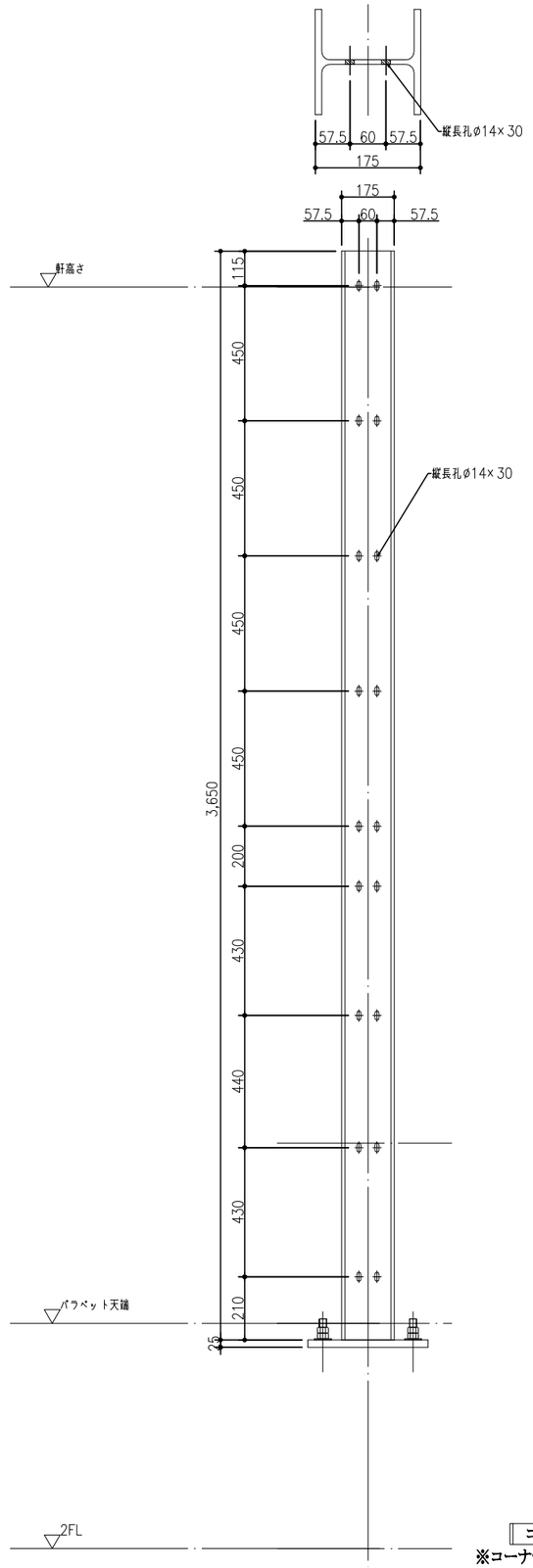
注3）防音パネルの背面側は、○○樹脂焼付塗装とする。

（ 色：日塗工No. 未定 ）

NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	防音パネル工事 各部詳細図④	A1:1/40 A3:1/80	A−079

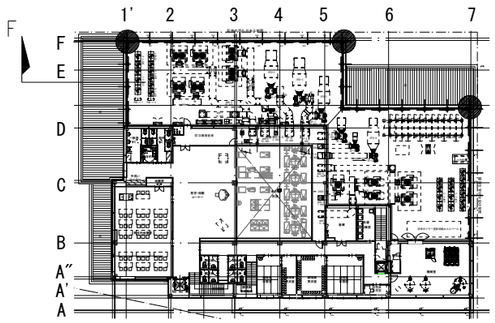


標準断面図（F矢視） S=1/10



コーナーカバー取付孔位置図　S=1/10

※コーナーカバーを取付ける出隅部支柱に必要です。（計3個所）



Key Plan

*特記事項

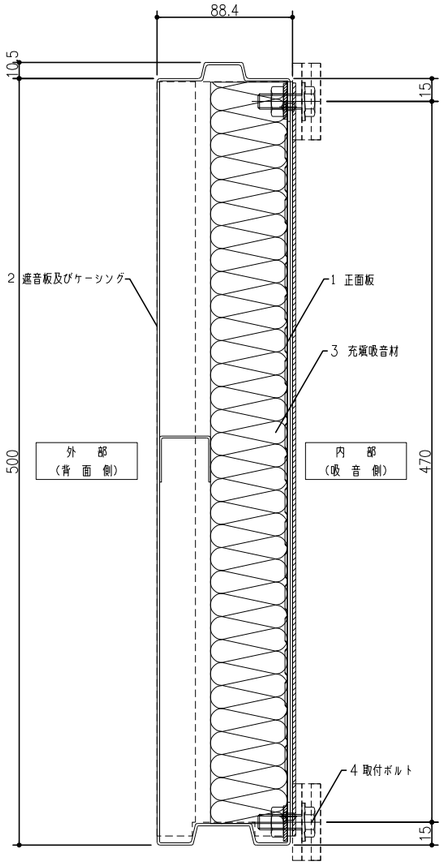
注1）特記なき鋼材・ボルト類は、溶融亜鉛めっき品とする。

注2）基礎工事・鉄骨工事は、別途工事とする。

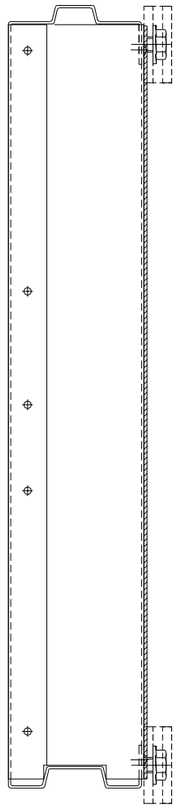
注3）防音パネルの背面側は、○○樹脂焼付塗装とする。

（ 色：日塗工No. 未定 ）

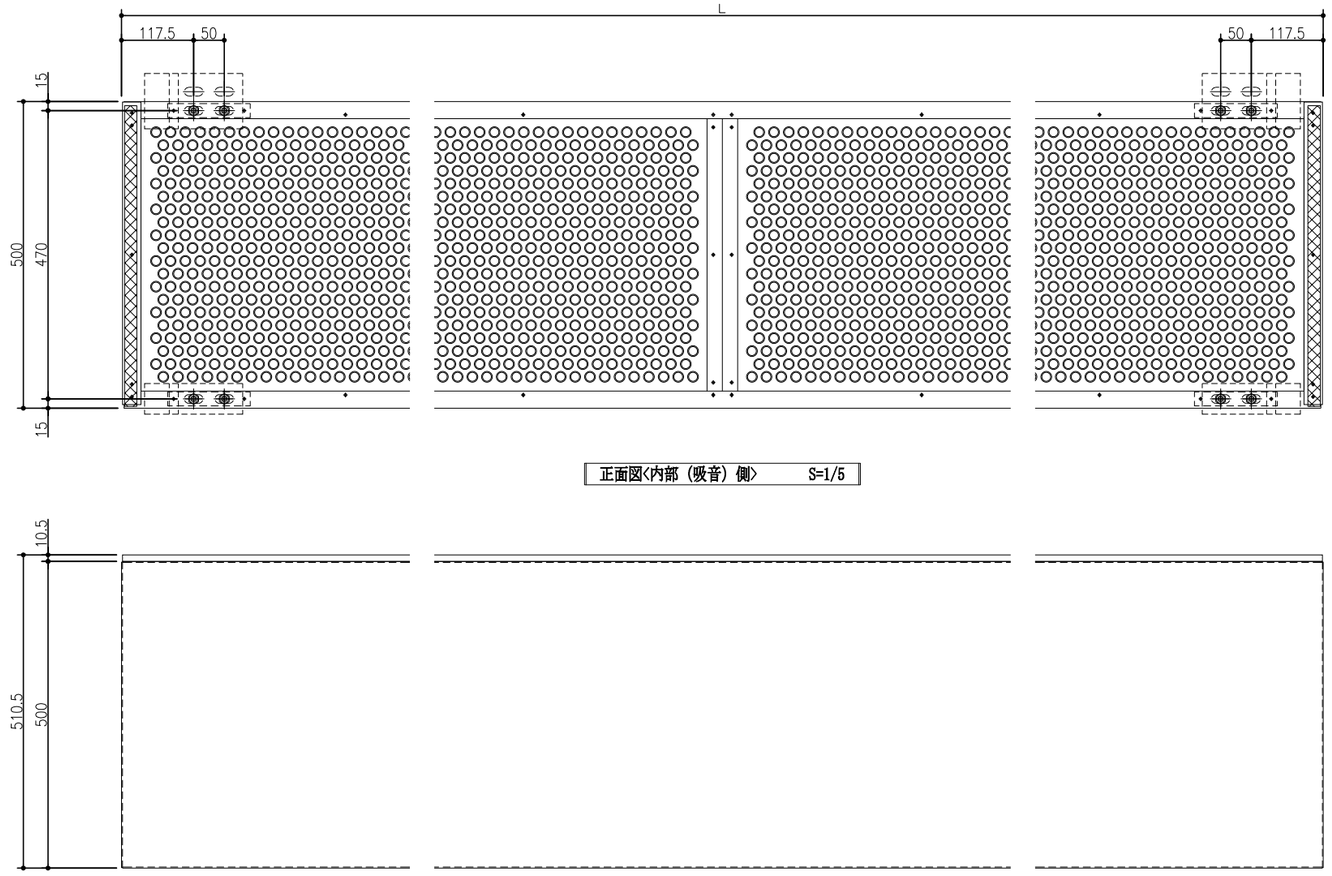
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	防音パネル工事 断面図	A1:1/5 A3:1/10	A−080



縦断面図(A-A) S=1/2

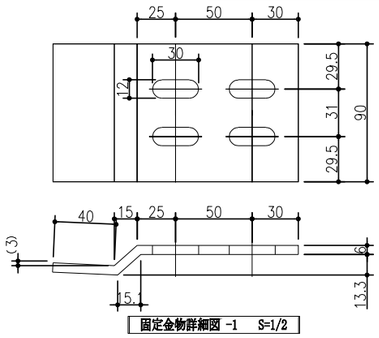


B矢視図 S=1/2

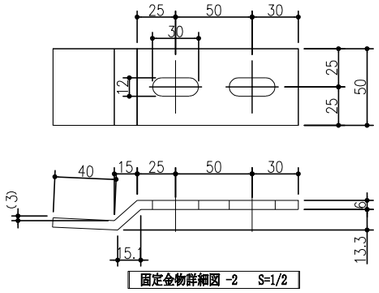


正面図<内部（吸音）側> S=1/5

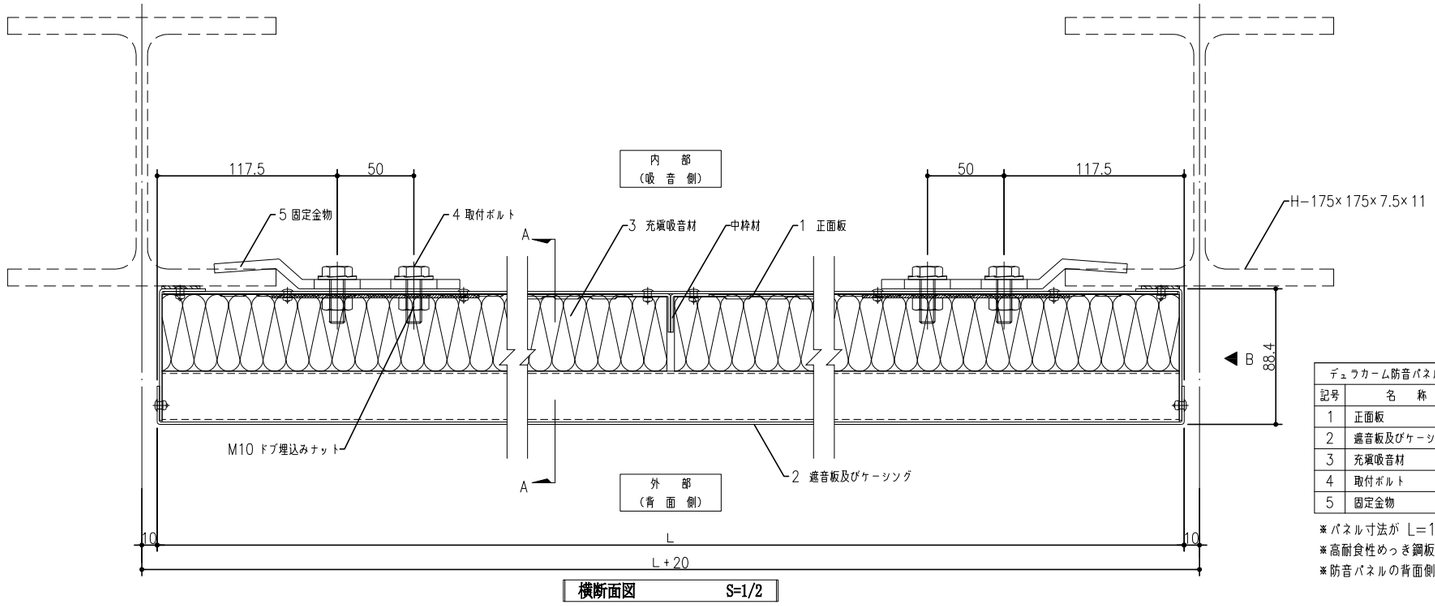
背面図（外部側） S=1/5



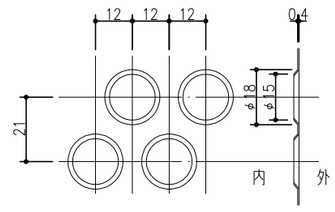
固定金物詳細図 -1 S=1/2



固定金物詳細図 -2 S=1/2



横断面図 S=1/2



パンチング詳細図 S=1/1

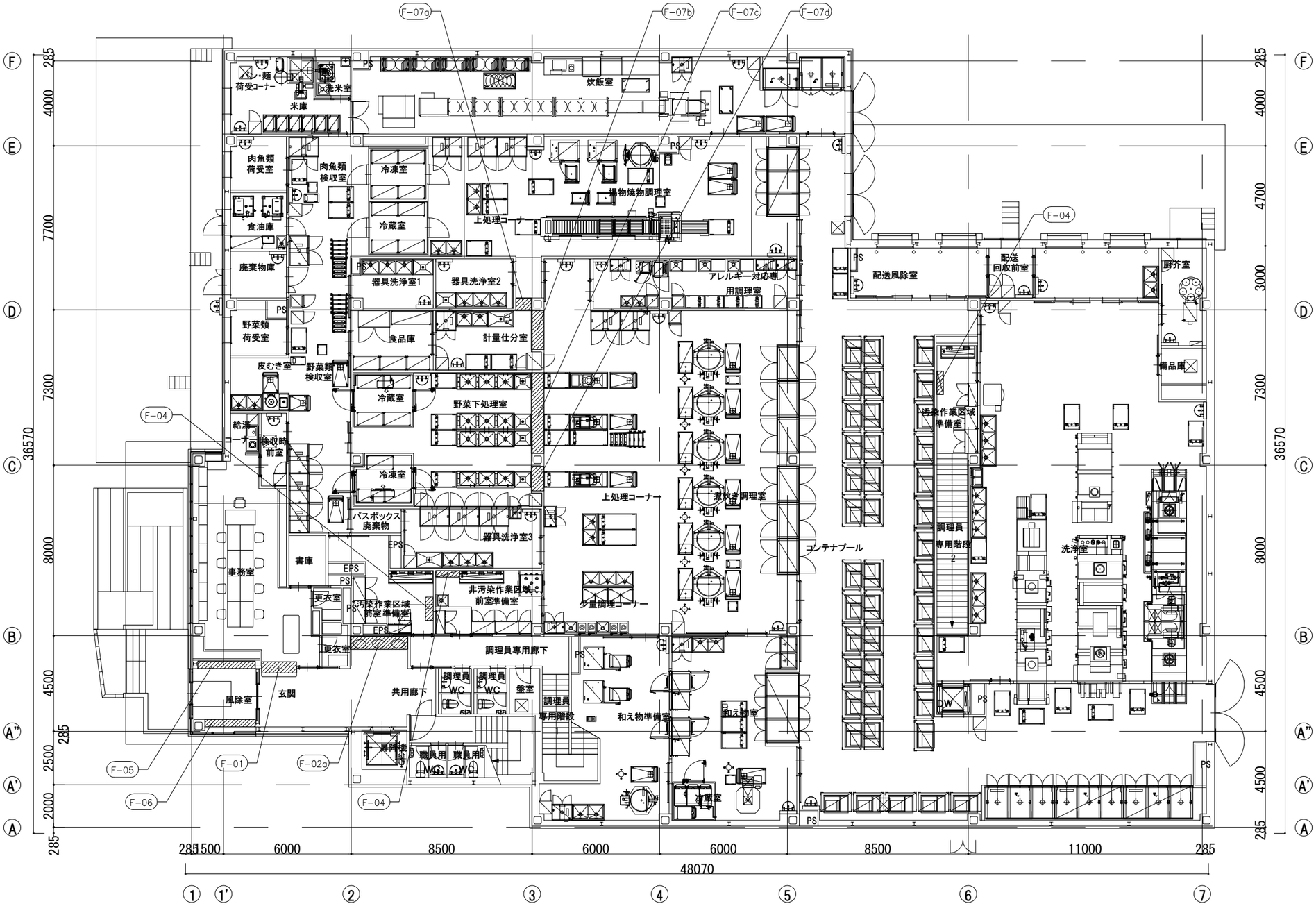
※パンチングのバーリングの向きは全て内側とする。

デュラカーム防音パネルBPC-90 日本環境アメニティ株式会社製

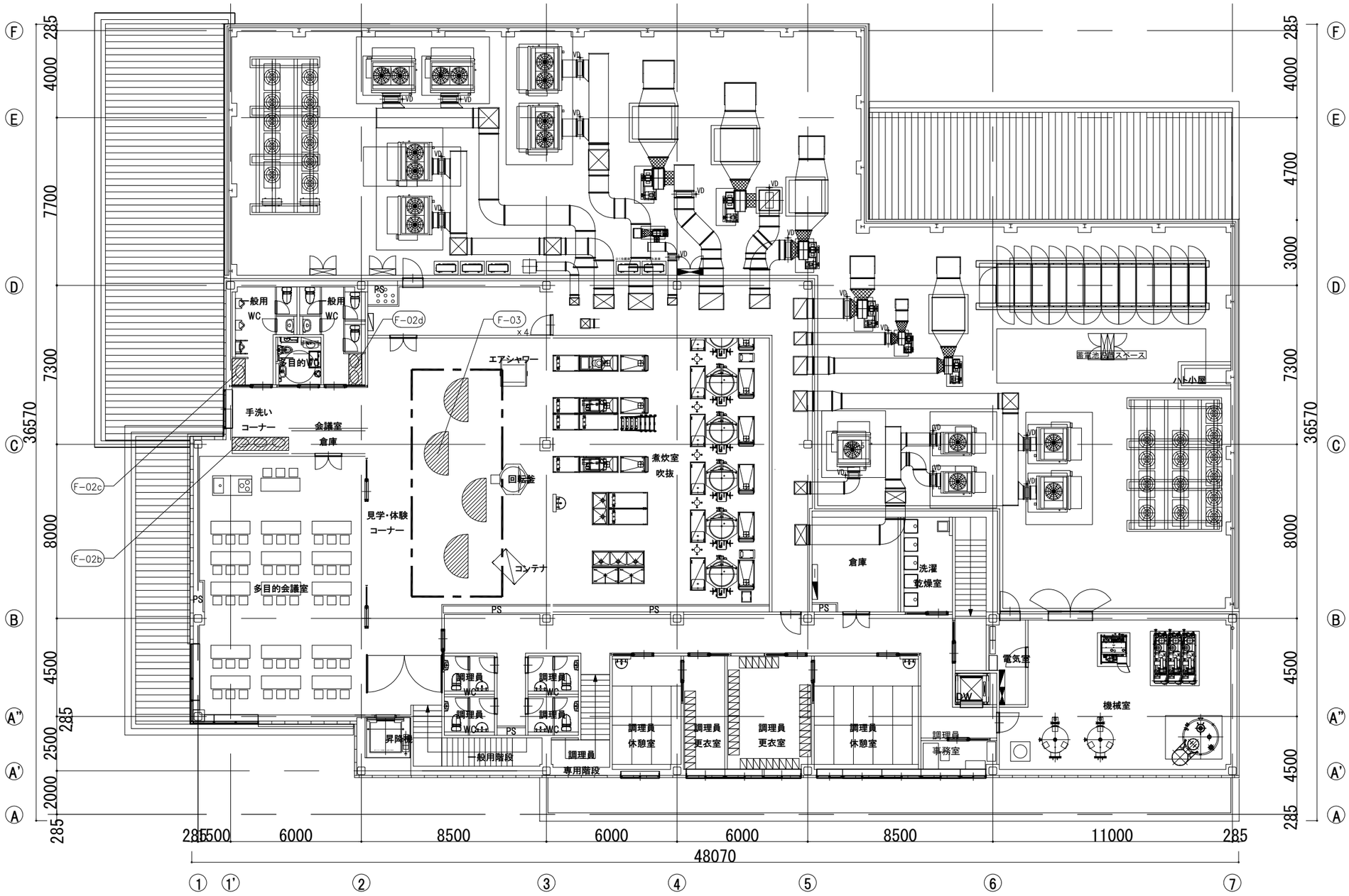
記号	名 称	材 質 ・ 寸 法	備 考
1	正面板	高耐食性めっき鋼板パンチング t=0.4	
2	遮音板及びケーシング	高耐食性めっき鋼板 t=1.6	
3	充填吸音材	フローティングウール （ガラスクロス平貼）	
4	取付ボルト	TS BOLT M10 L=30. 特殊W	溶融亜鉛めっき
5	固定金物	FB-6t（溶融亜鉛めっき）	

※パネル寸法が L=1,960を超える場合は中枠付きとする。
※高耐食性めっき鋼板の切断面はローバル補修とする。
※防音パネルの背面側は、○○○○樹脂焼付塗装（色：日塗工No, 未定 ）とする。

NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	デュラカーム防音パネルBPC-90	図示	A-081



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS 1階家具キープラン	SCALE A1:1/100 A3:1/200	NO. A-082



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	2階家具キープラン	A1:1/100 A3:1/200	A-083

造作家具　共通仕様　「特記なき場合は下記仕様とする」

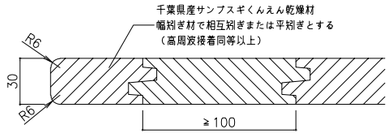
地球温暖化を防ぐため日本の温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、森林の循環利用を持続可能にするために、国産材を積極的に活用した下記仕様とする。

本体：ポリエステル化粧合板、扉：千葉県産サンプスギくんえん乾燥材

本体・主材	ポリエステル化粧合板　木口：同色樹脂テープ貼り
扉	千葉県産サンプスギくんえん乾燥材（特一等材）框組
棚板	ポリエステル化粧合板　木口：同色樹脂テープ貼り
側板	ポリエステル化粧合板　木口：同色樹脂テープ貼り
背板	ポリエステル化粧合板
地板	ポリエステル化粧合板　木口：同色樹脂テープ貼り
台輪	ポリエステル化粧合板
塗装	着色UC：ウレタン塗装仕上げF☆☆☆☆
接着剤	＊接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとする。

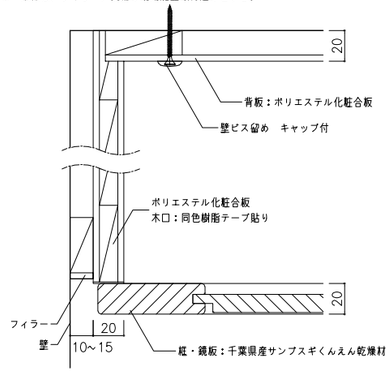
＊　施工前に家具施工図を作成し監督者に提出、承認を受けた後、製作、施工すること。
＊　千葉県産サンプスギ材の出荷証明書等は施工前に監督者に提出する。
＊　家具の製作工場については環境に配慮し、温暖化防止や水土保全のために、持続可能な森林運営を担うことを評価・認定した認証制度（SGEC　又はPEFC）の認証取得企業であること。
＊　また、品質確保のためＩＳＯ９００１認定取得の国内工場、または同工場の管理する協力工場とすること。
＊　造作家具の千葉県産サンプスギ材については、以下の条件を満たすものとすること。
- 生木製材からロット番号管理を行い、含水率の推移を記録した乾燥履歴を保管すること。
- 乾燥工程では、全乾重量法に基づいた含水率計測を行うこと。
- 抜けそうな節（抜け節）はあらかじめ除去し、無垢材によって埋め木処理を行うこと。
- 写真で工程を説明できる資料と、埋め木材と乾燥材のサンプルを速やかに提出できること。
- 乾燥工程は品質確保のため、以下の要領によって行われていること。
  - 反りや乾燥むら、割れの軽減をする為、天然乾燥及び天然木のみを燃焼させて発生させた煙を使用した、くんえん乾燥にて予備乾燥を行う。
  - 次に約65℃前後で蒸気乾燥炉にて約一週間湿度調整し、含水率を10%前後にする。
  - 湿度調整後に養生期間を設けて含水率を12%程度まで戻した後、含水率を保持するためビニールで梱包後、保管し加工する。
＊　メーカ選定の際には、仕様通りの実物サンプルを提出し、監督者承認後決定とすること。

天板

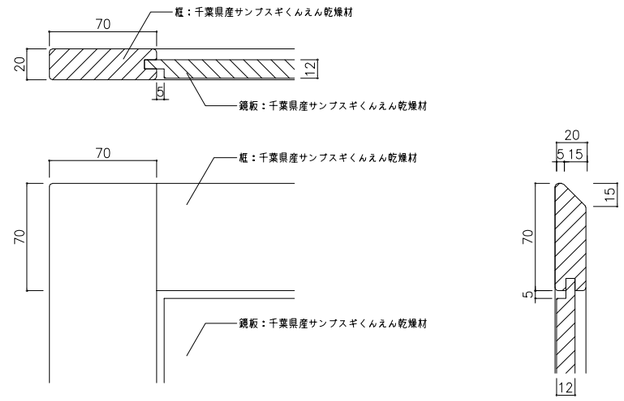


本体仕様

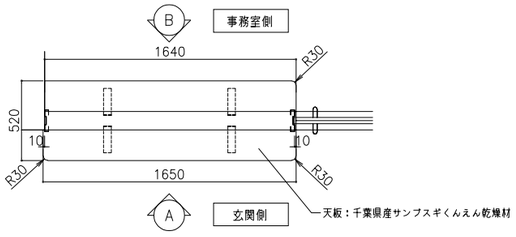
＊　本体各部材の接合に関しては、いたずら防止と強度確保のため、部外者が安易に外せるノックダウン金物の使用は禁止とする。
＊　造作家具は危険防止の為、床または壁面に取付・固定すること。
＊　本体は、フィラー、支輪の現場加工取付込みとする。



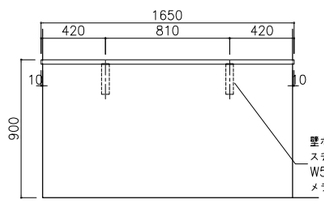
扉詳細図



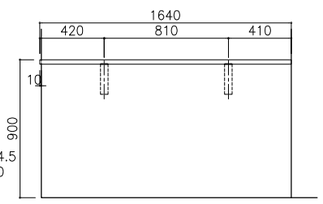
F−01　受付カウンター　1階　玄関　1カ所

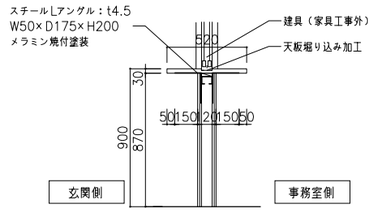


A立面図



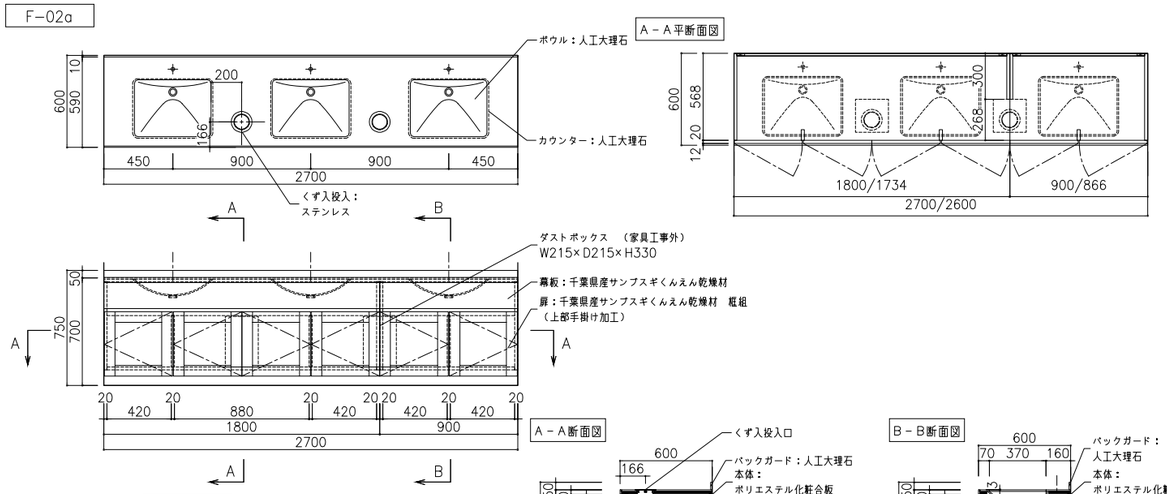
B立面図

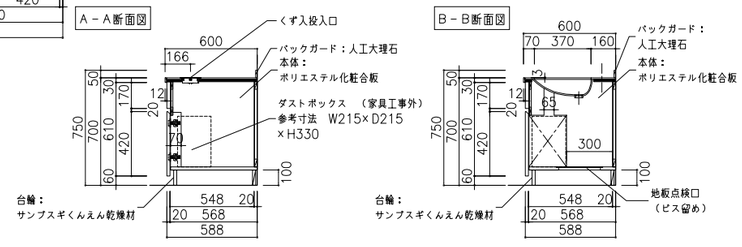




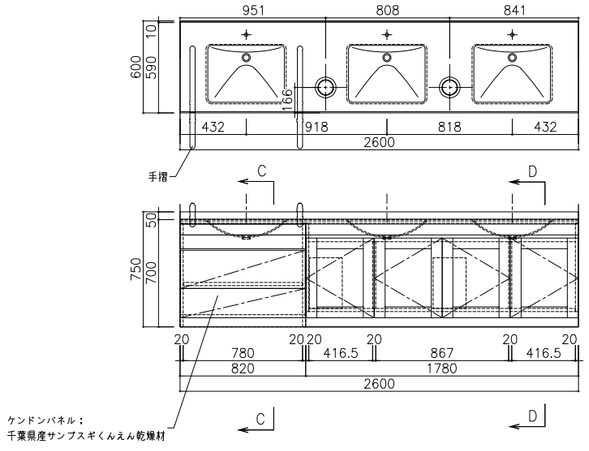
F−02　洗面カウンター　各階　各箇所　4カ所

F−02a

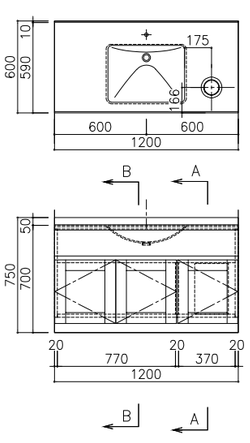




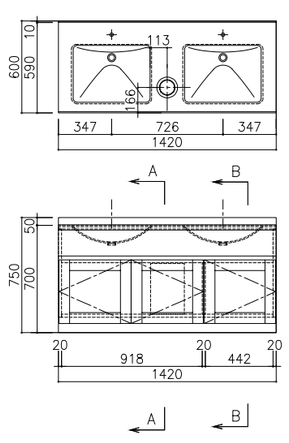
F−02b



F−02c



F−02d

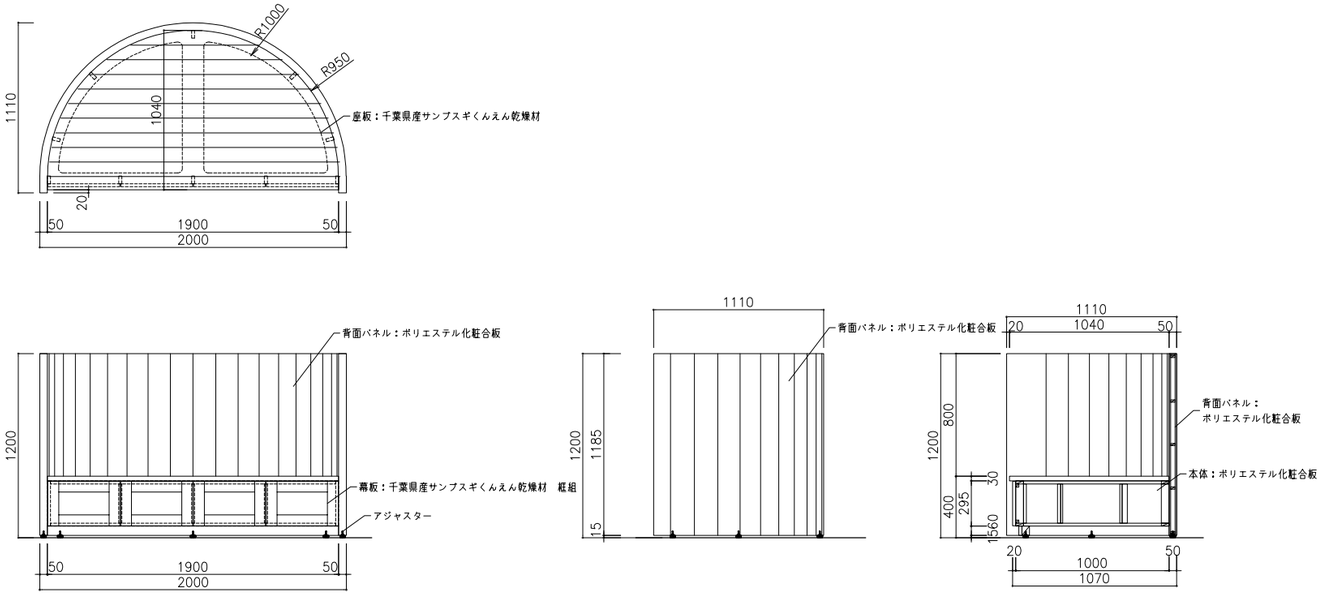


階	家具番号	室名	ヶ所数
1階	F−02a	共用廊下	1
2階	F−02b	手洗いコーナー	1
	F−02c	一般用WC	1
	F−02d		1
合計			4

水栓金具・排水トラップ・シール及び接続配管等は家具工事外

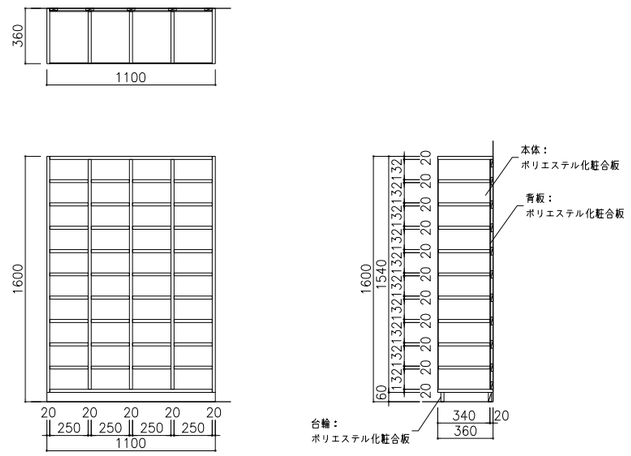
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	家具詳細図(1)	A1:1/20 A3:1/40	A−084

F−03	ベンチ	2階　見学・体験コーナー	4カ所

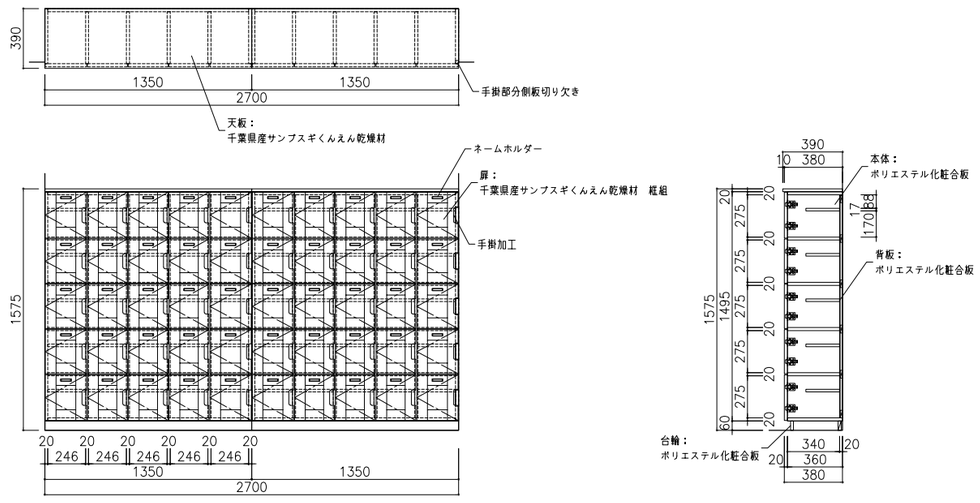


F−04	上履入	1階　各室	3カ所

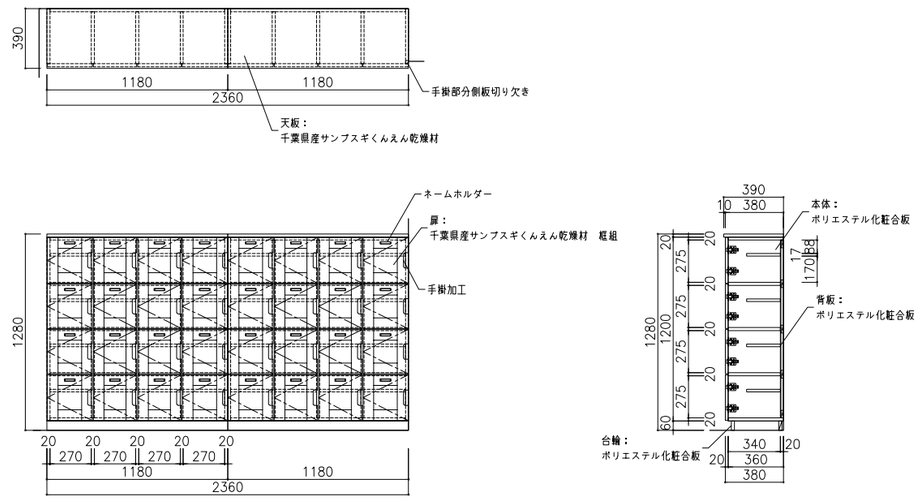
室名	ヶ所数
汚染作業区域準備室	1
非汚染作業区域準備室	1
汚染作業区域準備室	1
合計	3



F−05	下足入	1階　風除室	1カ所



F−06	下足入	1階　風除室	1カ所



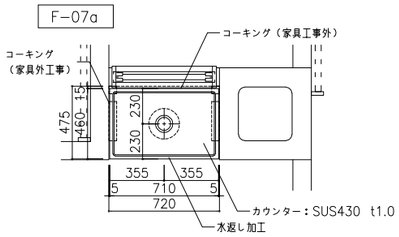
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	家具詳細図（２）	A1:1/20 A3:1/40	A−085

F−07	食材受け渡しカウンター	1階　各室	4ヵ所

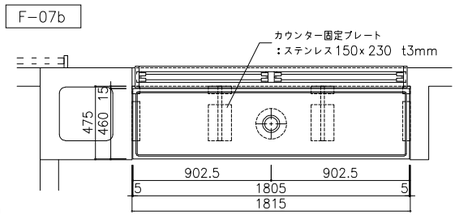
排水トラップ・シール及び
接続配管等は家具工事外

家具番号	室名	ヶ所数
F−07a	軽量仕分室	1
F−07b	軽量仕分室	1
F−07c	野菜下処理室	1
F−07d	野菜下処理室	1
合計		4

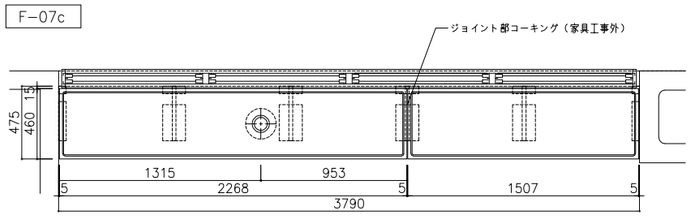
F−07a



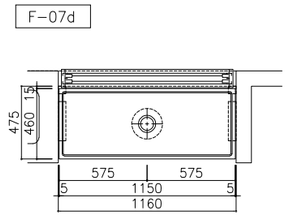
F−07b

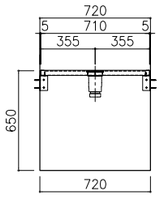


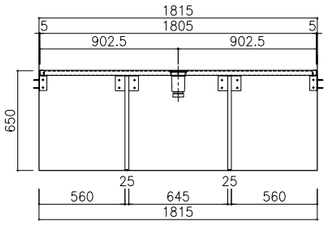
F−07c

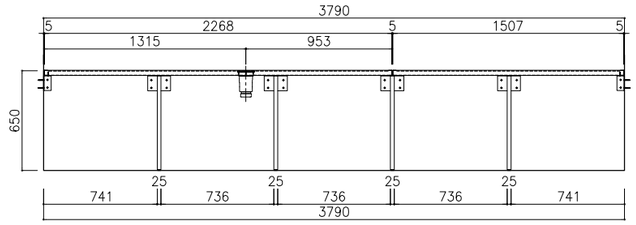


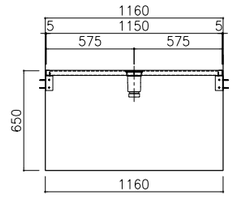
F−07d

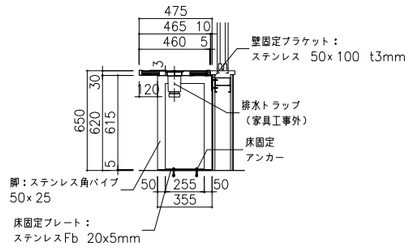




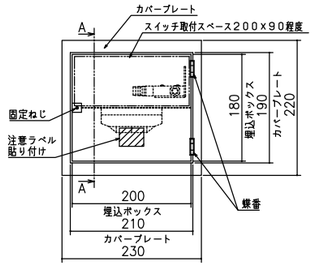




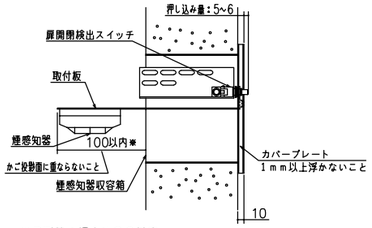




NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	家具詳細図（３）	A1:1/20 A3:1/40	A−086



煙感知器・点検ボックス（参考例）

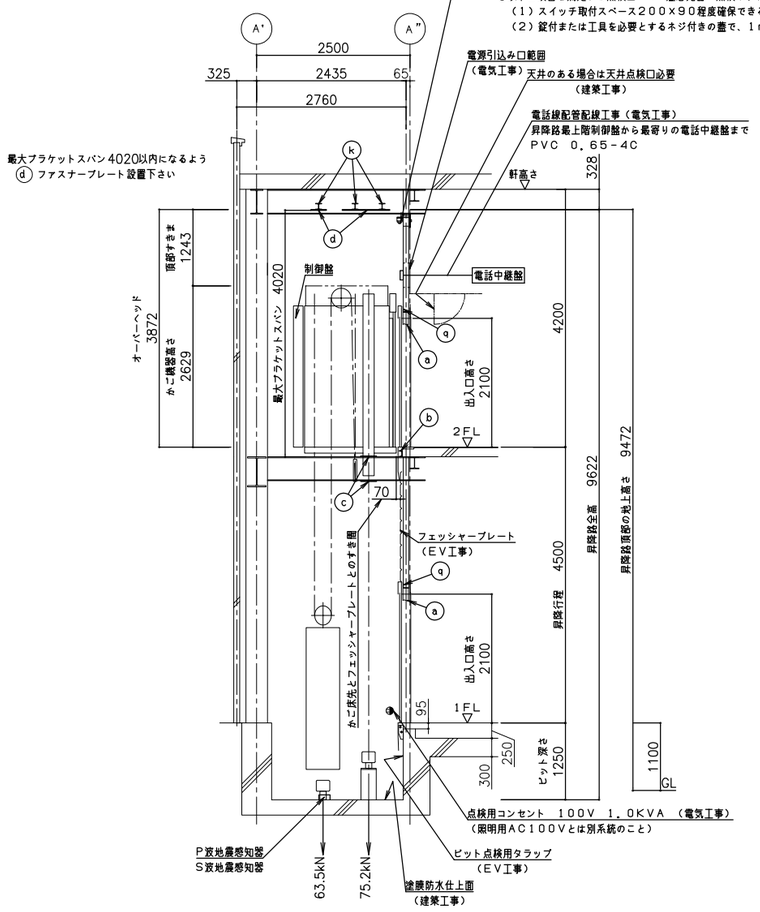


※B形枠の場合は30以内

矢視A−A

昇降路内の温度は40℃以下とする（建築工事）

煙感知器（電気工事）
・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・EV連動スイッチ付（EV工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい
①EV昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（1）～（4）のいずれか
（1）ホーチキ　KUS−1C
（2）能美防災　FXSJ001A−HU
（3）ニッタン　NID−T−G
（4）パナソニック　BV95351（BOX）＋BV95381H（扉）
②以下2項目を満足する点検口　～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
（1）スイッチ取付スペース200×90程度確保できる。
（2）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かないこと。



昇降路断面図　（1／50）
（NO.01）

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい（建築工事）

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

1．昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
2．鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
3．鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
4．鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に対して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること）
5．鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
6．各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
7．乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
8．昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事（　　kN）／台
9．通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から125mm以下）
10．ピット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
11．ピット床下部使用の場合の建築対策工事
12．ピットが深い場合の埋め戻し・浅い場合のはつり工事
13．段違いピット時のピット内保護柵工事（必要の場合）
14．昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
＊居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
＊（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
15．その他建築に関する工事

設備工事関係

1．動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（繋ぎ込み工事含む）
2．インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
（0.9φ×10本）／台
3．火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
4．遮煙ドアご請用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
5．エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
6．建設設備連動に必要な接点供給工事
7．ピット内点検用コンセント設備工事
（照明用AC100Vとは別系統のこと）
8．昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
9．かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・5C−2V同軸ケーブル
10．かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合3線式とすること）
11．昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示1413号第1第三号ニにより昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります）
発熱量　エレベーター駆動部（　875W／1台）
＋エアコン（　−　W／1台）
12．据付工事用の仮設電源を無償支給願います。（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います。）
13．監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

注意事項

1．昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
2．コンクリート強度は21N／mm² 以上のこと
3．電源電圧の変動は＋5%～−10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
4．本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です
（1）昇降路内の温度は−5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
（2）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
5．（1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水より設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、強い光が当たらないよう対策を実施のこと
6．昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
7．昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないよう願います
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
8．遮断器はインバータ回路対応のものを使用すること
9．輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
10．換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
11．エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
12．エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
13．乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
14．乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
15．製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います。
電動機（巻上機・駆動機）：JEC−2110,2130.
JIS C−4034−1
制御盤：JEM1021,1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です。
16．施工作業時間条件：月曜日～土曜日　8：00～17：00
尚、施工作業期間の内「4週6休」就労をさせて頂きます。

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは，常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は，24時間管理人が常駐する必要がある。
（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は，以下のいずれかの措置が必要となる。
1．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
2．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、
鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
3．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

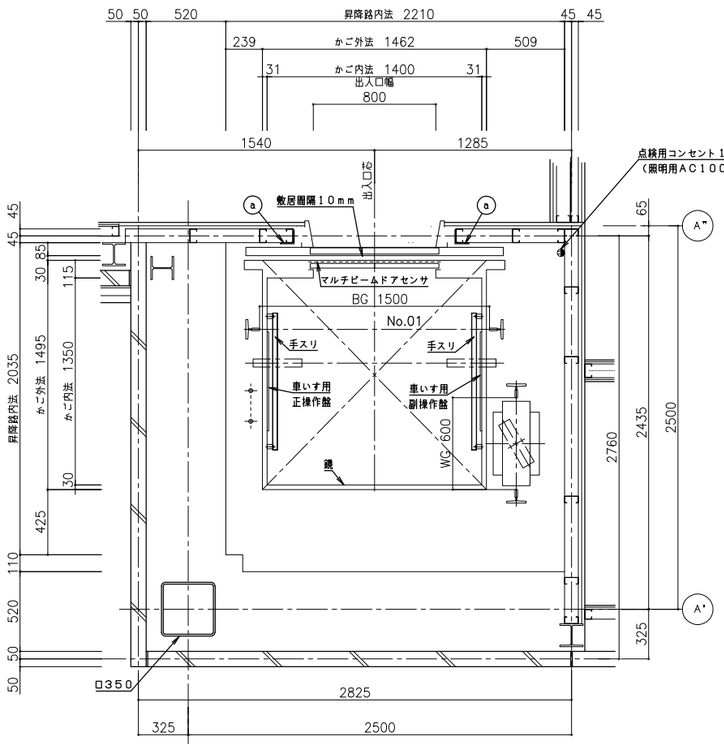
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材（壁取付金物の昇降路内への突出不可）	L−90×90×6	建築工事
b	敷居取付材	[−100×50×5×7.5	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL−t12	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	PL−t12	建築工事
k	揚重ビーム	H−100×100×6×8	建築工事
q	ALC受け材（壁取付金物の昇降路内への突出不可）	L−90×90×6	建築工事

レール支持最大ブラケットスパン：4460mm以内
＊但し、最上段のみ4020mm以内
上記寸法超過しないようレール支持下さい

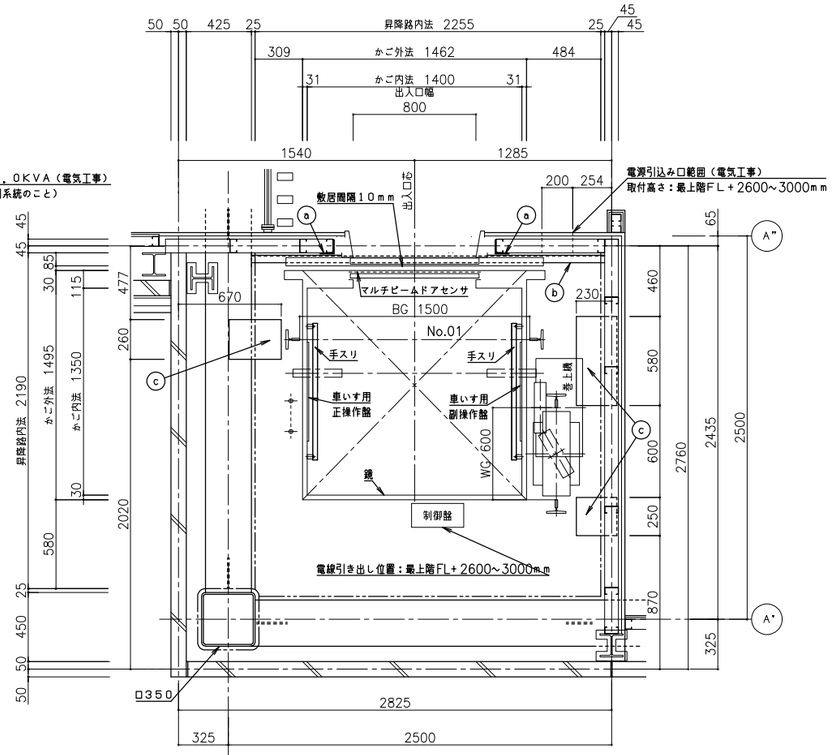
エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	P11−CO
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m／min
	戸閉方式	2枚戸両引き
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法間口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	2停止（1−2階）
	動力用電源	AC3φ−200V−50Hz
	照明用電源	AC1φ−100V−50Hz
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様　適用年版	令和4年版
	敷居間隔	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波＋S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠未広幅板なし　130mm～350mm　ステンレスヘアライン（1−2階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1−2階）
	乗場敷居	アルミ製（1−2階）
	乗場インジケーター	一体セグメントLED（橙色）　ステンレスヘアライン（1−2階）
	乗場インジー体ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1−2階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形　ステンレスヘアライン（1−2階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1−2階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
かご室仕様	天井	フラット照明（白色）　天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製　2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（10．1インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面　ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットLED（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	ウイルス抑制装置＋ファン
	かご室手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
	床保護マット	あり
その他仕様	かご内戸袋引込まれ防止装置	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサー付き）
	乗場側利用者検知装置	あり
	点字名板取付方法	接着
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	冠水時管制運転	あり
	インターホン型式	6V1局
	乗場インターホンボックスタイプ	鋼板塗装（埋め込み形）
	戸開延長ボタン	ステンレスクリックボタン（ロ32・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	かご内アナウンス	かご内4ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室スピーカー	あり
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2階）
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付　【標準】

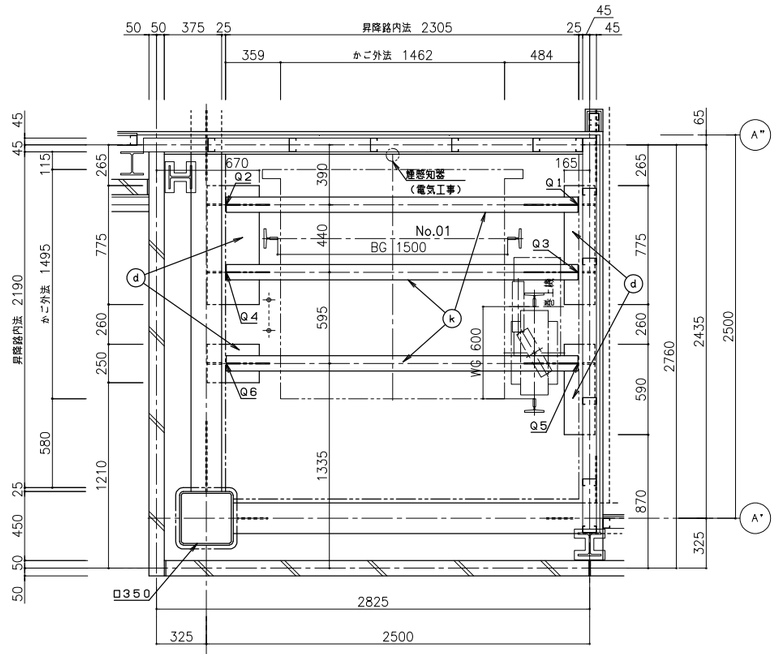
NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	エレベーター詳細図(1)	S=1/50(A1) S=1/100(A3)	A−087 KA−24



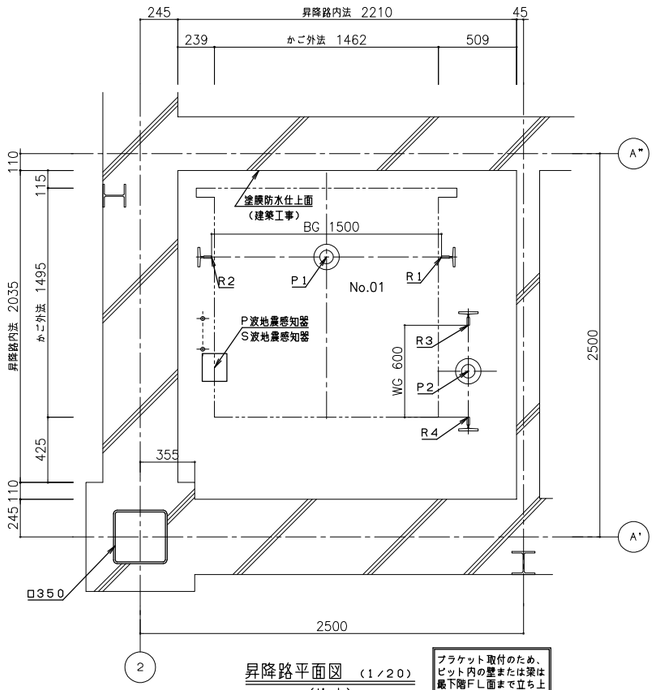
昇降路平面図 （1/20）
（1階）



昇降路平面図 （1/20）
（2階）



昇降路平面図 （1/20）
（頂部）



昇降路平面図 （1/20）
（ピット）

プラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい（建築工事）

ピット荷重（短期荷重）	
P1（kN）	P2（kN）
75.2	63.5

レール下端部荷重（長期荷重）			
R1（kN）	R2（kN）	R3（kN）	R4（kN）
3.6	23.4	43.4	19.8

動力電源設備（CVT電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値(*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ200V 50Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	82mまで 8mm² 142mまで 14mm² 216mまで 22mm²	3.5mm²

（*）電源側に漏電遮断器を設置する場合

電線長さ（mm）	01
動力電線	6000
弱電線（必要な場合）	6000

揚重ビームに掛かる荷重　No.01

Q1（kN）	Q2（kN）	Q3（kN）	Q4（kN）	Q5（kN）	Q6（kN）
6.0	2.0	8.0	10.0	16.0	11.0

Q1～Q6はEV据付時に作用する

照明用電源設備（CVD電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	照明電源容量	電源側NF容量	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC1φ100V 50Hz	1kVA	20AT	43mまで 8mm² 76mまで 14mm² 118mまで 22mm²	2.0mm²

高調波対策（高調波流出電流計算値）

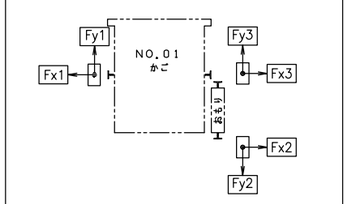
高調波対策内容		機器名称	定格容量（kVA）	台数	合計容量 PI（kVA）	回路分類細分No.	6パルス換算係数（Ki）	6パルス等価容量［Ki×Pi］（kVA）	機器最大稼働率（%）	基本電流に対する高調波電流発生率In（%） 5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ（標準）	01号機 AXIEZ−LINKs(750kg−45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	DCリアクトル追加（Ki=1.8相当）					~~33~~	~~1.8~~	~~8.6~~	~~25~~	~~30~~	~~13~~	~~8.4~~	~~5~~	~~4.7~~	~~3.2~~	~~3~~	~~2.2~~

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

＊　各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量（mA）＝ 合計容量PI（kVA） / 受電電圧（kV）×√3 ×10³ ×各次数毎の発生率In（%）×機器最大稼働率k（%）

EVレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重

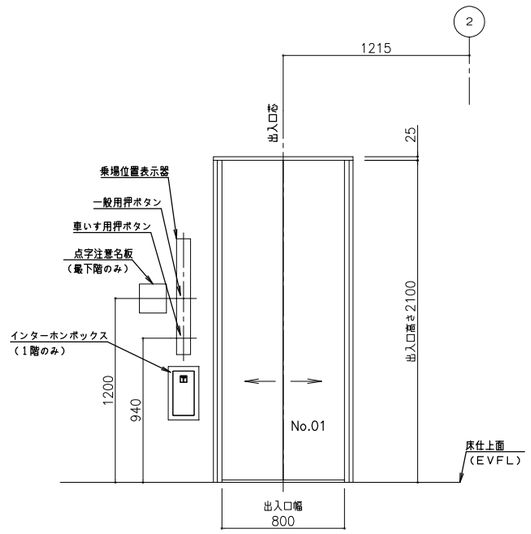


Fx1	Fy1	Fx2	Fy2	Fx3	Fy3
4.98	4.55	3.92	7.83	8.89	10.32

（単位：kN）

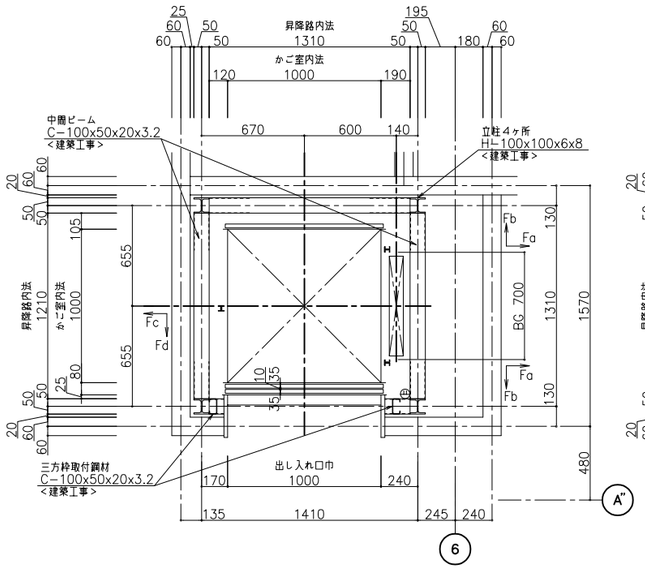
注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付けること。

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材（壁取付金物の昇降路内への突出不可）	L−90×90×6	建築工事
b	敷居取付材	[−100×50×5×7.5	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL−t12	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	PL−t12	建築工事
k	揚重ビーム	H−100×100×6×8	建築工事

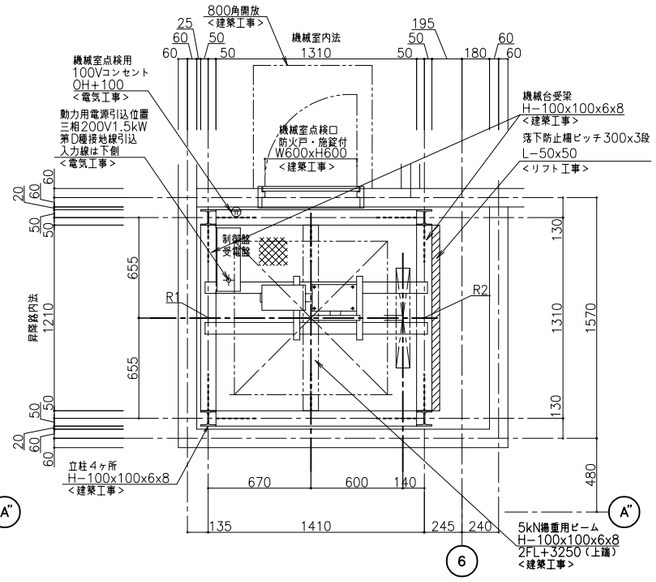


乗場正面図 （1/20）
（No.01号機）
（1−2階）

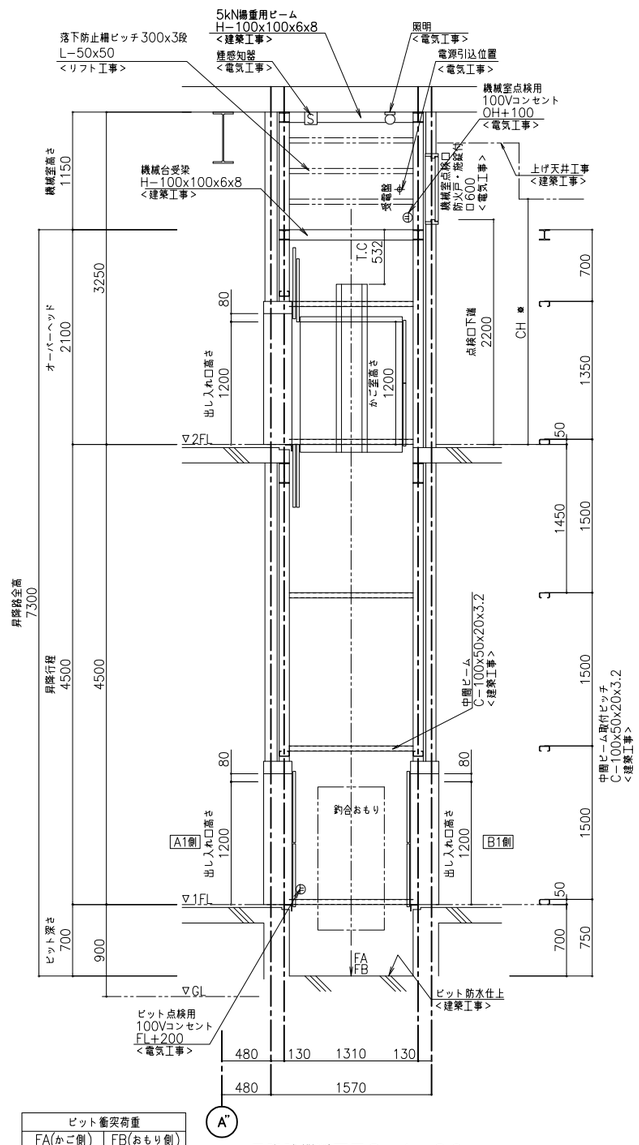
NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	エレベーター詳細図(2)	S=1/20(A1) S=1/40(A3)	A−088 KA−25



2FL昇降路平面図S＝1：20

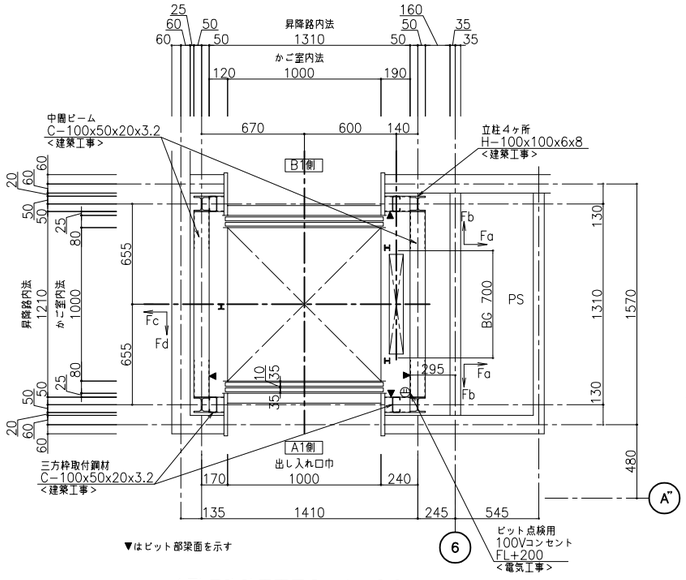


2FL+2100 機械室平面図S＝1：20



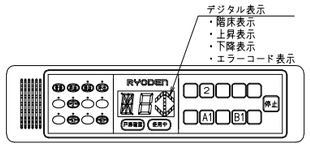
ピット衝突荷重	
FA(かご側)	FB(おもり側)
34.7kN	24.4kN

昇降路縦断面図S＝1：30

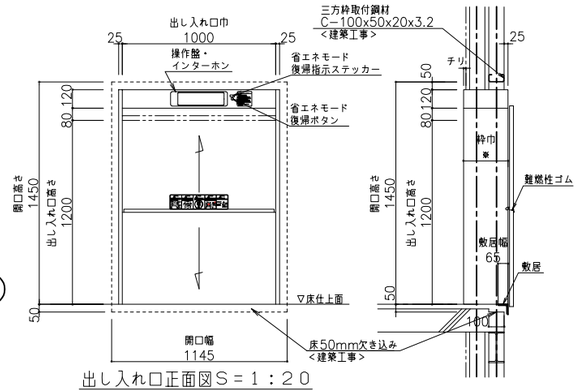


▼はピット部架面を示す

1FL昇降路平面図S＝1：20



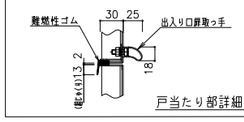
各階操作盤詳細図



出し入れ口正面図S＝1：20

戸当たり部詳細図

※小荷物専用昇降機出し入れ口扉は、JEAS−207A（極改10−02）に定める構造として0．8mm以上の鋼板製とし、戸当たり部分を難燃性ゴムを用いて相じゃくりとすれば、すき間のない構造として平12建告第1360号による遮炎・遮煙性能を有する防火設備、および1．5mm以上の鋼板で同様の構造とすれば、同告示第1369号による特定防火設備とみなされる。



戸当たり部詳細図

小荷物専用昇降機仕様要項

機種	RL−200D−45G4
制御方式	インバータ速度制御方式
積載質量	200kg
速度	45m／min
電源	3相 200V
モートル	1．5kW 4P
停止個所	A1・B1・2FL計2個所（3出し入れ口）
巻上機	RMG−350
ツナ車	直径320mm
ソラセ車	直径230mm
ワイヤーロープ	8mmx2本 1：1ローピング
レール	π型成形レール：3．0kg／m
かご内法	W1000xD1000xH1200
おもり	40% BALANCE
出し入れ口戸閉方式	二枚戸上下開き式（手動式）
かご戸閉方式	二枚戸上下開き式（電動式）
操作方式	相互階制御方式

※自動省エネモード
※出し入れ口扉・かご扉の同時開閉付
※到着予告アナウンス（到着チャイム）
※積み過ぎ警報装置付（オートアナウンス付）
※ハンズフリーインターホン
※デジタル表示（階床・上昇・下降・エラーコード）
※ドアホールド装置

付加仕様

※機械室落下防止柵

小荷物専用昇降機意匠仕様

三方枠	ステンレスヘアライン仕上（SUS304）
出し入れ口扉	ステンレスヘアライン仕上（SUS304）
敷居	L形鋼65x65x6にステンレス巻き
かご室扉	ステンレスヘアライン仕上（SUS304）
かご室壁	ステンレスヘアライン仕上（SUS304）
かご室天井	ステンレスヘアライン仕上（SUS304）
かご室床	ステンレスヘアライン仕上（SUS304）
操作盤	プラスチックプレート インターホン一体式 デジタル表示
インターホン	プラスチックプレート 操作盤一体式 ハンズフリー通話方式

安全装置

強制開離機構付ドアスイッチ（出し入れ口の戸）	ロック装置（出し入れ口の戸）
ゲートスイッチ（かごの戸）	電磁ブレーキ（巻上機）
操作盤非常停止ボタン	終端スイッチ（かご行過ぎ制限スイッチ）
戸開放防止警報装置（オートアナウンス付）	インバータ異常検知
かご昇降時間管制（AST）	インバータ緊急出力遮断
衝突受（かご・おもり）	巻上機ロープ外れ止め
積載注意名板	

電源設備

電源トランス容量 KVA	電源側 NFB 定格A	動力電源線サイズ別最大引込長（m） 2．0mm²	3．5mm²	5．5mm²	8．0mm²	接地線最小サイズ（mm²）	機械室発熱量 kJ／h
3．0	20	29	51	80	116	2．0	1762

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE ****.**.**	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
構造設計一級建築士登録 No.****** 号 ○○○○○			JOB	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	小荷物専用昇降機詳細図	S=1/20(A1) S=1/40(A3)	A− 089 KA− 26
設備設計一級建築士登録 No.****** 号 ○○○○○							

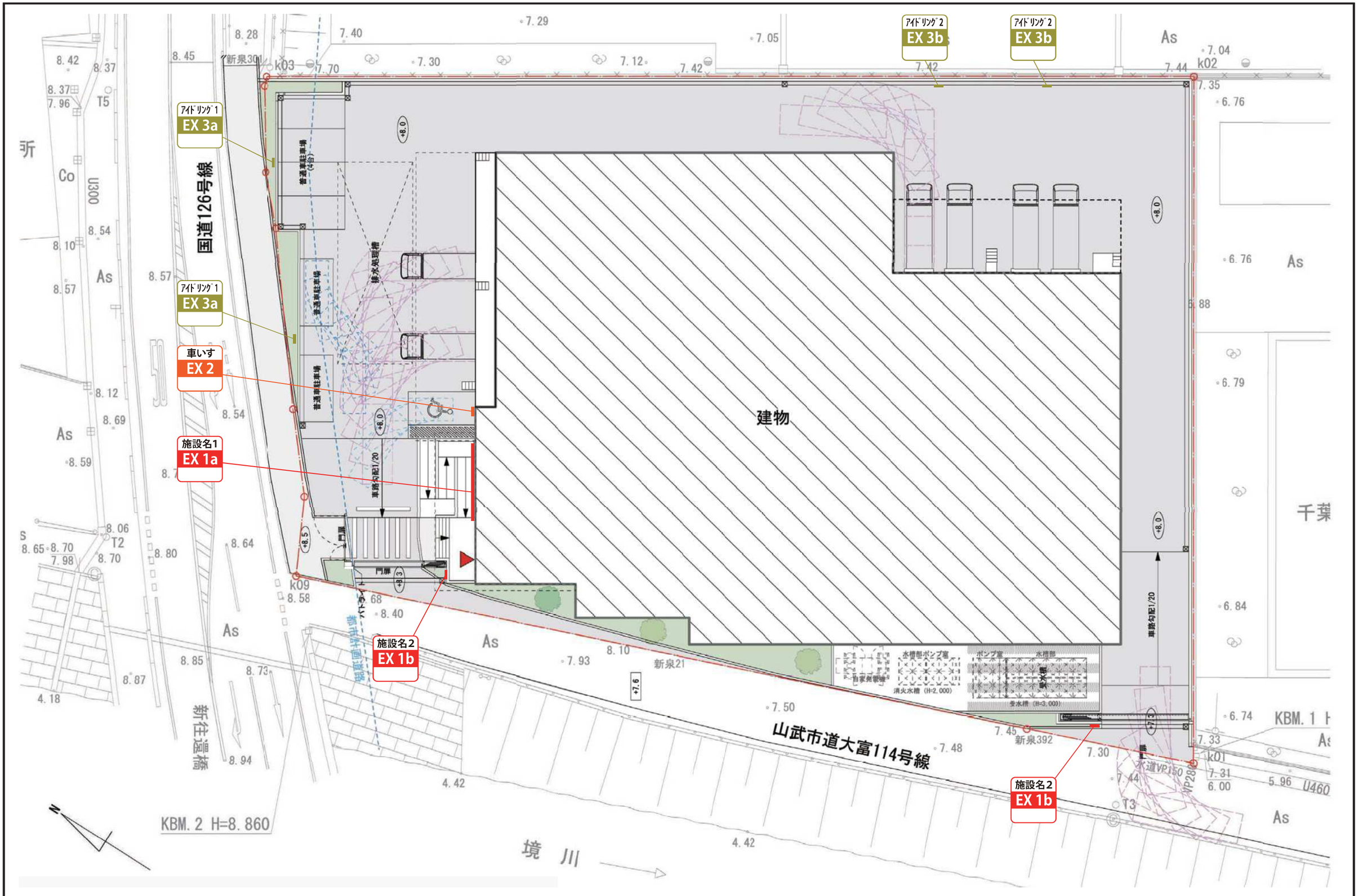
◆ 外 部サインリスト ◆

記 号	ＮＯ	名　　称	取付	備　考	外構	外壁	合計
EX 1a	EX1a	施設名サイン１（外壁）	LED内照式			1	1
EX 1b	EX1b	施設名サイン２（門扉）	平付			2	2
EX 1C	EX1c	施設名サイン３（施設入口）	平付			1	1
EX 2	EX2	車いす駐車場サイン	平付			1	1
EX 3a	EX3a	アイドリングストップ１	自立	※ 基礎建築工事	2		2
EX 3b	EX3b	アイドリングストップ２	平付			2	2
EX 4	EX4	バースナンバー	平付			4	4
EX 5	EX5	室名サイン	平付			7	7

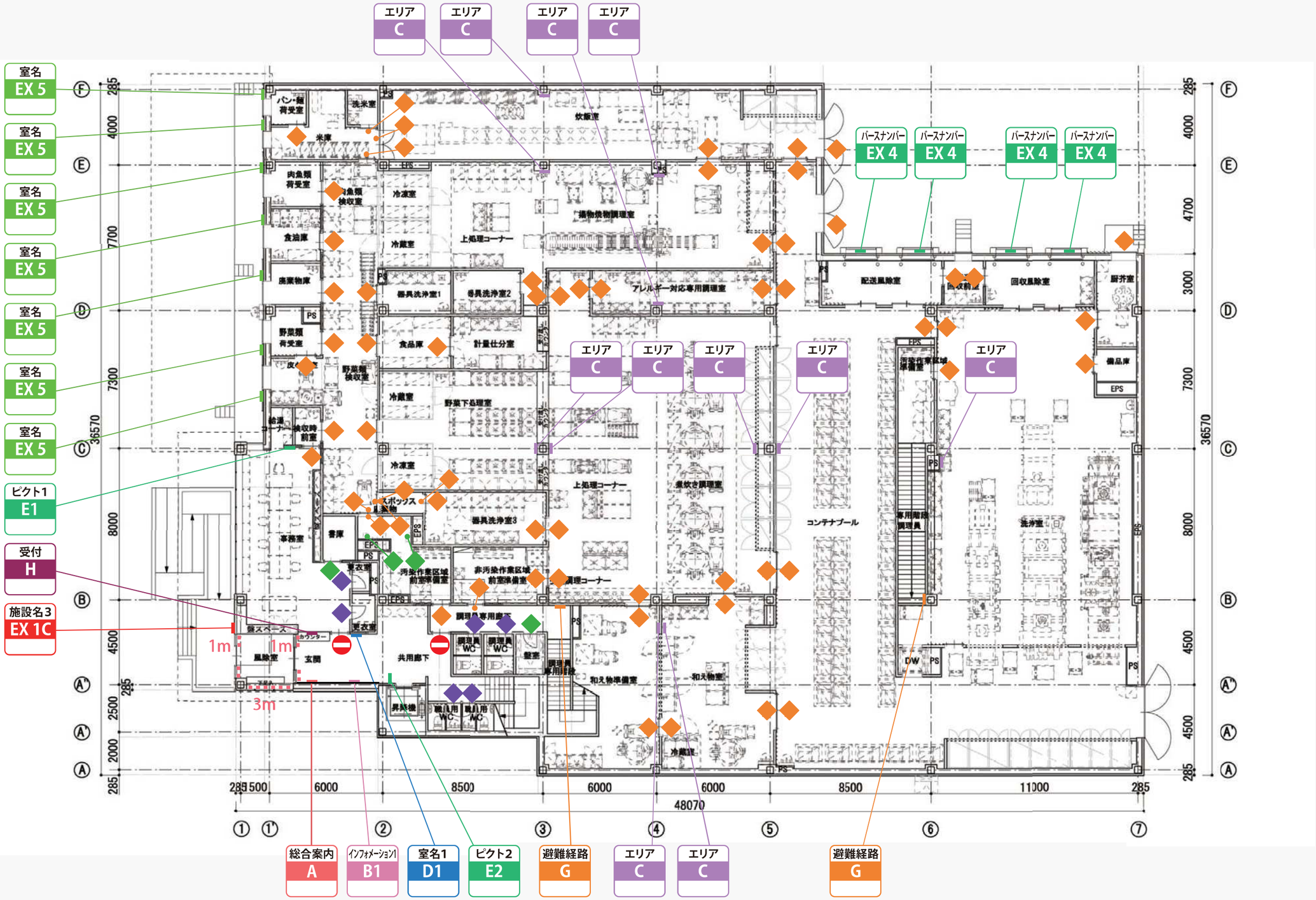
◇ 内 部サインリスト ◇

記 号	ＮＯ	名　　称	取付	備　考	1F	2F	合計
A	A	総合案内サイン	平付		1		1
B1	B1	インフォメーション１	壁面直張		1		1
B2	B2	インフォメーション２	壁面直張			2	2
C	C	エリアサイン	平付		11		11
D1	D1	室名１（主要室）	平付		1	3	4
◆	D2	室名２（H35）	建具直張	塩ビシート	60		60
◆	D3	室名３（H25）	建具直張	塩ビシート	4	21	25
E1	E1	ピクトサイン１	平付		1	3	4
E2	E2	ピクトサイン２	平付		1	1	2
◆	E3	ピクトサイン３	建具直張	塩ビシート	6	4	10
⊖	F	STAFF ONLY	建具直張	塩ビシート	2	1	3
G	G	避難経路図	平付		2	2	4
H	H	受付サイン	平付		1		1
▮▮▮▮▮	I	衝突防止サイン【M】	建具直張	塩ビシート	5		5
J	J	掲示板	平付			2	

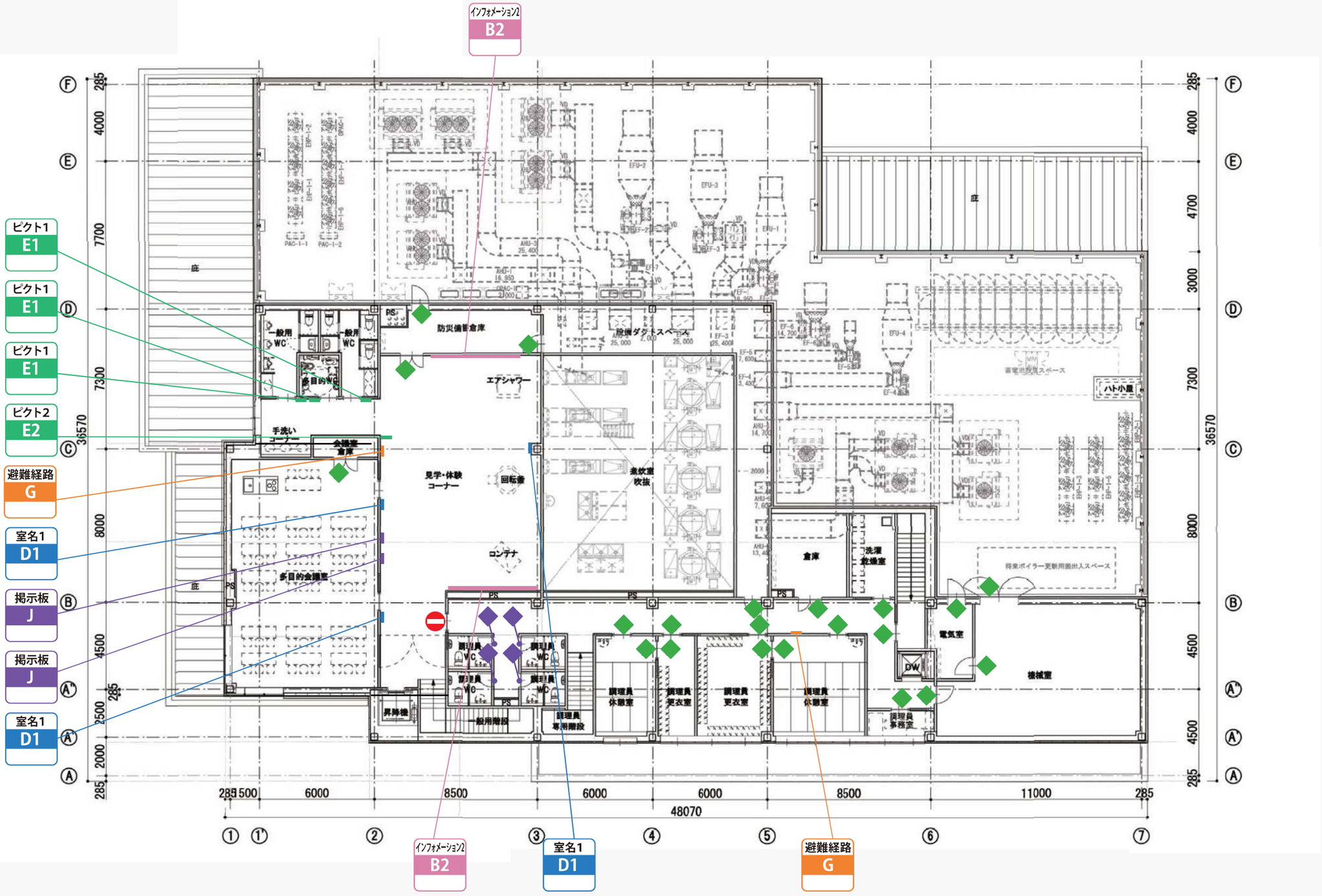
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	サイン項目表	S=1/125(A1) S=1/250(A3)	A-090



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	サインキープラン　外構	S=1/125(A1) S=1/250(A3)	A-091



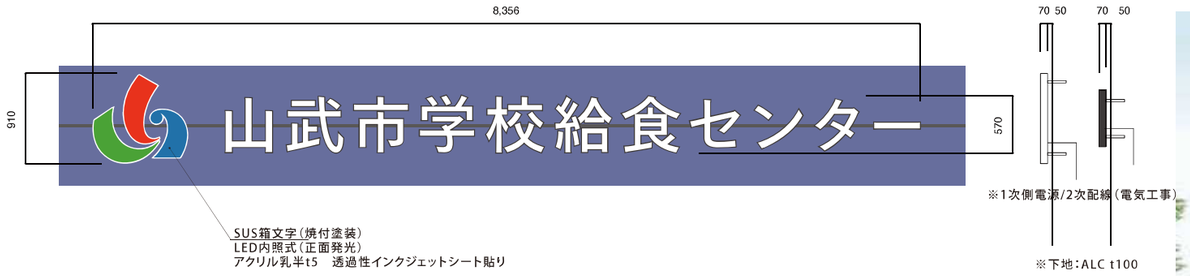
NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	サインキープラン　１階	S=1/125(A1) S=1/250(A3)	A-092



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	サインキープラン　２階	S=1/125 (A1) S=1/250 (A3)	A-093

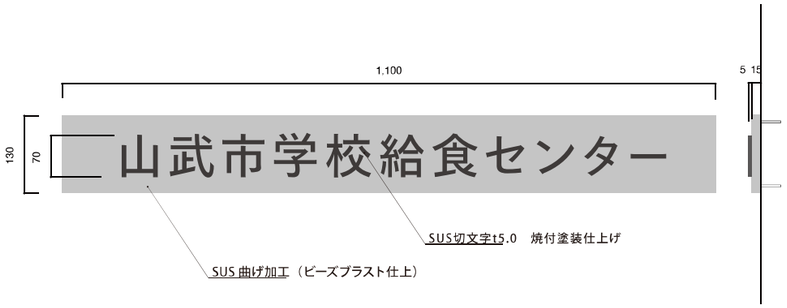
表示名称	合計数量	縮尺
EX1a　施設名サイン１（外壁）　LED 内照式（正面発光型）	1	A1：1/30 A1：1/100 A3：1/60 A3：1/200

○本　体：SUS 箱文字（焼付塗装）＋　乳半アクリル t5.0
　　LED 内照式 (正面発光)
　　ロゴ・施設名 / 電飾シート貼り（指定色）
○一次側電源・2 次配線 (電気工事)



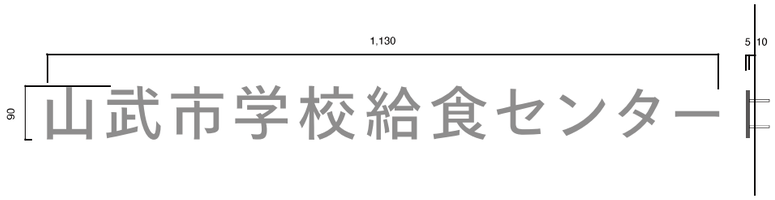
表示名称	合計数量	縮尺
EX1b　施設名サイン２（門扉）	2	A1：1/5 A3：1/10

○本　体：SUS 曲げ加工（ビーズブラスト仕上）
○文　字：SUS 切文字（焼付塗装）



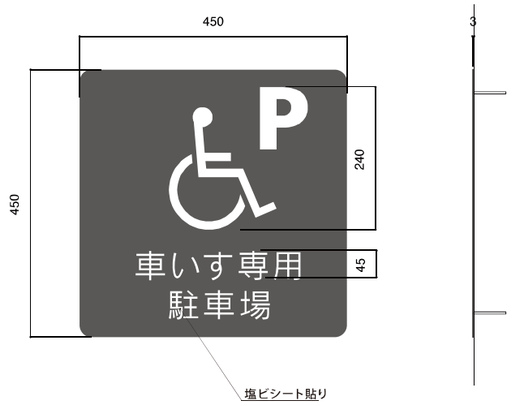
表示名称	合計数量	縮尺
EX1c　施設名サイン３（施設入口）	1	A1：1/5 A3：1/10

○文　字：SUS 切文字（ビーズブラスト仕上）



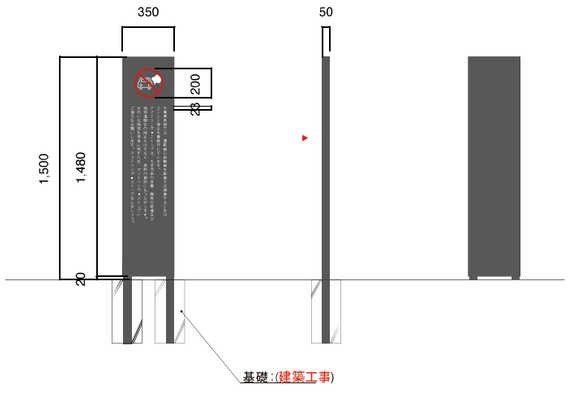
表示名称	合計数量	縮尺
EX2　車椅子駐車場サイン	1	A1：1/5 A3：1/10

○本　体：SUS プレート（焼付塗装）
○表　示：塩ビシート切文字貼り



表示名称	合計数量	縮尺
EX3a　アイドリングストップ１	2	A1：1/20 A3：1/40

○本　体：SUS 曲加工（焼付塗装）
○表　示：塩ビシート切文字貼り
○基礎工事 (建築工事)

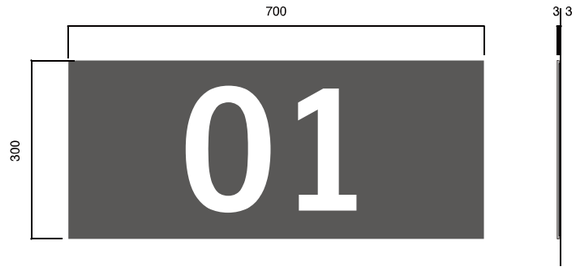


表示名称	合計数量	縮尺
EX3b　アイドリングストップ２	2	A1：1/5 A3：1/10

○本　体：アルミ複合板（インクジェット巻込み貼り）

表示名称	合計数量	縮尺
EX4　バースナンバー	4	A1：1/5 A3：1/10

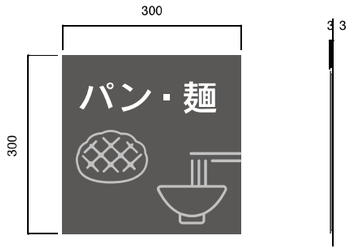
○本　体：アルミ複合板（インクジェット巻込み貼り）



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	サイン詳細図(1)	図示	A-094

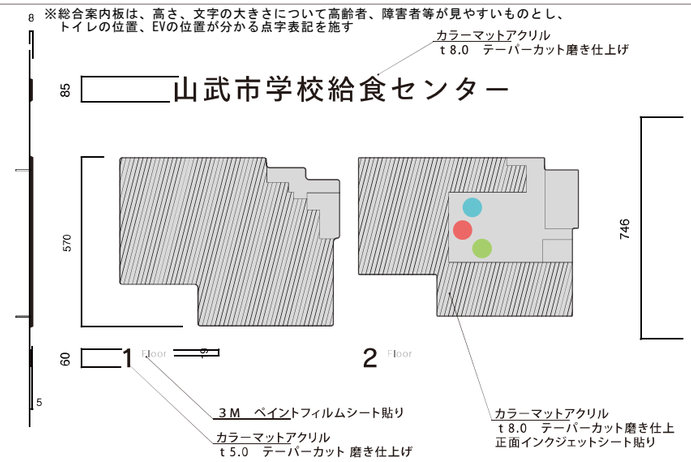
表示名称	合計数量	縮尺
EX5　室名サイン	7	A1：1/20 A3：1/40

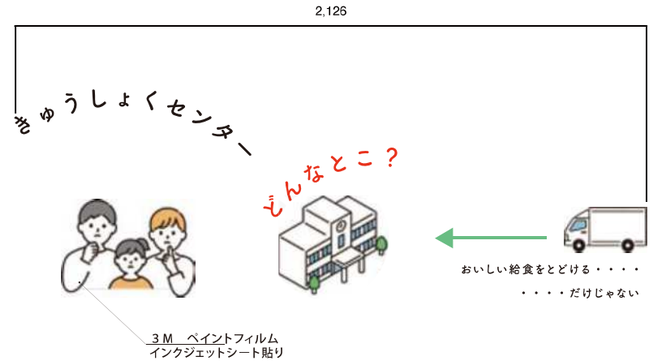
○本　　体：SUS プレート（焼付塗装）
○表示方法：シート切文字貼り



表示名称	合計数量	縮尺
A　総合案内サイン	1	A1：1/10 A3：1/20
B1　インフォメーション１	1	A1：110 A3：1/20

※総合案内板は、高さ、文字の大きさについて高齢者、障害者等が見やすいものとし、
トイレの位置、EVの位置が分かる点字表記を施す

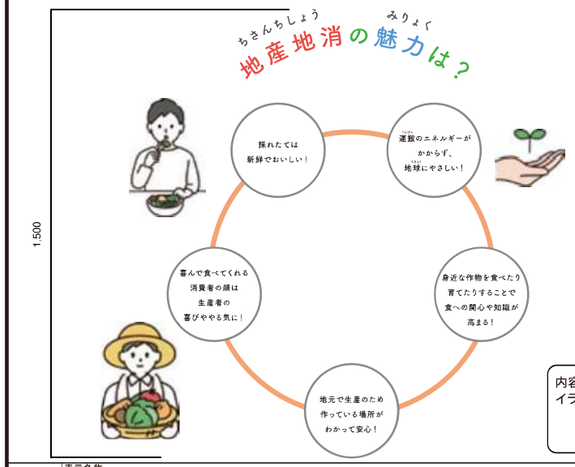




※イラストと表示内容は仮となります。
内容については、監督員と協議の上決定とする

表示名称	合計数量	縮尺
B2　インフォメーション２	2	A1：1/10 A3：1/20

○表示方法：3M ペイントフィルムインクジェットシート貼り

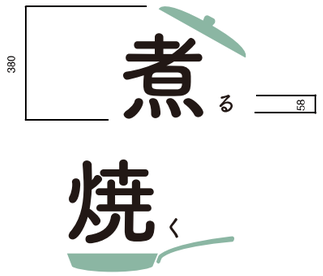


※イラストと表示内容は仮となります。

内容については、監督員と協議の上決定。
イラスト範囲は以下を想定すること。
2F　W7500×H1500 (1 ヶ所)
W6000×H1500(1 ヶ所)

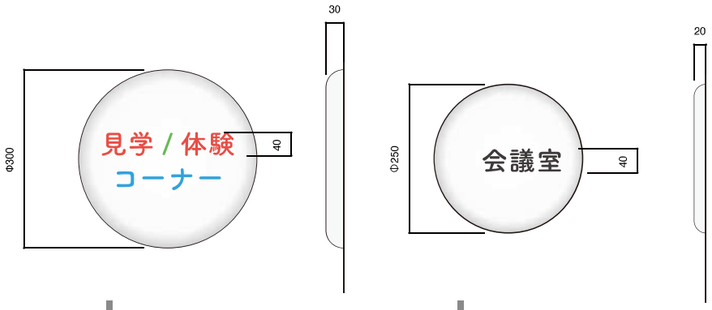
表示名称	合計数量	縮尺
C　エリアサイン	11	A1：1/10 A3：1/20

○表示方法：3M ペイントフィルム



表示名称	合計数量	縮尺
D1　室名１（主要室）	4	A1：1/5 A3：1/10

○本　　体：ABS 樹脂　R 面取り加工　塗装仕上げ
○表示方法：塩ビシート切文字貼り



サイズ大 (×1)　　サイズ小 (×3)

表示名称	合計数量	縮尺
D2　室名２（H35）	60	A1：1/2 A3：1/4

○表示方法：塩ビシート切文字貼り

アレルギー対応
調理室　35

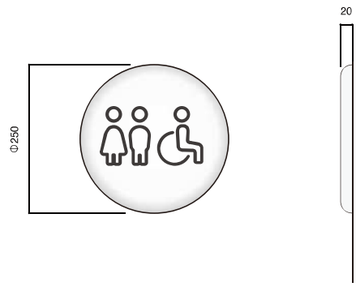
表示名称	合計数量	縮尺
D3　室名３（H25）	25	A1：1/2 A3：1/4

○表示方法：塩ビシート切文字貼り

防災備蓄倉庫　23

表示名称	合計数量	縮尺
E1　ピクトサイン１	4	A1：1/5 A3：1/10

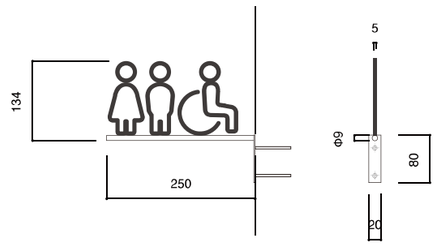
○本　　体：ABS 樹脂　R 面取り加工　塗装仕上げ
○表示方法：塩ビシート切文字貼り



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	サイン詳細図 (2)	図示	A-095

表示名称	合計数量	縮尺
E2　ピクトサイン２	2	A1：1/10　A3：1/20

○本　体：SUS 加工　焼付塗装仕上げ (2 色塗分け)



表示名称	合計数量	縮尺
E3　ピクトサイン３	10	A1：1/2　A3：1/4

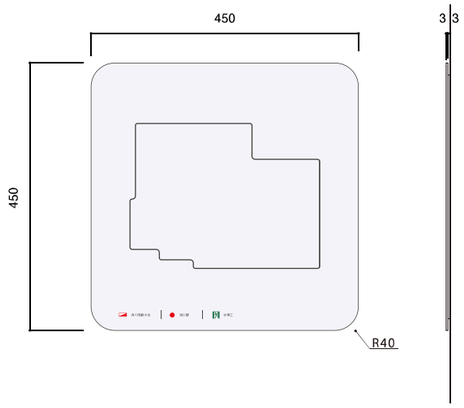
○表示方法：塩ビシート切文字貼り

表示名称	合計数量	縮尺
F　STAFF ONLY	3	A1：1/2　A3：1/4

○表示方法：塩ビシート切文字貼り

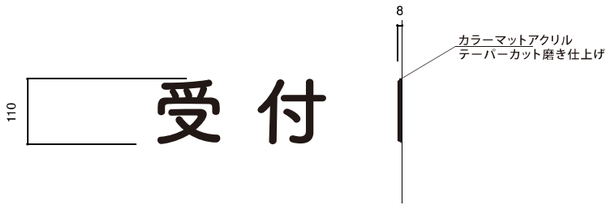
表示名称	合計数量	縮尺
G　避難経路図	4	A1：1/20　A3：1/40

○本　体：アルミ複合板　インクジェット巻き込み　＋　捨板



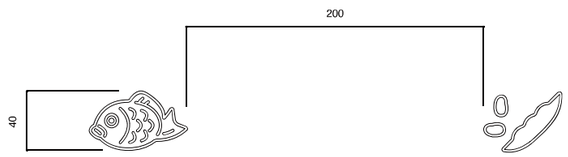
表示名称	合計数量	縮尺
H　受付サイン	1	A1：1/10

○表示方法：塩ビシート切文字貼り



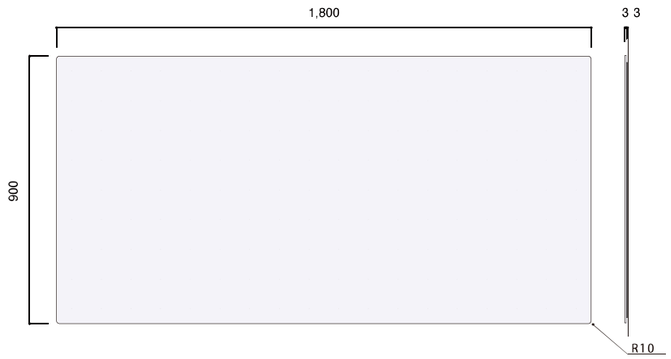
表示名称	合計数量	縮尺
I　衝突防止サイン【M】	5m	A1：1/2　A3：1/4

○表示方法：塩ビシート切文字貼り



表示名称	合計数量	縮尺
J　掲示板	2	A1：1/10　A3：1/20

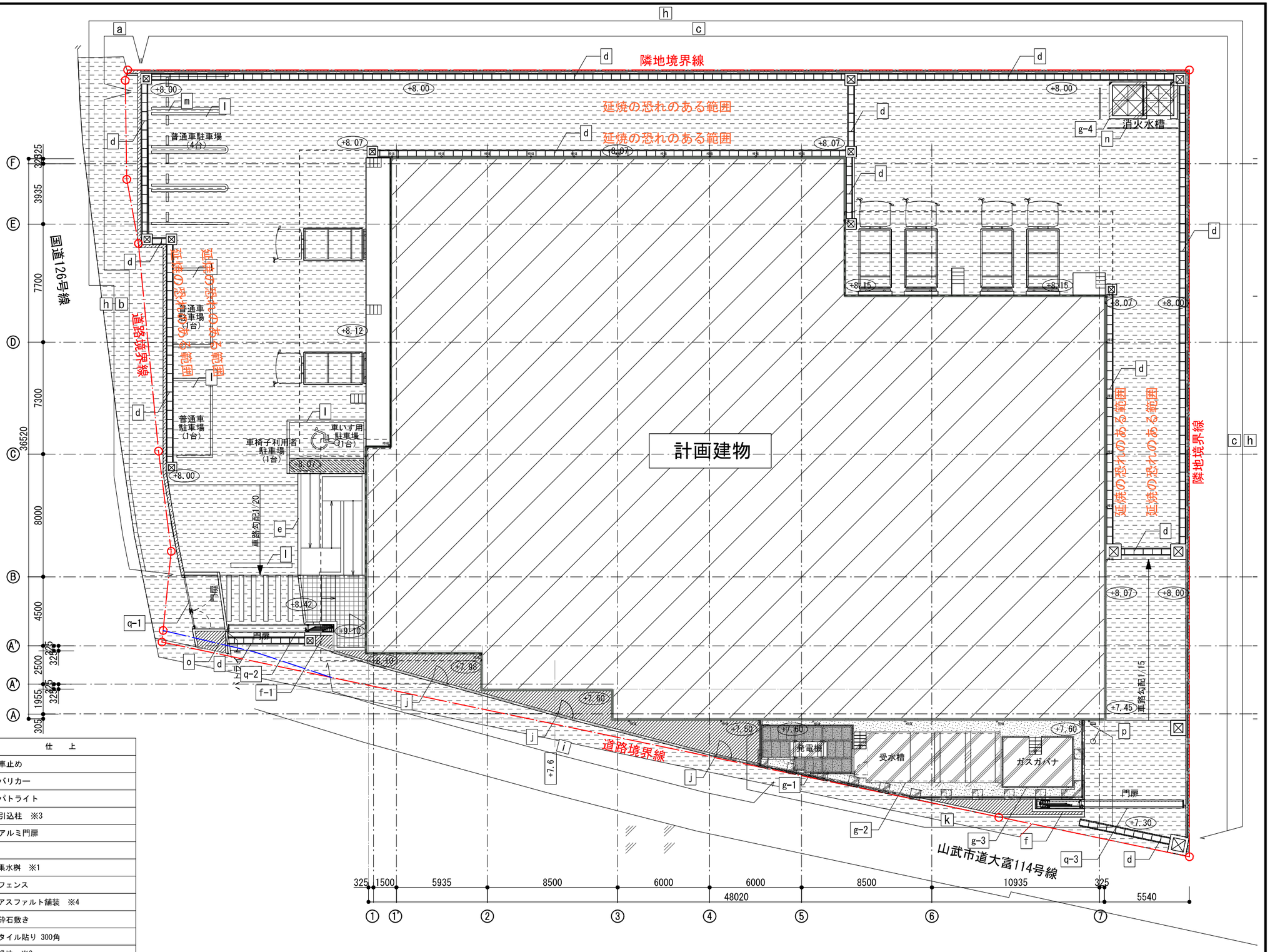
○本　体：スチール複合板加工
○表示方法：インクジェットシート正面貼り＋透明ホワイトボードフィルム貼り
（マグネット＋ホワイトボード対応用）



表示名称	合計数量	縮尺
		A1： A3：

表示名称	合計数量	縮尺
		A1： A3：

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS サイン詳細図(3)	SCALE 図示	NO. A-096



凡例

(※※)：計画地盤高さ

地盤レベル

KBM=7.332
設計GL=8.00
1FL=9.10

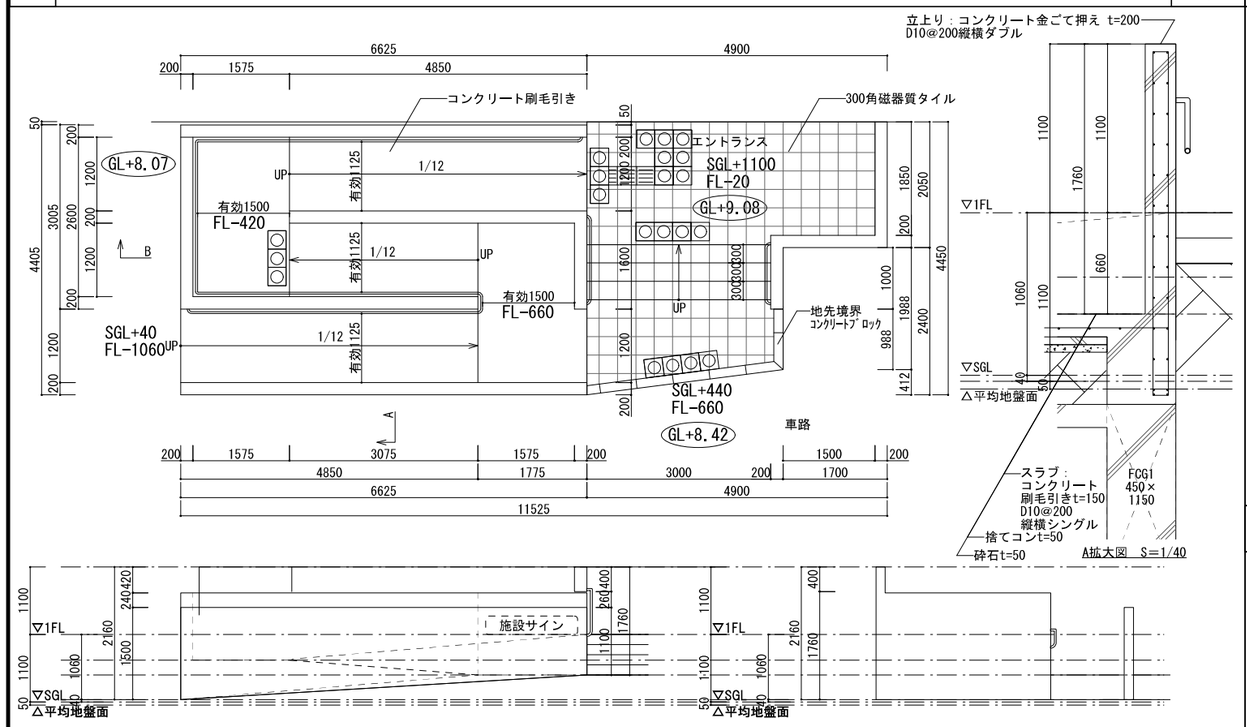
凡例

記号	仕　上	記号	仕　上
a	現場打擁壁　※1	m	車止め
b	逆L型現場打擁壁　※1	n	バリカー
c	L型擁壁　※1	o	パトライト
d	道路用側溝　※1	p	引込柱　※3
e	スロープ	q -1,2,3	アルミ門扉
f -1,2	門塀		
g -1,2,3,4	設備基礎	⊠	集水桝　※1
h	メッシュフェンス ※1	——···	フェンス
i	メッシュフェンス		アスファルト舗装　※4
j	メッシュフェンス門扉		砕石敷き
k	目隠しフェンス		タイル貼り 300角
l	白線引き（トラフィックペイント）		緑地　※2
			植栽　※2

※1 開発に伴う工事は開発図による
※2 植栽は植栽図参照
※3 電気工事
※4 アスファルト舗装下部は地盤改良（設計基準強度FC=150.00(kN/㎡)深さ3.5m)を行なうこと。

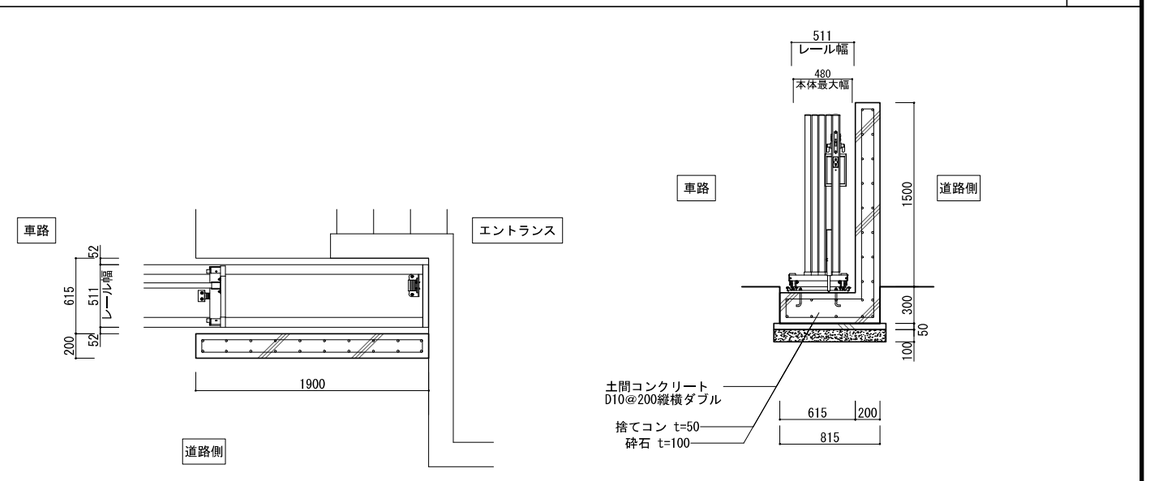
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	外構図	S=1/125(A1) S=1/250(A3)	A-097

e　スロープ　A1:1/50 A3:1/100



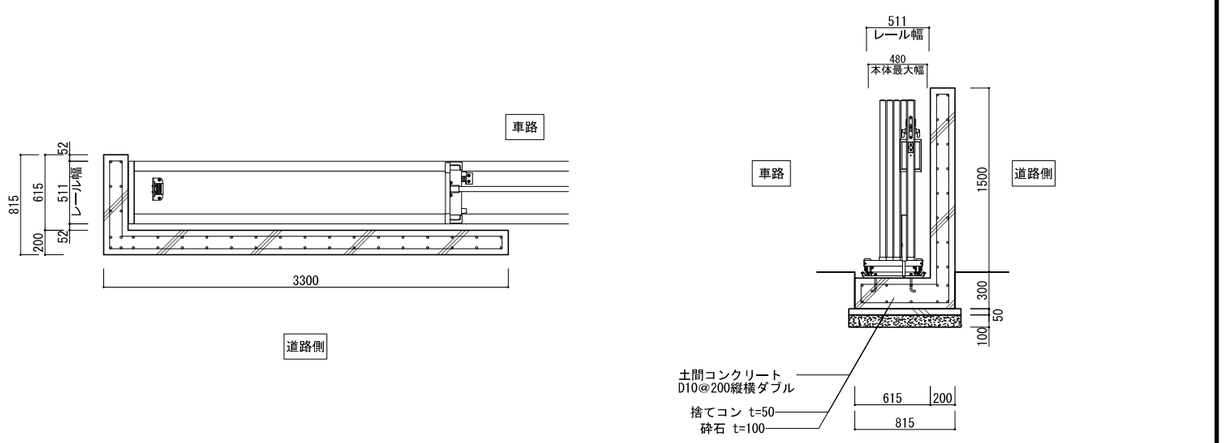
注）基礎サイズ・配筋等構造図参照

f-1　門塀　A1:1/20 A3:1/40



注）基礎サイズ・配筋等構造図参照

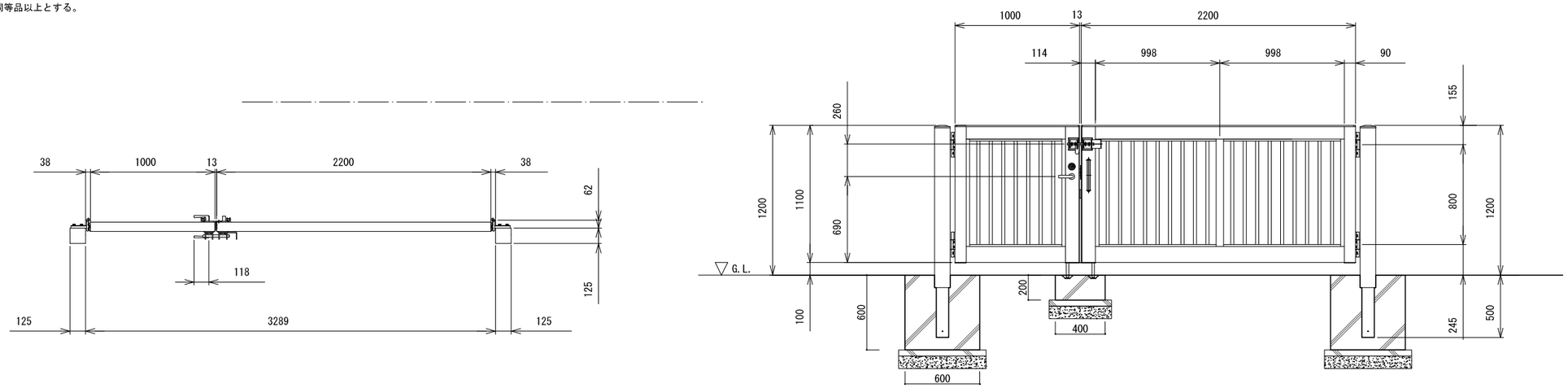
f-2　門塀　A1:1/20 A3:1/40



注）基礎サイズ・配筋等構造図参照

q-1　大型親子開き門扉　A1:1/20 A3:1/40

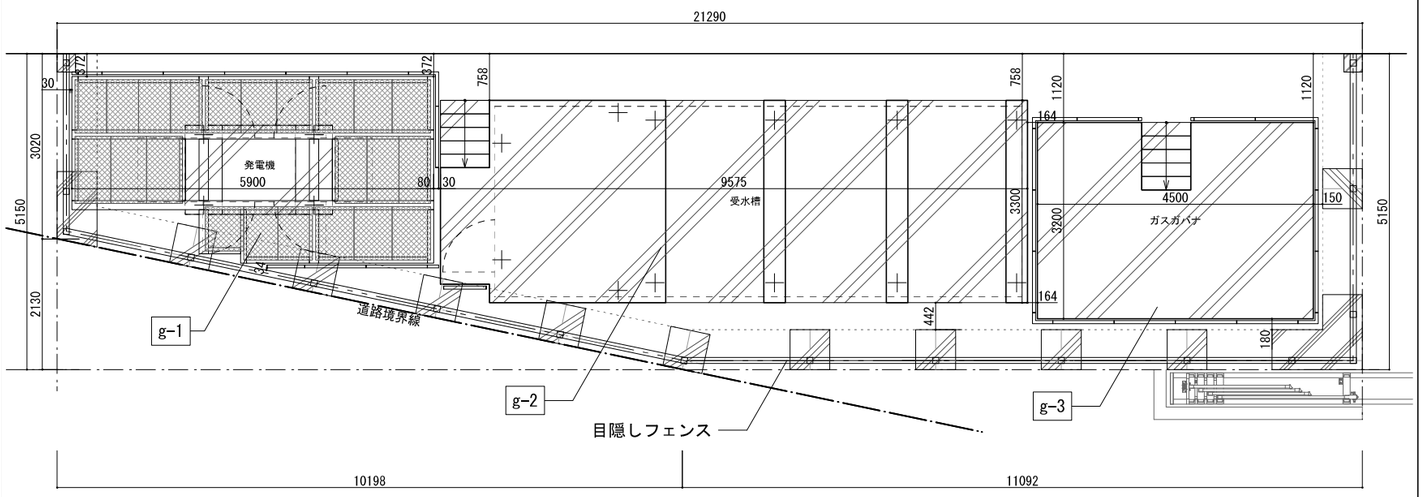
□特記事項
・※大型引戸門扉 BGAN1N-12-3F 同等 、又は同等品以上とする。



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	外構詳細図(1)	図示	A-098

設備基礎配置図

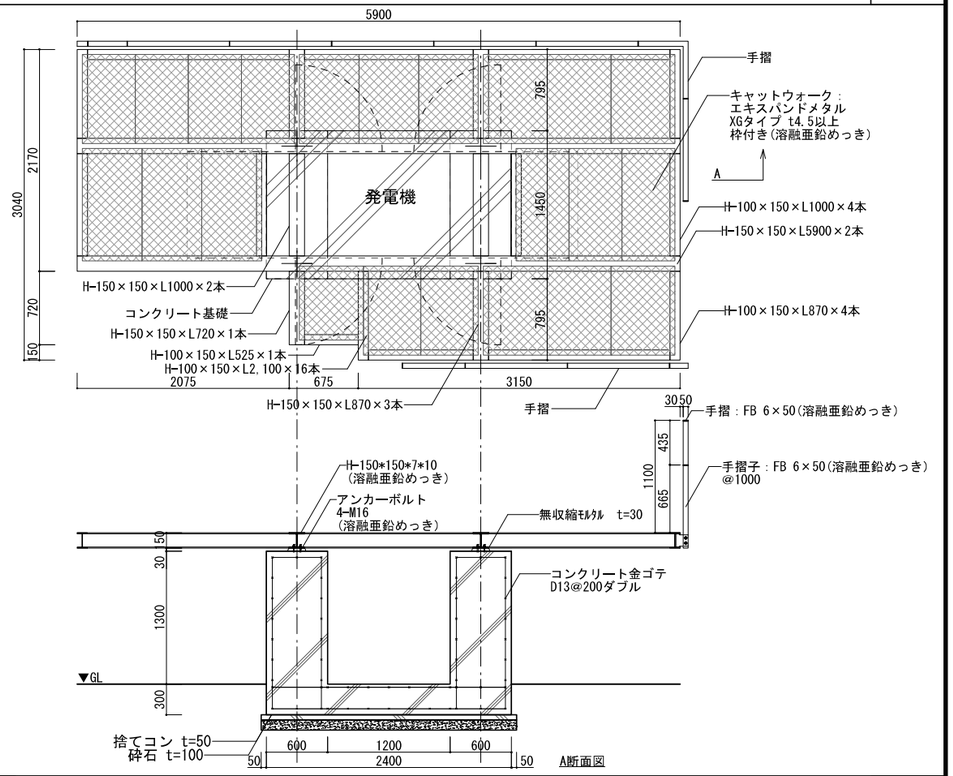
A1:1/50
A3:1/100



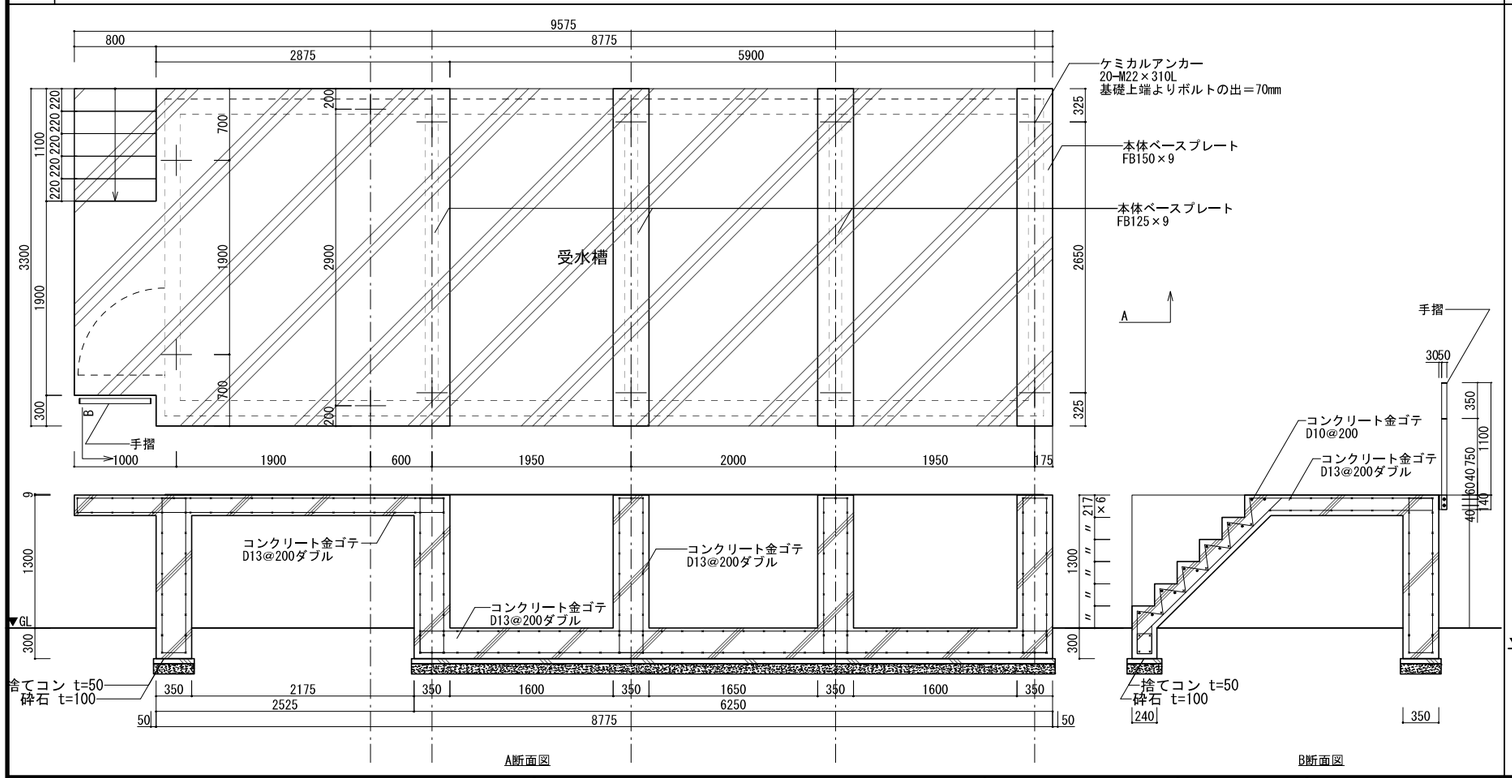
※目隠しフェンス基礎は詳細参照

g-1 設備基礎-発電機

A1:1/30
A3:1/60

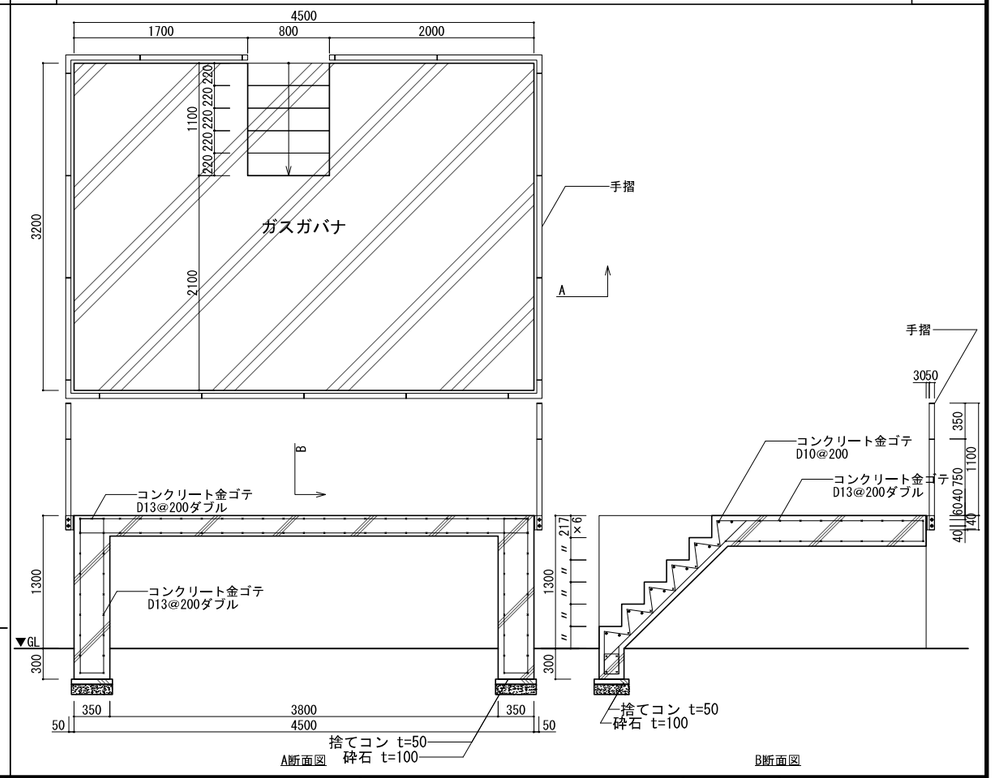


g-2 設備基礎-受水槽



g-3 設備基礎-ガスガバナ

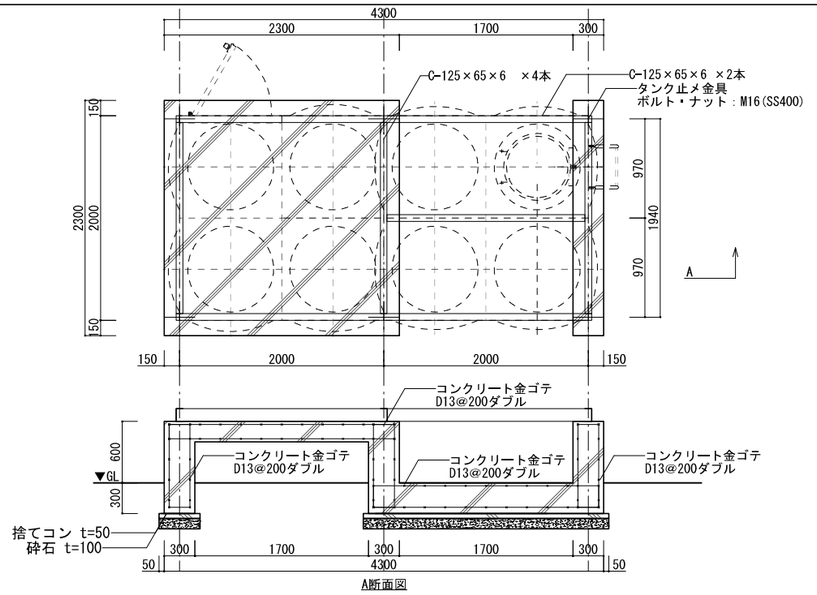
A1:1/50
A3:1/100



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	外構詳細図(2)	図示	A-099

g-4 設備基礎-消火水槽

A1:1/30
A3:1/60

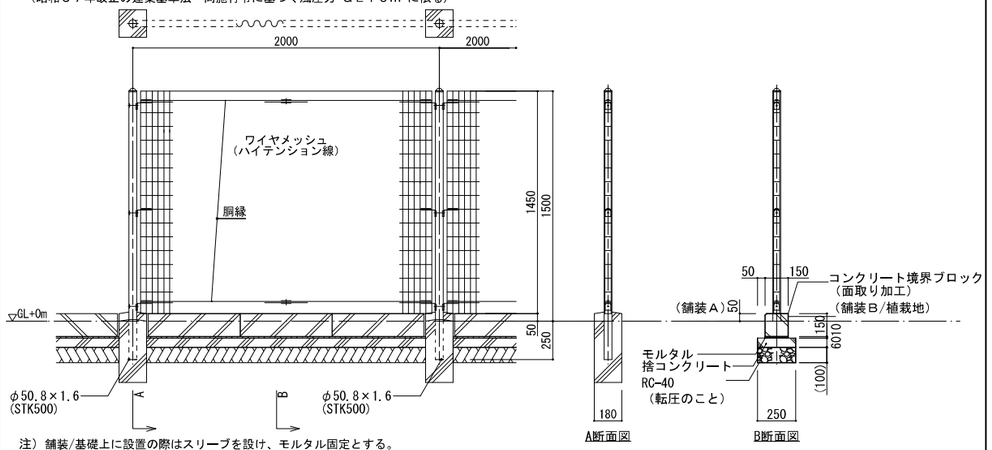


A断面図

i メッシュフェンスH1500＋地先境界ブロック

A1:1/20
A3:1/40

□特記事項
・メッシュフェンス（ＡＲ－Ａ１５００－ＭＳ）、又は同等品以上とする。
・（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）

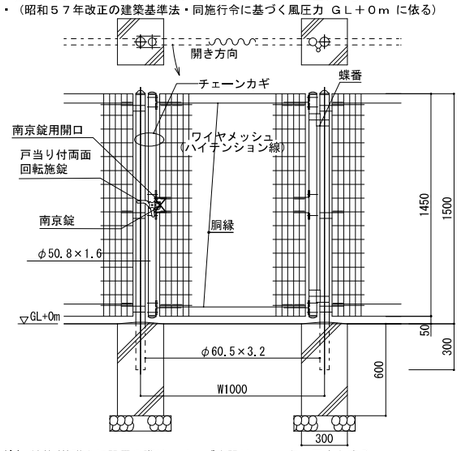


注）舗装/基礎上に設置の際はスリーブを設け、モルタル固定とする。

j メッシュフェンス門扉

A1:1/20
A3:1/40

□特記事項
・目かくしフェンス AR-A H1500×W1000、又は同等品以上とする。
・（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）



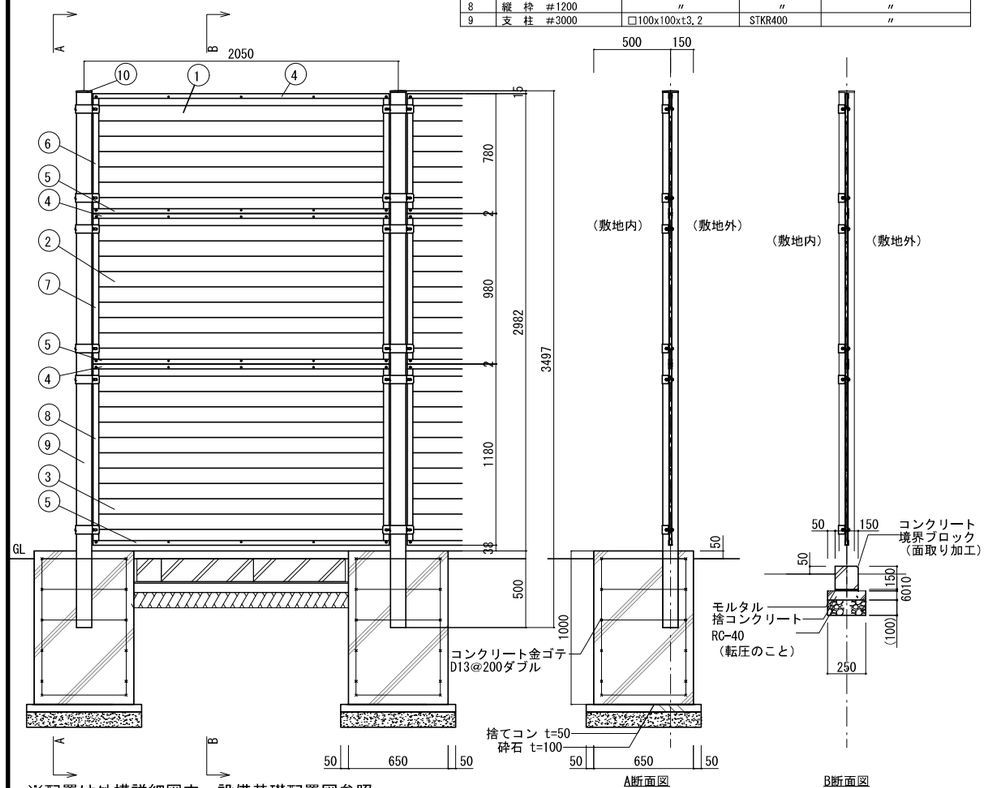
注）舗装/基礎上に設置の際はスリーブを設け、モルタル固定とする。

k 目隠しフェンス

A1:1/20
A3:1/40

□特記事項
・めかくし塀Ｖ型マットグレイ、又は同等品以上とする。

部番	部 材 名	形格（mm）	材 質	摘 要
1	めかくしパネルＮ#800	t 0.5	SGC-Z27	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
2	めかくしパネルＮ#1000	〃	〃	〃
3	めかくしパネルＮ#1200	〃	〃	〃
4	上 胴 縁	t 1.6	SGH-Z27	〃
5	下胴縁（水抜き穴付）	〃	〃	〃
6	縦 枠 #800	〃	〃	〃
7	縦 枠 #1000	〃	〃	〃
8	縦 枠 #1200	〃	〃	〃
9	支 柱 #3000	□100x100xt3.2	STKR400	〃

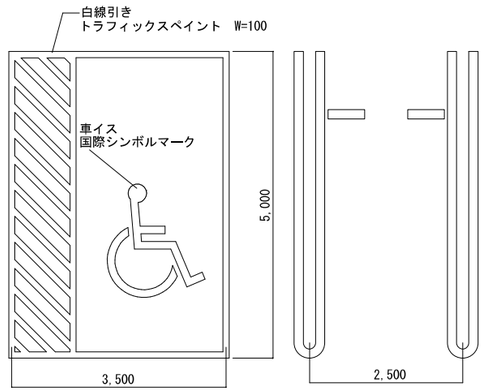


A断面図　B断面図

※配置は外構詳細図内、設備基礎配置図参照

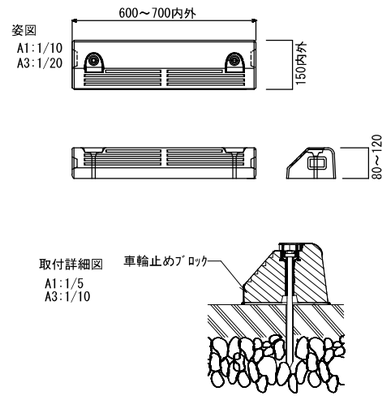
l 白線引き（トラフィックペイント）

A1:1/50
A3:1/100



m 車止め

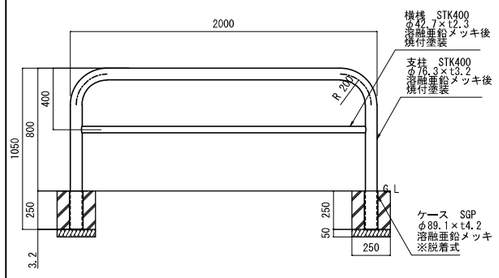
図示



n バリカー

A1:1/20
A3:1/40

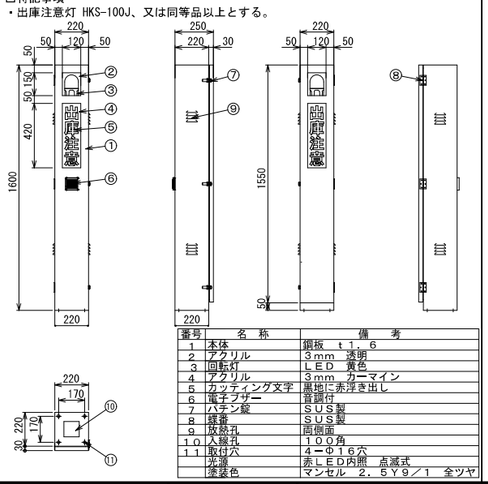
□特記事項
・バリカー横型 Y83C3-20、又は同等品以上とする。



o パトライト

A1:1/20
A3:1/40

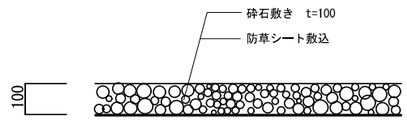
□特記事項
・出庫注意灯 HKS-100J、又は同等品以上とする。



番号	名 称	備 考
1	本体	鋼板 t 1.6
2	アクリル	3mm 透明
3	回転灯	LED 黄色
4	アクリル	3mm カーマイン
5	カッティング文字	黒地に赤浮き出し
6	電子ブザー	音調付
7	バチン錠	SUS製
8	蝶番	SUS製
9	放熱孔	両側面
10	入線孔	100角
11	取付穴	4ーφ16穴
	光源	赤LED内照 点滅式
	塗装色	マンセル 2.5Y9/1 全ツヤ

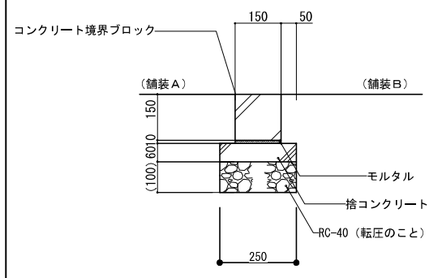
砕石敷き

A1:1/10
A3:1/20



地先境界

A1:1/10
A3:1/20

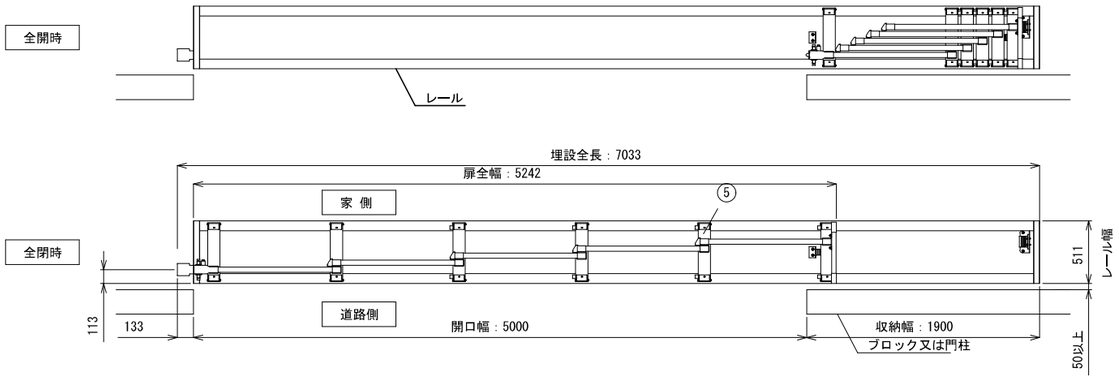


NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
注）基礎の大きさは参考寸法です。				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	外構詳細図(3)	図示	A-100

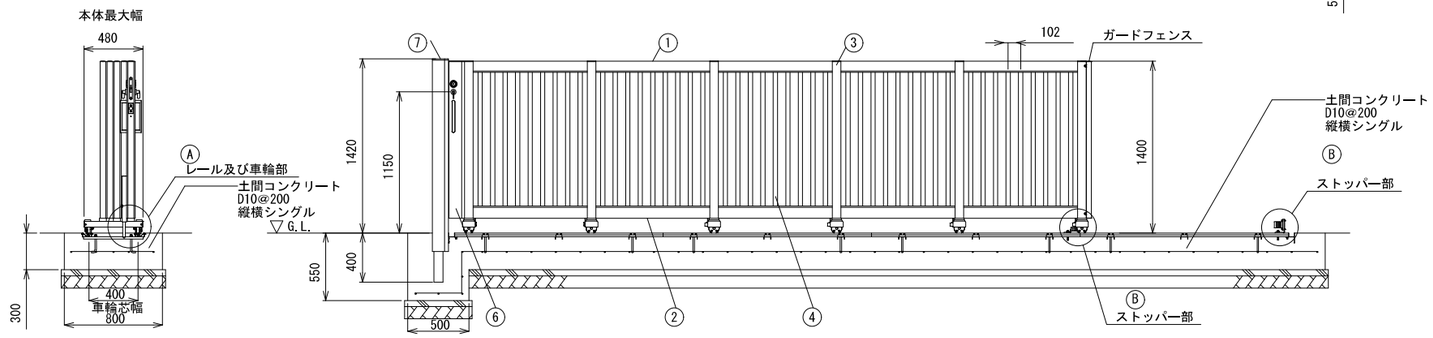
q-2 大型引戸門扉

A1:1/20
A3:1/40

□特記事項
・スタックラインSR1型 コンパクトタイプ、又は同等品以上とする。



ねじ類	ステンレス
レール	ステンレス鋼
⑦ 施錠戸当り柱	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ 施錠框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 台 車	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ 縦格子	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 縦 框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 下横框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 上横框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜

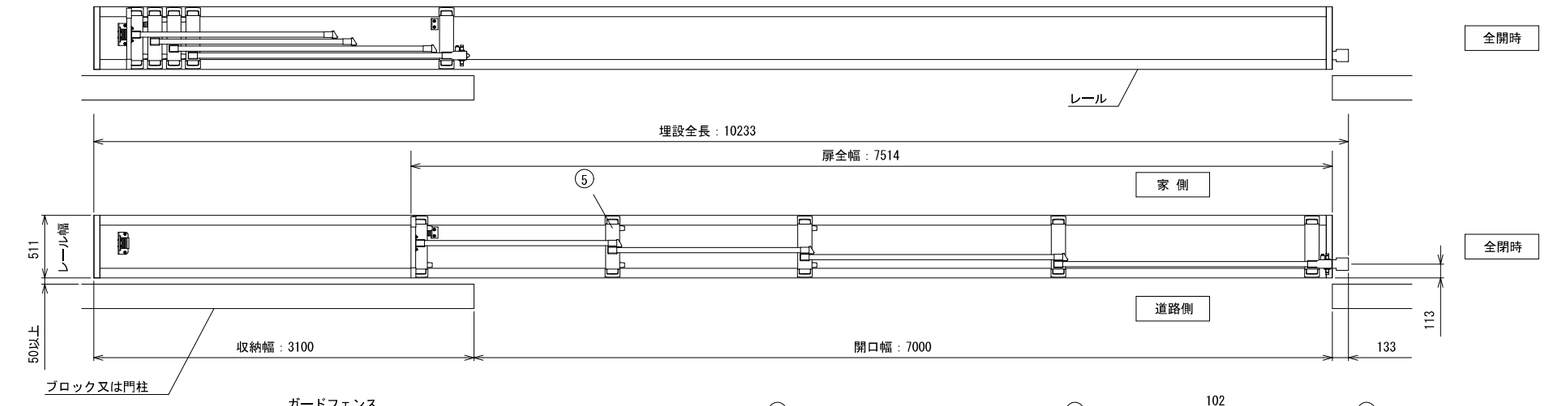


注）基礎サイズは標準仕様を示します。現場の状況に応じて設計してください。

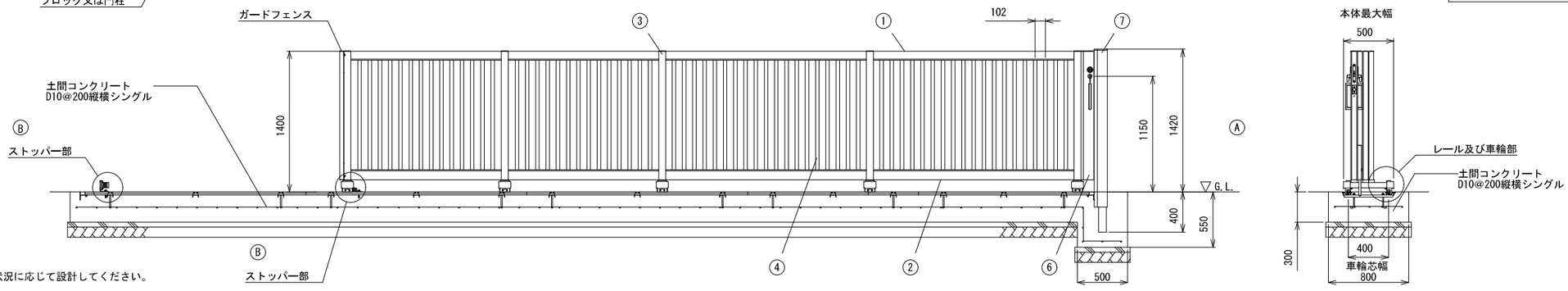
q-3 大型引戸門扉

A1:1/20
A3:1/40

□特記事項
・スタックラインSR1型 、又は同等品以上とする。

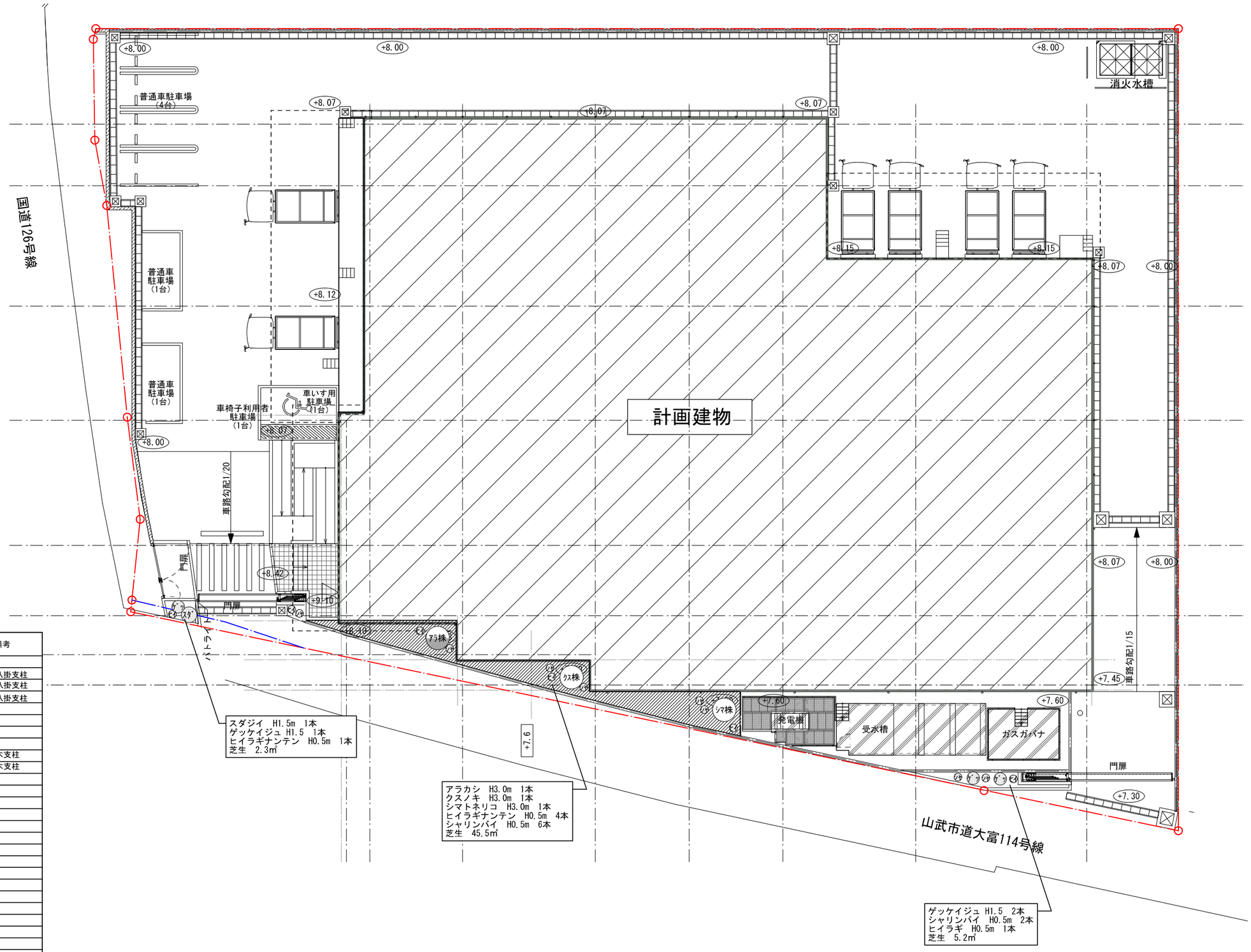


ねじ類	ステンレス
レール	ステンレス鋼
⑦ 施錠戸当り柱	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ 施錠框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 台 車	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ 縦格子	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 縦 框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 下横框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 上横框	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜



注）基礎サイズは標準仕様を示します。現場の状況に応じて設計してください。

NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS 外構詳細図(4)	SCALE 図示	NO. A-101

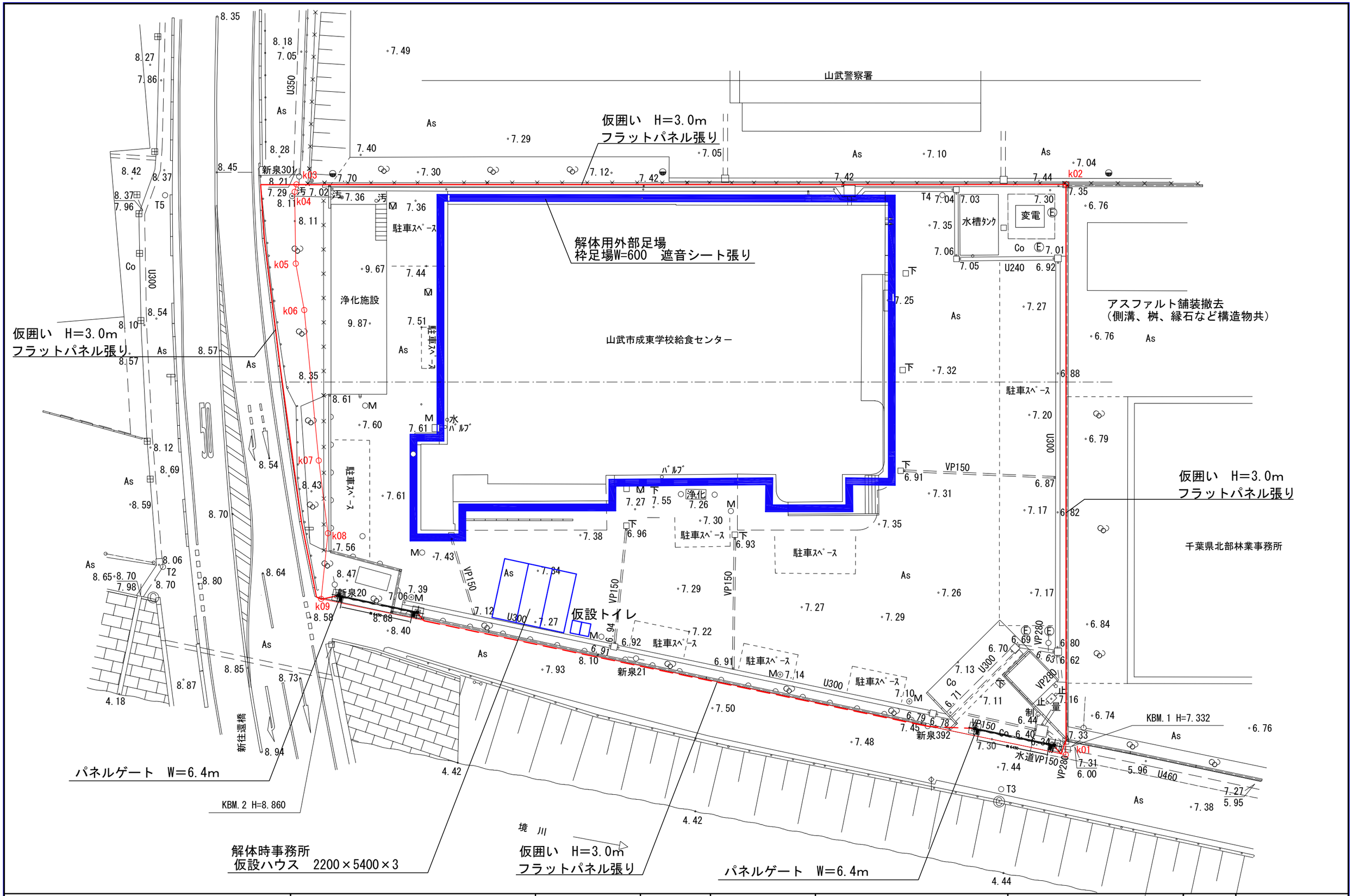


※※ ：計画地盤高さ

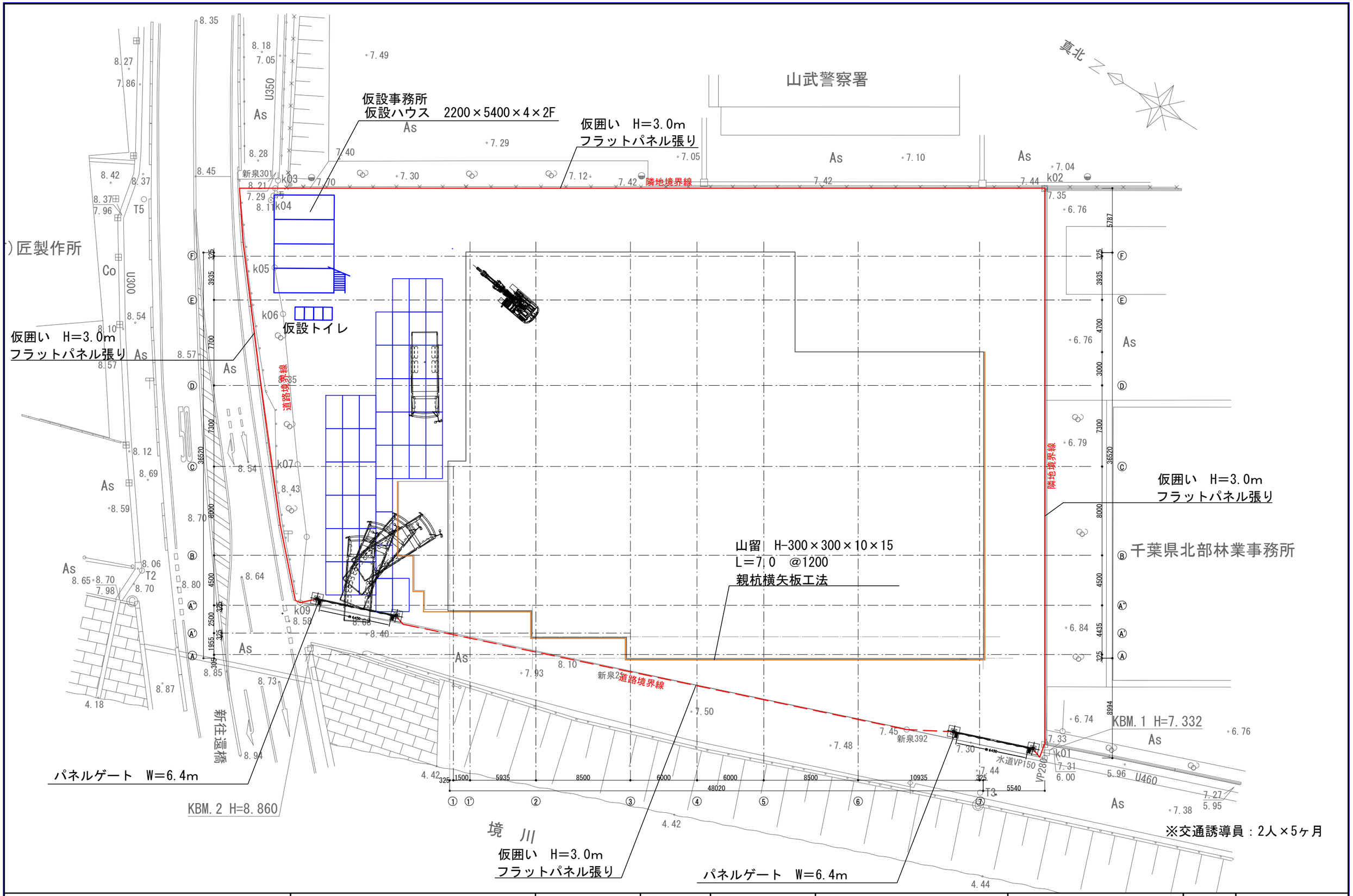
KBM＝7.332
設計GL=8.00
1FL=9.10

記号	樹木名	H	C	W	数量	単位	備考
	高木						
ｱﾗ株	アラカシ株立ち	3.0	0.12	0.8	1.0	本	唐竹八掛支柱
ｸｽ株	クスノキ株立ち	3.0	0.15	0.8	1.0	本	唐竹八掛支柱
ｼﾏ株	シマトネリコ株立ち	3.0	0.15	1.0	1.0	本	唐竹八掛支柱
	高木合計				3.0	本	
	中木						
ｽﾀﾞ	スダジイ	1.5		0.3	1.0	本	添木支柱
ｹﾞｯ	ゲッケイジュ	1.5		0.2	3.0	本	添木支柱
	中木合計				4.0	本	
	低木						
ﾋｲ	ヒイラギナンテン	0.5		0.5	5.0	本	
ｼｬ	シャリンバイ	0.5		0.5	9.0	本	
	低木合計				12.0	本	
	芝生				53.0	㎡	

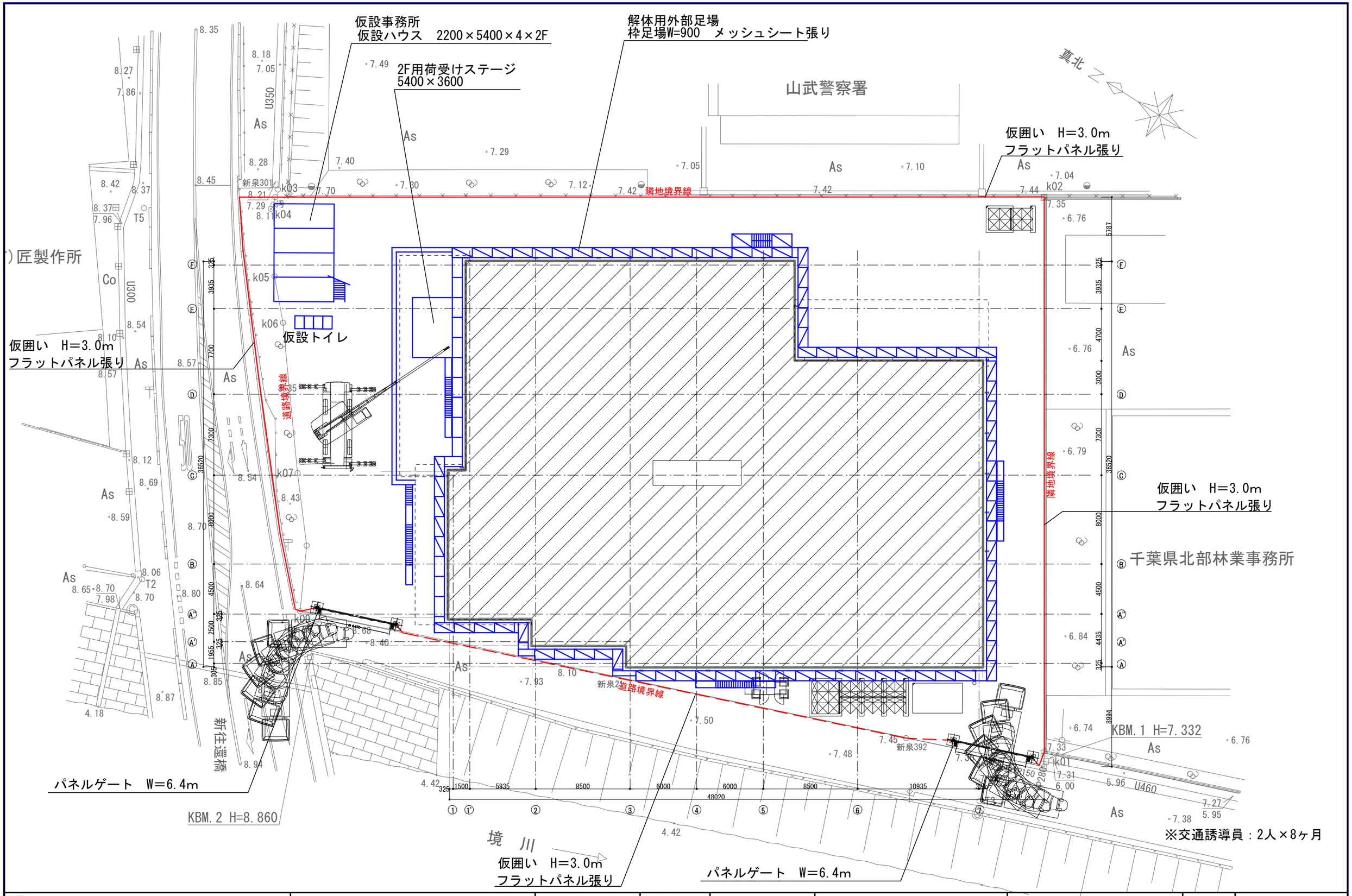
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	植栽計画図	S=1/125(A1) S=1/250(A3)	A-102



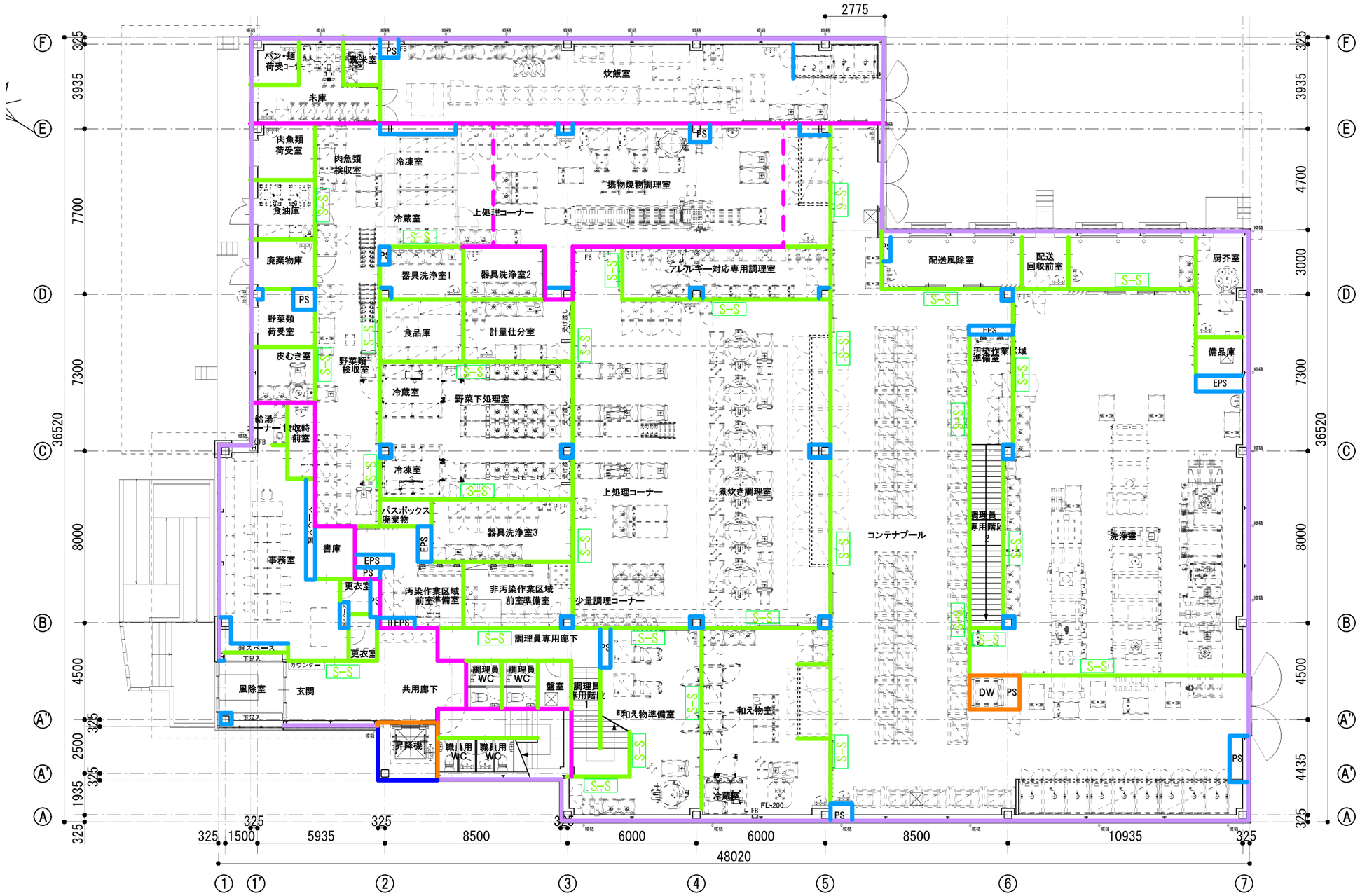
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	仮設計画図 解体時	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	A-103



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	仮設計画図　山留工事・掘削工事時	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	A-104



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	仮設計画図 躯体工事・仕上げ工事時	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	A-105

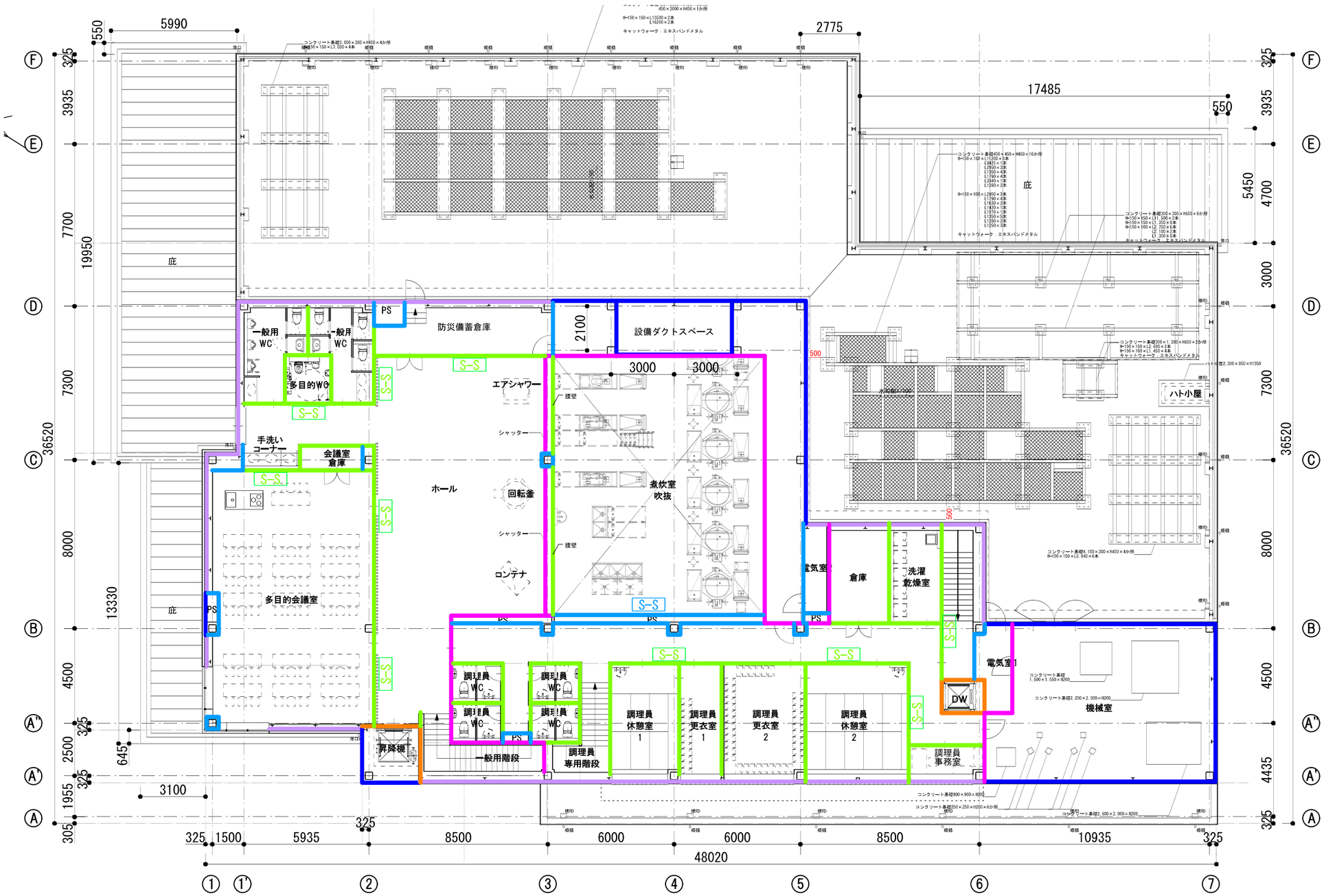


凡例

※仕上材は仕上表参照

:外壁+断熱+内壁 ALC板t100+断熱材t50+LGS65形+GB-R t12.5 2枚貼	
:外壁 ALC板t100 + 断熱材ｔ50	
:内壁（一般部　両側仕上） LGS90形 + GB-R t12.5(両面) 2枚貼	
:内壁（一般部　片側仕上） LGS90形 + GB-R t12.5(片面) 2枚貼	
:内壁（1時間耐火両面張） LGS90形 + GB-F t12.5(両面) 2枚貼	
:界壁（天井裏のみ　1時間耐火両面張） LGS90形 + GB-F t12.5(両面) 2枚貼 ※壁端部シール	
:内壁（1時間耐火片面張） LGS90形 + GB-F t21　2枚貼 ※スラブ-スラブ四周シール	
S-S	:表記付の壁はスラブ-スラブまで壁を設置、表記のないものは天井までとする

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS １階壁区分図	SCALE S=1/100(A1) S=1/200(A3)	NO. A-106

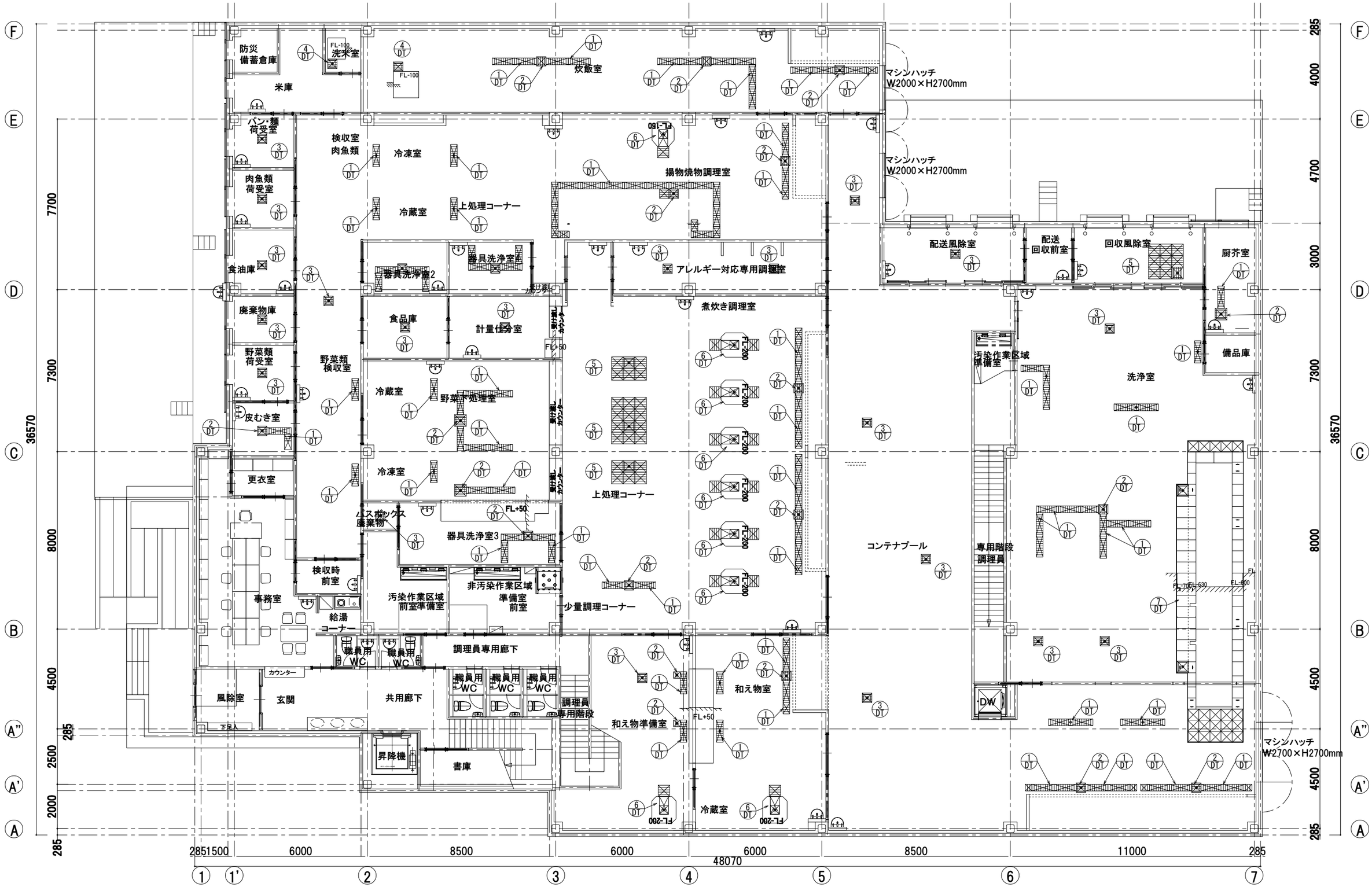


凡例

※仕上材は仕上表参照

:外壁+断熱+内壁 ALC板t100+断熱材t50+LGS65形+GB-R t12.5 2枚貼	
:外壁 ALC板t100 + 断熱材 t 50	
:内壁（一般部　両側仕上） LGS90形 + GB-R t12.5(両面) 2枚貼	
:内壁（一般部　片側仕上） LGS90形 + GB-R t12.5(片面) 2枚貼	
:内壁（1時間耐火両面張） LGS90形 + GB-F t12.5(両面) 2枚貼	
:界壁（天井裏のみ　1時間耐火両面張） LGS90形 + GB-F t12.5(両面) 2枚貼 ※壁端部シール	
:内壁（1時間耐火片面張） LGS90形 + GB-F t21　2枚貼 ※スラブ-スラブ四周シール	
S-S	:表記付の壁はスラブ-スラブまで壁を設置、表記のないものは天井までとする

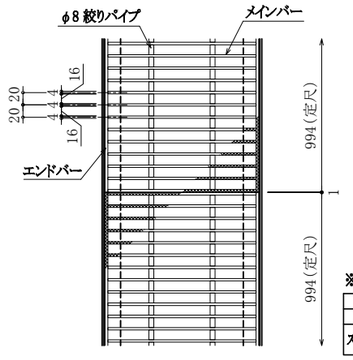
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE （仮称）山武市学校給食センター改築工事	ITEMS ２階壁区分図	SCALE S=1/100(A1) S=1/200(A3)	NO. A-107



排水ピット 全体図 S=1/80

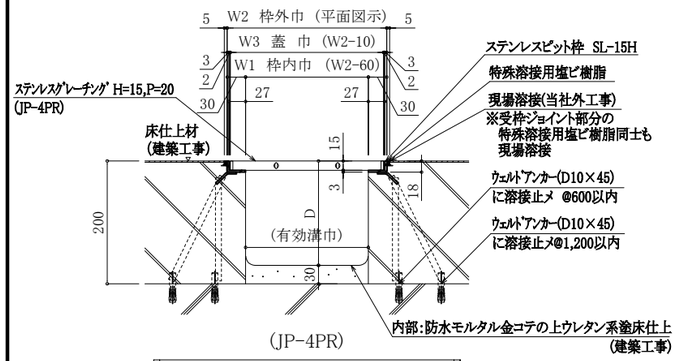
NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	厨房排水詳細図(1) 排水ピット 全体図	S=1/40(A1) S=1/80(A3)	A-108

1 DT 排水ピット 断面詳細図



※仕様　歩行荷重用 許容耐荷重 :4.9kN(500kgf)/㎡

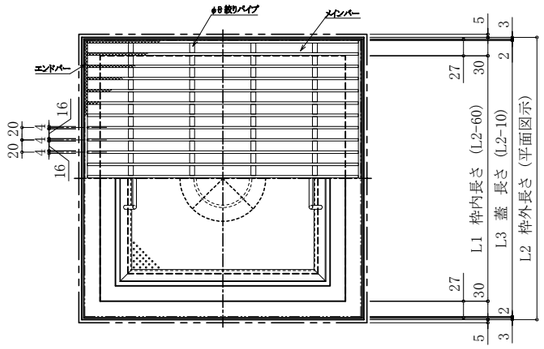
品名	材質	摘要
ステンレスピット枠	SUS304	
ステンレスグレーチング	SUS304	電解研磨仕上 すべり止めローレット加工

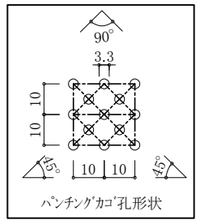


(JP-4PR)

排水ピット 断面詳細図 S=1/5

2 DT 排水桝 断面詳細図

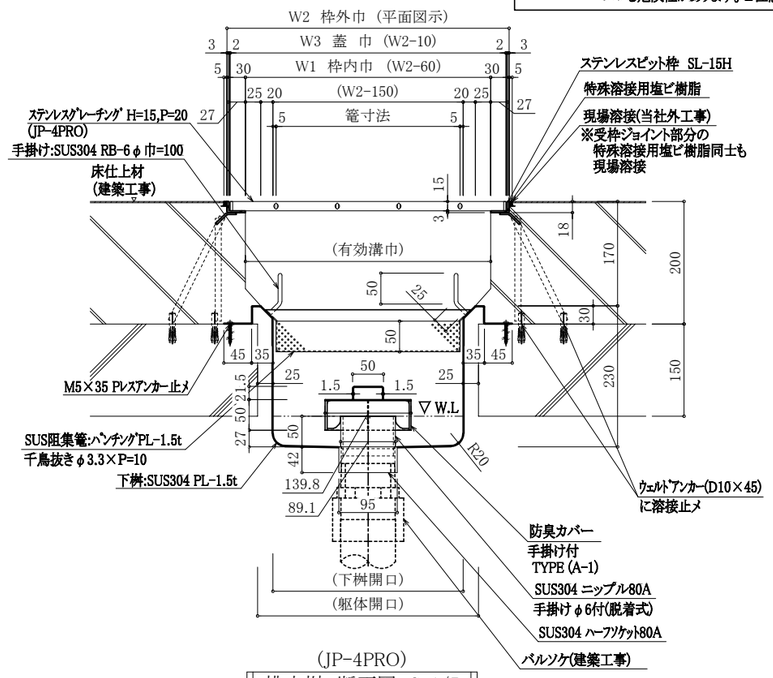




※仕様　歩行荷重用 許容耐荷重 :4.9kN(500kgf)/㎡

品名	材質	摘要
ステンレスピット枠	SUS304	
ステンレスグレーチング	SUS304	電解研磨仕上 すべり止めローレット加工
阻集篭	SUS304	パンチングプレート把手付 表面仕上:酸洗い
ステンレス下桝	SUS304	

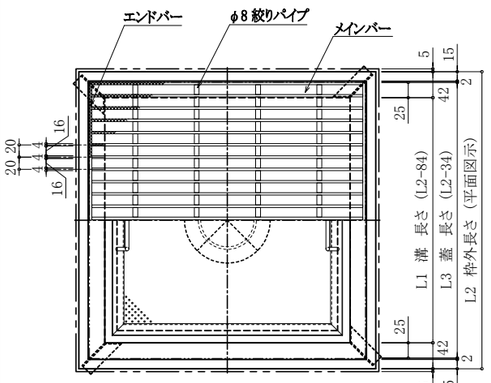
※特殊溶接用塩ビ樹脂はコンクリート打設時などで踏まれる等されるとズレる危険性があります。ご注意ください。

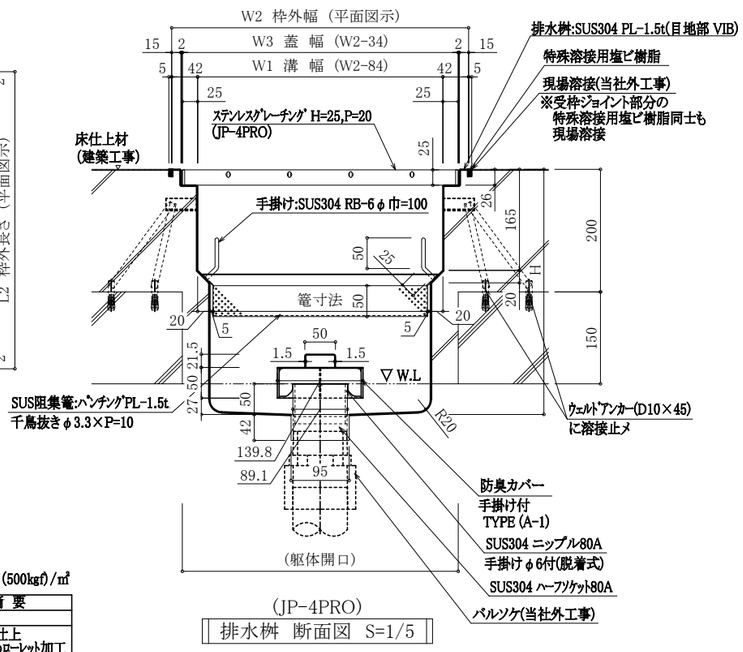


(JP-4PRO)

排水桝 断面図 S=1/5

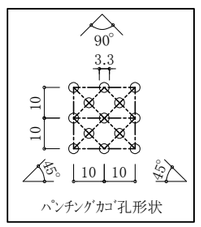
3 DT 排水桝 断面詳細図





(JP-4PRO)

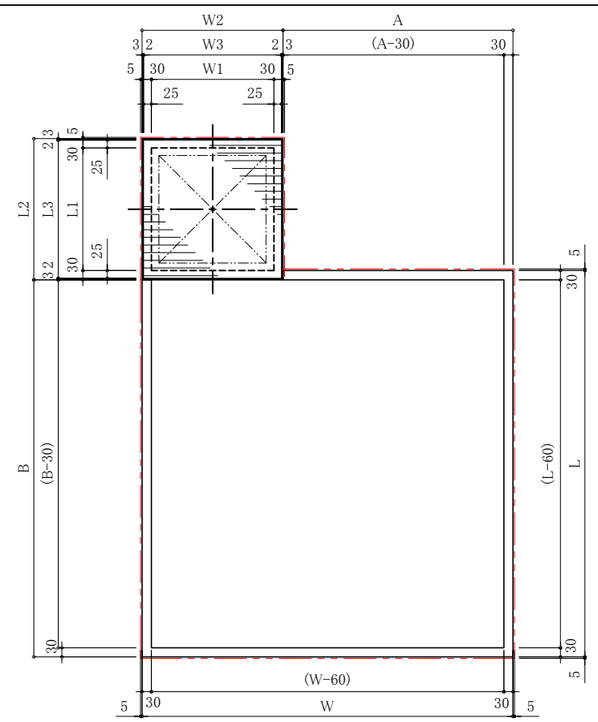
排水桝 断面図 S=1/5



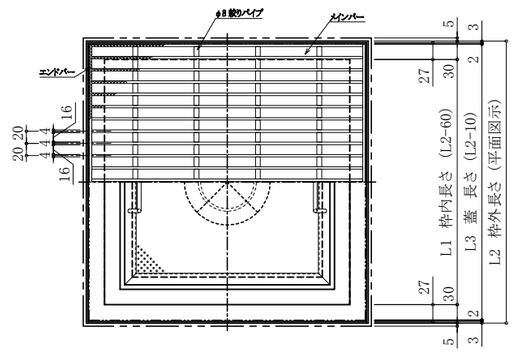
※仕様　歩行荷重用 許容耐荷重 :4.9kN(500kgf)/㎡

品名	材質	摘要
ステンレス桝	SUS304	
ステンレスグレーチング	SUS304	電解研磨仕上 すべり止めローレット加工
阻集篭	SUS304	パンチングプレート把手付 表面仕上:酸洗い

4 DT 排水ピット 断面詳細図

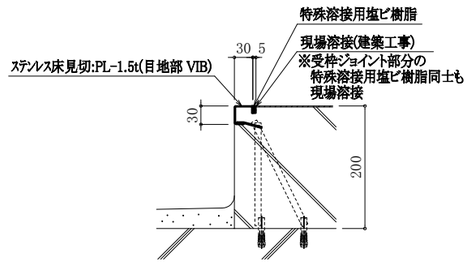


排水ピット 平面詳細図 S=1/10



(JP-4PRO)

排水桝 断面詳細図 S=1/5

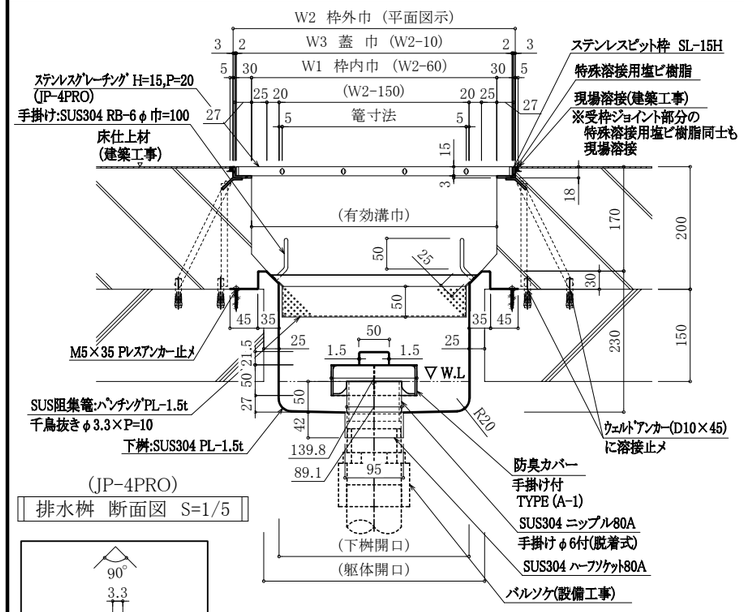


ステンレス床見切 断面詳細図 S=1/5

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				(仮称) 山武市学校給食センター改築工事	厨房排水詳細図(2) 排水ピット 平・断面詳細図(1)	図示	A-109

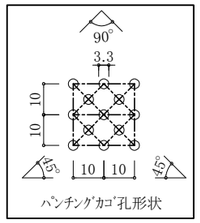
※特殊溶接用塩ビ樹脂はコンクリート打設時などで踏まれる等されるとズレる危険性があります。ご注意ください。

4 DT 排水ピット 断面詳細図



(JP-4PRO)

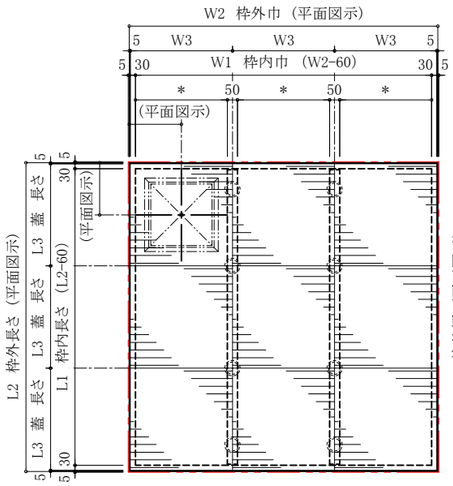
排水桝 断面図 S=1/5



※仕様　　歩行荷重用 許容耐荷重 :4.9kN(500kgf)/㎡

品名	材質	摘要
ステンレスピット枠	SUS304	
ステンレスグレーチング	SUS304	電解研磨仕上 すべり止めローレット加工
阻集篭	SUS304	パンチングプレート把手付 表面仕上:酸洗い
ステンレス下桝	SUS304	

5 DT 排水ピット(カート洗浄部) 平・断面詳細図

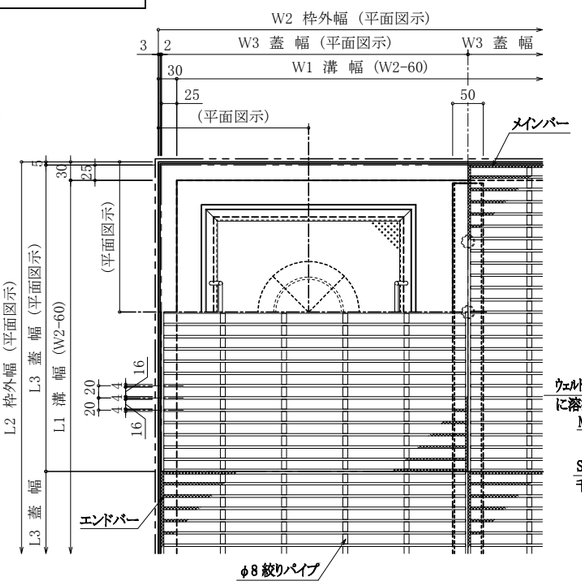


◌ 印部は、ステンレス製束(丸パイプ)を示す。

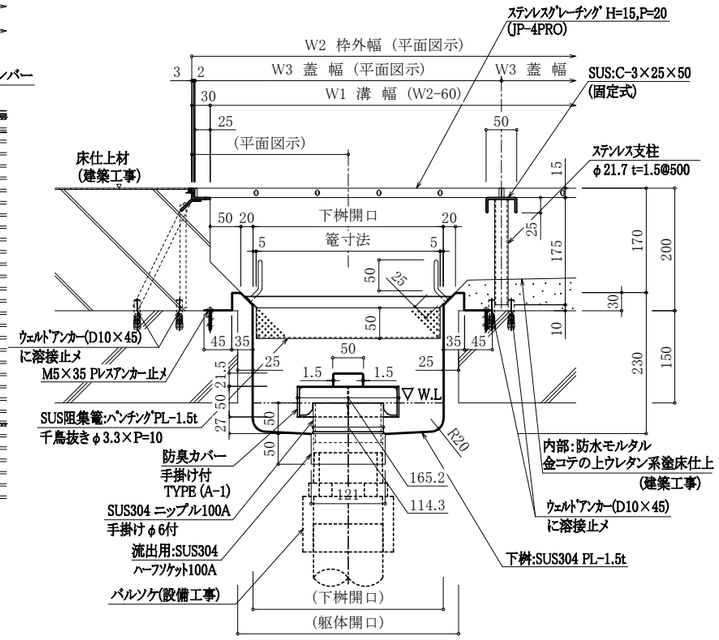
排水ピット(カート洗浄部) 平面詳細図 S=1/15

※仕様　　歩行荷重用 許容耐荷重 :4.9kN(500kgf)/㎡

品名	材質	摘要
ステンレスピット枠	SUS304	
ステンレスグレーチング	SUS304	電解研磨仕上 すべり止めローレット加工
阻集篭	SUS304	パンチングプレート把手付 表面仕上:酸洗い
ステンレス下桝	SUS304	



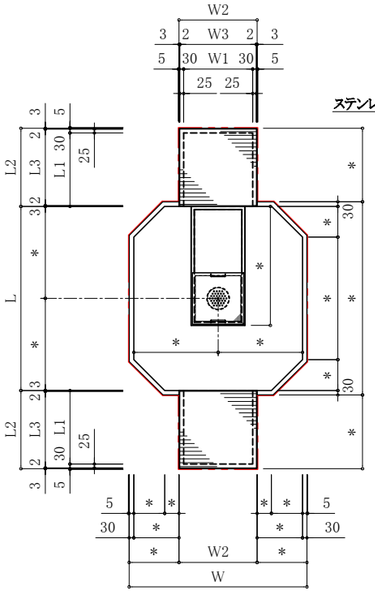
A部 平面詳細図 S=1/5

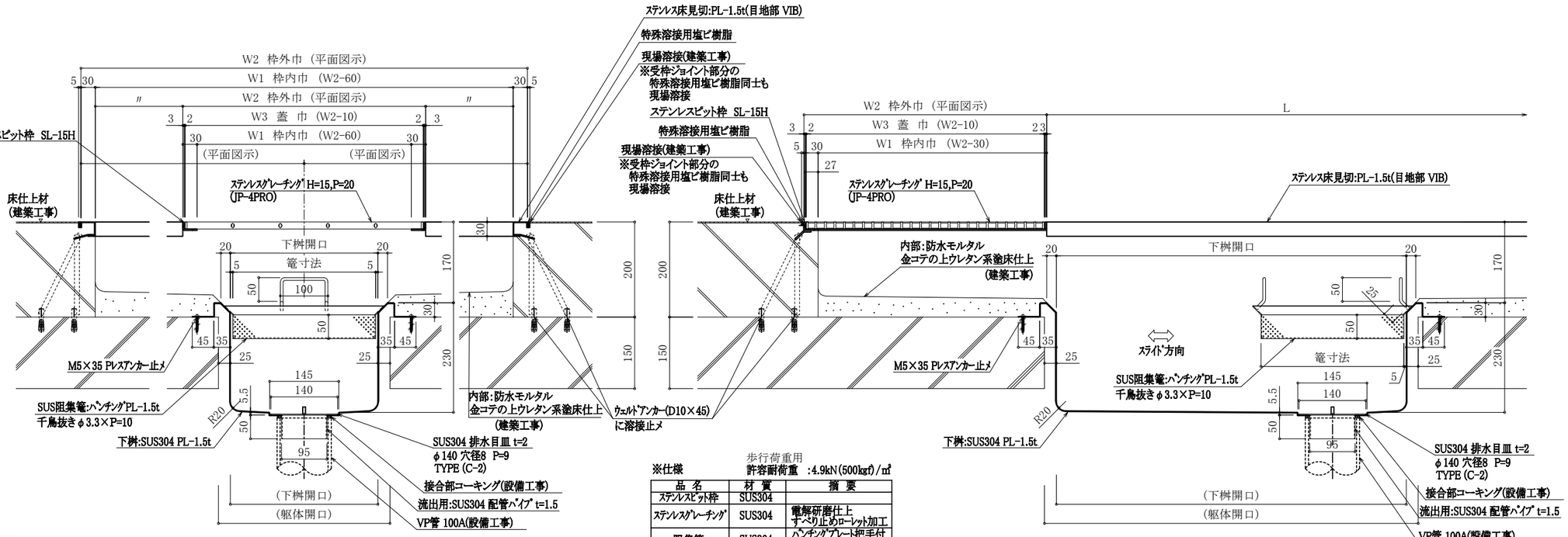


(JP-4PRO)

排水桝 断面図 S=1/5

6 DT 排水ピット(回転釜部) 平・断面詳細図





排水ピット(回転釜部) 平面詳細図 S=1/20

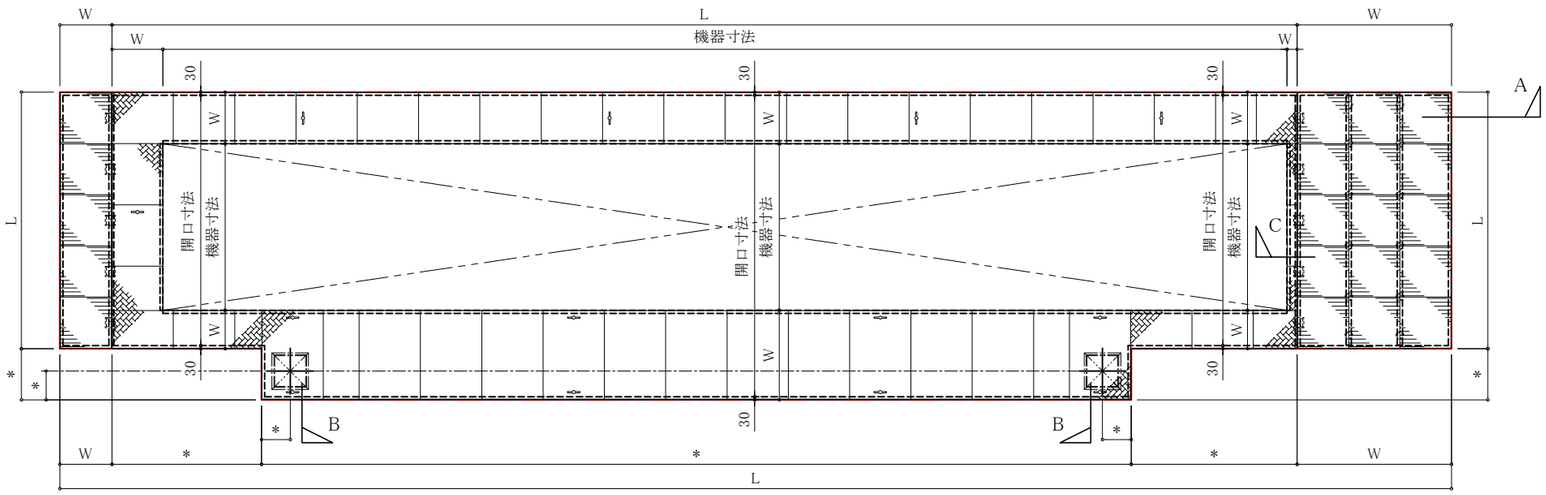
※仕様　　歩行荷重用 許容耐荷重 :4.9kN(500kgf)/㎡

品名	材質	摘要
ステンレスピット枠	SUS304	
ステンレスグレーチング	SUS304	電解研磨仕上 すべり止めローレット加工
阻集篭	SUS304	パンチングプレート把手付 表面仕上:酸洗い
ステンレス下桝	SUS304	

NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	厨房排水詳細図(3) 排水ピット 平・断面詳細図(2)	図示	A-110

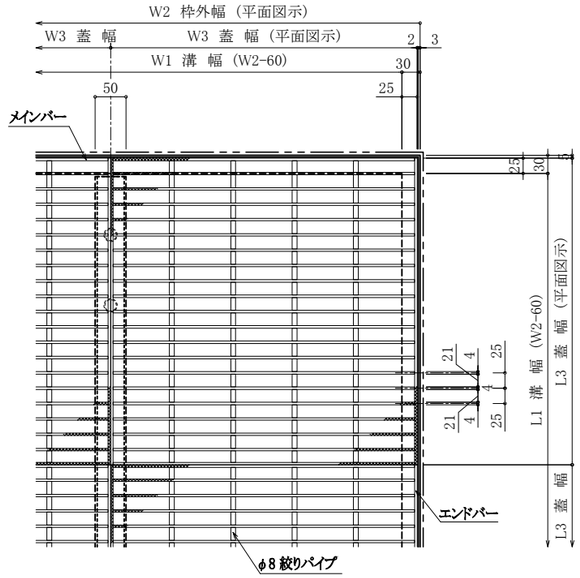
7 DT 排水ピット(コンテナ洗浄機部) 平・断面詳細図

※特殊溶接用塩ビ樹脂はｺﾝｸﾘｰﾄ打設時などで踏まれる等されるとズレる危険性があります。ご注意ください。

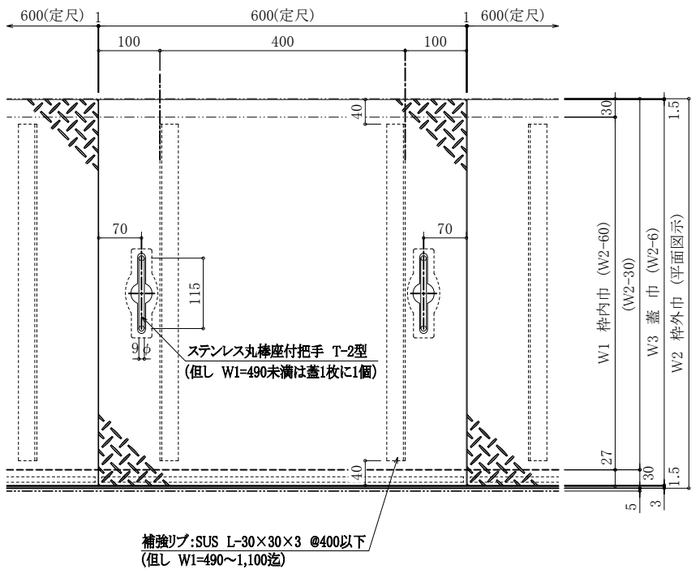


◌ 印部は、ステンレス製束(丸パイプ)を示す。
⊡ 印部は、ステンレス製束(角パイプ)を示す。

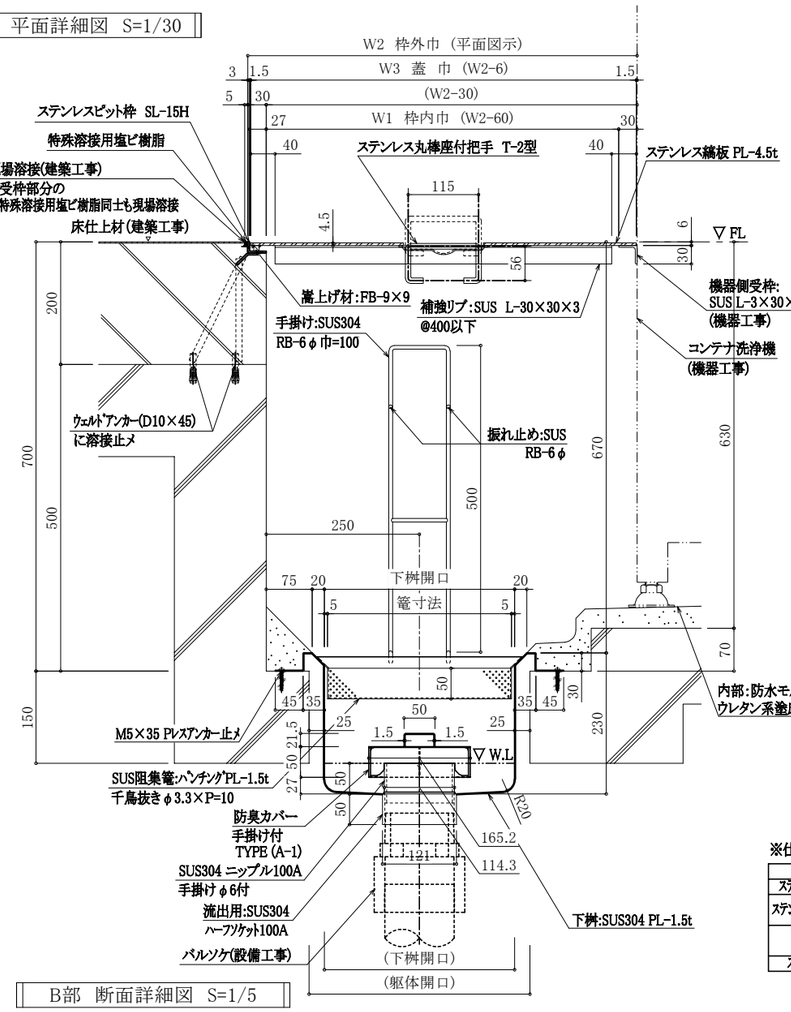
排水ピット(コンテナ洗浄機部) 平面詳細図 S=1/30



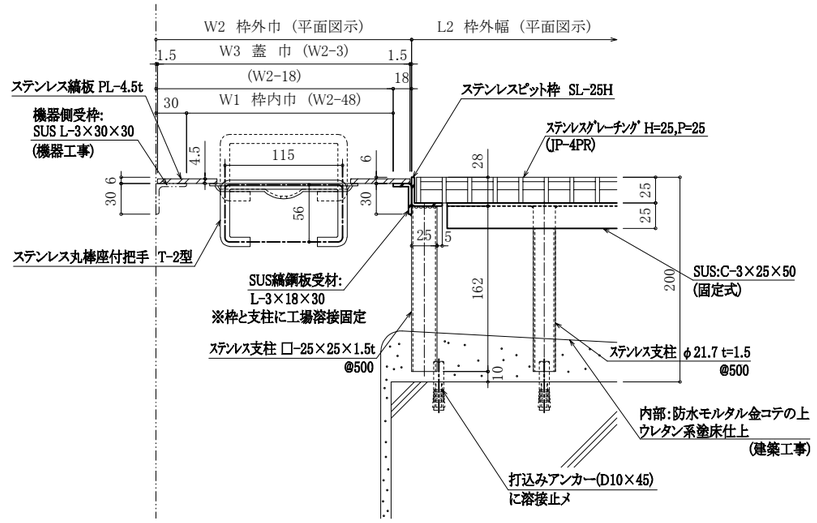
A部 平面詳細図 S=1/5



B部 平面詳細図 S=1/5



B部 断面詳細図 S=1/5



C部 断面詳細図 S=1/3

※仕様

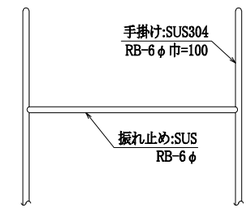
歩行荷重用
許容耐荷重 :3.5kN(360kgf)/㎡
許容たわみ量:L/300

品 名	材 質	摘 要
受枠	SUS304	
蓋 板	SUS304 縞鋼板	
丸棒座付把手	SUS304	蓋5枚に1枚の割合で取り付け

※仕様

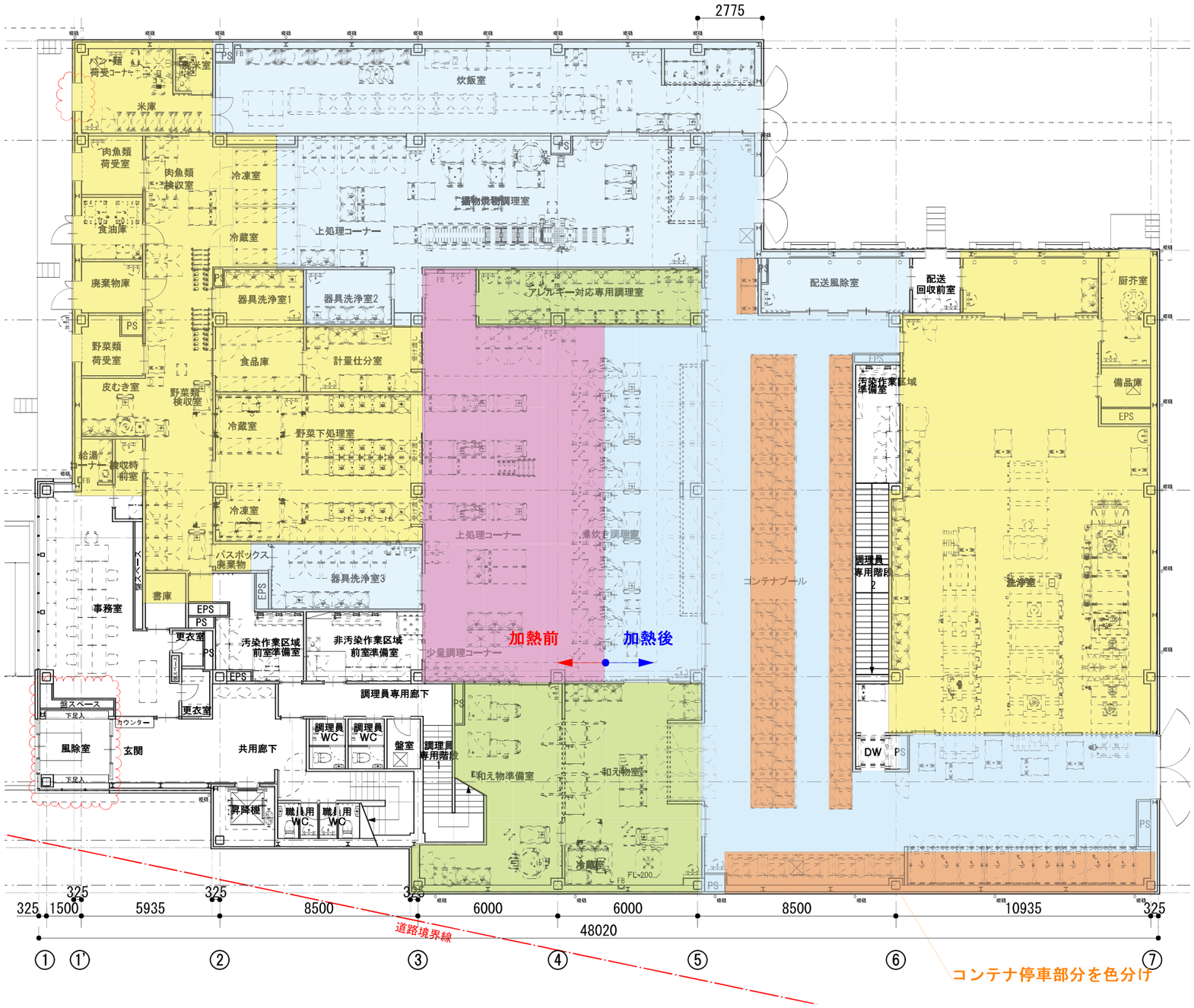
歩行荷重用
許容耐荷重 :4.9kN(500kgf)/㎡

品 名	材 質	摘 要
ｽﾃﾝﾚｽﾋﾟｯﾄ枠	SUS304	
ｽﾃﾝﾚｽｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	SUS304	電解研磨仕上 すべり止めローレット加工
阻集篭	SUS304	ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ把手付 表面仕上:酸洗い
ｽﾃﾝﾚｽ下桝	SUS304	

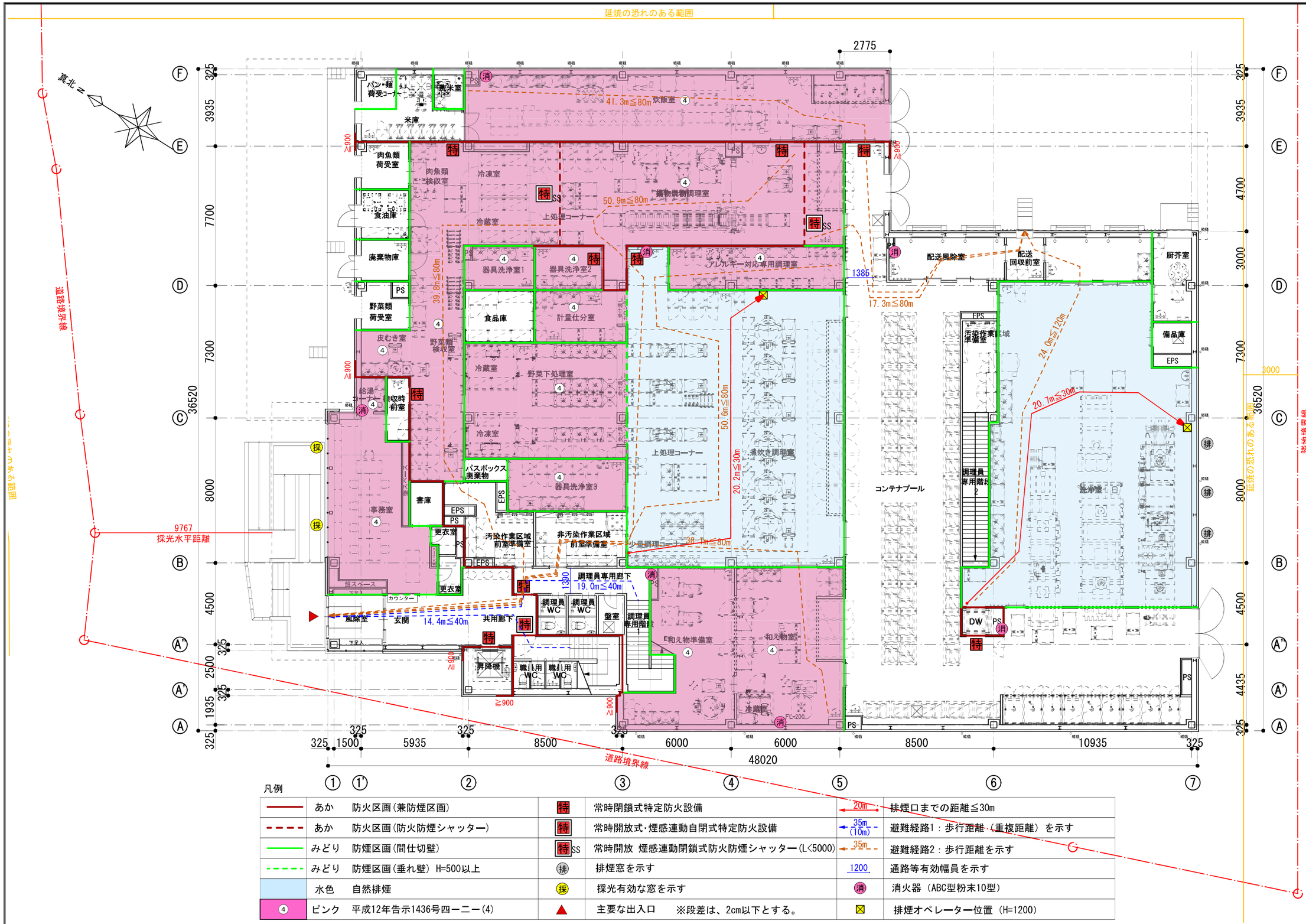


竈把手振れ止め部分 S=1/3

NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	厨房排水詳細図(4) 排水ピット 平・断面詳細図(3)	図示	A-111



NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	厨房床塗分け図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-112



□共通事項

- PS・EPS 部分は水平区画とする。
- 平成12年告示1436号四ーニー(4)を適用する開口部・PS等の点検用扉は上部に500mm以上の垂れ壁を設ける。
- 令126条の2第1項第三号による排煙免除部分は、屋内階段、風除室、EV、PS、EPSである。
- 廊下の幅員は有効1200以上とする。
- 防火区画及び消防不燃区画の乾式の耐火構造の壁は、吉野石膏ﾊｲﾊﾞｰｳｫｰﾙZ(認定番号：耐火FP060NP-0199)同等品以上とし、天井裏躯体まで達せしめる。
- 歩行距離については、仕上げを準不燃材料以上として令120条2項を適用する。
- 出入口の扉を不燃戸（自閉式・上部垂れ壁300mm以上）とした室は、排煙口の有効高さを天井面から下方に800mmとして扱う。
- 防火区画に接する外壁部分は、幅900mm以上を耐火構造以上の壁、又は500mm以上のそで壁を設ける。
- 排煙窓のｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾙの設置高さはFL+800～1500とする。
- ｸﾚｾﾝﾄ、ﾊﾝﾄﾞﾙの設置高さはFL+1100とする。
- 排煙窓の開放角度は45°とする。
- 内装建材(天井裏等の措置を含む)は全てＦ☆☆☆☆以上とする。
- PS内に埋込式の消火器BOXは0.8mm以上の鋼板製とする。
- ｶｰﾃﾝ、ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ等は防炎物品を使用

一般用階段の寸法（令23条～27条）のチェック		
踏面	250	≧240
蹴上	173.08	≦200
階段幅・踊場幅	1210	≧1200
段数	26段/階高(4500)	
備考	両側手摺付（出は10cmを超えない）	
種別	屋内直通階段	
避難階	1階	

調理員専用階段１の寸法（令23条～27条）のチェック		
踏面	250	≧240
蹴上	173.08	≦200
階段幅・踊場幅	1210	≧1200
段数	26段/階高(4500)	
備考	両側手摺付（出は10cmを超えない）	
種別	屋内直通階段	
避難階	1階	

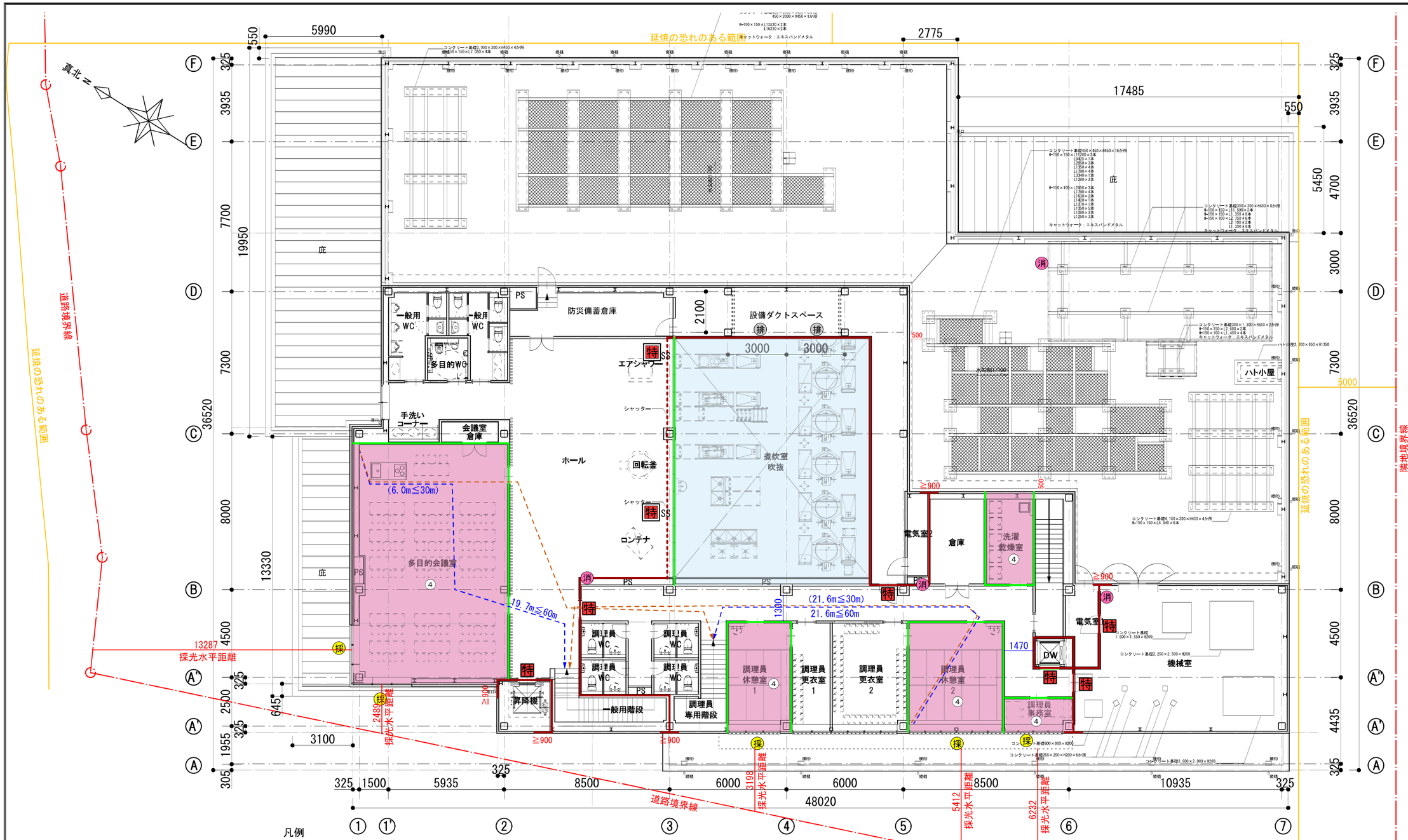
調理員専用階段２の寸法（令23条～27条）のチェック		
踏面	250	≧240
蹴上	173.08	≦200
階段幅・踊場幅	1210	≧1200
段数	26段/階高(4500)	
備考	両側手摺付（出は10cmを超えない）	
種別	屋内直通階段	
避難階	1階	

凡例

	あか	防火区画(兼防煙区画)	特	常時閉鎖式特定防火設備	20m	排煙口までの距離≦30m
	あか	防火区画(防火防煙シャッター)	特	常時開放式･煙感連動自閉式特定防火設備	35m (10m)	避難経路1：歩行距離（重複距離）を示す
	みどり	防煙区画(間仕切壁)	特SS	常時開放 煙感連動閉鎖式防火防煙シャッター(L<5000)	35m	避難経路2：歩行距離を示す
	みどり	防煙区画(垂れ壁) H=500以上	排	排煙窓を示す	1200	通路等有効幅員を示す
	水色	自然排煙	採	採光有効な窓を示す	消	消火器（ABC型粉末10型）
4	ピンク	平成12年告示1436号四ーニー(4)	▲	主要な出入口　※段差は、2cm以下とする。	⊠	排煙オペレーター位置（H=1200）

⊠：床点検口600×600

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	1階法チェック図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-113 KA-27



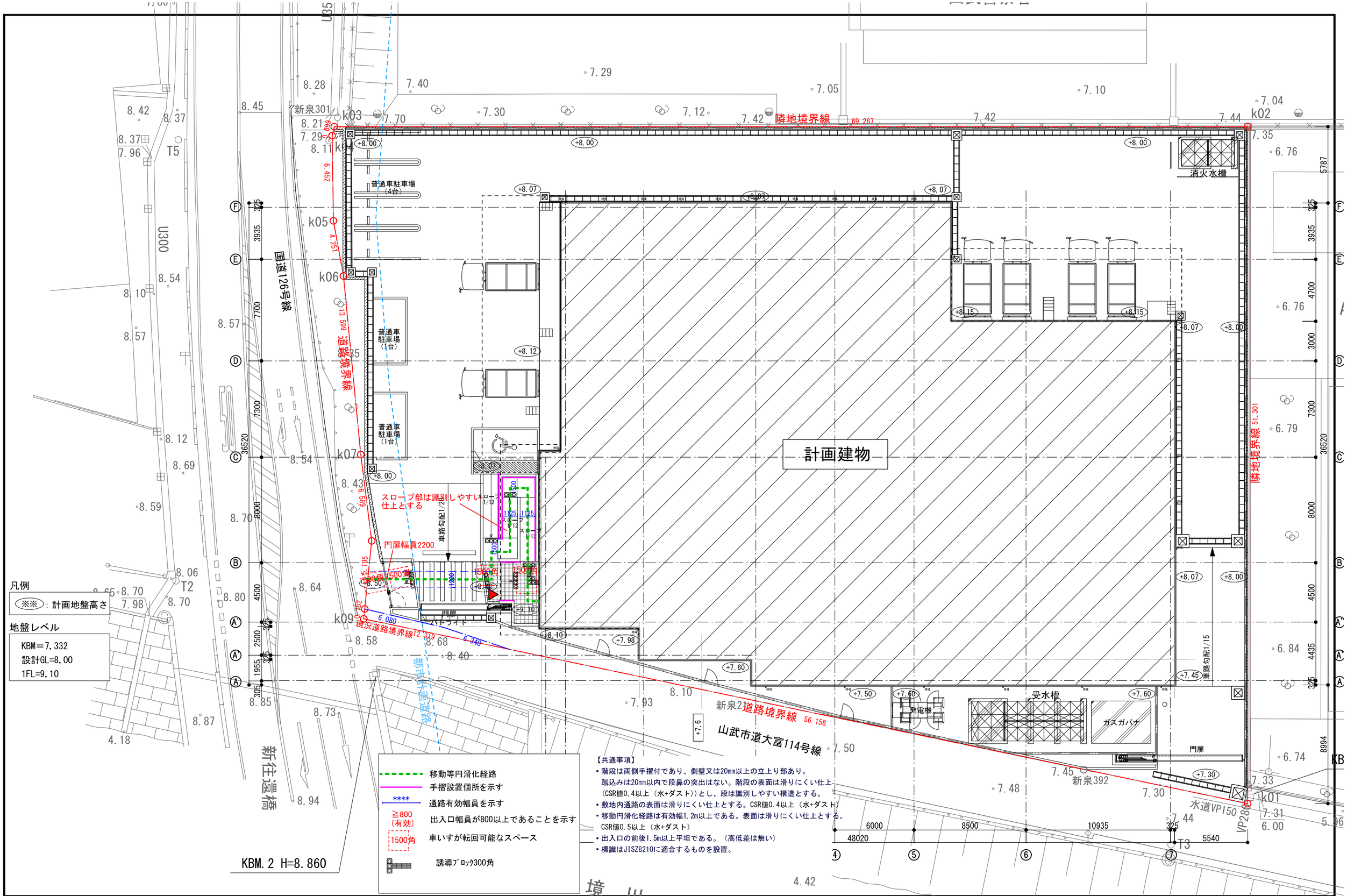
□共通事項

- PS・EPS 部分は水平区画とする。
- 平成12年告示1436号四ーニー(4)を適用する開口部・PS等の点検用扉は上部に500mm以上の垂れ壁を設ける。
- 令126条の2第1項第三号による排煙免除部分は、屋内階段、風除室、EV、PS、EPSである。
- 廊下の幅員は有効1200以上とする。
- 防火区画及び消防不燃区画の乾式の耐火構造の壁は、吉野石膏ﾊｲﾊﾞｰｳｫｰﾙZ(認定番号：耐火FP060NP-0199)同等品以上とし、天井裏躯体まで達せしめる。
- 歩行距離については、仕上げを準不燃材料以上として令120条2項を適用する。
- 出入口の扉を不燃戸（自閉式・上部垂れ壁300mm以上）とした室は、排煙口の有効高さを天井面から下方に800mmとして扱う。
- 防火区画に接する外壁部分は、幅900mm以上を耐火構造以上の壁、又は500mm以上のそで壁を設ける。
- 排煙窓のｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾙの設置高さはFL+800～1500とする。
- ｸﾚｾﾝﾄ、ﾊﾝﾄﾞﾙの設置高さはFL+1100とする。
- 排煙窓の開放角度は45°とする。
- 内装建材(天井裏等の措置を含む)は全てＦ☆☆☆☆以上とする。
- PS内に埋込式の消火器BOXは0.8mm以上の鋼板製とする。
- ｶｰﾃﾝ、ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ等は防炎物品を使用

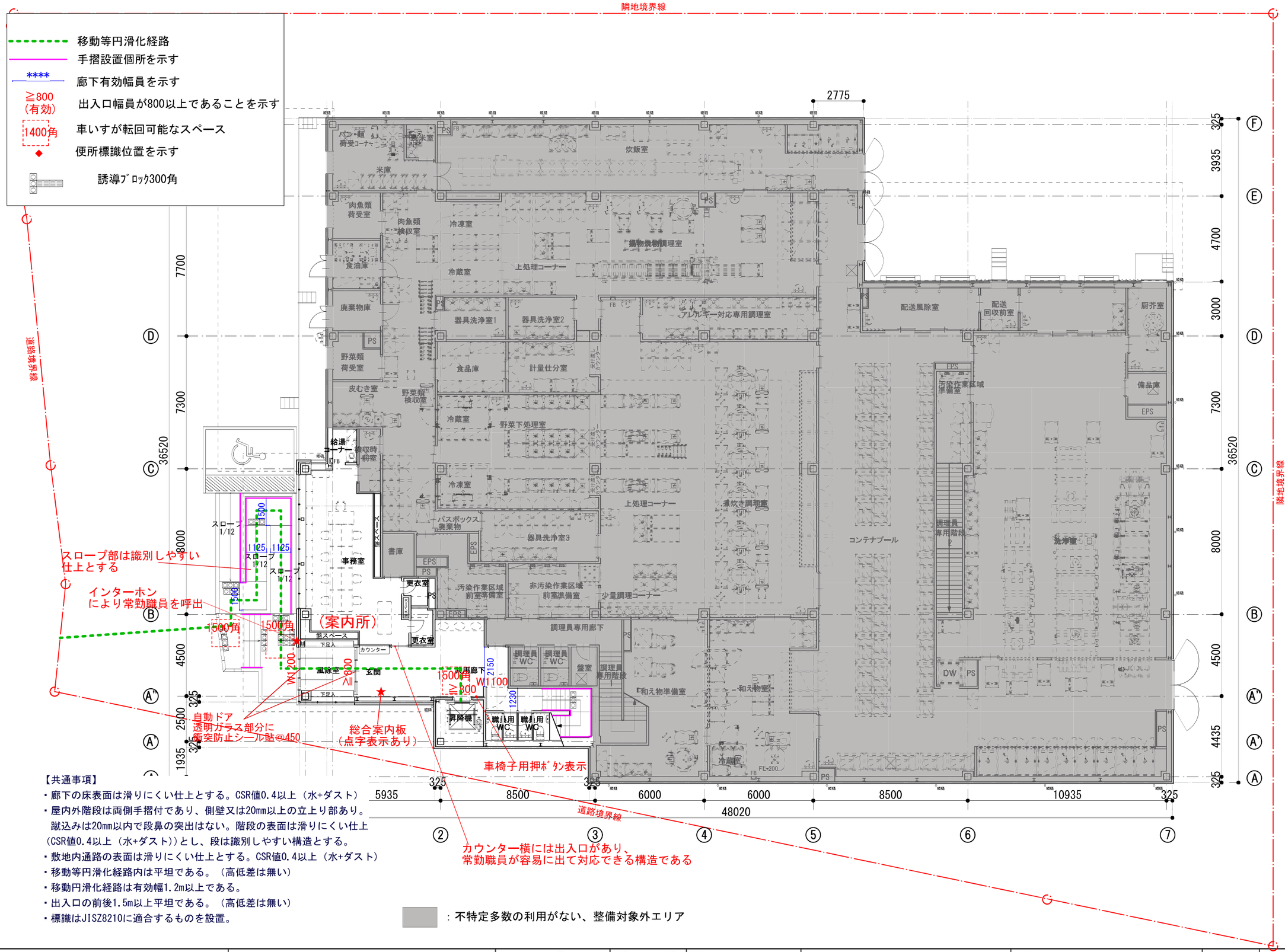
凡例

	あか	防火区画(兼防煙区画)	特	常時閉鎖式特定防火設備	20m	排煙口までの距離≦30m
	あか	防火区画(防火防煙シャッター)	特	常時開放式・煙感連動自閉式特定防火設備	35m (10m)	避難経路1：歩行距離（重複距離）を示す
	みどり	防煙区画(間仕切壁)	特SS	常時開放 煙感連動閉鎖式防火防煙シャッター(L<5000)	35m	避難経路2：歩行距離を示す
	みどり	防煙区画(垂れ壁) H=500以上	排	排煙窓を示す	1200	通路等有効幅員を示す
	水色	自然排煙	採	採光有効な窓を示す	消	消火器（ABC型粉末10型）
4	ピンク	平成12年告示1436号四ーニー(4)	▲	主要な出入口　※段差は、2cm以下とする。	☒	排煙オペレーター位置（H=1200）

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	2階法チェック図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-114 KA-28



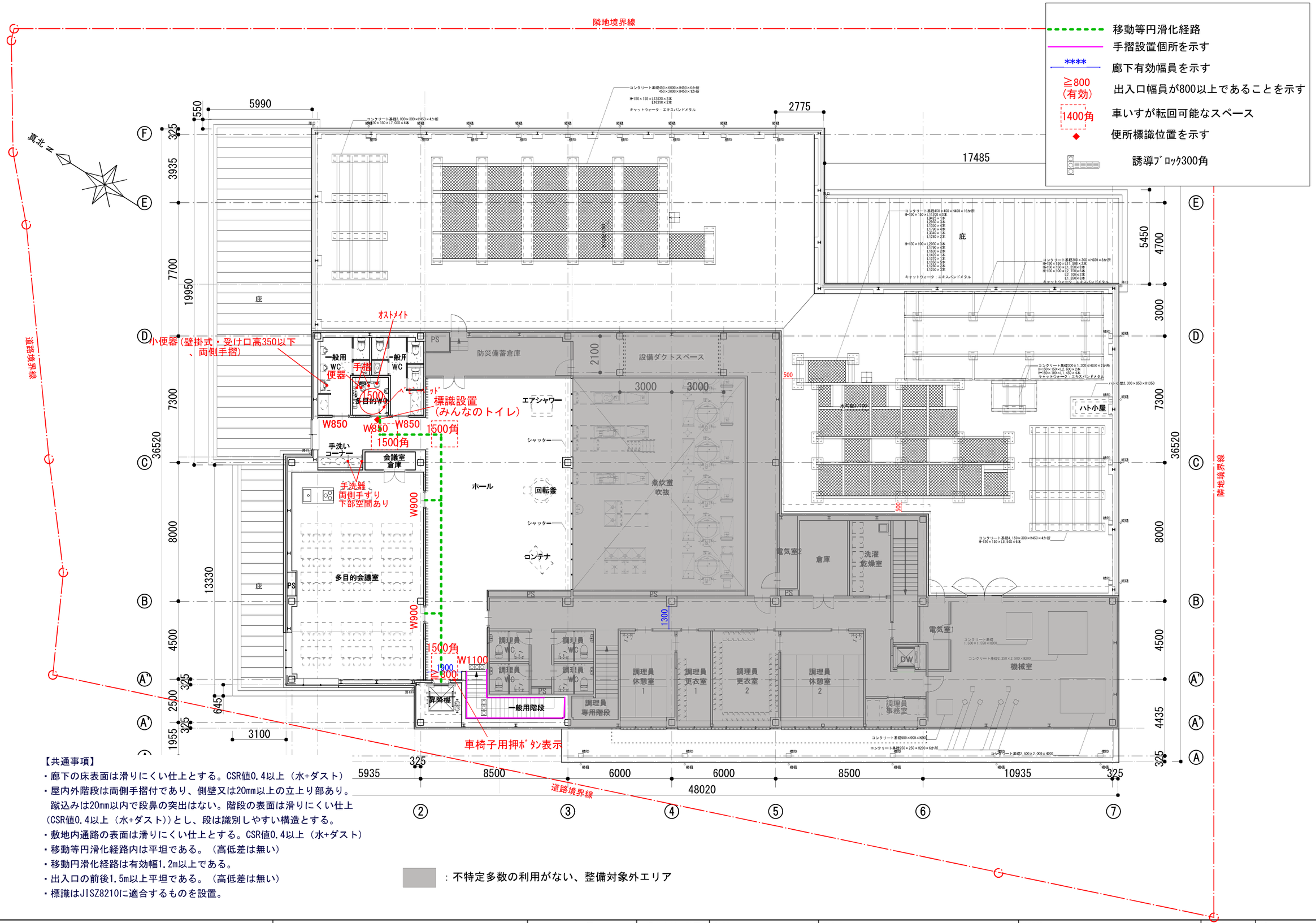
NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	外構バリアフリー配置図	S=1/125(A1) S=1/250(A3)	A-115



【共通事項】

- 廊下の床表面は滑りにくい仕上とする。CSR値0.4以上（水+ダスト）
- 屋内外階段は両側手摺付であり、側壁又は20mm以上の立上り部あり。蹴込みは20mm以内で段鼻の突出はない。階段の表面は滑りにくい仕上（CSR値0.4以上（水+ダスト））とし、段は識別しやすい構造とする。
- 敷地内通路の表面は滑りにくい仕上とする。CSR値0.4以上（水+ダスト）
- 移動等円滑化経路内は平坦である。（高低差は無い）
- 移動円滑化経路は有効幅1.2m以上である。
- 出入口の前後1.5m以上平坦である。（高低差は無い）
- 標識はJIS Z8210に適合するものを設置。

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	1階バリアフリー平面図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-116 KA-30



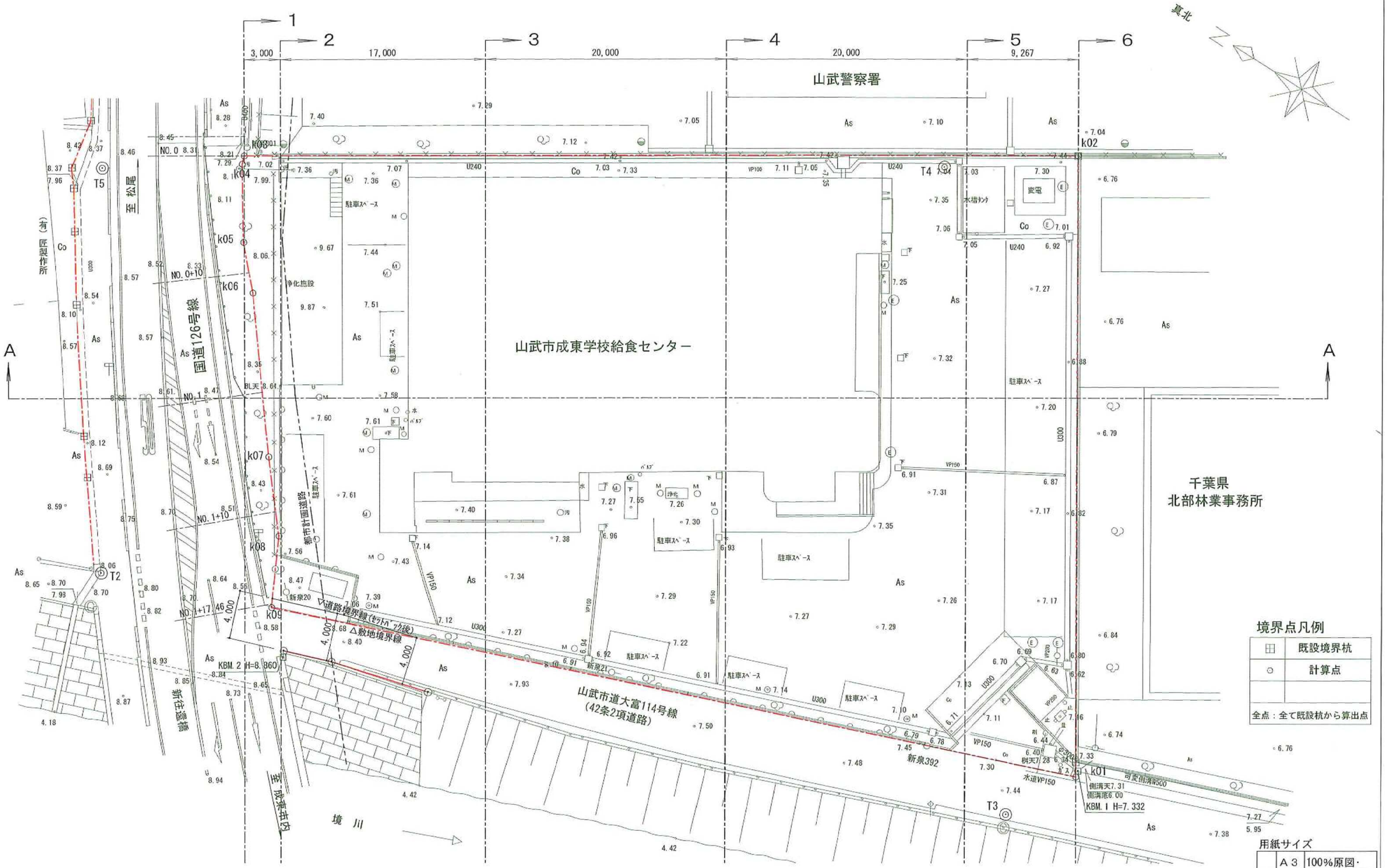
【共通事項】

- 廊下の床表面は滑りにくい仕上とする。CSR値0.4以上（水+ダスト）
- 屋内外階段は両側手摺付であり、側壁又は20mm以上の立上り部あり。蹴込みは20mm以内で段鼻の突出はない。階段の表面は滑りにくい仕上（CSR値0.4以上（水+ダスト））とし、段は識別しやすい構造とする。
- 敷地内通路の表面は滑りにくい仕上とする。CSR値0.4以上（水+ダスト）
- 移動等円滑化経路内は平坦である。（高低差は無い）
- 移動円滑化経路は有効幅1.2m以上である。
- 出入口の前後1.5m以上平坦である。（高低差は無い）
- 標識はJISZ8210に適合するものを設置。

：不特定多数の利用がない、整備対象外エリア

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	2階バリアフリー平面図	S=1/100(A1) S=1/200(A3)	A-117 KA-31

現況平面図 S=1:300



用紙サイズ

	A3	100%原図
	A4	71%縮小図

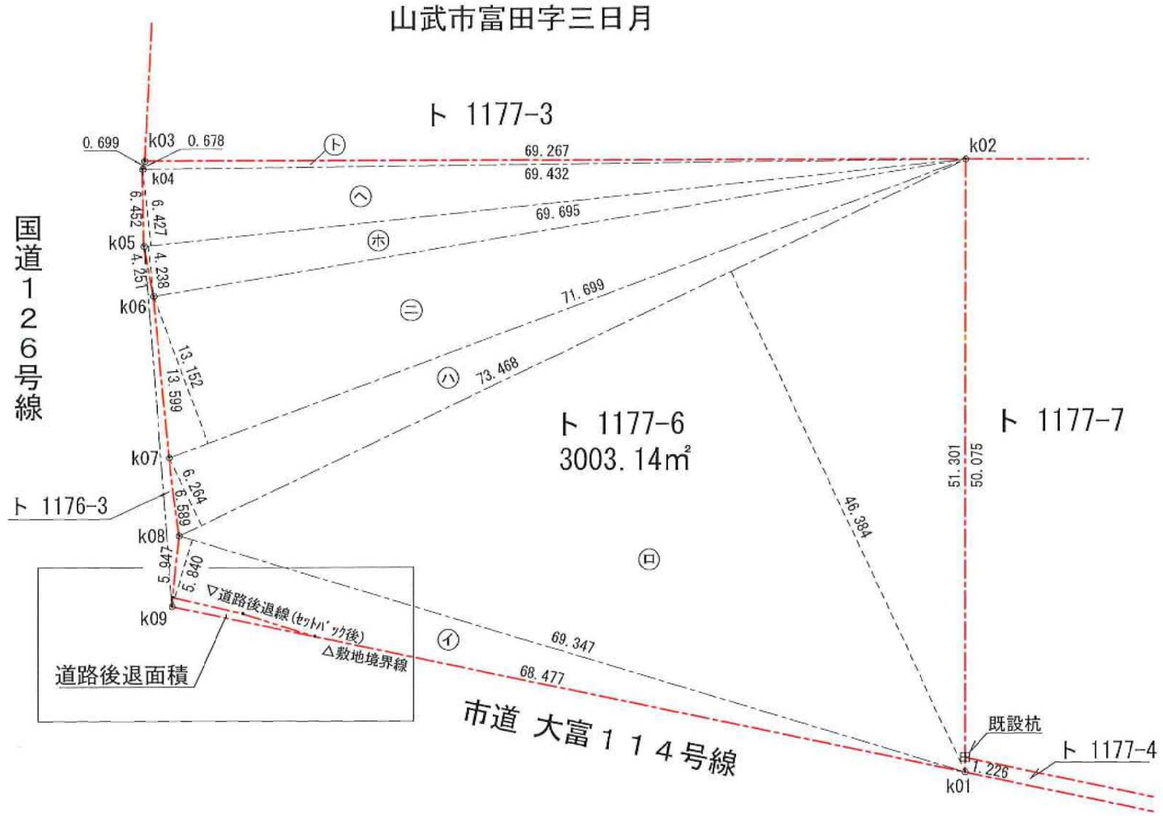
NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	現況平面図	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-001

座標一覧表

点　名	X座標	Y座標
k01	-43183.866	52783.332
k02	-43156.416	52826.671
k03	-43097.900	52789.607
k04	-43098.127	52788.946
k05	-43101.663	52783.549
k06	-43104.546	52780.425
k07	-43112.896	52769.691
k08	-43117.093	52764.612
k09	-43119.748	52759.291
既設杭	-43183.210	52784.367

敷地面積求積図　S＝1：500

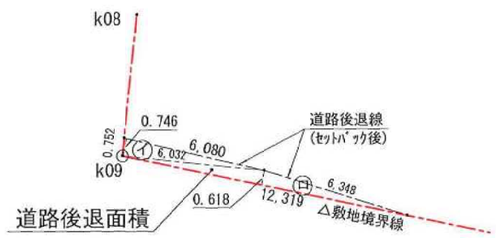
山武市富田字三日月



三斜面積求積表

地　番	ト 1177-6		
符　号	底　辺	高　さ	倍　面　積
㋑	69.347	5.840	404.986480
㋺	73.468	46.384	3407.739712
㋩	73.468	6.264	460.203552
㋥	71.699	13.152	942.985248
㋭	69.695	4.238	295.367410
㋬	69.695	6.427	447.929765
㋣	69.432	0.678	47.074896
		合　計	6006.287063
		合　計　面　積	3003.1435315
		地　積	3003.14　m2

道路後退面積求積図　S＝1：250



三斜面積求積表

地　番	道路後退面積		
符　号	底　辺	高　さ	倍　面　積
㋑	6,080	0.746	4.535680
㋺	12,319	0.618	7.613142
		合　計	12.148822
		合　計　面　積	6.074411
		地　積	6.07 m2

土地利用面積一覧表

区　分	面積（㎡）	備　考
建築敷地面積	2,997.07 ㎡	
道路後退面積	6.07 ㎡	ｾｯﾄﾊﾞｯｸ道路
敷地全体面積	3,003.14 ㎡	地番ト1177-6

境界点凡例

田	コンクリート境界杭
⊙	計算点

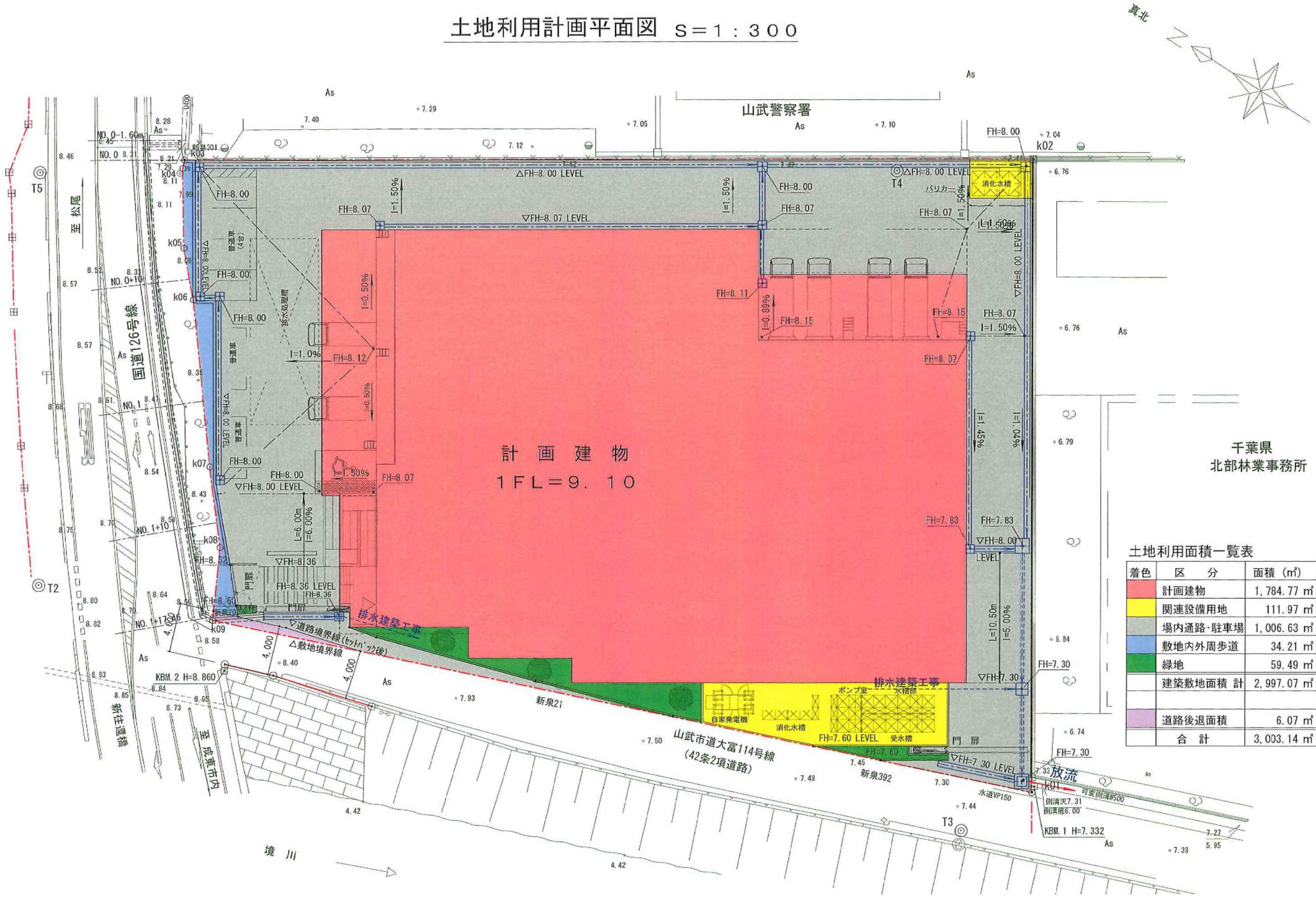
全点：全て既設杭から算出

用紙サイズ

	A３	100%原図・
	A４	71%縮小図

NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	敷地面積求積図他	S=1/250(A1) S=1/500(A3)	Z-002

土地利用計画平面図 S＝1：300



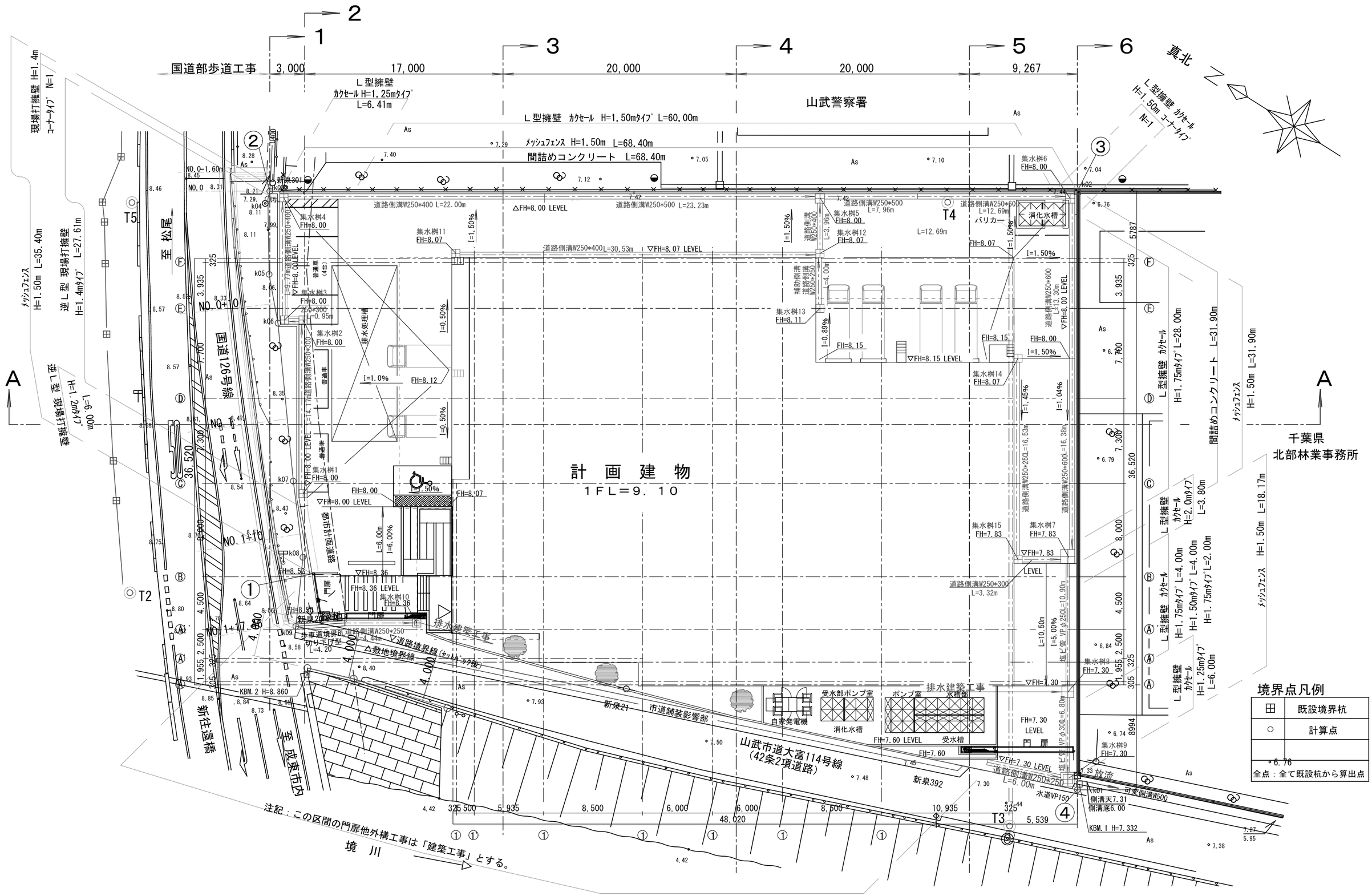
土地利用面積一覧表

着色	区　分	面積（㎡）	比率（%）	備　考
	計画建物	1,784.77 ㎡	59.43 %	屋根庇含
	関連設備用地	111.97 ㎡	3.73 %	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
	場内通路･駐車場	1,006.63 ㎡	33.52 %	As舗装
	敷地内外周歩道	34.21 ㎡	1.14 %	As舗装
	緑地	59.49 ㎡	1.98 %	間地(土)
	建築敷地面積 計	2,997.07 ㎡	99.80 %	
	道路後退面積	6.07 ㎡	0.20 %	ｾｯﾄﾊﾞｯｸ道路
	合　計	3,003.14 ㎡	100.00 %	

用紙サイズ

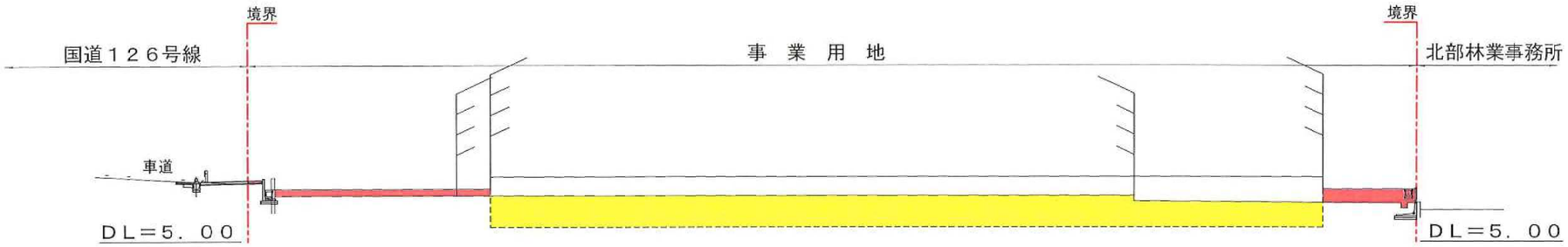
	A３	100%原図･
	A４	71%縮小図

NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOE	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	土地利用計画平面図	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-003

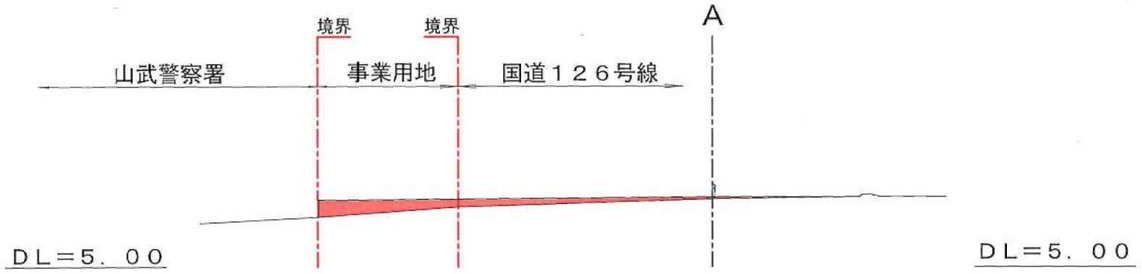


NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	造成・排水施設・計画平面図	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-004

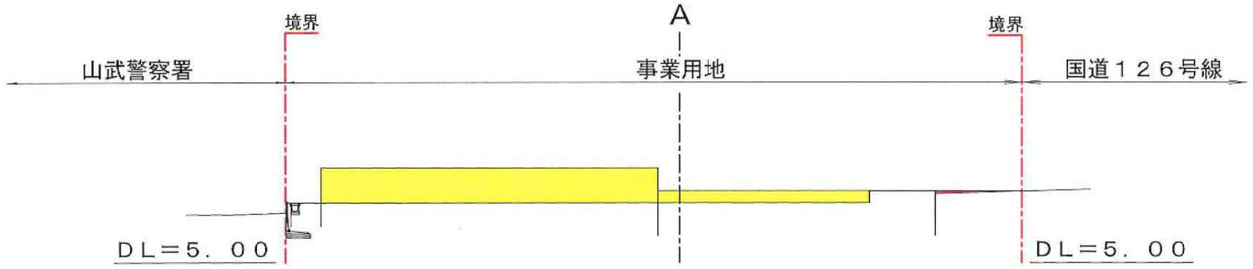
Ａ－Ａ断面図　Ｓ＝１：３００



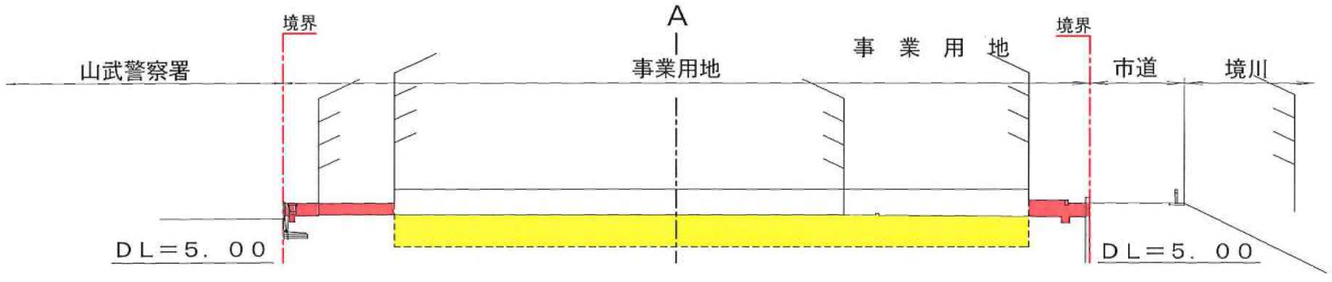
１－１断面図　Ｓ＝１：３００



２－２断面図　Ｓ＝１：３００



３－３断面図　Ｓ＝１：３００



断面図凡例

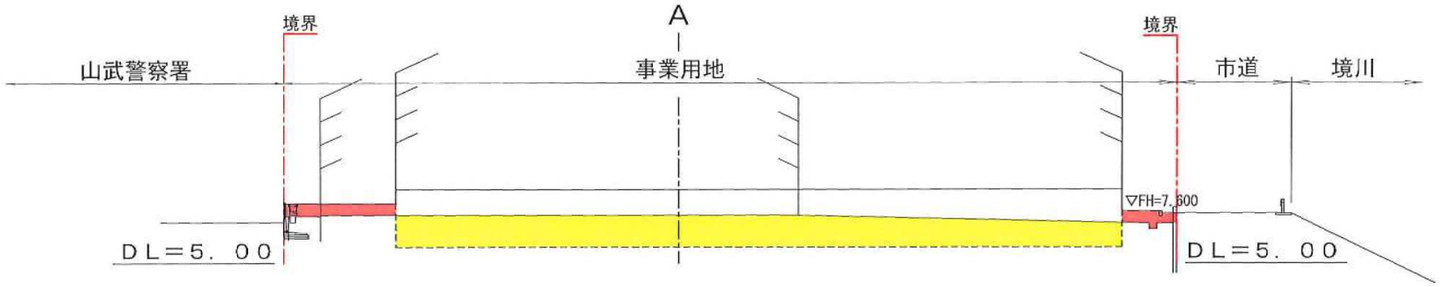
記号・・・	名　　称
黄	切　　土
赤	盛　　土

用紙サイズ

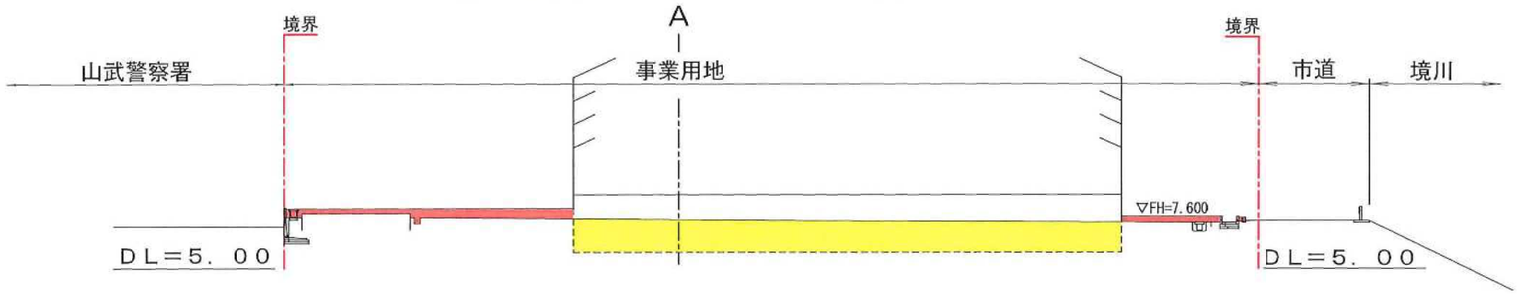
	Ａ３	100%原図・
	Ａ４	71%縮小図

NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOE	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	断　面　図　１／２	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-005

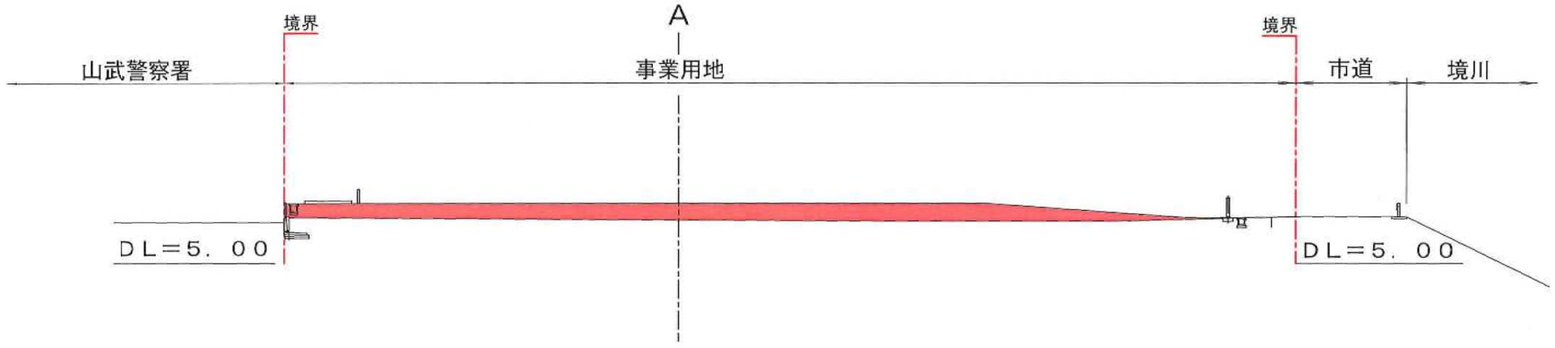
４－４断面図　Ｓ＝１：３００



５－５断面図　Ｓ＝１：３００



６－６断面図　Ｓ＝１：３００



断面図凡例

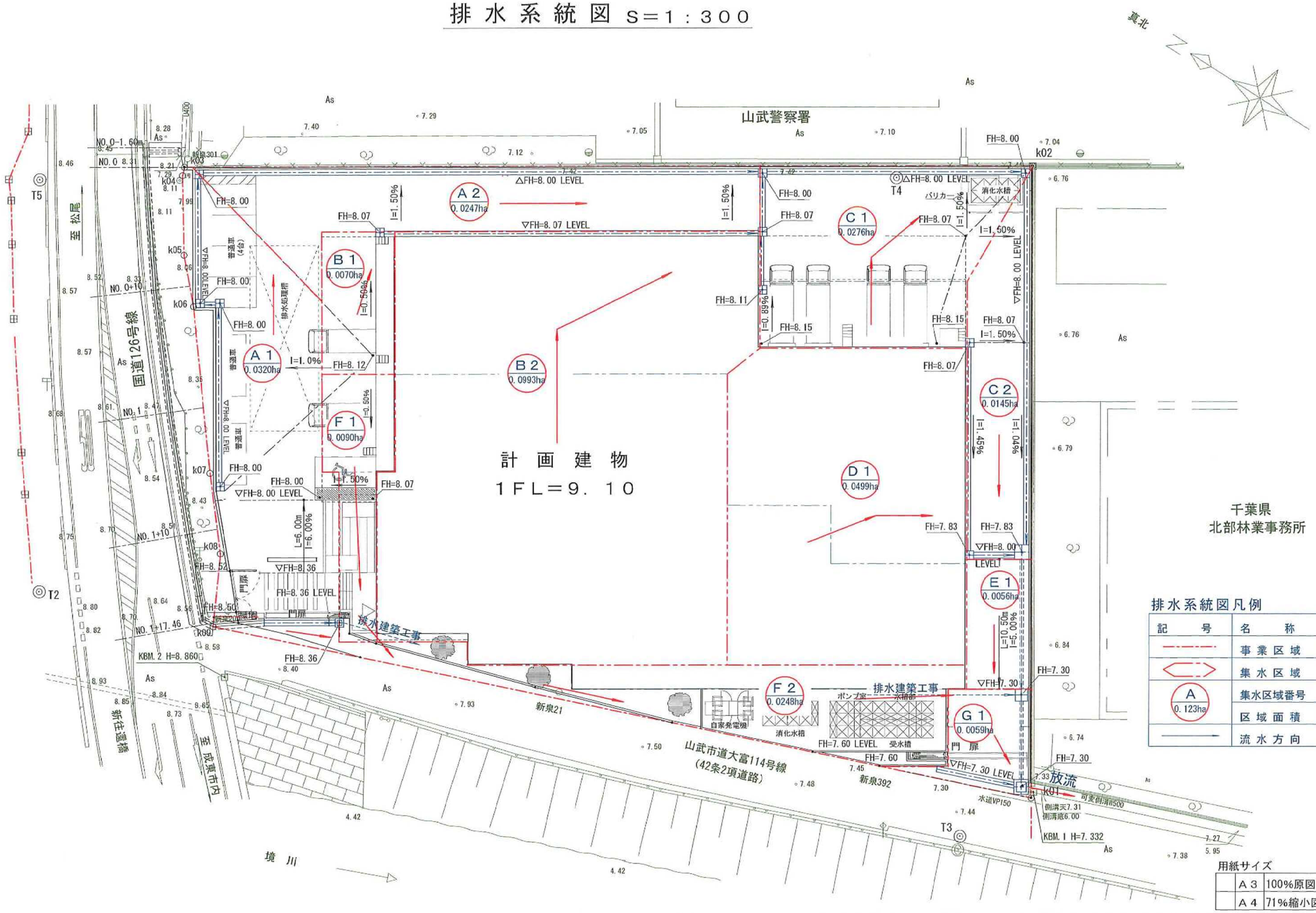
記号・・・	名　　称
黄	切　　土
赤	盛　　土

用紙サイズ

	Ａ３	100%原図・
	Ａ４	71%縮小図

NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	断　面　図　２／２	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-006

排水系統図 S=1:300

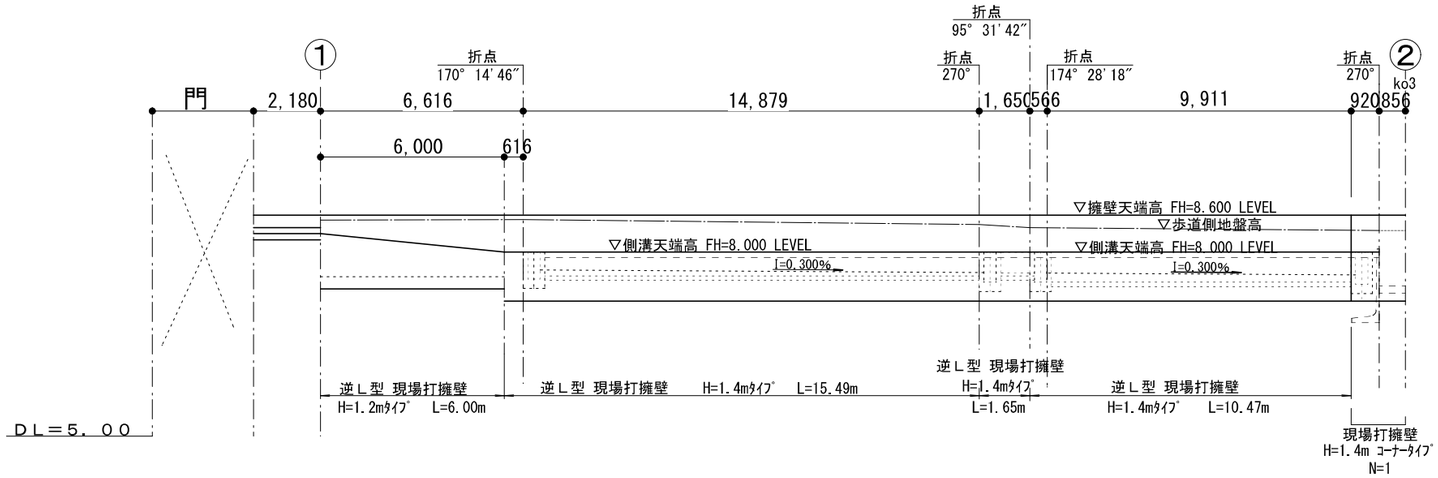


NOTE	検図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	排水系統図	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-007

現場打擁壁展開図

横S=1:200 (A3)
縦 S=1:100(A3)

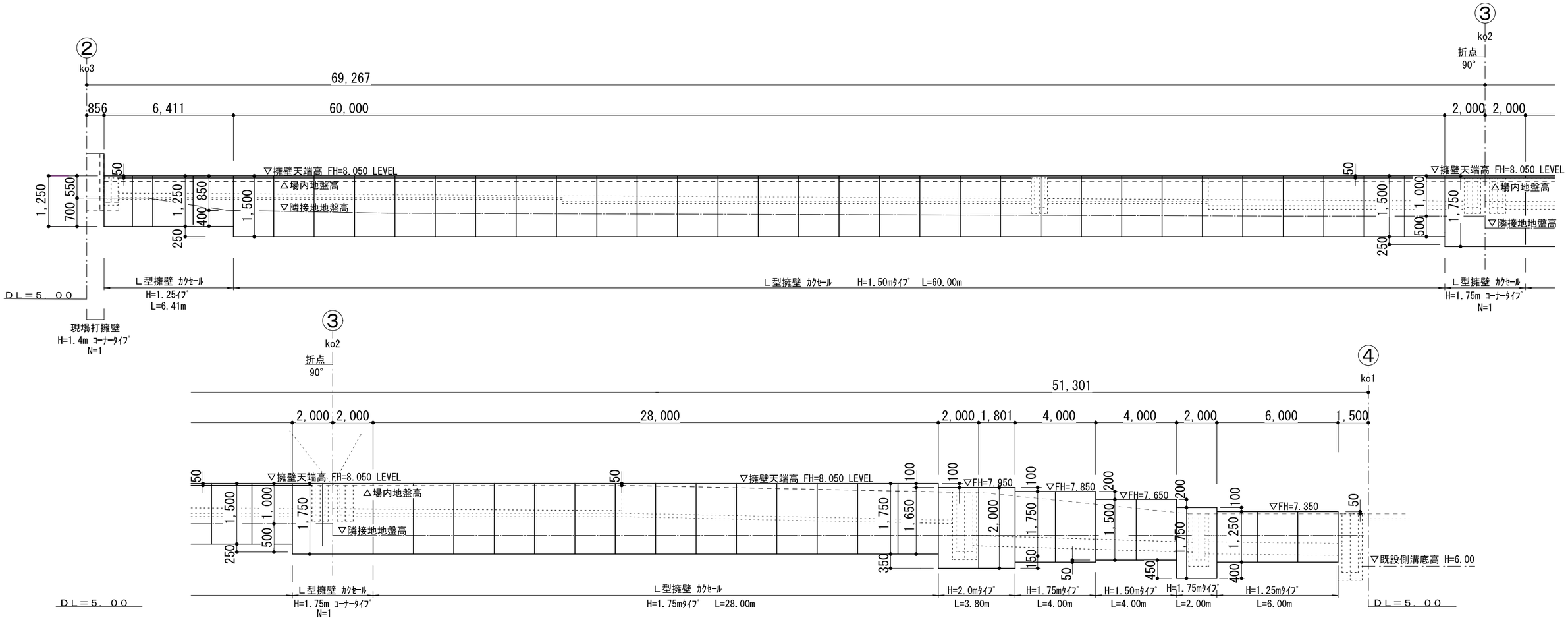
横S=1:100(A1)
縦S=1:50(A1)



Ｌ型擁壁構造図（擁壁種別：ｶｸｾｰﾙ）

横 S=1:200 (A3)
縦 S=1:100(A3)

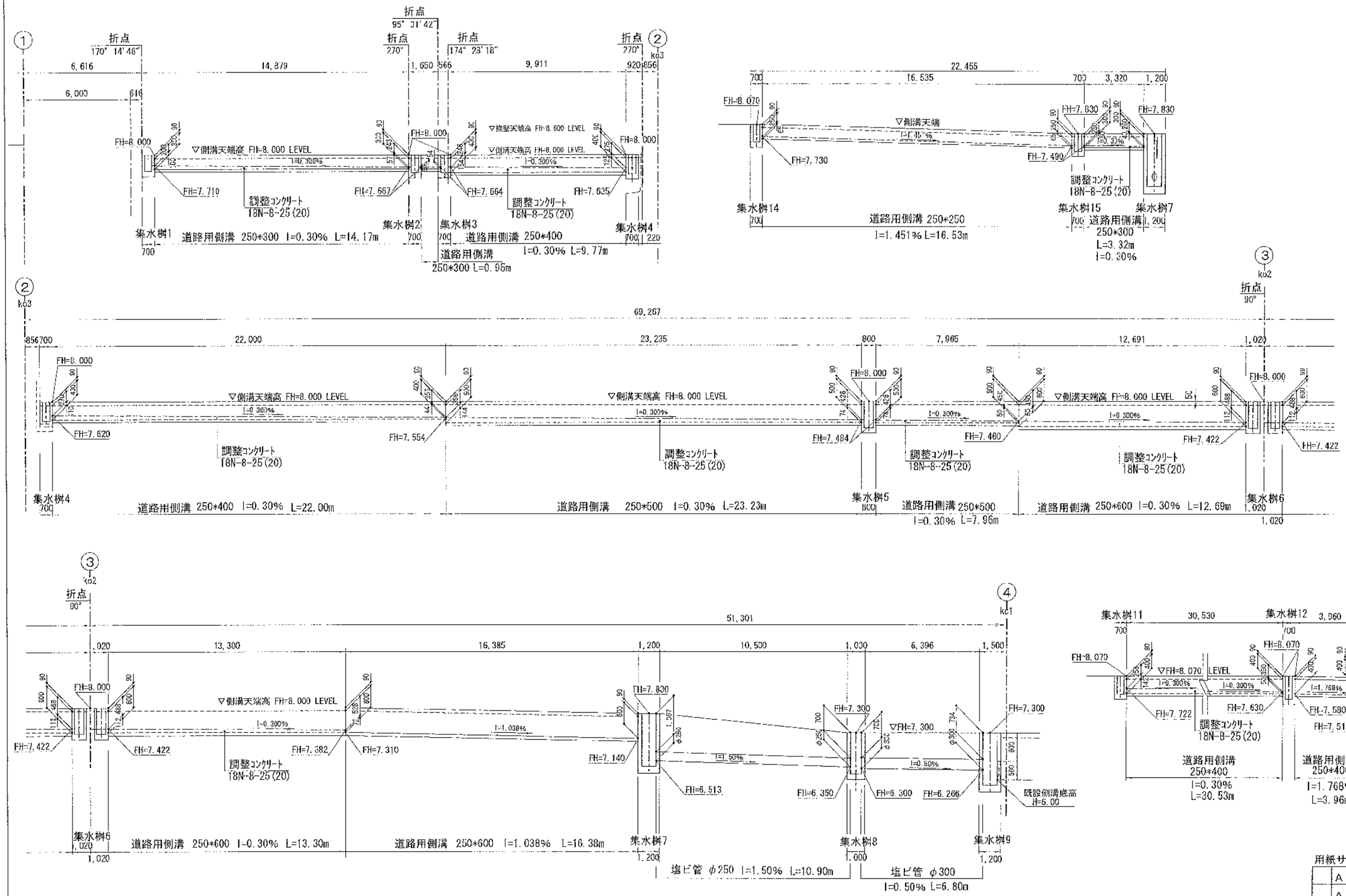
横 S=1:100(A1)
縦 S=1:50(A1)



NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	擁壁展開図		Z-008

排水施設展開図

横S＝1：200
縦S＝1：100



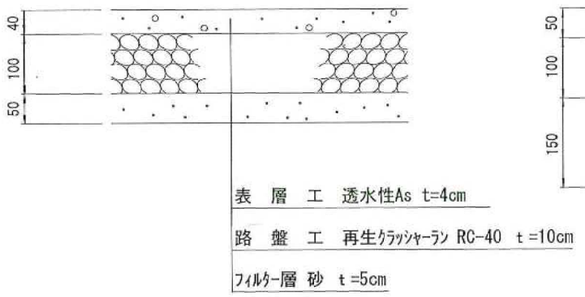
用紙サイズ

	A 3	100%原図
	A 4	71%縮小図

NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	排水施設展開図	S=1/150 (A1) S=1/300 (A3)	Z-009

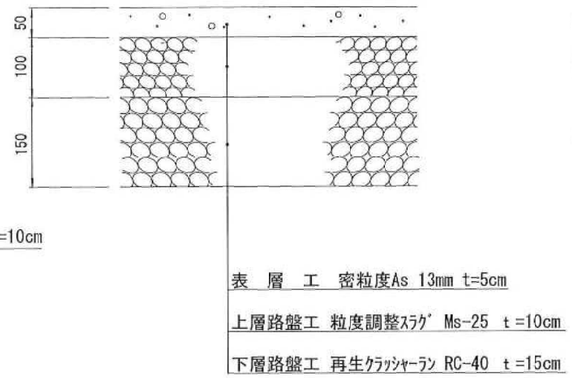
舗 装 工 詳 細 図　S＝1：10

外周歩道Ａｓ舗装

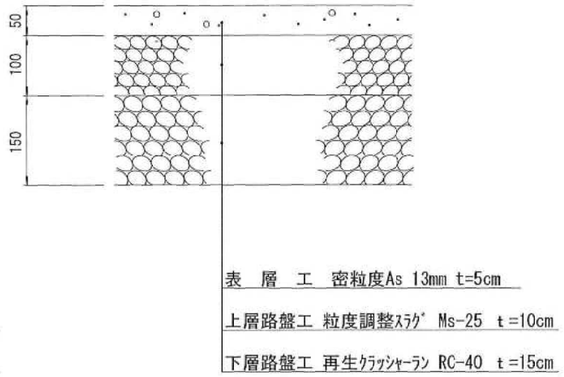


注記：ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ, ﾀｯｸｺｰﾄは雨水浸透を
阻害するので施工しないこと。

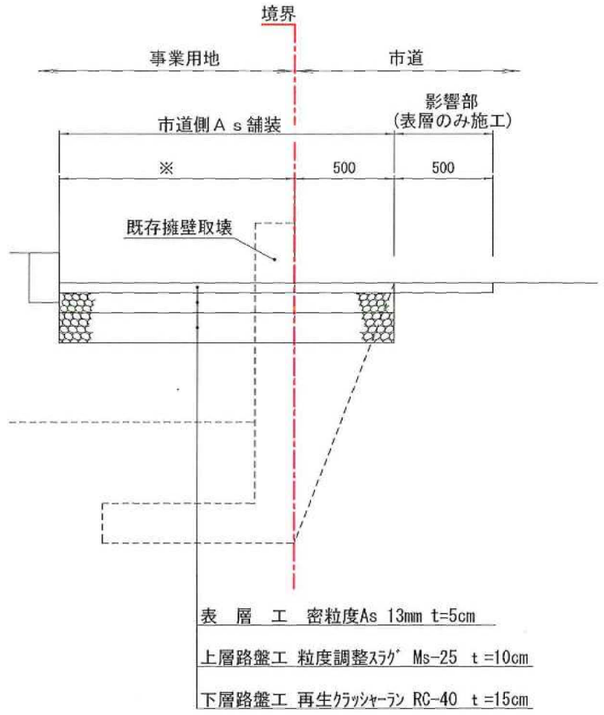
場内通路・駐車場Ａｓ舗装



市道側Ａｓ舗装

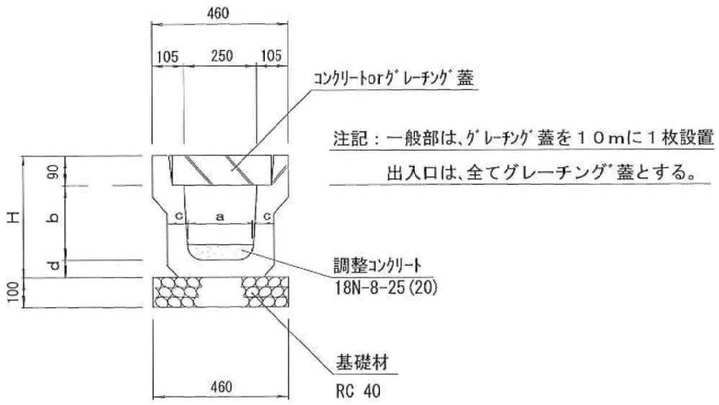


市道側Ａｓ舗装詳細図　S＝1：30



道路用側溝構造図　S＝1：20

３種 Ｗ２５０型

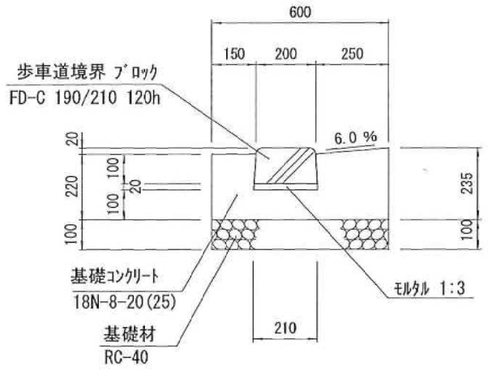


道路用側溝３種 Ｗ２５０型

タ イ プ	形 状 ・ 寸 法			
	a	b	c	d
２５０	230	250	65	65
250×300	230	300	70	70
250×400	220	400	75	75
250×500	210	500	80	80
250×600	200	600	85	85

歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ構造図　S＝1：20

切り下げ型



用紙サイズ

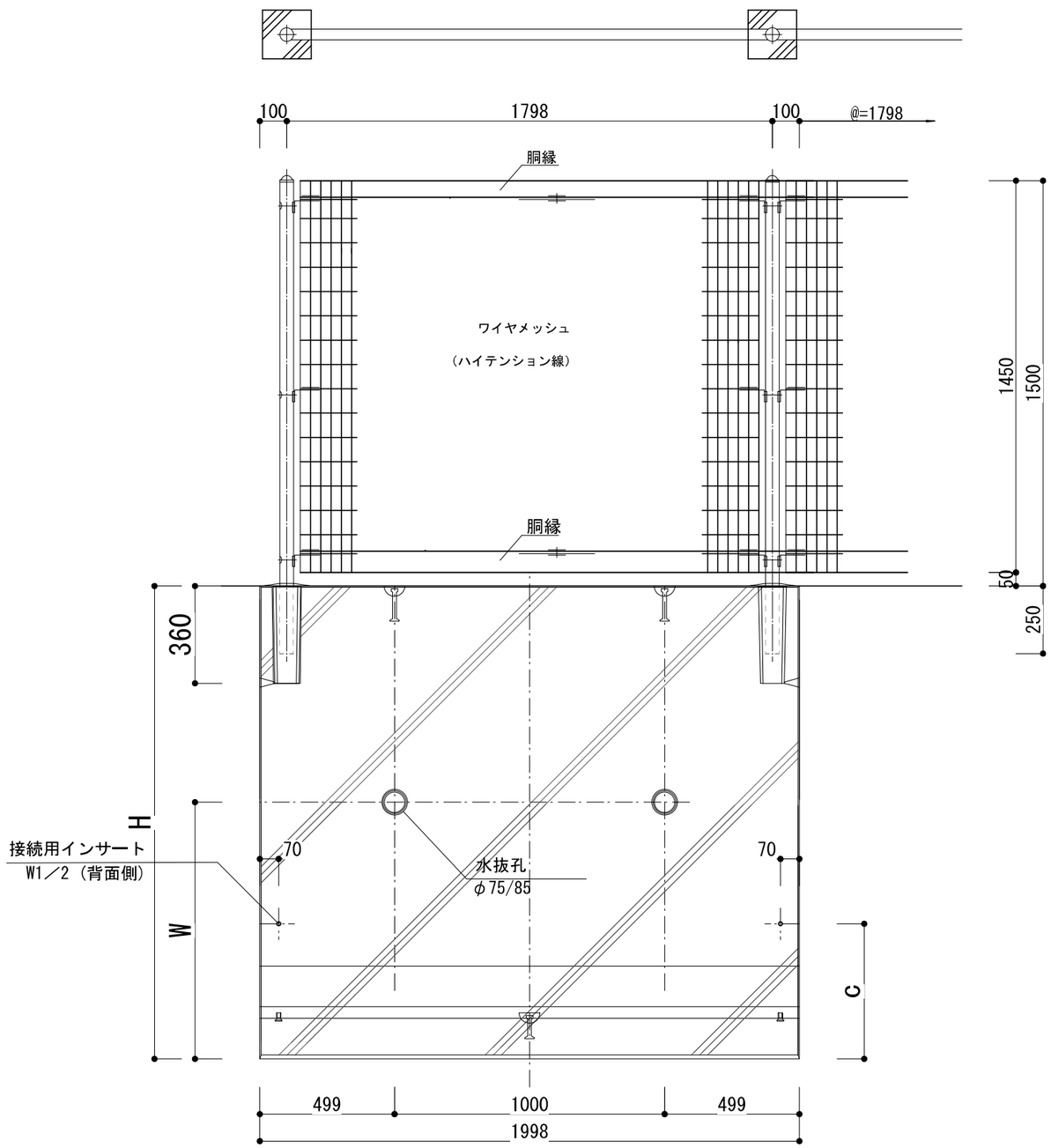
	Ａ３	100%原図・
	Ａ４	71%縮小図

NOTE		検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	各種構造詳細図 (1)	S=1/150 (A1) S=1/300 (A3)	Z-010

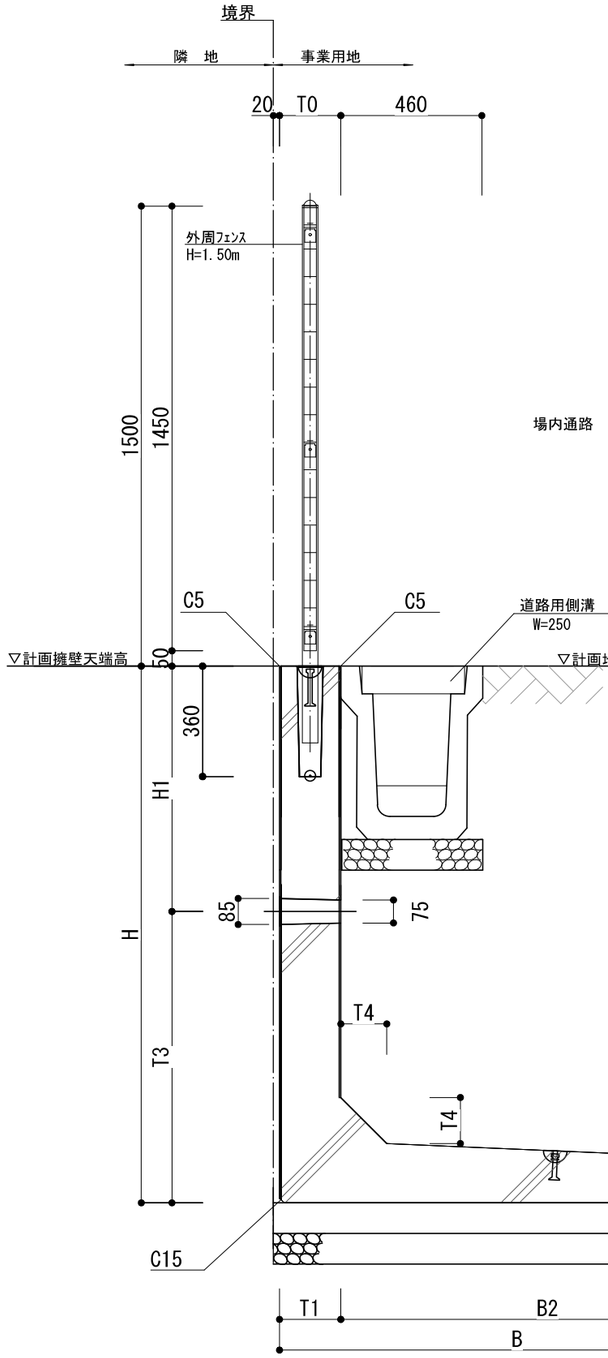
メッシュフェンス H=1500

※特記事項
・メッシュフェンス（ＡＲーＡ１５００ーＭＳ）、又は同等品以上とする。
・（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）

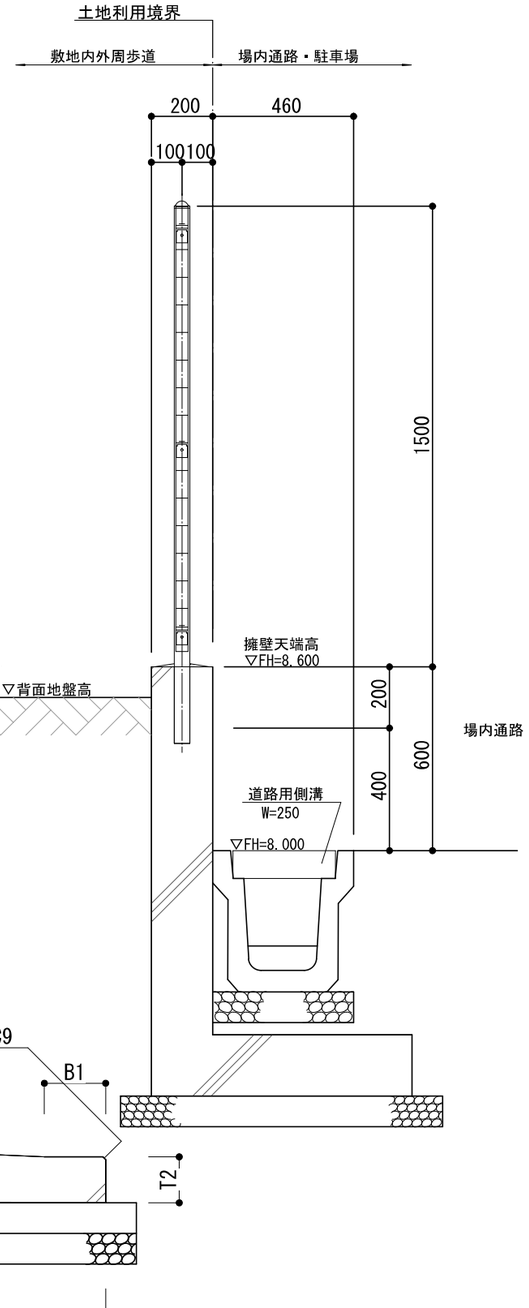
外周ﾌｪﾝｽ取付詳細図　Ｓ＝１：２０



（擁壁種別 ｶｸｾｰﾙ側）



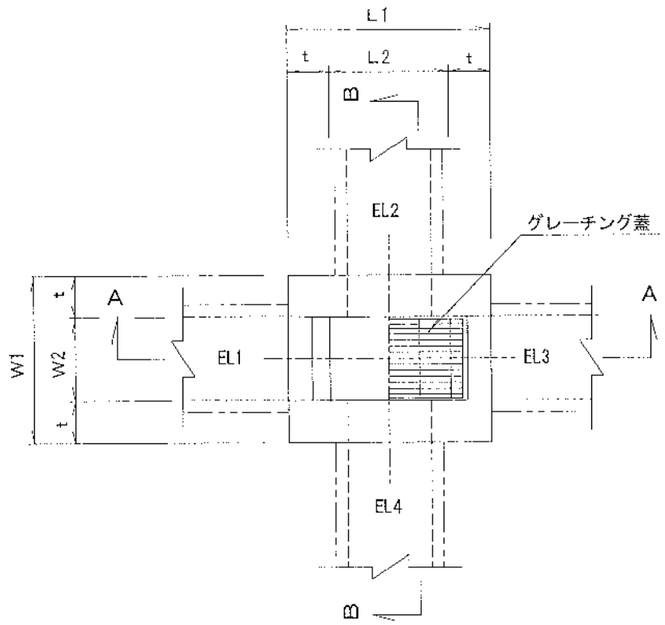
（現場打擁壁側）



NOTE	検　図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	各種構造詳細図（2）		Z-011

集水桝構造図 S＝1：20

平 面 図

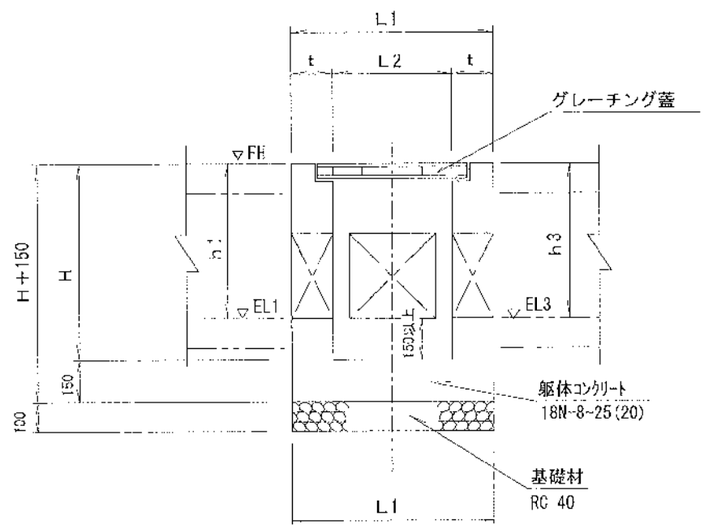


集水桝寸法表

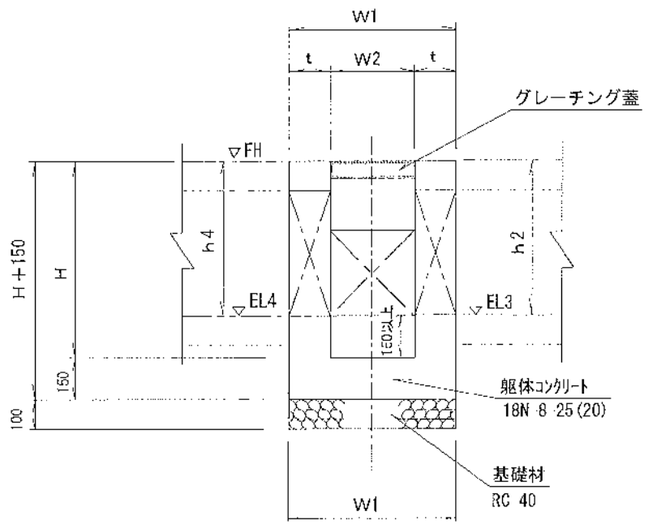
桝番号	外寸法 W1	外寸法 L1	内寸法 W2	内寸法 L2	壁厚 t	桝深さ H	桝天端高 FH	開口寸法 EL1	開口寸法 EL2	開口寸法 EL3	開口寸法 EL4	開口位置	グレーチング種別
集水桝 1	700	700	400	400	150	440	8.000			h= 290 250×200			T-25 110° 開閉式
集水桝 2	700	700	400	400	150	483	8.000	h= 333 250×243	h= 333 h= 333				T-25 110° 開閉式
集水桝 3	700	700	400	400	150	486	8.000			h= 336 250×246	h= 336 250×246		T-25 110° 開閉式
集水桝 4	700	700	400	400	150	530	8.000	h= 365 250×275	h= 380 250×290				T-25 110° 開閉式
集水桝 5	800	800	500	500	150	640	8.000	h= 516 250×426		h= 516 250×426	h= 490 250×400		T-25 110° 開閉式
集水桝 6	800	800	500	500	150	728	8.000	h= 578 250×488			h= 578 250×488		T-25 110° 開閉式
集水桝 7	1,200	1,200	800	800	200	1,467	7.830	h= 690 250×600		h=1,317 φ=250	h= 350 250×260		T-25 110° 開閉式
集水桝 8	1,000	1,000	600	600	200	1.150	7.300	h= 950 φ=250		h=1,000 φ=300			T-25 110° 開閉式
集水桝 9	1,200	1,200	800	800	200	1.450	7.300	h=1,034 φ=300	h=1,300 500×500				T-25 落し込式
集水桝 10	700	700	400	400	150	490	8.360	h= 340 250×250					T-25 110° 開閉式
集水桝 11	700	700	400	400	150	498	8.070			h= 348 250×250			T-25 110° 開閉式
集水桝 12	700	700	400	400	150	640	8.070	h= 440 250×350	h= 490 250×400		h= 340 250×250		T-25 110° 開閉式
集水桝 13	700	700	400	400	150	490	8.100		h= 340 250×250				T-25 110° 開閉式
集水桝 14	700	700	400	400	150	490	8.070				h= 290 250×250		T-25 110° 開閉式
集水桝 15	700	700	400	400	150	490	7.830		h= 340 250×250	h= 340 250×250			T-25 110° 開閉式

注記１：桝深さ １．０ｍ以上は、ステップ(W=300, @=300)を取付けること。
注記２：開口位置, 高さは現場合わせの上調整すること。

Ａ－Ａ断面図

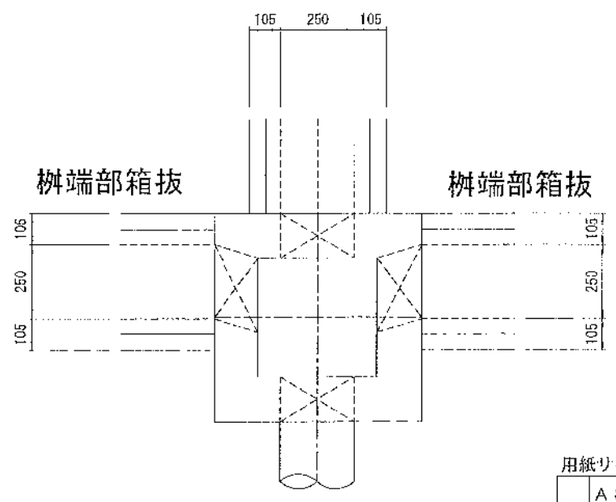


Ｂ－Ｂ断面図



箱抜位置詳細平面図 S＝1：20

桝センター箱抜



用紙サイズ

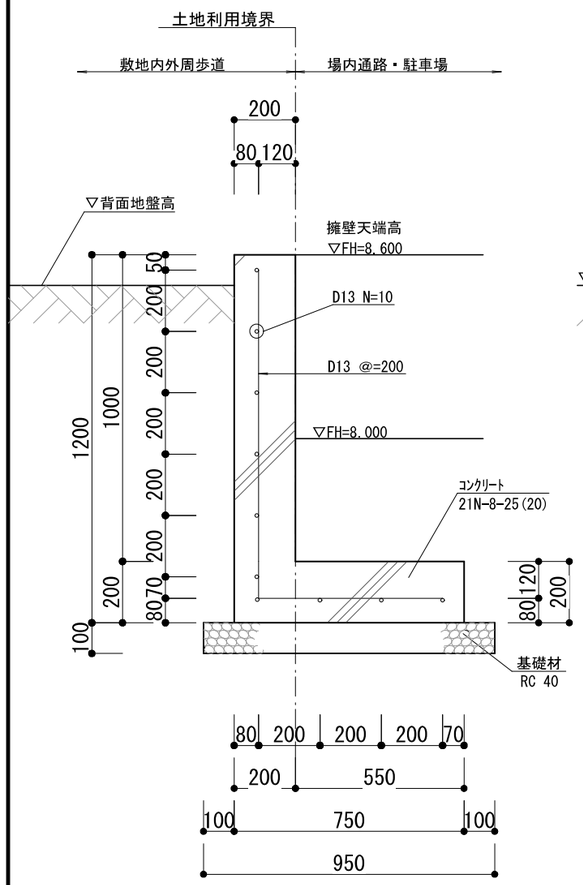
	A 3	100%原図
	A 4	71%縮小図

NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	各種構造詳細図(3)	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-012

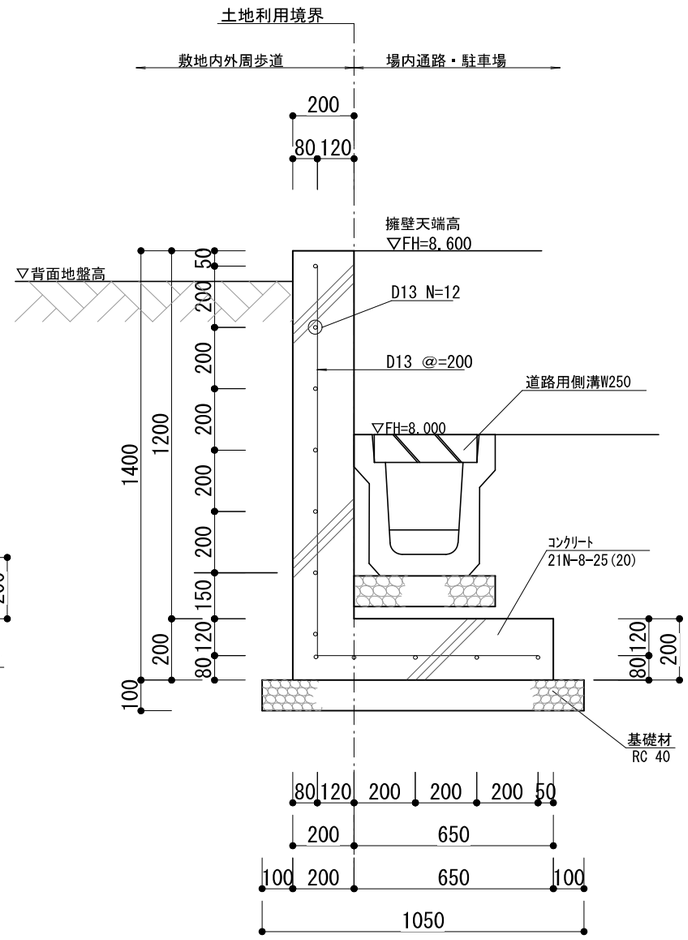
現場打擁壁構造図

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

逆L型 H＝1.20mタイプ

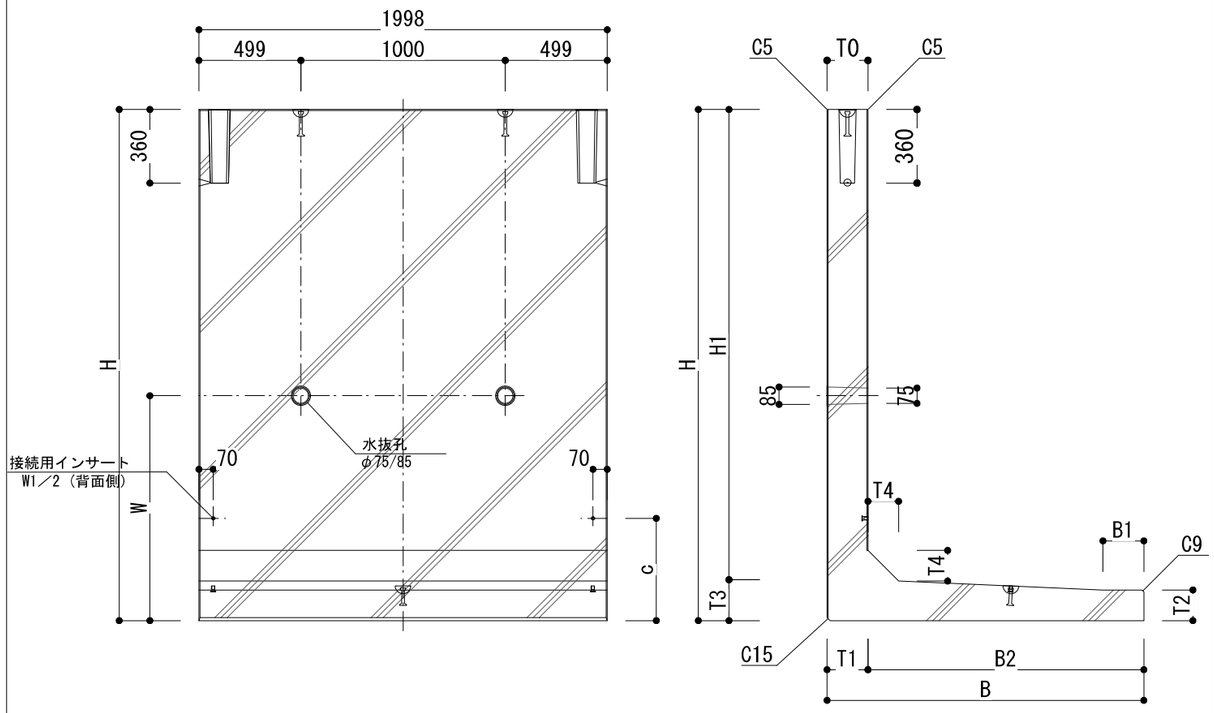


逆L型 H＝1.40mタイプ



L型擁壁構造図（擁壁種別：カクセール）

S=1:15(A1)
S=1:30(A3)



単位 ： mm

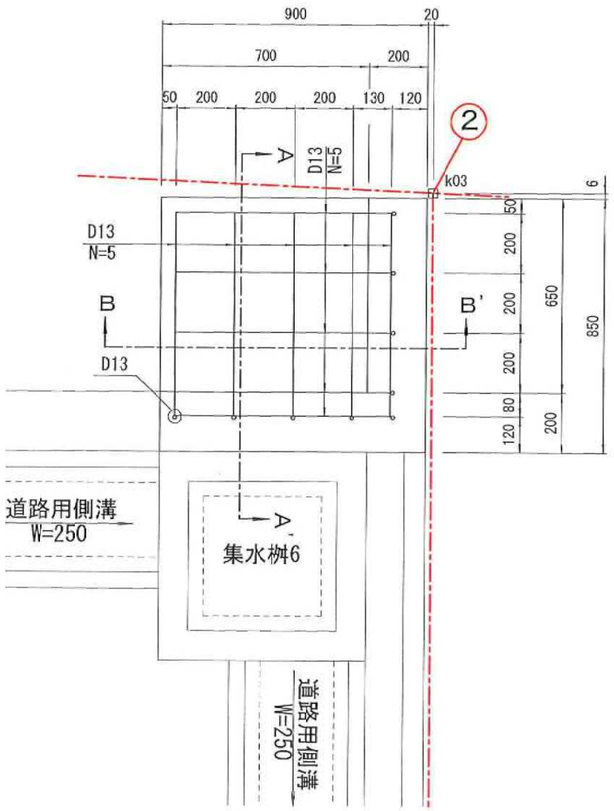
呼び名	寸法														施工用アンカー	
	H	B	T0	T1	T2	T3	T4	H1	B1	B2	W	a	b	c	天端	底 版
H- 750	750	800	180	180	150	150	100	600	—	620	500	90	600	310	2t-120	2t-85
H-1000	1000	850	180	180	150	150	100	850	—	670	650					
H-1250	1250	900	180	180	150	150	100	1100	—	720	650					
H-1500	1500	1100	180	180	150	150	100	1350	—	920	800					
H-1750	1750	1200	180	180	150	150	100	1600	—	1020	950		800			
H-2000	2000	1250	180	180	150	150	100	1850	—	1070	1100					
H-2250	2250	1400	200	200	150	200	150	2050	50	1200	1100	100	850	500	4t-120	4t-85
H-2500	2500	1550	200	200	150	200	150	2300	200	1350	1200					

NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				（仮称）山武市学校給食センター改築工事	各種構造詳細図(4)		Z-013

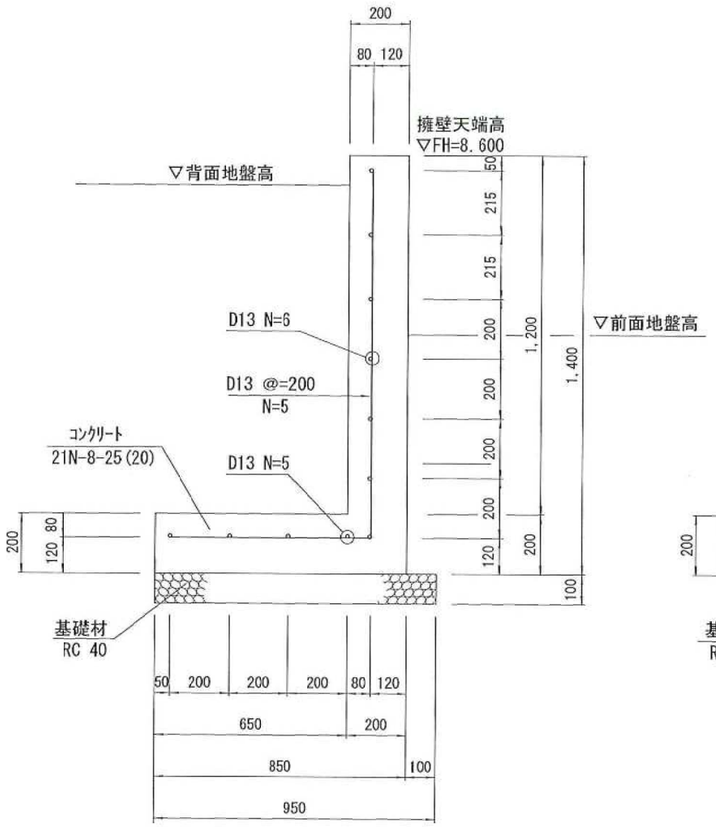
現場打擁壁構造図 S＝1：20

（L型 H＝1．4mコーナータイプ）

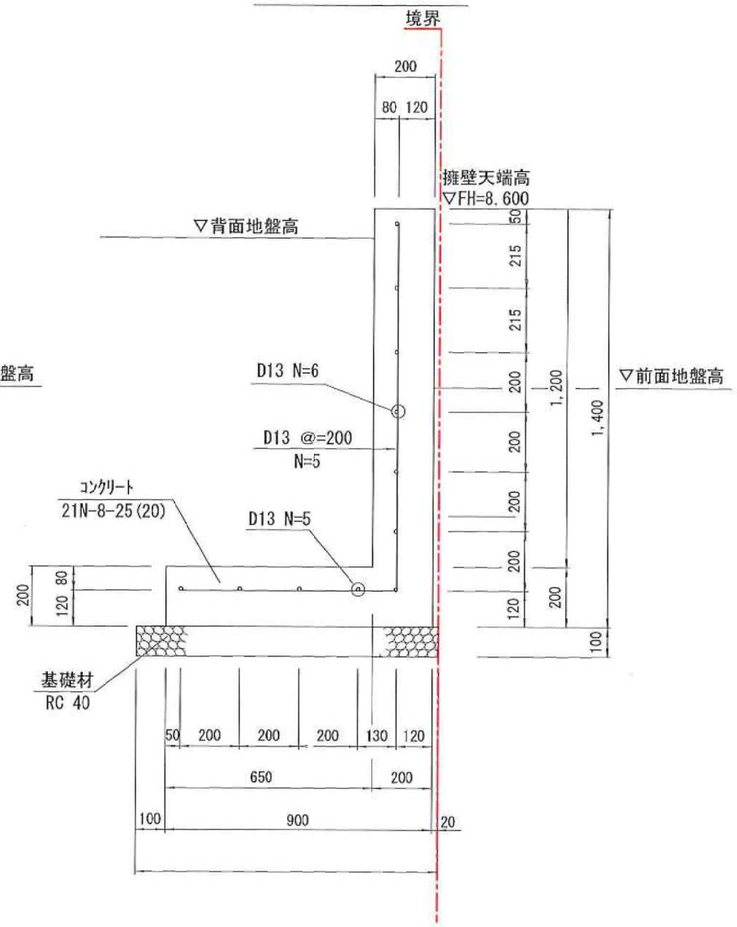
平 面 図



A－A'断面図



B－B'断面図



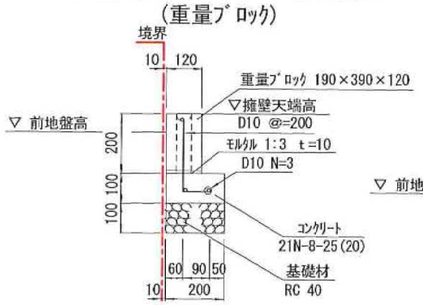
用紙サイズ

	A３	100%原図・
	A４	71%縮小図

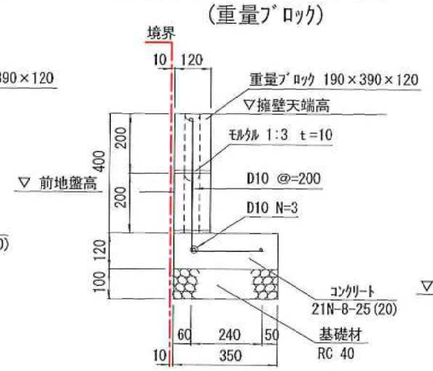
NOTE		検 図	担当主任・製図	DATE / JOB	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
					（仮称）山武市学校給食センター改築工事	各種構造詳細図 (5)	S=1/150(A1) S=1/300(A3)	Z-014

ブロック積擁壁構造図 S＝1：20

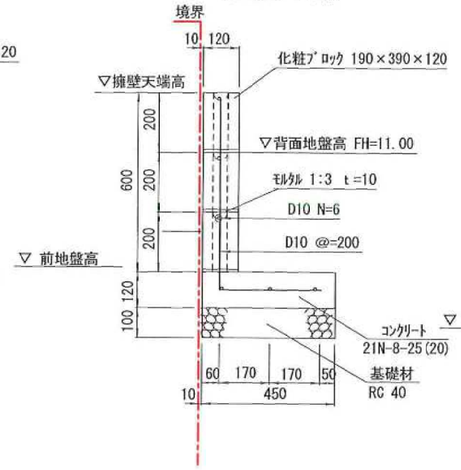
1段積みタイプ H＝0．2m
（重量ブロック）



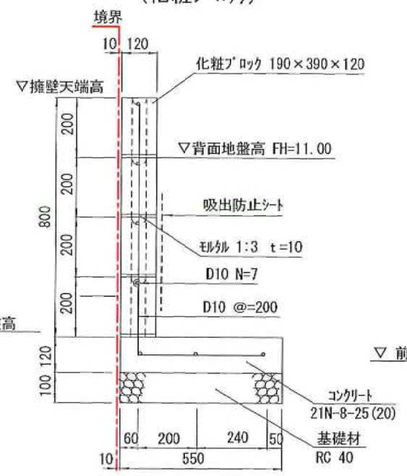
2段積みタイプ H＝0．4m
（重量ブロック）



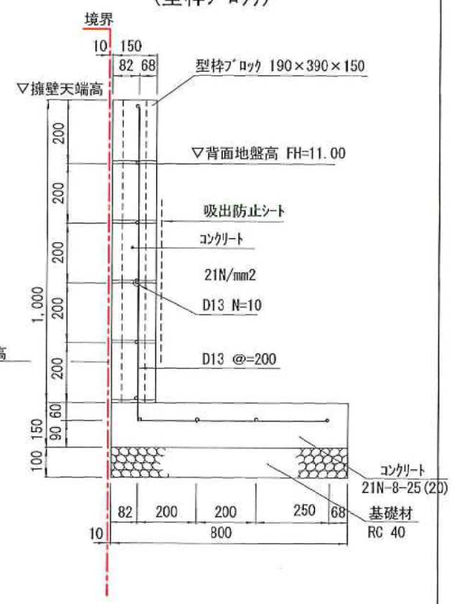
3段積みタイプ H＝0．6m
（化粧ブロック）



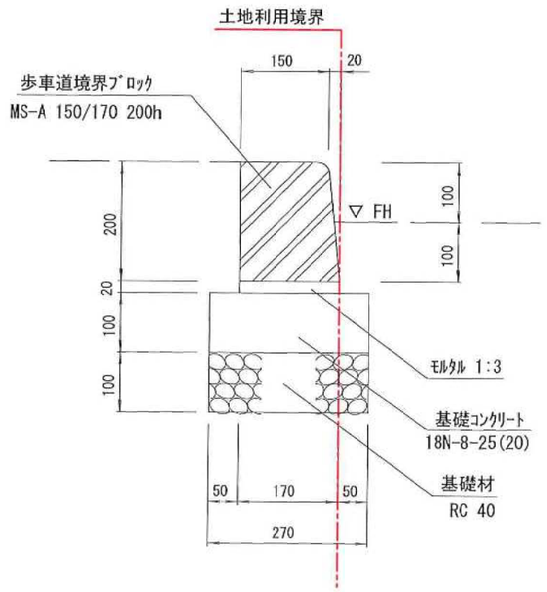
4段積みタイプ H＝0．8m
（化粧ブロック）



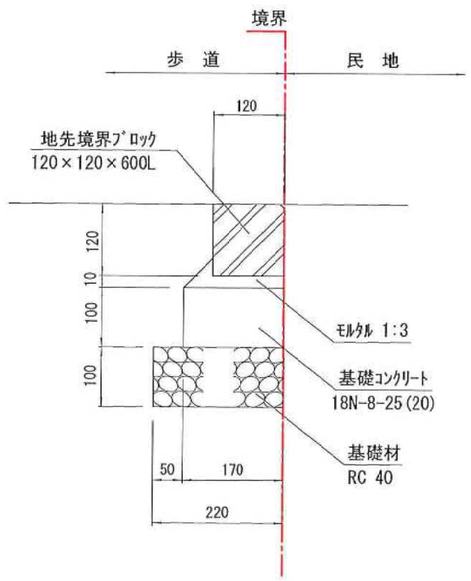
5段積みタイプ H＝1．0m
（型枠ブロック）



歩車道境界車道ブロック構造図 S＝1：10



地先境界ブロック構造図 S＝1：10



用紙サイズ

	A 3	100%原図
	A 4	71%縮小図

NOTE	検 図	担当主任・製図	DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
			JOE	（仮称）山武市学校給食センター改築工事	各種構造詳細図 (6)	S=1/150 (A1) S=1/300 (A3)	Z-015